

恵庭市

柏木川4遺跡(2) - A・C地区 -

— 柏木川基幹河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 —

平成17・18年度

財団法人 北海道埋蔵文化財センター



調査風景（東から）



KH - 2（奥）・3（前）掘上げ土検出状況（南西から）



KH - 2 出土土器



KH - 3 出土土器



基本土層 (南西から)



- 2 (右側)・ - 85 (左側) 掘上げ土セクション (東から)



調査風景 (南から)



KP - 166出土土器



KP - 166土器出土状況（西から）



KP - 166出土土器 上面の文様



KP - 166出土土器 底部の文様

例 言

- 1 本書は、北海道石狩支庁が行う柏木川基幹河川改修工事に伴い、財団法人北海道埋蔵文化財センターが平成17（2005）年度に発掘調査を実施した、恵庭市柏木川4遺跡A地区・C地区の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査および整理作業は第1調査部第2調査課が担当した。
- 3 本書の執筆は、村田 大、吉田裕吏洋が行い、編集は村田が行った。各章・節などの執筆者は文末に記している。
- 4 遺構は調査を担当した調査員がそれぞれ整理した。遺物は現地における一次整理を平成17年7月26日まで立田 理が担当し、平成17年7月27日以降は村田が担当した。二次整理は土器等および石器・礫等を村田が、フローテーション試料を土肥研晶が担当した。金属製品の保存処理は第1調査部第1調査課の田口 尚が担当した。
- 5 発掘での写真撮影および、室内での遺物の写真撮影・焼付けなどは吉田が行った。
- 6 分析・同定について、下記に依頼・委託した。

（放射性炭素年代測定）	株式会社	加速器分析研究所
（炭化樹種同定）	株式会社	バレオ・ラボ
（種実遺体同定）	株式会社	バレオ・ラボ
- 7 石器等の石材鑑定は村田が行った。
- 8 出土資料および記録類は、恵庭市教育委員会で保管する。
- 9 調査にあたっては、下記の諸機関および人々の指導、ご協力をいただいた（順不同・敬称略）。

北海道教育庁生涯学習部文化課、恵庭市郷土資料館、千歳市教育委員会
恵庭市郷土資料館：上屋真一・松谷純一・森 秀之・長町章弘
千歳市教育委員会：田村俊之・松田淳子・豊田宏良
札幌大学 木村英明、野村 崇、大沼忠春

記号等の説明

1 遺構名・遺構図について

- (1) 遺構名は以下の略号を用い、原則として確認順に番号を付した。なお、発掘区と区別するため、アルファベット1文字の略号は柏木川4遺跡の頭文字「K」を頭に付している。

KH：竪穴住居跡 KP：土壇 KF：焼土
KS：礫集中 SP：柱穴状小ピット

- (2) 掲載した遺構図等の縮尺は、原則として以下のとおりであり、各図面にスケールを付した。
遺構図 1：40 遺物出土状況 1：20
- (3) 遺構図にはグリッド線に従って、方位記号を付したものがある。真北はアルファベットラインの基線に対して西偏42度44分19秒である。レベルは標高(単位：m)を示す。
- (4) 遺構の規模は以下の要領で示した。なお一部破壊されているものや不明確なものについては、現存長を「()」で、不明のものは「-」で示した。(単位：m)
- 住居跡・土壇 確認面の長軸長 / 床面・壇底面の長軸長 確認面の短軸長 / 床面・壇底面の短軸長 最大の深さ
焼土 確認面の長軸長 確認面の短軸長 最大厚
集石 確認範囲の長軸長 短軸長
- (5) 出土遺物分布図等での表示は、遺物の種類別に以下のシンボルマークで示したものがある。
- ・：土器・土製品 ・：剥片石器・剥片 ・：礫石器・礫
黒塗りは床面・壇底面出土、白抜きは覆土出土
また焼土等はスクリーントーンで示したものがある。

2 遺物について

- (1) 掲載した実測図等の縮尺は、原則として以下のとおりであり、各図面にスケールを付した。
復元土器 1：3 土器拓影 1：3 土製品・石製品 1：2
剥片石器 1：2 磨製石器 1：2 礫石器 1：3 (一部1：4)
- (2) 石器・土製品・石製品の大きさは以下の要領で示した。なお破損しているものについては現存最大長を()で示した。
最大長 最大幅 最大厚 (単位：cm)

3 土層について

- (1) 基本土層は口・マ数字で、遺構の覆土はアラビア数字で示した。
- (2) 土層の混合状態を表現するために、以下のように表記してある。
A+B：AとBが同量混じる。 A>B：AにBが少量混じる。
A B：AにBが微量混じる。 A B：AとBはほぼ等しい。
- (3) 土層の色調には『新版標準土色帖』(小山・竹原1967)を使用し、カラーチャートの番号を付したものがある。

目 次

口 絵

例 言

記号等の説明

目 次

挿図目次・表目次・写真図版目次

I 章 調査の概要	
1 調査要項	1
2 調査体制	1
3 調査に至る経緯	1
4 調査の方法	4
(1) 発掘区の設定	
(2) 発掘調査の方法	
(3) 土 層	
(4) 整理作業の方法	
(5) 遺物の分類	
5 調査結果の概要	11
II 章 遺跡の位置と周辺の遺跡	
1 遺跡の立地と環境	17
2 周辺の遺跡	18
III 章 縄文時代の遺構と遺物	
1 概 要	25
(1) 竪穴住居跡	
(2) 土 壙	
(3) 焼 土	
(4) 集 石	
(5) 柱穴状小ピット	
(6) 遺構出土の遺物	
表	101
IV 章 擦文時代の遺構と遺物	
1 概 要	111
(1) 竪穴住居跡	
(2) 集 石	
2 包含層出土の遺物	134
(1) 土 器	

(2) 金属製品	
表	136
V章 自然科学的分析	
1 放射性炭素年代測定(株式会社 加速器研究所)	141
2 炭化樹種同定(株式会社 バレオ・ラボ)	144
3 炭化種実同定(株式会社 バレオ・ラボ)	148
VI章 小 括	
1 遺跡について	151
2 付 記	151
表	152
参考文献	
写真図版	155
・現地調査状況	
・出土遺物	
報告書抄録	
奥 付	

挿 図 目 次

図 I - 1 遺跡の位置	2	図 III - 12 土壌(11)	
図 I - 2 柏木川改修工事関連調査遺跡位置図	3	KP - 119～123	44
図 I - 3 発掘区設定図、調査予定範囲、 調査区呼称	5	図 III - 13 土壌(12)	
図 I - 4 基本土層模式図、 基本土層(51ライン)(1)	8	KP - 124～127、129	45
図 I - 5 基本土層(51ライン)(2)	9	図 III - 14 土壌(13)	
図 I - 6 遺構位置図	12	KP - 134、135、137、138	46
図 I - 7 A地区遺構位置図	13	図 III - 15 土壌(14)	
図 I - 8 C地区遺構位置図	14	KP - 141～145	47
図 II - 1 遺跡周辺の地形(1)	19	図 III - 16 土壌(15)	
図 II - 2 遺跡周辺の地形(2)	20	KP - 146、147、149、150、154	48
図 II - 3 遺跡周辺の空中写真(1)	21	図 III - 17 土壌(16)	
図 II - 4 遺跡周辺の空中写真(2)	22	KP - 156～160	49
図 II - 5 周辺の遺跡	23	図 III - 18 土壌(17)	
図 III - 1 竪穴住居跡KH - 4	26	KP - 161、164、165、173、174	50
図 III - 2 土壌(1)		図 III - 19 土壌(18)	
KP - 100、102	34	KP - 175～178、180	51
図 III - 3 土壌(2)		図 III - 20 土壌(19)	
KP - 113、128、130、139	35	KP - 181～185	52
図 III - 4 土壌(3)		図 III - 21 土壌(20)	
KP - 140、151、152、162、163	36	KP - 186～190	53
図 III - 5 土壌(4)		図 III - 22 土壌(21)	
KP - 166、196、212、214	37	KP - 191～195、198	54
図 III - 6 土壌(5)		図 III - 23 土壌(22)	
KP - 242、250、270～272	38	KP - 201～206	55
図 III - 7 土壌(6)		図 III - 24 土壌(23)	
KP - 83、84	39	KP - 207～211	56
図 III - 8 土壌(7)		図 III - 25 土壌(24)	
KP - 86、89～91	40	KP - 213、215～219	57
図 III - 9 土壌(8)		図 III - 26 土壌(25)	
KP - 92、93、95～97	41	KP - 220～225	58
図 III - 10 土壌(9)		図 III - 27 土壌(26)	
KP - 98、99、101、111、112	42	KP - 226～231	59
図 III - 11 土壌(10)		図 III - 28 土壌(27)	
KP - 114～118	43	KP - 237～241、243	60
		図 III - 29 土壌(28)	
		KP - 244～248	61

図Ⅲ - 30 土壌 29)		図Ⅲ - 52 焼土(7)	84
KP - 249、251～255	62	図Ⅲ - 53 集石、柱穴状小ビット	85
図Ⅲ - 31 土壌 30)		図Ⅲ - 54 土壌出土の遺物 1)	87
KP - 257～262	63	図Ⅲ - 55 土壌出土の遺物 2)	88
図Ⅲ - 32 土壌 31)		図Ⅲ - 56 土壌出土の遺物 3)	89
KP - 263～267	64	図Ⅲ - 57 土壌出土の遺物 4)	90
図Ⅲ - 33 土壌 32)		図Ⅲ - 58 土壌出土の遺物 5)	91
KP - 268、269、273～276	65	図Ⅲ - 59 土壌出土の遺物 6)	92
図Ⅲ - 34 土壌 33)		図Ⅲ - 60 土壌出土の遺物 7)	93
KP - 277、280、281、283、285	66	図Ⅲ - 61 土壌出土の遺物 8)	94
図Ⅲ - 35 土壌 34)		図Ⅲ - 62 土壌出土の遺物 9)	95
KP - 286～288、290、291	67	図Ⅲ - 63 土壌出土の遺物 10)	96
図Ⅲ - 36 土壌 35)		図Ⅲ - 64 土壌出土の遺物 11)	97
KP - 80	68	図Ⅲ - 65 土壌出土の遺物 12)	98
図Ⅲ - 37 土壌 36)		図Ⅲ - 66 土壌出土の遺物 13)	99
KP - 81、82、103、131	69	図Ⅳ - 1 竪穴住居跡 KH - 2(1)	112
図Ⅲ - 38 土壌 37)		図Ⅳ - 2 竪穴住居跡 KH - 2(2)	113
KP - 132、133、148、153、179	70	図Ⅳ - 3 竪穴住居跡 KH - 2(3)	114
図Ⅲ - 39 土壌 38)		図Ⅳ - 4 竪穴住居跡 KH - 2(4)	115
KP - 197、200、232、233、256	71	図Ⅳ - 5 竪穴住居跡 KH - 2(5)	116
図Ⅲ - 40 土壌 39)		図Ⅳ - 6 KH - 2 出土の遺物 1)	118
KP - 278、279、282、284、289	72	図Ⅳ - 7 KH - 2 出土の遺物 2)	119
図Ⅲ - 41 土壌 40)		図Ⅳ - 8 KH - 2 出土の遺物 3)	120
KP - 85	73	図Ⅳ - 9 KH - 2 出土の遺物 4)	121
図Ⅲ - 42 土壌 41)		図Ⅳ - 10 竪穴住居跡 KH - 3(1)	123
KP - 94、155、199、234、236	74	図Ⅳ - 11 竪穴住居跡 KH - 3(2)	124
図Ⅲ - 43 土壌 42)		図Ⅳ - 12 竪穴住居跡 KH - 3(3)	125
KP - 79、87、88、104、106	75	図Ⅳ - 13 竪穴住居跡 KH - 3(4)	126
図Ⅲ - 44 土壌 43)		図Ⅳ - 14 竪穴住居跡 KH - 3(5)	127
KP - 105、107～110、167、168	76	図Ⅳ - 15 KH - 3 出土の遺物 1)	128
図Ⅲ - 45 土壌 44)		図Ⅳ - 16 KH - 3 出土の遺物 2)	129
P - 169～172	77	図Ⅳ - 17 KH - 3 出土の遺物 3)	130
図Ⅲ - 46 焼土(1)	78	図Ⅳ - 18 KH - 3 出土の遺物 4)	131
図Ⅲ - 47 焼土(2)	79	図Ⅳ - 19 集石 KS - 4・5	133
図Ⅲ - 48 焼土(3)	80	図Ⅳ - 20 包含層出土Ⅶ群土器分布図	134
図Ⅲ - 49 焼土(4)	81	図Ⅳ - 21 包含層出土のⅦ群土器	135
図Ⅲ - 50 焼土(5)	82	図Ⅴ - 1 放射性年代測定試料採取位置図	141
図Ⅲ - 51 焼土(6)	83	図Ⅴ - 2 炭化樹種同定試料採取位置図	144

表 目 次

表 I - 1	遺構一覧	16	表 IV - 3	擦文時代遺構出土掲載石器等一覧	139
表 I - 2	出土遺物一覧	16	表 IV - 4	擦文時代遺構出土遺物一覧	139
表 II - 1	周辺の遺跡一覧	24	表 IV - 5	包含層出土Ⅶ群掲載土器一覧	140
表 III - 1	縄文時代遺構規模一覧	101	表 V - 1	放射性炭素年代測定分析試料一覧	141
表 III - 2	縄文時代遺構出土掲載土器一覧	106	表 V - 2	KH - 2 採取炭化材同定分析試料一覧	144
表 III - 3	縄文時代遺構出土掲載石器等一覧	108	表 V - 3	KH - 3 採取炭化材同定分析試料一覧	144
表 III - 4	縄文時代遺構出土遺物一覧	109	表 VI - 1	平成16年度包含層出土遺物一覧	152
表 IV - 1	擦文時代遺構規模一覧	136			
表 IV - 2	擦文時代遺構出土掲載土器一覧	136			

写真図版目次

口絵 1 - 1	調査風景（東から）	図版 8	土壇（2）	
口絵 1 - 2	KH - 2（奥）・3（前）掘上げ土 検出状況（南西から）	KP - 81・82・83・84	図版 9	土壇（3）
口絵 2 - 1	KH - 2 出土土器	KP - 85	図版 10	土壇（4）
口絵 2 - 2	KH - 3 出土土器	KP - 85	図版 11	土壇（5）
口絵 3 - 1	基本土層（南西から）	KP - 87・88・89	図版 12	土壇（6）
口絵 3 - 2	KH - 2（右側）・KP - 85（左側） 掘上げ土セクション（東から）	KP - 90・91・92	図版 13	土壇（7）
口絵 3 - 3	調査風景（南から）	KP - 93・94・95・96	図版 14	土壇（8）
口絵 4 - 1	KP - 166 出土土器	KP - 97・98・99	図版 15	土壇（9）
口絵 4 - 2	KP - 166 土器出土状況	KP - 100・101・102	図版 16	土壇（10）
口絵 4 - 3	KP - 166 出土土器上面の文様	KP - 103・104・105	図版 17	土壇（11）
口絵 4 - 4	KP - 166 出土土器底部の文様	KP - 106・107・108	図版 18	土壇（12）
図版 1	調査前状況	KP - 109・110・111		
図版 2	調査風景（1）			
図版 3	調査風景（2）			
図版 4	調査終了状況			
図版 5	基本土層			
図版 6	KH - 4			
図版 7	土壇（1）			
	KP - 79・80・86			

- 図版19 土壌(13)
KP - 112 · 113 · 114
- 図版20 土壌(14)
KP - 115 · 116 · 117
- 図版21 土壌(15)
KP - 118 · 119 · 120
- 図版22 土壌(16)
KP - 121 · 122 · 123
- 図版23 土壌(17)
KP - 124 · 125 · 126
- 図版24 土壌(18)
KP - 127 · 128 · 129
- 図版25 土壌(19)
KP - 130 · 131 · 132
- 図版26 土壌(20)
KP - 133 · 134 · 135 · 137
- 図版27 土壌(21)
KP - 138 · 139
- 図版28 土壌(22)
KP - 140 · 141 · 142 · 143
- 図版29 土壌(23)
KP - 144 · 145 · 146
- 図版30 土壌(24)
KP - 147 · 148 · 149 · 151
- 図版31 土壌(25)
KP - 139 · 150 · 151 · 152 · 153
- 図版32 土壌(26)
KP - 154 · 155 · 156 · 157
- 図版33 土壌(27)
KP - 158 · 159 · 160
- 図版34 土壌(28)
KP - 161 · 162 · 163
- 図版35 土壌(29)
KP - 164 · 165 · 166 · 167
- 図版36 土壌(30)
KP - 168 · 169 · 170
- 図版37 土壌(31)
KP - 171 · 172 · 173
- 図版38 土壌(32)
KP - 174 · 175 · 176 · 177
- 図版39 土壌(33)
KP - 178 · 179 · 180 · 181
- 図版40 土壌(34)
KP - 182 · 183 · 184 · 185 · 186
- 図版41 土壌(35)
KP - 81 · 181 · 187 · 188 · 189
- 図版42 土壌(36)
KP - 190 · 191 · 192 · 193 · 194 · 195
- 図版43 土壌(37)
KP - 196 · 197 · 198 · 199
- 図版44 土壌(38)
KP - 200 · 201 · 202 · 203
- 図版45 土壌(39)
KP - 202 · 203 · 204 · 205 · 206
- 図版46 土壌(40)
KP - 207 · 208 · 209
- 図版47 土壌(41)
KP - 210 · 211 · 212 · 213 · 214 · 232
- 図版48 土壌(42)
KP - 215 · 216 · 218
- 図版49 土壌(43)
KP - 217 · 219 · 220 · 221
- 図版50 土壌(44)
KP - 222 · 223 · 224
- 図版51 土壌(45)
KP - 224 · 225 · 226 · 227
- 図版52 土壌(46)
KP - 226 · 227 · 228 · 229
- 図版53 土壌(47)
KP - 214 · 230 · 231 · 232
- 図版54 土壌(48)
KP - 233 · 234 · 236
- 図版55 土壌(49)
KP - 237 · 238 · 239 · 240
- 図版56 土壌(50)
KP - 241 · 242 · 243 · 244 · 245 · 246
- 図版57 土壌(51)
KP - 247 · 248 · 249 · 250
- 図版58 土壌(52)
KP - 245 · 251 · 252 · 253 · 255

- 図版59 土壌(53)
KP - 256・257・258
- 図版60 土壌(54)
KP - 259・260・276
- 図版61 土壌(55)
KP - 254・261・262・263・264
- 図版62 土壌(56)
KP - 265・266・267・268
- 図版63 土壌(57)
KP - 269・270・271
- 図版64 土壌(58)
KP - 272・273・274
- 図版65 土壌(59)
KP - 275・277・278・279
- 図版66 土壌(60)
KP - 280・281・282・283・285
- 図版67 土壌(61)
KP - 284・286・287
- 図版68 土壌(62)
KP - 288・289・290・291
- 図版69 KF・KS - 3
- 図版70 SP - 2～5
- 図版71 遺構出土の遺物(1)
KH - 4・KP - 80・81・82
- 図版72 遺構出土の遺物(2)
KP - 83・85・91
- 図版73 遺構出土の遺物(3)
KP - 92・93・94・96・100・101
- 図版74 遺構出土の遺物(4)
KP - 102・113・121
- 図版75 遺構出土の遺物(5)
KP - 117・124・126・128・129
- 図版76 遺構出土の遺物(6)
KP - 130・131・135・138
- 図版77 遺構出土の遺物(7)
KP - 139
- 図版78 遺構出土の遺物(8)
KP - 140・142・147・151・152・155
- 図版79 遺構出土の遺物(9)
KP - 156・162・163・167・178
- 図版80 遺構出土の遺物(10)
KP - 166
- 図版81 遺構出土の遺物(11)
KP - 199・201・202・206・209・210・215
- 図版82 遺構出土の遺物(12)
KP - 213・214・225・227・233
- 図版83 遺構出土の遺物(13)
KP - 234・235・239・242・245・247
- 図版84 遺構出土の遺物(14)
KP - 246・249・250・251・253・254
- 図版85 遺構出土の遺物(15)
KP - 262・263・270・274
- 図版86 遺構出土の遺物(16)
KP - 271・272
- 図版87 遺構出土の遺物(17)
KP - 283・285・286・289
- 図版88 遺構出土の遺物(18)
KF - 67・83・72・88・104・KS - 3
- 図版89 KH - 2(1)
- 図版90 KH - 2(2)
- 図版91 KH - 2(3)
- 図版92 KH - 2(4)
- 図版93 KH - 2(5)
- 図版94 KH - 2(6)
- 図版95 KH - 2(7)
- 図版96 KH - 2(8)
- 図版97 KH - 2出土の遺物(1)
- 図版98 KH - 2出土の遺物(2)
- 図版99 KH - 2出土の遺物(3)
- 図版100 KH - 2出土の遺物(4)
- 図版101 KH - 2出土の遺物(5)
- 図版102 KH - 2出土の遺物(6)
- 図版103 KH - 3(1)
- 図版104 KH - 3(2)
- 図版105 KH - 3(3)
- 図版106 KH - 3(4)
- 図版107 KH - 3(5)
- 図版108 KH - 3(6)
- 図版109 KH - 3出土の遺物(1)

図版110 KH - 3 出土の遺物 2)

図版111 KH - 3 出土の遺物 3)

図版112 KH - 3 出土の遺物 4)

図版113 KH - 3 出土の遺物 5)

図版114 KH - 3 出土の遺物 6)

図版115 KS - 4・5

図版116 包含層出土のⅡ群土器 1)

図版117 包含層出土のⅡ群土器 2)

I 調査の概要

1 調査要項

遺跡名：柏木川4遺跡（北海道教育委員会登録番号 A-04-21）

事業名：柏木川基幹河川改修工事用地内埋蔵文化財調査

委託者：北海道石狩支庁

所在地：恵庭市柏木町610、612ほか

調査面積：14,140㎡

発掘期間：平成17年5月9日～10月28日

整理期間：平成17年10月31日～平成18年6月30日

2 調査体制

平成17年度

財団法人 北海道埋蔵文化財センター

理事長 森重橋一

専務理事 宮崎 勝

常務理事 佐藤俊和

総務部長 牧野義則

第1調査部長 千葉英一

第2調査課課長 佐藤和雄

主 査 村田 大（発掘担当者：A地区、7月27日から一次整理および二次整理担当）

主 任 土肥研昌

主 任 立田 理（発掘担当者：B地区、7月26日まで一次整理担当）

主 任 吉田裕史洋（発掘担当者：C地区、写真担当）

3 調査に至る経緯

調査に至る経緯に関しては、過年度に刊行された北海道埋蔵文化財センター調査報告書（「西島松5遺跡 第178集」、「西島松5遺跡 2」第194集、「西島松5遺跡 3」第209集、「西島松5遺跡（4）」第224集、「西島松9遺跡 第179集」、「柏木川13遺跡 第203集」、「柏木川4遺跡・柏木川13遺跡 2」第211集）に記載があるので、合わせて参照していただきたい。

柏木川改修計画は昭和58（1983）年に策定され、昭和61（1986）年から現河川拡幅の改修工事が下流側から上流側（市道西六線一道路江別・恵庭大通付近）へ進められてきた。その後、平成7（1995）年に柏木川改修の延長と遊水地が計画され、平成9（1997）年4月に柏木川改修計画増の区間（道々江別・恵庭線一道路中央自動車道）と第1・第2遊水地建設が決定された。工事主体である北海道札幌土木現業所から北海道教育委員会に第1遊水地建設について埋蔵文化財保護のための事前協議書が提出され、これを受けて北海道教育委員会は平成15（2003）年7月15日～17日と10月15日に第1遊水地内に含まれる柏木川4遺跡の試掘調査を実施した。その結果、発掘を必要とする面積34,000㎡、そのうち本発掘調査21,000㎡と遺構確認調査および工事立会的調査13,000㎡が提示された。この結果を受

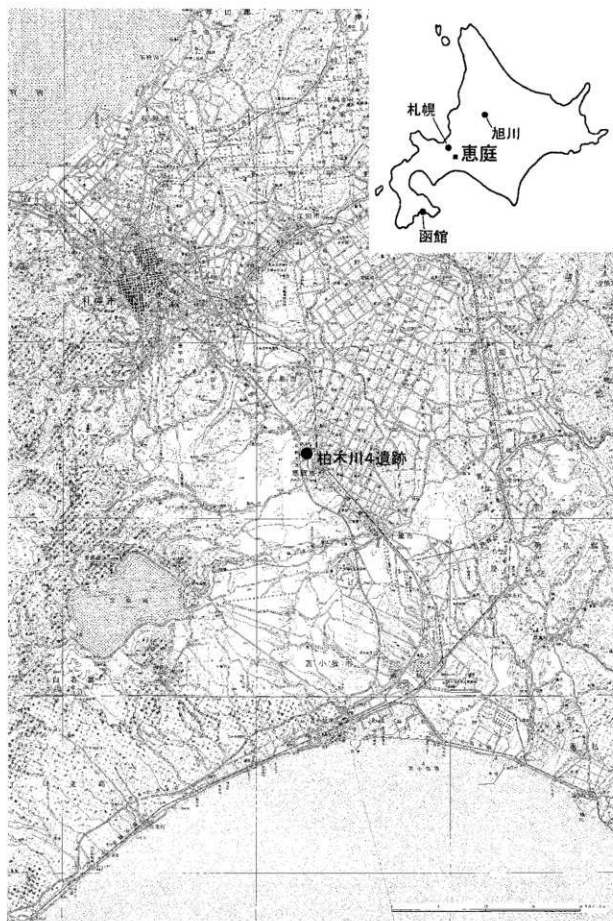


図1-1 遺跡の位置(この図は国土地理院発行20万分の1地勢図「札幌」「苫小牧」を複製、加筆したものである)

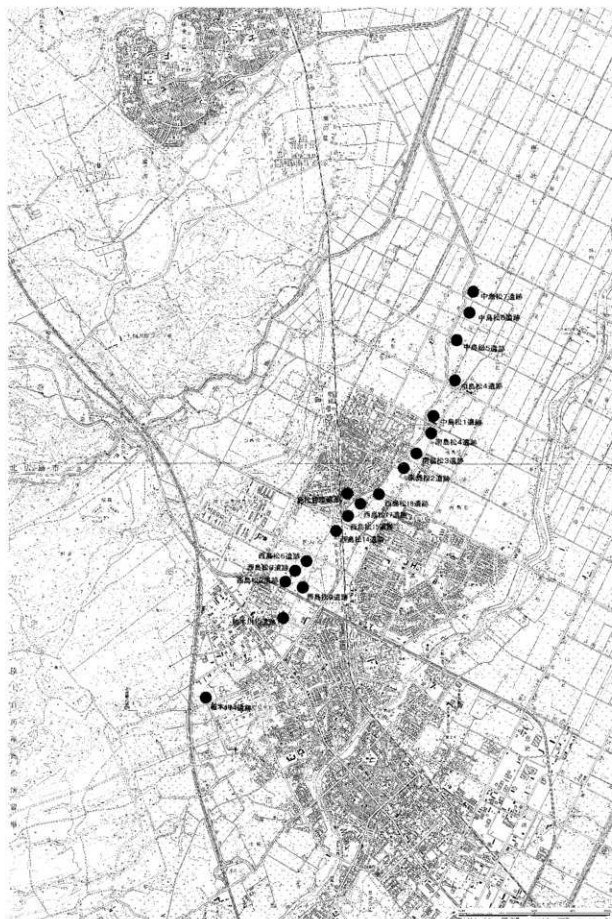


図1-2 柏木川改修工事関連調査遺跡位置図

(この図は国土地理院発行2万5千分の1地形図「恵庭」「石狩広島」を複製、加筆したものである)

けて関係者による協議が行われ、工事の性格上計画変更は極めて困難であることから、当センターが記録保存のための発掘調査を平成16(2004)年5月から実施することになった。

平成16年度の調査では、縄文時代前期の竪穴住居跡1軒、縄文時代晩期を主体とする土壇78基、焼土19カ所、集石2カ所の遺構が検出され、7,096点の遺物が出土した。調査報告書「柏木川4遺跡・柏木川13遺跡(2)」(北理調報211)が刊行されている。

なお、昭和61年から柏木川改修工事に伴い、恵庭市教育委員会によって、中島松1・4・5A地点、6・7遺跡、南島松2・3・4遺跡、西島松14・15・15B地点・17・18遺跡、仲町遺跡、柏木川13遺跡の発掘調査が行われ、報告書が刊行されている。(村田 大)

4 調査の方法

(1) 発掘区の設定

平成16年度の調査区を延長した。柏木川4遺跡の発掘区の設定に当たっては、北海道土木現業所の「第1遊水地全体平面図 1/1000分の1図」を使用した。工事予定範囲のほぼ中央を通る基準線上の中心杭であるSP200とSP300を通る線を基軸のMラインとし、SP200を基準に5m方眼を設定した。Mラインと並行に南東へ向かってN、O、P、北西へ向かってL、K、Jとした。更に、SP200を通りそれに直行する線を40ラインとし、北東へ向かって41、42、43、南西へ向かって39、38、37とした。この方眼は南西端交点をアルファベットとアラビア数字の組み合わせで呼称する(例:SP200はM-40)。更に必要に応じて1m方眼に25分割し小発掘区とした。1m方眼の小発掘区は南西端から北東へ順に1、2、3、4、5とした(例:M-40-1)。

この方眼の日本測地系による平面直角座標は第Ⅱ系で以下のとおり。

200(調査区杭番号-40)	= -123189.720	= -56769.409
300(調査区杭番号-20)	= -123263.166	= -56837.274

また、測量法の改正に伴い、平成14年4月1日にそれまでの平面直角座標系(昭和43年建設省告示第3059号)は廃止され、新たに世界測地系に基づく平面直角座標系(平成14年国土交通省告示第9号)が施行された為、世界測地系による平面直角座標を併記しておく。なお、座標の変換には国土地理院で公開されている座標変換ソフト「TKY2JGD」を使用した。

この方眼の世界測地系による平面直角座標は第Ⅰ系で以下のとおり。

200(調査区杭番号-40)	= -122926.3785	= -57075.9451
300(調査区杭番号-20)	= -122999.8249	= -57143.8106

水準測量は北海道恵庭市北柏木町1丁目こばと公園に所在する、恵庭市設置の「BM No.1」を用いて、各測量に使用した。

平成11年恵庭市設置 .1 31.790m (村田)

(2) 発掘調査の方法

調査範囲は柏木川右岸の標高約45mの上位段丘と標高約42mの下位段丘とその間の段丘崖を含む。上位段丘のうち、試掘調査の結果から、調査区中央の遺物包含層が良好に残存する部分を通常発掘区の「A地区」、耕作により遺物包含層が削平されている南側を遺構確認区の「C地区」と呼称して調査を行った。なお、下位段丘は、重機併用の遺構確認の調査区および工事立会的調査区で「B地区」とした。次年度以降の報告である。

調査は「A地区」を村田、「B地区」を立田、「C地区」を吉田が主に担当して行った。

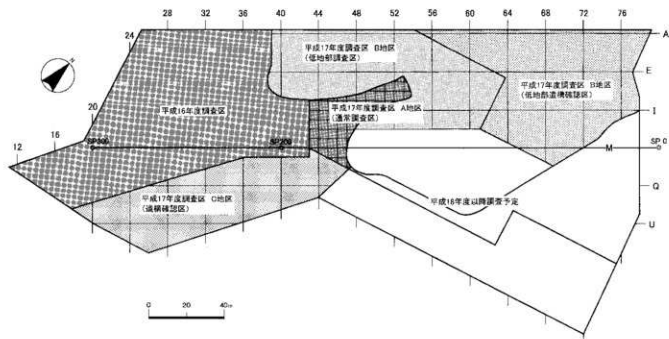
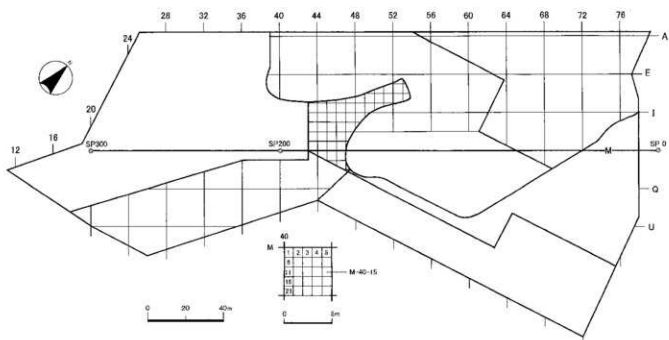


図1-3 発掘区設定図、調査予定範囲、調査区呼称

A地区は、I層上面から擦文時代の竪穴住居跡と思われる凹みが確認できたので、土層観察用の壁面を設定して、人力によりI層・II層を除去した。その際、アイヌ文化期の遺構に注意したが、検出されなかった。III層上面では縄文時代の遺構と思われる凹みが確認できたので、土層観察用の壁面を設定して掘り下げた。

C地区は、調査に先行し重機により耕作土を除去した。一部に遺物包含層が残存していた。包含層調査と遺構確認調査を並行して行った。

以下はA地区・C地区共通である。

包含層調査

III層・IV層の遺物包含層は、調査区ごとに遺物の多寡、土層の変化を見極めながら、必要に応じてジョレン、移植ごて、竹べらなどを用いた人力による手掘り作業により掘り下げた。

遺構調査

包含層調査時に土層の変化により確認された遺構については、その平面長軸と短軸に土層観察用の壁面を残して掘り下げた。

遺物の取上げ

包含層出土の遺物は、発掘区および層単位での取上げとした。出土状況に応じて、小発掘区による取り上げ、写真や出土状況図の作成など詳細な記録化に努めた。遺構出土の遺物は、遺構上部の自然堆積層(I層・II層・III層に相当)に包含されていたものについては、遺構および層位を記録して取上げた。覆土、床面または壕底面出土の遺物は、図面、台帳等に出土位置を記録し、遺構単位で連続番号を付けて取上げた。ただし、調査の都合により、覆土から出土した遺物の一部は、層位ごとの取上げを行っている。

竪穴住居跡の竈と床面付近の土壌および骨片を含む焼土は、動物遺存体や炭化種子等の微細遺物を抽出するためにサンプリングし、フローテーションおよび土壌水洗作業を行った。(村田)

(3) 土層

基本土層は、恵庭市教育委員会の設定をおおむね踏襲している。III・IV層が遺物包含層である。

I層：表土・耕作土 黒色～黒褐色(10YR 2/1～2/2) 調査前の現況は、A地区は樹齢60年後の木々が生い茂る林であった。C地区は以前、畑地として利用されていた。耕作土である。

II層：浅黄橙色～にぶい黄褐色(10YR 8/3～6/3) 樽前a降下軽石層(Ta-a)1739年に降下。A地区で見られる。層厚は20～30cm程度。上位は粗粒砂、径0.5～1mm。中位は中粒砂、径0.3mm程度が主体。下位は極粗粒砂、径1～2mm程度が主体。

III層：黒色～黒褐色土(10YR 1.7/1～2/2) 層厚は30cm前後。粘性中、しまりあり。木根多く含む。主な遺物包含層である。

III a層・III b層：III層中で遺構の掘り上げ土が確認できた場合、掘り上げ土より上位をIII a層、下位をIII b層とした。縄文時代の土壌KP-85や擦文時代の竪穴住居跡KH-2、KH-3の周辺で見られる。

IV層：暗褐色土(10YR 3/3～3/4) III層とV層の漸移層。恵庭a降下軽石層(En-a)の軽石粒を少量含む、粘質、しまりなし。

V層：明黄褐色土(10YR 6/6～6/8) 恵庭a降下軽石層(En-a)の水成二次堆積層。検出した遺構の大半はこの層を掘り込んでいる。(村田)

(4) 整理作業の方法

整理作業は、一次整理作業の取りまとめと土器等の整理を立田、石器等の整理を村田、写真等の整理を吉田がそれぞれ担当し、8月1日から江別センターで、現地調査と並行して二次整理作業を進める計画で開始した。

現地での一次整理作業は野外作業と並行して遺物の水洗、注記作業を行い、土器・石器別に遺構、発掘区、層位、日付ごとに仮収納した。注記は平成16年度の様式を踏襲した。小片や微細なものを除いた遺物に、遺跡名略号(カ4)・遺構名または発掘区・層位名・(取り上げ番号)を記入した。

土器の一次整理作業

土器等の整理は立田の担当であったが、7月27日から村田が担当することとなった。引き継いだ時点で、分類未了であったため、注記済みの土器から江別センターに搬送し、一次分類を行った。8月1日の二次整理作業の開始まで日時が限られていたため、分類作業は前述した仮収納ごとに行い、台帳に遺構・発掘区、層位、分類、日付、点数を記入した。分類後は遺構・発掘区、分類ごとに収納した。このため、通常の一次整理段階で行うカード作成の作業はしていない。また、個々の遺物に番号が付されないため、遺物からは遺構・調査区、層位の情報しか追跡できない。そのため、二次整理段階で分類変更等が生じた場合は、遺構・発掘区、層位ごとの総数を修正している。

石器の一次整理作業

現地で野外作業と並行して行った。土器の一次整理と同様であるが、台帳作成の際にカード作成を行った。遺構ごと、分類ごとに仮収納し江別センターへ搬送した。

8月からの二次整理作業で、土器の接合・復元、石器・礫の接合、分析試料の抽出、土器、石器等の実測・製図、計測、集計、写真撮影、記録類の整理、遺物の収納を行った。(村田)

写真の整理作業

屋外での撮影は、モノクロとリバーサルのフィルムを用い、67サイズを主体に必要に応じて45サイズのフィルムを使用した。ブレやボケを防止する為に、三脚とレリーズの使用を徹底した。セクションなどは順光で、住居や土壌の完掘は、掘り込みの深さや床面・壕底面から壁面の状態が分るように、遺物出土状況などは、立体感や質感、出土位置の高低差が分るように、逆光から半逆光での撮影を心がけた。銀塩フィルムでの撮影と同時に、デジタルスチールカメラで、同アングルでの撮影を行い、その画像データを基に、写真台帳のデジタルデータ化も行った。

スタジオでの撮影も屋外と同様に、モノクロとリバーサルの67サイズを主体に、必要に応じて45サイズのフィルムを使用した。光源は、光量の安定性、色再現の忠実性からストロボを用いている。復元土器や石器(特に礫石器)は立面撮影を行った。土器の破片や石器(特に剥片石器)は俯瞰無影撮影を行った。立面・俯瞰撮影ともに、実測図や文章では表現出来ない情報(立体感・質感・加工痕や使用痕の強弱)を引き出すことに留意した。リバーサルフィルムをスキャニングした画像を基に、写真台帳のデジタルデータベース化をおこなった。これにより、オリジナルフィルムに触れることなく、画像の検索・並び替え・閲覧が可能となる。フィルムの劣化防止にもなる。

モノクロフィルムの現像とモノクロ写真の焼付けは、自動現像機を使用しての自家処理を行っている。これにより、品質の安定性と処理の迅速化が図れている。リバーサルフィルムは、プロラボへの外注で現像を行っている。(吉田裕吏洋)

(5) 遺物の分類

土器等

分類規準は、当センター通有の大別(縄文時代5大別と続縄文・擦文時代にそれぞれⅠ～Ⅶ群を付す)を踏襲し、主体時期は細分した。おおむね「美沢川流域の遺跡群」に準拠している。

Ⅰ群 縄文時代早期に属する土器群。

a類:貝殻腹縁圧痕文、条痕文のある土器群。

b類:縄文、撚糸文、絡糸体圧痕文、組紐圧痕文、貼付文などの施される土器群。東釧路Ⅱ・Ⅲ式、コッタ口式、中茶路式、東釧路Ⅳ式に相当するもの。

Ⅱ群 縄文時代前期に属する土器群。

a類:胎土に繊維を含み、厚手で縄文の施された丸底・尖底の土器群。

b類:円筒土器下層式、植苗式に相当するもの。

Ⅲ群 縄文時代中期に属する土器群。

a類:円筒土器上層式、萩ヶ岡1式、萩ヶ岡2式に相当するもの。

b類:円筒土器上層式に後続する土器群。天神山式、柏木川式、北筒式(トコロ6類)に相当するもの。

Ⅳ群 縄文時代後期に属する土器群。

a類:初頭～前葉の土器。余市式、入江式に相当するもの。

b類:中葉の土器。船泊上層式、手稲式、鯉瀬式、エリモB式に相当するもの。

c類:後葉の土器。堂林式、御殿山式に相当するもの。

Ⅴ群 縄文時代晩期に属する土器群。

a類:大洞B・BC式、東三川式に相当するもの。

b類:大洞C₁・C₂式、美々3式に相当するもの。

c類:大洞A・A₁式、タンネトウL式に相当するもの。

Ⅵ群 続縄文時代に属する土器群。

Ⅶ群 擦文時代に属する土器群。細分は佐藤和雄分類(北埋調報89)に準じる。

土製品

石器等

石器は剥片石器類、磨製石器類、礫石器類に大別し、形態ごとに分類した。分類の原則と区分を以下に示す。細分記号は付していない。なお、複数の器種が複合している場合は使用痕の多寡により一方の器種にまとめている。

剥片石器類

石 錐: 押圧剥離により両面が調整され、尖頭形を呈する5cm未満のもの。

ポイント・ナイフ: 押圧剥離や平坦剥離によって両面が調整され、尖頭形を呈する5cm以上のもの。

石 錐: 錐状の突出部が作り出されたもの。

つまみ付きナイフ: 抉り状の加工によって、端部につまみが作り出されたもの。

筥状石器: 両面が調整された石器で、一端に直線状ないし弧状の刃部が形成されるもの。

スクレイパー: 剥離が素材の側縁に連続的に加えられたもの。

両面調整石器: 剥離が素材の両面に施されるが尖頭形でないもの。

ピース・エスケコ: 剥片もしくは礫を素材とし、対向する小剥離が素材の両端部にあるもの。

- フレイク(二次加工ある剥片)：剥片を素材とし、縁辺の一部に二次加工が認められるもの。
 剥片：石核・石器から剥離されたもので、二次的な剥離が見られないもの。
 石核：石器の素材と成り得る剥片を剥離した痕跡があるもの。
 原石：石器素材と成り得る礫の内、剥片の剥離が行われていないか、不明瞭なもの。

磨製石器類

石斧：打ち欠き・敲打・研磨により形成され、一端に刃部を作り出したもの。

礫石器類

たたき石：敲打痕のあるものの内、持ち運び可能なもの。

すり石：擦り痕のあるものの内、持ち運び可能なもの。

石錘：擦切技法を用いた石器製作に使用されたもので、断面がV字形の擦面をもつもの。

扁平打製石器：周囲もしくは両端部を打ち欠き、半円または楕円に整形されたもので、縁辺に擦り痕を有するもの。

扁平打製石器原料：周囲もしくは両端部を打ち欠き、半円または楕円に整形されたもので、縁辺に擦り痕が認められないもの。石錘に形状が似る。

北海道式石冠：打ち欠き・敲打により、整形されたもので、下面に擦り痕を有するもの。

砥石：凹んだ砥面をもつもの。

台石・石皿：擦り痕もしくは敲打痕があるものの内、持ち運びが困難なもの。

石製品：加工が加えられた石製の遺物の内、狩猟・採集具および加工具ではないもの。

金属製品：分類項目は設定していない。A地区のⅢ層から鉄製品が3点出土している。(村田)

5 調査結果の概要

遺跡は、恵庭市街地から北西に2.5km、柏木川の右岸に位置する。調査区は標高約45mの上位段丘と標高約42mの下位段丘および旧流路を含む低地部からなる。以前は、水田や畑地に利用されていた。上位段丘のうち、試掘調査の結果から、調査区中央の遺物包含層が良好に残存する部分を通常発掘区の「A地区」、耕作により遺物包含層が削平されている南側を遺構確認区の「C地区」と呼称して調査を行った。調査面積は、A地区1,690㎡、C地区3,770㎡である。

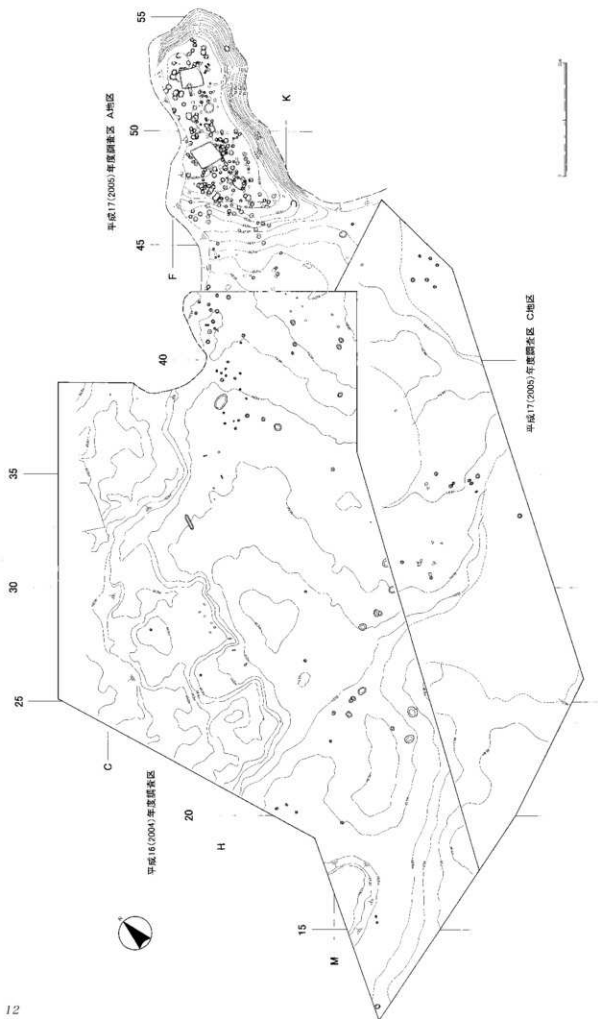
検出した遺構はA地区・C地区合わせて、竪穴住居跡3軒、土壇211基、焼土85カ所、集石3カ所、柱穴状の小ピット4基である。そのうち縄文時代のもは竪穴住居跡2軒、集石2カ所、他はすべて縄文時代のものである。遺物は土器、石器等45,035点が出土した。以下、地区ごとに述べる。

地区

縄文時代の遺構は、竪穴住居跡1軒、土壇195基、焼土76カ所、柱穴状小ピット4基が検出された。

竪穴住居跡は、南側の平坦面で検出され、平面形は隅丸方形に近い楕円形を呈し、掘り込みのない地床炉を持つ。床面からⅡ群b類植苗式の土器片がまとまって出土しており、前期後半のものと考えられる。

土壇は、中期に属すると考えられるものが5基あり、KP-85は長径2m程で、大形の貯蔵穴と思われる。後期のものは1基で、形態から後期後葉の土壇墓と推定している。晩期のものは189基で、出土遺物などから大半は後葉のものと考えられる。そのうち土壇墓または土壇墓の可能性のあるものは20基である。分布は、楕円形で長軸1m前後のものが北側に、円形のものが調査区中央付近から南



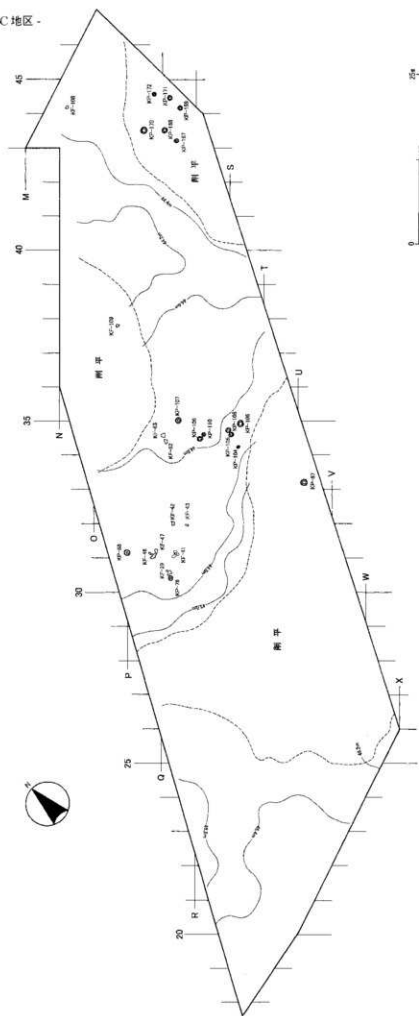


図1-8 地区遺構位置図

側斜面部にかけて多く見られる。他の土壌は小型で円形を呈するものと楕円形・長円形を呈し、長軸が1m前後のものがある。大半のものの覆土は流入土と崩落土の互層で、遺物の出土は少ない。

焼土は、調査区のほぼ全域に分布しており、焼けて白色化した動物骨・魚骨が含まれるものが多い。すべて晩期に属するものと考えられる。

柱穴状の小ピットは、4基検出され、調査区南西の平坦面から斜面への地形の転換点付近にまともっており、杭状のものを打ち込んだ跡と思われる。いずれも晩期のものと考えられる。

擦文時代の遺構は、竪穴住居跡2軒と集石2カ所である。出土した土器から、いずれも8世紀中葉のものである。焼失住居で、床面から炭化材が多く出土した。炭化材の樹種同定では、使用した材はすべて「コナラ」との結果を得ている。覆土に被熱し赤色硬化した土や焼土が見られることから、土葺きの屋根を持っていたと考えられる。住居跡は2軒とも、主柱穴が外に4本あるいわゆる「カリンバ型」と呼ばれるものである。

遺物は40,995点出土した。土器・土製品34,132点、石器等6,863点である。遺構に伴うものは少なくとも80%が包含層からの出土である。土器は縄文時代早期から擦文時代のもので出土している。晩期のものが最も多く95%を占める。早期は東釧路Ⅳ式、前期は植苗式、中期は北筒式、後期は堂林式、晩期はタンネットウⅠ式が多い。続縄文時代は後北C₂-D式と考えられる胴部破片が少量出土している。擦文土器は8世紀中葉（佐藤和雄分類のⅢ類）のものが主体である。石器は完形で出土するものが少ない。剥片石器では石鏃、スクレイパーが多い。礫石器はたたき石と砥石の多さが特徴的である。

地区

検出された遺構は、土壌16基、焼土9カ所、集石1カ所で、すべて縄文時代のもので、晩期後半に属するものが多い。土壌は30から35ラインのものと43ライン付近に2つのまとまりがある。前者は周辺から焼土が多く検出され、中期に属するものもある。後者のうちKP-167からは赤彩が施されたV群c類土器が1個体出土している。

遺物は4,040点出土した。土器・土製品は2,275点、石器等1,765点である。大半が包含層からの出土である。土器は縄文時代前期と中期のものが多く、晩期と擦文時代の土器も出土している。石器は石斧と石斧製作に関連すると思われる石鏃、砥石が焼土の周辺から多く出土している。礫石器では扁平打製石器、北海道式石冠が出土した。

(村田)

表 I - 1 遺構一覧

時期別 遺構名(略号)	縄文時代			弥生時代			合計
	地区	地区	計	地区	地区	計	
(住居跡)	1		1	2		2	3
(土壇)	195	16	211				211
(焼土)	76	9	85				85
(集石)		1	1	2		2	3
(柱穴状小ピット)	4		4				4

表 I - 2 出土遺物一覧

土器等	包含層		包含層計	遺構		遺構計	計
	地区	地区		地区	地区		
I a	24		24	1		1	25
II b	50	1078	1128	83		83	1211
III b	706	1022	1728	269	4	273	2001
IV	117		117	14		14	131
IV c	9		9	3		3	12
V c	25875	92	25967	6060	48	6108	32075
VI	4		4	2		2	6
VII	583	31	614	323		323	937
不明	6		6	1		1	7
土製品	1		1	1		1	2
計	27375	2223	29598	6757	52	6809	36407
石器等・金属製品	包含層		包含層計	遺構		遺構計	計
	地区	地区		地区	地区		
石鏃	123	9	132	32		32	164
ポイント・ナイフ	6	8	14				14
石錐	15	3	18	6		6	24
つまみ付きナイフ	5	10	15	2		2	17
スクレイパー	225	11	236	67		67	303
両面調整石器	1		1				1
ピエス・エスキュー	3		3				3
フレイク	97	13	110	40		40	150
フレイク	3339	629	3968	887	13	900	4855
石核	17	9	26	2		2	28
原石	10		10				10
棒状原石				1		1	1
石斧	45	23	68	7		7	75
石斧原材	1		1	1		1	2
たたき石	39	5	44	11		11	55
ずり石	6	1	7	3		3	10
石鏃		2	2				2
扁平打製石器		1	1				1
北海道式石冠	1	6	7	2		2	9
砥石	24	4	28	2		2	30
台石	1		1	4		4	5
石皿	3	1	4	5		5	9
棒状礫	2		2				2
加工痕ある礫	19	7	26	9		9	35
礫	1562	1010	2572	229		229	2801
石製品	5		5	1		1	6
金属製品	3		3				3
計	5552	1752	7304	1311	13	1324	8628
合計	32927	3975	36902	8068	65	8133	45035

II 遺跡の位置と周辺の遺跡

1 遺跡の立地と環境 (図II-1~4)

位置と地名の由来

遺跡の所在する恵庭市は、石狩低地帯のほぼ中央に位置し、東部の標高8m前後の水田・畑地帯と西部の山地で構成されている。北側は島松川を挟んで北広島市と、南側は千歳市と、東側は千歳川を挟んで長沼町と、西側は漁岳から空沼岳を経て島松山を結ぶ線を分水嶺として札幌市と接する。

市名にもなっている「恵庭」は、アイヌ語の「エエンイワ」(頭が・尖っている・山・現在の恵庭岳を指す)が転訛したものとされている。

遺跡名にもなっている「柏木川」は、明治29年仮製5万分の1図によると「ベケレ・ベツ」と呼ばれ、明治43年製5万分の1図には現在の名称「柏木川」と呼称されている。「ベケレ・ベツ」とは榊原正文の『データベースアイヌ語地名3』(2002)によれば、アイヌ語で「明るい・川」を意味する。松浦武四郎『新道誌』『戊午東西蝦夷山川地理取調日誌』には「(前略)其土皆むかしタルマイ山の焼石なりと。故に水至りて清冷なるによって此名有るなり。(後略)」とある。「タルマイ山の焼石」とは1739年降下の樽前a火山灰のことで、その色調は明灰白色である。榊原も河床堆積物の色調から命名されたと推定している。

遺跡周辺の地形・環境

恵庭市の地形は隣接する北広島市や千歳市とともに、西部は支笏湖の北側にそびえる恵庭岳(1,320m)や漁岳(1,318m)などから続く山地、東部は石狩平野の南端部にあたる平地からなっている。

この地方の地質は、第3紀層を覆う火山性の堆積物からなっている。これらは支笏湖を含む周辺の火山群の噴出物である。地表近くには支笏湖の南側にある樽前山(1,103m)を噴出源とする降下火山灰層が3層みられる。上層から1739年に降下したTa-a層、1667年のTa-b層、約2000年前に降下したと推定されているTa-c層である。これらの火山灰は遺跡の調査において、遺構・遺物の年代決定の指標の一つになっている。このうち、今回の発掘調査区ではTa-a層が削平を受けていないA地区で、層厚30cm程の堆積としてみられる。

遺跡のある柏木川は、流路延長は約11km、市域の西側にある陸上自衛隊島松演習所内に源流部を持ち、市街北東方向へ流れている。その後、恵庭市下島松でルルマップ川と合流し、北広島市との境界付近で島松川と合流、さらに島松川も恵庭市、北広島市、長沼町の3市町が接する地点で千歳川に合流し、最後には石狩川へと流入している。柏木川は恵庭市内の茂漁川、島松川、コナンボシ川、ルルマップ川などとともに、石狩川水系の末端に位置する小河川である。

遺跡は、恵庭市街地から北西に2.5cm、柏木川の右岸に位置する。柏木川が開析した沖積地の河岸段丘縁に立地している。河岸段丘の基層は支笏軽石流・恵庭a火山灰の水成二次堆積層である。調査区は標高約45mの上位段丘と標高約42mの下位段丘および柏木川の旧流路を含む低地部からなる。上位の段丘に柏木川3遺跡、柏木川5遺跡が隣接し、柏木川の対岸には柏木川1遺跡、柏木工業団地2遺跡が続いている。

図II-3・4は1948年と1953年撮影の空中写真に発掘区を重ねたものである。B地区の一部で河川の直線化以前の自然地形が観察できる。また、耕作土の色調の違いから平成16(2004)年度調査区の段丘崖やC地区の削平部分などがおおまかに読み取れる。(村田)

2 周辺の遺跡(図Ⅱ-5、表Ⅱ-1)

柏木川流域には遺跡が多く、現在恵庭市内で周知されている120カ所の遺跡のうち、半数の60カ所が柏木川流域に分布する。右岸に32カ所、左岸には28カ所が存在する。これらは標高65m付近の上流から標高8m付近のルルマップ川との合流点まで、満遍なく分布している。確認された60カ所の遺跡のうち、発掘調査が行われたのは20カ所である。以下、当該遺跡のある柏木川流域の遺跡を中心に時期別に概観する。

旧石器時代

茂漁4遺跡では、En-a層から細石刃核、掻器等が出土した。

縄文時代早期

柏木川13遺跡では、竪穴住居跡が1軒検出され、床面から前半期に属する平底の貝殻文土器と蛇紋岩製の石器や石製品が出土した。柏木川11遺跡から東釧路Ⅱ式土器が出土している。鳥松仲町遺跡からは、アルトリ式・東釧路Ⅲ式・東釧路Ⅳ式土器が出土している。

縄文時代前期

柏木川B遺跡では、後半の植苗式・大麻Ⅴ式土器を伴う住居跡が24軒検出された。柏木川8遺跡から、静内中野式土器が出土している。

縄文時代中期

柏木川式土器の標識遺跡である、柏木川1遺跡から、竪穴住居跡が6軒調査され、口縁部に貼付帯をもつ深鉢形土器が2個体と、石器がまとまって出土した。西島松4遺跡からは、終末期の大木10式土器を伴う土壌が1基検出されている。西島松15遺跡から、柏木川式土器の時期に属する竪穴住居跡が17軒検出されている。B地点でも同時期の竪穴住居跡が4軒検出されている。

縄文時代後期

柏木B遺跡では、3基の周提墓が調査され、土壌から石棒や玉類が出土した。西島松5遺跡で、土壌から漆製品が大量に出土した。

縄文時代晩期

柏木川8遺跡、西島松2・3遺跡から、タンネットーⅠ式土器が出土している。

統縄文時代

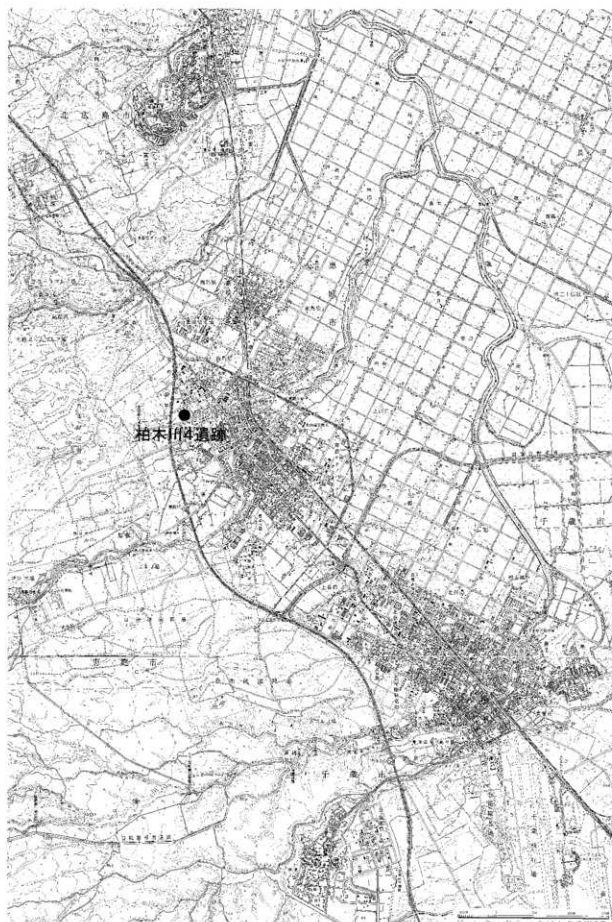
柏木B遺跡では、土壌墓が検出されている。時期はおもに後北C₂-D式土器の頃で、柱穴様ビットや付属ビットを持つものが確認されている。土壌墓の付属ビットの可能性のあるものからガラス玉が30個出土している。

擦文時代

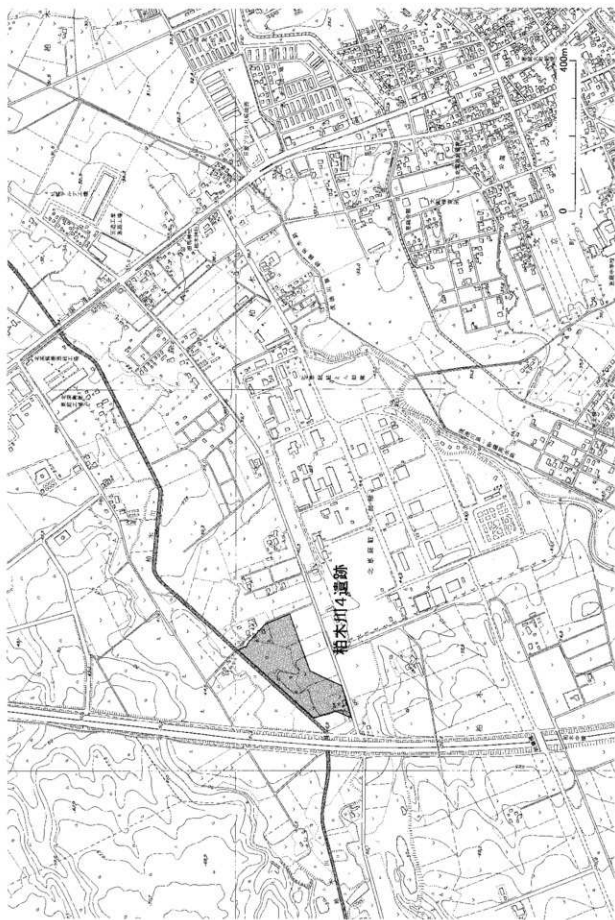
柏木川1遺跡では、前半期の墳墓が1基調査され、髷・杯とともに刀子・鎌・鍬などの鉄製品も出土した。柏木東遺跡(茂漁古墳群)では、昭和9年の調査で北海道式古墳が14基確認された。柏木川11遺跡では、竪穴住居跡が3軒調査された。いずれも焼失住居である。茂漁4遺跡では、7軒の竪穴住居跡が調査され、住居内から琥珀玉・須恵器蓋が出土している。柏木川13遺跡では、竪穴住居跡が4軒検出された。このうち2軒は掘り込みの外側四隅に柱穴をもついわゆる「カリンバ型」の住居である。

アイヌ文化期

茂漁チャシがある。茂漁川左岸の段丘上に立地している。面崖式のチャシで2本の塚が確認されている。(村田)



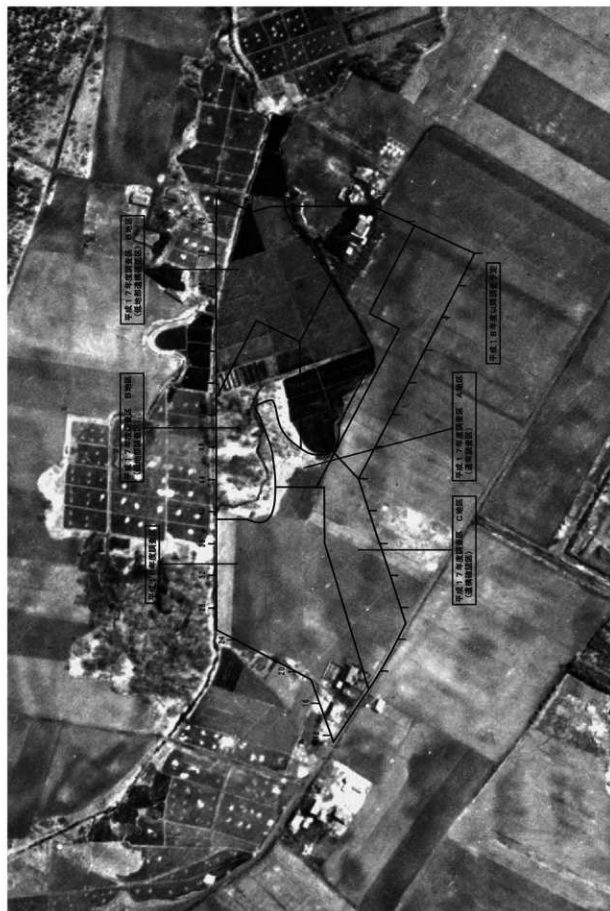
図II - 1 遺跡周辺の地形 1 } この図は国土地理院発行5万分の1地形図「恵庭」「千歳」を複製、加筆したものである)



図II-2 遺跡周辺の地形(2) この図は国土地理院発行5千分の1国土基本図「Ⅱ-OC-05-06-15・16」を複製、加筆したものである。



図Ⅱ-3 遺跡周辺の空中写真(1)1948.4.22米軍撮影



図II-4 遺跡周辺の空中写真(2)1953.5.6米軍撮影



図 II - 5 周辺の遺跡

表Ⅱ-1 周辺の遺跡一覧 - 04 -

番号	遺跡名	地域	時期	文書(調査結果を掲載しているもの)
9	野木A	信濃	縄文	
10	野木B	信濃	縄文	
11	野木C	信濃	縄文(早・中・後期)、縄文(北)	150 『北信濃遺跡発掘 野木B遺跡発掘調査報告書』
12	野木D	信濃	縄文(後期)	
13	野木E	信濃	縄文	160 『日本書紀』、北信濃
14	野木E(遺跡跡地)	信濃	縄文	160 『日本書紀』、北信濃
15	野木F	信濃	縄文	159 『日本書紀』
16	野木G	信濃	縄文	
17	野木H	信濃	縄文	
18	野木H1	信濃	縄文(早・中・後期)、縄文	157 『柏木川』
19	野木H2	信濃	縄文(早・後期)	
20	野木H3	信濃	縄文(早・後期)	
21	野木H4	信濃	縄文(後期)	
22	野木H5	信濃	縄文(早・中・後期)	
23	野木H6	信濃	縄文(早・中・後期)	
24	野木H7	信濃	縄文(早・中・後期)	
25	野木H8	信濃	縄文(早・中・後期)	200 『柏木川』、北信濃
26	野木H9	信濃	縄文(後期)	166 『日本書紀』、野木H9遺跡跡地
27	野木H10	信濃	縄文(中期)	166 『日本書紀』、野木H10遺跡跡地(3)』
28	野木H11	信濃	縄文(中期)	
29	野木H12	信濃	縄文(早・後・後期)	
30	野木H13	信濃	縄文(早・後・後期)	
31	野木H14	信濃	縄文(後期)、縄文	
32	野木H15	信濃	縄文	
33	野木H16	信濃	縄文	
34	野木H17	信濃	縄文(前期)	
35	野木H18	信濃	縄文(後期)	
36	野木H19	信濃	縄文(後期)	
37	野木H20	信濃	縄文(後期)	
38	野木H21	信濃	縄文(早・中・後期)、縄文	166 『日本書紀』
39	野木H22	信濃	縄文(早・中・後期)	
40	野木H23	信濃	縄文	
41	野木H24	信濃	縄文	
42	野木H25	信濃	縄文(早・中・後期)、縄文	202 『西島伝説』
43	野木H26	信濃	縄文(後期)、縄文	
44	野木H27	信濃	縄文(中期)	
45	野木H28	信濃	縄文	
46	野木H29	信濃	縄文	
47	野木H30	信濃	縄文(早・後・後期)	165 『西島伝説』、西島伝説遺跡跡地』
48	野木H31	信濃	縄文(中期)	164 『西島伝説』、西島伝説遺跡跡地』
49	野木H32	信濃	縄文	
50	野木H33	信濃	縄文	
51	野木H34	信濃	縄文(後期)	
52	野木H35	信濃	縄文(後期)	
53	野木H36	信濃	縄文(後期)	
54	野木H37	信濃	縄文(中期)、縄文	166 『西島伝説』、西島伝説遺跡跡地』
55	野木H38	信濃	縄文	
56	野木H39	信濃	縄文	
57	野木H40	信濃	縄文	162 『西島伝説』

番号	遺跡名	地域	時期	文書(調査結果を掲載しているもの)
58	野木H41	信濃	縄文(後・中期)	
59	野木H42	信濃	縄文(早・中・後期)	
60	野木H43	信濃	縄文(早・中・後期)	
61	野木H44	信濃	縄文(早・中・後期)	
62	野木H45	信濃	縄文(早・中・後期)	
63	野木H46	信濃	縄文(早・中・後期)	
64	野木H47	信濃	縄文(早・中・後期)	
65	野木H48	信濃	縄文(早・中・後期)	
66	野木H49	信濃	縄文(早・中・後期)	
67	野木H50	信濃	縄文(早・中・後期)	
68	野木H51	信濃	縄文(早・中・後期)	
69	野木H52	信濃	縄文(早・中・後期)	
70	野木H53	信濃	縄文(早・中・後期)	
71	野木H54	信濃	縄文	
72	野木H55	信濃	縄文	
73	野木H56	信濃	縄文	
74	野木H57	信濃	縄文	
75	野木H58	信濃	縄文	
76	野木H59	信濃	縄文	
77	野木H60	信濃	縄文	
78	野木H61	信濃	縄文	
79	野木H62	信濃	縄文	
80	野木H63	信濃	縄文	
81	野木H64	信濃	縄文	
82	野木H65	信濃	縄文	
83	野木H66	信濃	縄文	
84	野木H67	信濃	縄文	
85	野木H68	信濃	縄文	
86	野木H69	信濃	縄文	
87	野木H70	信濃	縄文	
88	野木H71	信濃	縄文	
89	野木H72	信濃	縄文	
90	野木H73	信濃	縄文	
91	野木H74	信濃	縄文	
92	野木H75	信濃	縄文	
93	野木H76	信濃	縄文	
94	野木H77	信濃	縄文	
95	野木H78	信濃	縄文	
96	野木H79	信濃	縄文	
97	野木H80	信濃	縄文	
98	野木H81	信濃	縄文	
99	野木H82	信濃	縄文	
100	野木H83	信濃	縄文	
101	野木H84	信濃	縄文	
102	野木H85	信濃	縄文	
103	野木H86	信濃	縄文	
104	野木H87	信濃	縄文	
105	野木H88	信濃	縄文	
106	野木H89	信濃	縄文	
107	野木H90	信濃	縄文	
108	野木H91	信濃	縄文	
109	野木H92	信濃	縄文	
110	野木H93	信濃	縄文	
111	野木H94	信濃	縄文	
112	野木H95	信濃	縄文	
113	野木H96	信濃	縄文	
114	野木H97	信濃	縄文	
115	野木H98	信濃	縄文	
116	野木H99	信濃	縄文	
117	野木H100	信濃	縄文	
118	野木H101	信濃	縄文	
119	野木H102	信濃	縄文	
120	野木H103	信濃	縄文	
121	野木H104	信濃	縄文	
122	野木H105	信濃	縄文	
123	野木H106	信濃	縄文	
124	野木H107	信濃	縄文	
125	野木H108	信濃	縄文	
126	野木H109	信濃	縄文	
127	野木H110	信濃	縄文	
128	野木H111	信濃	縄文	
129	野木H112	信濃	縄文	
130	野木H113	信濃	縄文	
131	野木H114	信濃	縄文	
132	野木H115	信濃	縄文	
133	野木H116	信濃	縄文	
134	野木H117	信濃	縄文	
135	野木H118	信濃	縄文	
136	野木H119	信濃	縄文	
137	野木H120	信濃	縄文	
138	野木H121	信濃	縄文	
139	野木H122	信濃	縄文	
140	野木H123	信濃	縄文	
141	野木H124	信濃	縄文	
142	野木H125	信濃	縄文	
143	野木H126	信濃	縄文	
144	野木H127	信濃	縄文	
145	野木H128	信濃	縄文	
146	野木H129	信濃	縄文	
147	野木H130	信濃	縄文	
148	野木H131	信濃	縄文	
149	野木H132	信濃	縄文	
150	野木H133	信濃	縄文	
151	野木H134	信濃	縄文	
152	野木H135	信濃	縄文	
153	野木H136	信濃	縄文	
154	野木H137	信濃	縄文	
155	野木H138	信濃	縄文	
156	野木H139	信濃	縄文	
157	野木H140	信濃	縄文	
158	野木H141	信濃	縄文	
159	野木H142	信濃	縄文	
160	野木H143	信濃	縄文	
161	野木H144	信濃	縄文	
162	野木H145	信濃	縄文	
163	野木H146	信濃	縄文	
164	野木H147	信濃	縄文	
165	野木H148	信濃	縄文	
166	野木H149	信濃	縄文	
167	野木H150	信濃	縄文	
168	野木H151	信濃	縄文	
169	野木H152	信濃	縄文	
170	野木H153	信濃	縄文	
171	野木H154	信濃	縄文	
172	野木H155	信濃	縄文	
173	野木H156	信濃	縄文	
174	野木H157	信濃	縄文	
175	野木H158	信濃	縄文	
176	野木H159	信濃	縄文	
177	野木H160	信濃	縄文	
178	野木H161	信濃	縄文	
179	野木H162	信濃	縄文	
180	野木H163	信濃	縄文	
181	野木H164	信濃	縄文	
182	野木H165	信濃	縄文	
183	野木H166	信濃	縄文	
184	野木H167	信濃	縄文	
185	野木H168	信濃	縄文	
186	野木H169	信濃	縄文	
187	野木H170	信濃	縄文	
188	野木H171	信濃	縄文	
189	野木H172	信濃	縄文	
190	野木H173	信濃	縄文	
191	野木H174	信濃	縄文	
192	野木H175	信濃	縄文	
193	野木H176	信濃	縄文	
194	野木H177	信濃	縄文	
195	野木H178	信濃	縄文	
196	野木H179	信濃	縄文	
197	野木H180	信濃	縄文	
198	野木H181	信濃	縄文	
199	野木H182	信濃	縄文	
200	野木H183	信濃	縄文	
201	野木H184	信濃	縄文	
202	野木H185	信濃	縄文	
203	野木H186	信濃	縄文	
204	野木H187	信濃	縄文	
205	野木H188	信濃	縄文	
206	野木H189	信濃	縄文	
207	野木H190	信濃	縄文	
208	野木H191	信濃	縄文	
209	野木H192	信濃	縄文	
210	野木H193	信濃	縄文	
211	野木H194	信濃	縄文	
212	野木H195	信濃	縄文	
213	野木H196	信濃	縄文	
214	野木H197	信濃	縄文	
215	野木H198	信濃	縄文	
216	野木H199	信濃	縄文	
217	野木H200	信濃	縄文	
218	野木H201	信濃	縄文	
219	野木H202	信濃	縄文	
220	野木H203	信濃	縄文	
221	野木H204	信濃	縄文	
222	野木H205	信濃	縄文	
223	野木H206	信濃	縄文	
224	野木H207	信濃	縄文	
225	野木H208	信濃	縄文	
226	野木H209	信濃	縄文	
227	野木H210	信濃	縄文	
228	野木H211	信濃	縄文	
229	野木H212	信濃	縄文	
230	野木H213	信濃	縄文	
231	野木H214	信濃	縄文	
232	野木H215	信濃	縄文	
233	野木H216	信濃	縄文	
234	野木H217	信濃	縄文	
235	野木H218	信濃	縄文	
236	野木H219	信濃	縄文	
237	野木H220	信濃	縄文	
238	野木H221	信濃	縄文	
239	野木H222	信濃	縄文	
240	野木H223	信濃	縄文	
241	野木H224	信濃	縄文	
242	野木H225	信濃	縄文	
243	野木H226	信濃	縄文	
244	野木H227	信濃	縄文	
245	野木H228	信濃	縄文	
246	野木H229	信濃	縄文	
247	野木H230	信濃	縄文	
248	野木H231	信濃	縄文	
249	野木H232	信濃	縄文	
250	野木H233	信濃	縄文	
251				

III章 縄文時代の遺構と遺物

1 概要

A地区とC地区で検出された遺構は、竪穴住居跡1軒、土壇211基、焼土85カ所、集石1カ所、柱穴状の小ピット4基である。竪穴住居跡はA地区平坦面の南側で検出された。中央に炉を持ち、隅丸方形に近い楕円形で、前期後半のものである。

土壇はA地区から195基が検出された。晩期後半のものと考えられるものは189基で、そのうち土壇墓または土壇墓の可能性のあるものは20基である。楕円形で長軸1m前後のものが北側に、円形のものが調査区中央付近から南側斜面にかけて多く見られる。KP-113・162からは胴部のみの大形の土器破片が表面を上にした状態で出土した。KP-140の墳底には対になる小ピットがある。KP-166からは完形の双口土器が横倒しの状態で出土した。他の土壇は小型で円形を呈するものと楕円形で長円形を呈し、長軸が1m前後のものがある。大半のものの覆土は、流入土と崩落土の互層で遺物の出土は少ない。また、中期のものと考えられるものが5基あり、KP-85は長径2m程あり、大形の貯蔵穴と思われる。後期のものは1基で、形態から土壇墓と考えられる。隣接する下位段丘でⅣ群c類土器がまとまって出土している。

C地区から16基が検出された。大きく2つのまとまりがある。R-34区付近のまとまりは周辺から焼土が多数検出され、石斧関連の遺物が多く出土している。中期に属するものがある。43ラインのまとまりのうち、KP-167からは赤彩が施された土Ⅴ群c類器が1個体出土している。なお、包含層出土の遺物は、出土点数が当初予想より大幅に上回ったことと、隣接する低位段丘(B地区)から出土した遺物との接合関係の検討を要することから、次年度以降に報告することになった。(村田)

(1) 竪穴住居跡

A地区南側の平坦面で、前期後半のものが1軒検出された。

- 4 (図Ⅲ-1、図版6・71)

位置・立地：H4-47 標高45.6m付近の平坦面。

規 模：2.90 / 2.64 2.8 / 2.67 0.22m 平面形：隅丸方形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。Iラインに設定した土層観察用ベルトの断面で、黒色土の落ち込みが確認されたため、このベルトを延長し、トレンチ調査を行った。平坦な床面と明瞭な壁の立ち上がりで確認できたため住居跡と判断した。

覆 土：Ⅲ層を主体とする黒色土が大半である。炭化物を少量含む。

形 態：床はほぼ平坦で、掘り込みは浅い。Ⅴ層中に掘り込まれている。縄文時代晩期の土壇が5基掘り込まれ、壁と床面の一部が失われている。壁は緩やかに立ち上がる。

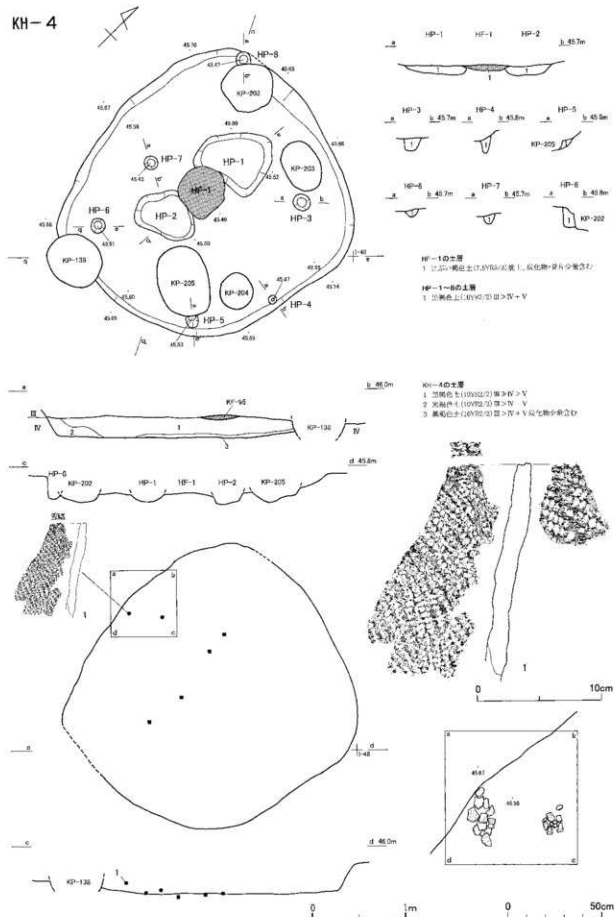
付 属 遺 構：中央付近に炉を1カ所検出した(HF-1)。掘り込みのない地床炉である。炉が使用される前に掘り込まれた。盆状の断面をもつピット(HP-1・2)を2カ所検出した。炉に関連する施設と考えられる。柱穴状の小ピットは6基確認できた。

遺物出土状況：西側の床面から、Ⅱ群b類植苗式の土器片がまとまって出土した。

時 期：出土遺物から、縄文時代前期後半と考えられる。

遺 物：1は床面から出土したⅡ群b類の土器。口縁部から胴部上半の破片で、口縁部の断面

KH-4



図III-1 竪穴住居跡 - 4

は角型を呈し、口唇上と口縁部裏面にも縄文が施文されている。 (村田)

(2) 土 塚

地区

A地区で確認された土塚は195基で、そのうち中期後半のもの5基、後期後半のもの1基、晩期後葉のもの189基である。土塚墓または土壇墓の可能性のあるものは個別に説明するが、その他のものは形態で分けたまとまりごとに説明する。中期または後期に属すると考えられるものは別に説明する。

土塚墓または土壇墓の可能性のあるもの(20基)。

KP-100・102・113・128・130・139・140・151・152・162・163・166・196・212・214・242・250・270～272

46ラインの斜面部から北側にかけて分布する。楕円形または長円形を呈し、比較的大型のものは北側に多い。

- 100 (図Ⅲ-2、図版15)

位置・立地：F-50 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：1.52/1.34 1.31/1.07 0.51m 平 面 形：楕円形

確認・調査：Ⅲ層上面の凹みで確認した。覆土下位が黒褐色土と暗褐色土を主体とする埋め戻しである。墳底は平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。遺物出土状況は覆土からV群c類の土器片、石鏃、石核などが出土した。土塚墓の可能性がある。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。 (村田)

- 102 (図Ⅲ-2、図版15)

位置・立地：H-46 標高45m付近の南西に面する緩斜面。

規 模：0.88/0.58 0.81/0.53 0.45m 平 面 形：円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は下位が褐色土の埋め戻しである。墳底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は埋め戻し土の上面から台石が1点出土した。土塚墓の可能性がある。

時 期：遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。 (村田)

- 113 (図Ⅲ-3、図版19)

位置・立地：G-46 標高45m付近の南西に面する緩斜面。

規 模：0.98/0.6 0.88/0.5 0.38m 平 面 形：円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は下位が暗褐色土の埋め戻しである。墳底は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。遺物出土状況は下位の埋め戻し土の上面に、V群c類の胴部だけの土器片が表面を上にして出土した。覆土の上位からはスクレイパーと加工痕のある礫が出土している。土塚墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。 (村田)

- 128 (図Ⅲ - 3、図版24)

位置・立地：F - 53 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：(0.91)/(0.83) 0.99/0.85 0.29m 平 面 形：楕円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。木根で東側が失われている。覆土は黒褐色土と暗褐色土の埋め戻しである。ベンガラ粒を少量含む。墳底は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。遺物出土状況は覆土からⅤ群c類土器と石鏃が4点出土している。土墳墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。 (村田)

- 130 (図Ⅲ - 3、図版25)

位置・立地：E F - 52 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：1.2/1.05 0.92/0.78 0.76m 平 面 形：楕円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は褐色土や暗褐色土が主体の埋め戻しで、ブロック状の堆積が多い。墳底は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。遺物出土状況は覆土の中位から赤彩が施されたⅤ群c類の土器片が出土した。土墳墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。 (村田)

- 139 (図Ⅲ - 3、図版27)

位置・立地：I - 47 標高45.6m付近の南西に面する緩斜面。

規 模：0.78/0.7 (0.75)/(0.67) 0.47m 平 面 形：円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は黒褐色土と暗褐色土の埋め戻しである。墳底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は覆土の上位からⅤ群c類の土器片で口縁部のみの大形破片が2個体分まとまって出土した。石鏃が3点スクレイパーが2点出土した。土墳墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。 (村田)

- 140 (図Ⅲ - 4、図版28)

位置・立地：G - 53 標高45.7m付近の平坦面。

規 模：1.12/0.68 1.02/0.77 0.57m 平 面 形：楕円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は黒褐色土を主体とする埋め戻しである。墳底は平坦で、壁は急に立ち上がる。長軸方向に対になる小ピットがある。遺物出土状況は覆土からⅠ群b類、Ⅲ群b類、Ⅴ群c類の土器片が出土した。土墳墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。 (村田)

- 151 (図Ⅲ - 4、図版31)

位置・立地：E F - 51 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：(1.35)/(1.23) 1.01/0.81 0.43m 平 面 形：長円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は上位が黒色土主体の流入土で、下位が褐色土と黒褐色土の埋め戻しである。墳底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は覆土の中位からⅤ群c類土器片、スクレイパー、石斧、加工痕のある礫。墳底から人頭大の礫が1点出土している。土墳墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。 (村田)

- 152 (図III - 4、図版31)

位置・立地：F - 51 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：1.4 / 1.19 1.09 / 0.88 0.37m 平 面 形：長円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は中位から上位は黒色土の流入土で、下位はにぶい黄褐色土の埋め戻しである。墳底は平坦で、壁は急に立ち上がる。土墳墓と考えられる。遺物出土状況は墳底から大洞C₂式相当のV群の土器片が出土した。同一個体の土器片がKH - 2の掘上げ土・覆土1層、KP - 128の覆土1層、F - 52・53区Ⅲb層、G - 52区Ⅲb層、G - 53区Ⅲa層から出土しており、KP - 152と同様の遺構が存在し、その後にはKH - 2に壊されたものと考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。(村田)

- 162 (図III - 4、図版34)

位置・立地：J - 45 標高44.8m付近の南西に面する緩斜面。

規 模：0.75 / 0.41 0.75 / 0.4 0.45m 平 面 形：円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は上位が黒色土主体の流入土で、その下位は黒褐色土と褐色土の埋め戻しである。墳底から壁へ椀状に立ち上がる。遺物出土状況は褐色土の埋め戻し層上部からV群c類土器の胴部破片がまとまって出土している。土墳墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。(吉田)

- 163 (図III - 4、図版34)

位置・立地：F - 53 標高45.7m付近の平坦面。

規 模：1.01 / 0.89 0.63 / 0.48 0.35m 平 面 形：長円形

確認・調査：51ラインのセクション面で確認した。覆土は黒褐色土と暗褐色土の埋め戻しである。墳底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は覆土の中位から石皿が1点出土している。土墳墓の可能性はある。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。(村田)

- 166 (図III - 5、図版35)

位置・立地：E F - 50 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：1.21 / 0.23 (0.82) / (0.16) 0.76m 平 面 形：不明

確認・調査：調査区西側の崩落斜面で確認した。覆土は上位が黒色土主体の流入土で、中位から下位は褐色土と暗褐色土の埋め戻しである。墳底に黒褐色土の硬い層がある。墳底は凹凸があり、壁は一部段上を呈する。遺物出土状況は埋め戻し土の上面からV群c類の双口土器が横倒しの状態で出土した。隣接して別個体の底部は片がまとまって出土した。覆土の上位から石斧が出土している。土墳墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。(村田)

- 196 (図III - 5、図版43)

位置・立地：G - 52・53 標高45.6m付近の平坦面。

規 模：1.01 / 0.55 0.92 / 0.56 0.27m 平 面 形：円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は褐色土と暗褐色土の埋め戻しである。墳底は凹凸があり、

壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は覆土にⅢ群b類とV群c類土器片が散見できる程度である。土壌墓の可能性はある。

時期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。(村田)

- 212 (図Ⅲ-5、図版47)

位置・立地：E 47-52 標高45.8m付近の平坦面。

規模：(1.27)/(1.18) (1.09)/(1.04) 0.29m 平面形：隅丸方形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は黒褐色土やにぶい黄褐色土を主体とする埋め戻しである。墳底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は覆土からV群c類土器が出土している。土壌墓の可能性はある。

時期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。(村田)

- 214 (図Ⅲ-5、図版47)

位置・立地：H-48 標高45.7m付近の平坦面。

規模：1.21/0.91 (0.64)/(0.56) 0.46m 平面形：円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は暗褐色土と黒褐色土の互層で埋め戻しである。墳底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は覆土からV群c類の土器片、スクレイパー、石核、台石などが出土している。土壌墓と考えられる。

時期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。(村田)

- 242 (図Ⅲ-6、図版56)

位置・立地：H-49 標高45.7m付近の平坦面。

規模：0.57/0.36 (0.56)/(0.38) 0.15m 平面形：円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は黒色土を主体とする埋め戻しである。墳底は断面が椀状を呈し、壁は緩やかに立ち上がる。遺物出土状況は墳底から石皿と加工痕のある礫が出土している。土壌墓の可能性はある。

時期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。(村田)

- 250 (図Ⅲ-6、図版57)

位置・立地：H-48 標高45.7m付近の平坦面。

規模：0.85/0.7 (0.65)/(0.42) 0.23m 平面形：楕円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は暗褐色土の埋め戻しで、炭化物を少量含む。墳底は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。遺物出土状況は墳底からV群c類の土器片と石歯が出土した。また、北側から凝灰岩の板状礫が7点まとまって出土した。土壌墓の可能性はある。

時期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。(村田)

- 270 (図Ⅲ-6、図版63)

位置・立地：F-50 標高45.8m付近の平坦面。

規模：1.16/0.71 1.09/0.71 0.46m 平面形：円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は下位が暗褐色土と黒褐色土の互層で、埋め戻しである。墳

底は断面が椀状を呈し、壁は緩やかに立ち上がる。遺物出土状況は覆土の上位からV群c類土器の口縁部破片がまとまって出土した。土壌墓の可能性はある。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。(村田)

- 271 (図Ⅲ-6、図版63)

位置・立地：G-50 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：1.21/0.84 0.83/0.62 0.41m 平 面 形：楕円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は下位が褐色土や暗褐色土の埋め戻しである。墳底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は覆土からV群c類の土器片とスクレイパー、フレイクがまとまって出土した。土壌墓の可能性はある。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。(村田)

- 272 (図Ⅲ-6、図版64)

位置・立地：F-49・50 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：0.84/0.69 0.57/0.51 0.15m 平 面 形：隅丸方形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は暗褐色土の埋め戻しである。墳底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は南西側からV群c類の土器片がまとまって出土した。土壌墓である。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。(村田)

小型でほぼ円形を呈するもの(149基)(図Ⅲ-7~35)

KP-83・84・86・89~93・95~99・101・111・112・114~127・129・134・135・137・138・141~150・154・156~161・164・165・173~178・180~195・198・201~211・213・215~231・237~249・251~255・257~269・273~281・283・285~288・290・291

調査区全域にみられるが、平坦面の西側から斜面部にかけて密集している。長径0.5m程度のものが多い。大半が自然堆積の覆土で、遺物の出土は少ない。墳底は平坦なものと同断面が椀状を呈するものがある。壁は緩やかに傾斜したものが多い。

楕円形・長円形を呈し、長軸が1m前後のもの(20基)(図Ⅲ-36~40)

KP-80~82・103・131~133・148・153・179・197・200・232・233・256・278・279・282・284・289

H-47区付近、H-50区付近、F-52区付近にまとまりがある。長軸が東西方向のものが多い。覆土は流入土と崩落土の互層である。墳底は平坦で、壁は緩やかに立ち上がるものが大半である。遺物の出土は少ない。(村田)

- 81 (図Ⅲ-37、図版8)

位置・立地：G-47 標高45.6m付近の平坦面から斜面の転換点。

規 模：(1.77)/(1.58) 1.07/0.9 0.26m 平 面 形：隅丸長方形

確認・調査：Ⅲ層上面の凹みで確認した。覆土は黒褐色土の流入土が主体である。墳底は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。KP-187より新しい。覆土からV群c類土器とスクレイパーが出土している。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。(村田)

- 148 (図Ⅲ - 38、図版30)

位置・立地：G-41・46・47 標高45.5m付近の平坦面から斜面の転換点。

規 模：1.34/1.15 0.81/0.67 0.17m 平 面 形：楕円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は黒褐色土の流入土である。墳底は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。KP-149より新しい。覆土からⅤ群c類土器とスクレイパーが出土している。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。(村田)

- 284 (図Ⅲ - 40、図版67)

位置・立地：H-53 標高44m付近の東側段丘崖。

規 模：1.31/1.07 1.05/0.85 0.38m 平 面 形：楕円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は黒褐色土や暗褐色土の流入土と崩落土の互層である。墳底は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土からⅤ群c類土器が出土している。段丘崖で確認された遺構はこの1基だけである。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。(村田)

中期後半または後期後葉に属すると考えられるもの(6基)。(図Ⅲ - 41・42)

KP-85・94・155・199・234・236

中期後半のものは5基検出した。KP-85は大形の貯蔵穴の可能性ある。北東側の斜面から平坦面にかけてままとまっている。

後期後葉のものと考えられるものは1基検出した。A地区の段丘上から後期の土器はほとんど出土していないが、段丘縁辺の低位部でまとまった出土状況が見られることと、形態から後期後葉のものと判断した。(村田)

- 85 (図Ⅲ - 41、図版9・10)

位置・立地：G-50・51 標高45.6m付近の平坦面。

規 模：2.07/1.56 2.06/1.67 0.95m 平 面 形：円形

確認・調査：Ⅲ層上面の凹みで確認した。覆土は下位が黄褐色土の崩落土と思われる。比較的短時間で堆積したと考えられる。中位から上位は崩落土と流入土の互層となる。周辺に黒褐色土の掘上げ土が見られる。墳底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は覆土からⅢ群b類、Ⅴ群c類、Ⅵ群の土器片、石鏃、スクレイパー、などが散見される。貯蔵穴の可能性ある。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物と形態から、中期後半と考えられる。(村田)

- 199 (図Ⅲ - 42、図版43)

位置・立地：G-49 標高48.5mの平坦面。

規 模：1.21/0.84 0.83/0.62 0.41m 平 面 形：長円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は褐色土や暗褐色土の互層で埋め戻しである。墳底は平坦で、壁は急に立ち上がる。土墳墓と考えられる。

時 期：遺物は出土していないが、形態から後期後葉と考えられる。(村田)

地区

C地区で確認された土壌は16基で、周辺の出土遺物から晩期後葉と考えられる。おおまかにR-34付近とQ-44付近の2つのまとまりがある。

R-34付近で7基の土壌のまとまりを検出した。これらの土壌は、円形または楕円形を呈す。土壌に伴う遺物は出土しておらず、明確な性格は不明である。南側の削平された高まりに位置するKP-87は、形態・覆土の状況などから土壌墓の可能性が考えられる。Q-44付近の土壌と類似した形態をもっているため、この土壌の南東調査区外にQ-44付近と同様の土壌が存在した可能性が考えられる。

Q-44付近で6基の土壌のまとまりを検出した。すべて円形を呈する。覆土は6基中4基が埋め戻しの堆積である。その内のKP-167からは、V群c類の赤彩土器が出土しており、土壌墓と考えられる。この周辺は削平を受けており、これより東の調査区外にも、このまとまりと一連の土壌が存在していた可能性も考えられる。(吉田)

- 87 (図III-43、図版11)

位置・立地：U-33 標高45.7m付近の削平面

規 模：0.81/0.58 0.76/0.58 0.26m 平 面 形：円形

確認・調査：削平面のV層上面で確認した。覆土は上位が黒色土主体の流入土で、下位が暗オリーブ色の埋め戻しである。墳底は椀状で、壁は緩やかに立ち上がる。遺物は出土していないが、形態や覆土の状況から、土壌墓の可能性も考えられる。

時 期：形態から晩期後葉と考えられる。(吉田)

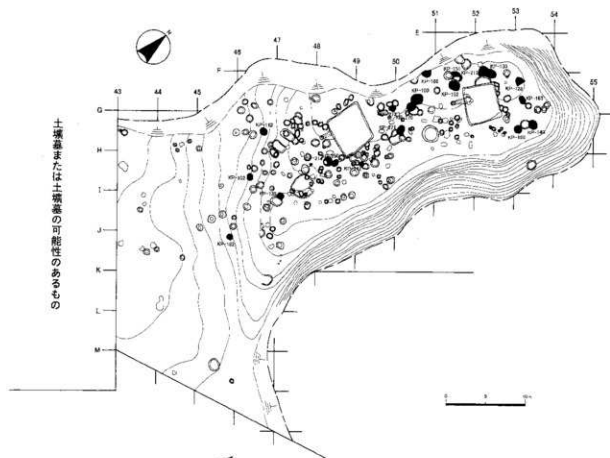
- 167 (図III-44、図版35)

位置・立地：Q-43 標高45m付近の削平面

規 模：0.60/0.31 0.55/(0.30) 0.25m 平 面 形：円形

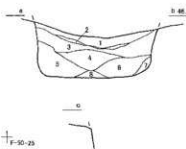
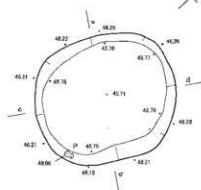
確認・調査：削平面のV層上面で確認した。覆土は上位が黒色土主体の流入土で、下位は黒褐色の埋め戻しである。墳底は椀状で、壁は緩やかに立ち上がる。遺物出土状況は覆土上位からV群c類の赤彩土器が1個体分とフレイク2点が出土している。土壌墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。(吉田)



土壌墓または土塚等の可能性のあるもの

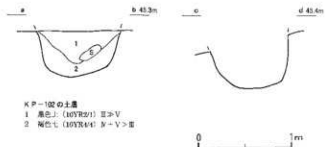
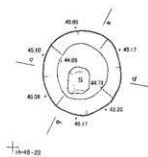
KP-100



KP-100の土層

- 1 棕色土 (10YR4.7/1) Ⅲ
- 2 暗褐色土 (7.5YR3/4) Ⅲ+Ⅳ地層
- 3 黒色土 (10YR3/1) Ⅲ>Ⅳ
- 4 淡褐色土 (10YR2/3) Ⅲ>Ⅳ
- 5 黄褐色土 (10YR2/5) Ⅲ Ⅰ層 今付土か?
- 6 暗褐色土 (10YR3/3) Ⅲ+Ⅳ>Ⅴ 中むらさい
- 7 褐色土 (10YR4/4) Ⅲ+Ⅳ
- 8 淡褐色土 (10YR2/3) Ⅲ+Ⅳ+Ⅴ しぼりあり

KP-102

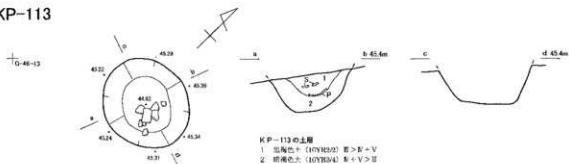


KP-102の土層

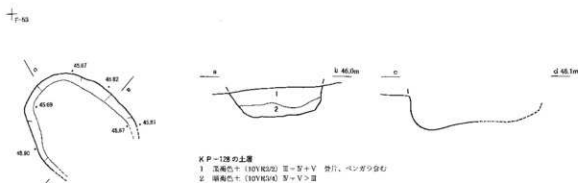
- 1 黒色土 (10YR2/1) Ⅲ>Ⅳ
- 2 褐色土 (10YR4/4) Ⅲ+Ⅳ>Ⅴ

図Ⅲ-2 土壌(1) - 100, 102

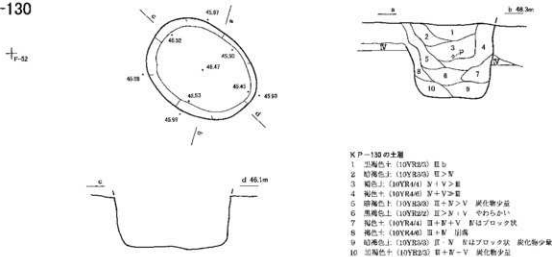
KP-113



KP-128



KP-130

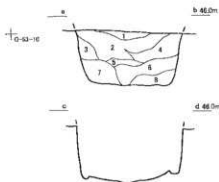
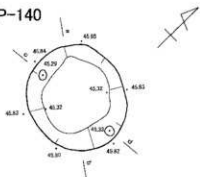


KP-139



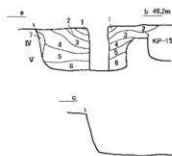
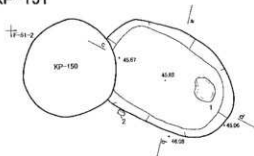
図Ⅲ-3 土壇(2) - 113、128、130、139

KP-140



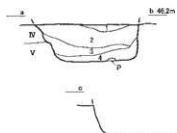
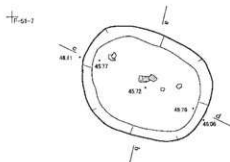
- KP-140の土層
- 1 赤褐色土 (10YR2/3) Ⅱ>Ⅲ+Ⅴ
 - 2 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅲ+Ⅴ>Ⅱ
 - 3 黄褐色土 (10YR2/5) Ⅲ>Ⅲ+Ⅴ
 - 4 黄褐色土 (10YR2/5) Ⅲ>Ⅲ+Ⅴ
 - 5 赤褐色土 (10YR2/3) Ⅲ+Ⅲ>Ⅴ
 - 6 黄褐色土 (10YR2/5) Ⅲ+Ⅲ+Ⅴ
 - 7 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅲ+Ⅲ>Ⅴ
 - 8 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅲ+Ⅲ>Ⅴ

KP-151



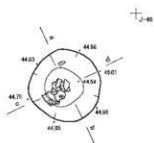
- KP-151の土層
- 1 暗褐色土 (10YR3/3) Ⅲ 軟土、骨片あり
 - 2 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅲ+Ⅴ
 - 3 赤褐色土 (10YR2/3) Ⅲ+Ⅴ
 - 4 黄褐色土 (10YR2/5) Ⅲ+Ⅲ+Ⅴ
 - 5 暗褐色土 (10YR3/3) Ⅲ+Ⅴ>Ⅱ
 - 6 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅴ>Ⅲ>Ⅲ
 - 7 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅲ相混

KP-152



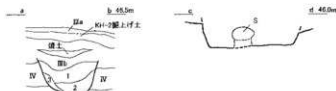
- KP-152の土層
- 1 暗褐色土 (10YR2/3) Ⅲ 水層混入
 - 2 赤褐色土 (10YR2/3) Ⅲ>Ⅲ+Ⅴ
 - 3 赤褐色土 (10YR2/3) Ⅲ>Ⅲ+Ⅴ
 - 4 赤褐色土 (10YR2/3) Ⅲ+Ⅲ+Ⅴ

KP-162



- KP-162の土層
- 1 赤褐色土 (10YR1/7) Ⅲ>Ⅴ Ⅴはごく微粒 Eo-P少量含む
 - 2 暗褐色土 (10YR2/2) Ⅲ>Ⅴ Eo-P多く含む
 - 3 褐色土 (10YR4/0) Ⅴ>Ⅲ Eo-P少量含む

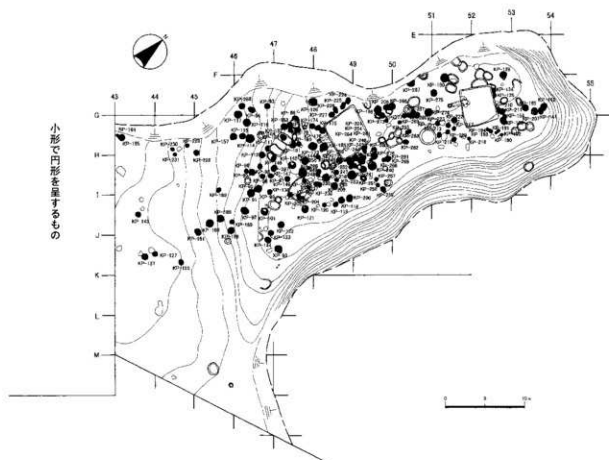
KP-163



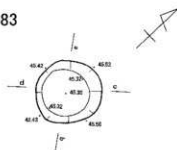
- KP-163の土層
- 1 赤褐色土 (10YR2/5) Ⅲ+Ⅲ+Ⅴ
 - 2 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅲ+Ⅴ>Ⅱ
 - 3 褐色土 (10YR4/0) Ⅲ相混



図Ⅲ-4 土層(3) - 140、151、152、162、163



KP-83

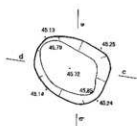


KP-83の土層

- 1 灰色土 (10YR1.5/1) 厚1株

+G-47

KP-84



KP-84の土層

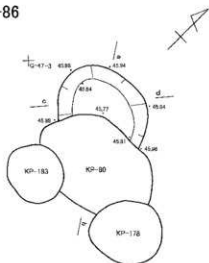
- 1 灰色土 (10YR1.5/1) 厚1株
2 褐色土 (10YR4/4) 厚2-3株

+G-48-4



図III-7 土坑(6) - 83, 84

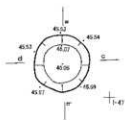
KP-86



- KP-86の土層
- 1 褐色土 (10YR2/3) Ⅱ
 - 2 赤褐色土 (10YR2/3) Ⅱ>Ⅲ+Ⅳ
 - 3 褐色土 (10YR2/4) Ⅲ&Ⅳ



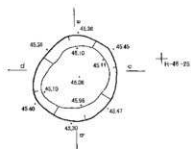
KP-89



- KP-89の土層
- 1 黄褐色土 (10YR2/3) Ⅱ>Ⅲ
 - 2 褐色土 (10YR2/4) Ⅲ>Ⅳ



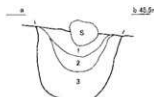
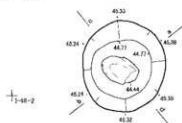
KP-90



- KP-90の土層
- 1 褐色土 (10YR2/3) Ⅱ>Ⅲ+Ⅳ
 - 2 赤褐色土 (10YR2/4) Ⅲ+Ⅳ>Ⅴ



KP-91

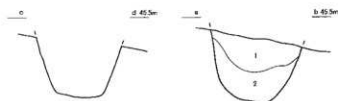
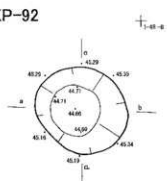


- KP-91の土層
- 1 褐色土 (10YR2/3) Ⅱ
 - 2 黄褐色土 (10YR2/3) Ⅱ>Ⅲ+Ⅳ
 - 3 褐色土 (10YR2/4) Ⅲ+Ⅳ>Ⅴ



図Ⅲ-8 土層(7) - 86, 89-91

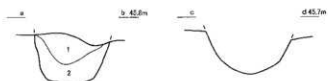
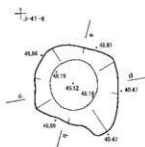
KP-92



KP-92の土層

- 1 黒色土 (10YR2/2) Ⅱ>V
- 2 褐色土 (10YR4/4) Ⅱ+V>Ⅲ

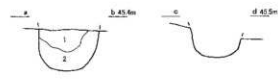
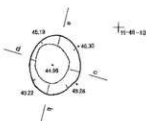
KP-93



KP-93の土層

- 1 黒色土 (10YR2/1) Ⅱ>V
- 2 褐色土 (10YR4/4) Ⅱ+V>Ⅲ

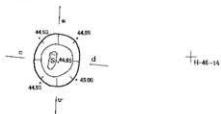
KP-95



KP-95の土層

- 1 淡褐色土 (10YR3/1) Ⅱ>V
- 2 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅱ+V>Ⅲ 炭化物少量

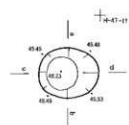
KP-96



KP-96の土層

- 1 暗褐色土 (10YR2/4) Ⅱ-Ⅲ+Ⅳ

KP-97



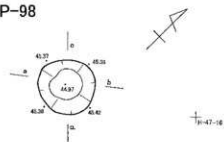
KP-97の土層

- 1 黒褐色土 (10YR2/2) Ⅱ>Ⅲ+Ⅳ



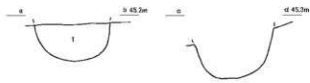
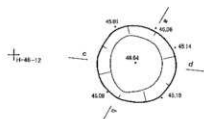
図Ⅲ-9 土坑(8) - 92、93、95-97

KP-98



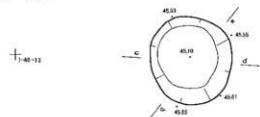
KP-98の土層
1 黒褐色土 (10YR2/2) Ⅱ>Ⅲ+Ⅴ

KP-99



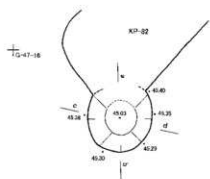
KP-99の土層
1 黒褐色土 (10YR2/2) Ⅱ>Ⅴ

KP-101



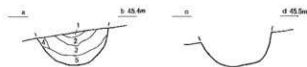
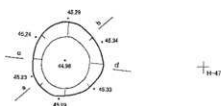
KP-101の土層
1 黒褐色土 (10YR2/2) Ⅱ>Ⅲ+Ⅴ
2 黒褐色土 (10YR3/4) Ⅲ I > Ⅱ

KP-111



KP-111の土層
1 黒褐色土 (10YR2/2) Ⅱ
2 黒褐色土 (10YR2/3) Ⅱ>Ⅲ+Ⅴ
3 黄褐色土 (10YR3/6) Ⅲ+Ⅴ>Ⅱ

KP-112

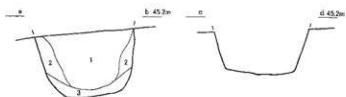
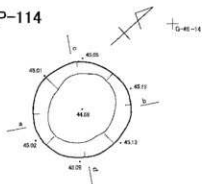


KP-112の土層
1 黒褐色土 (10YR2/2) Ⅱ
2 褐色土 (7.5YR4/4) Ⅲ
3 赤褐色土 (10YR2/3) Ⅱ+Ⅲ 炭化物少量
4 赤褐色土 (10YR3/4) Ⅲ 炭腐
5 黒褐色土 (10YR2/2) Ⅱ+Ⅲ+Ⅴ

0 1m

図Ⅲ-10 土層 9) - 98、99、101、111、112

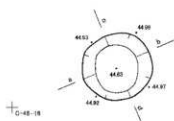
KP-114



KP-114の土層

- 1 黒色土 (10YR1.7/1) Ⅱ
- 2 粘褐色土 (10YR3.4/2) Ⅲ/IV層
- 3 粘褐色土 (10YR3.0/3) Ⅲ+Ⅴ>Ⅵ

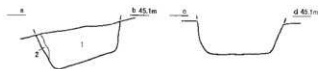
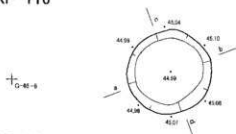
KP-115



KP-115の土層

- 1 粘褐色土 (10YR3.0/3) Ⅱ-V
- 2 褐色土 (10YR3.4/4) Ⅲ-V>Ⅵ

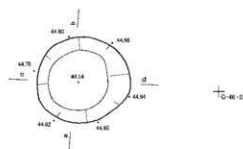
KP-116



KP-116の土層

- 1 粘褐色土 (10YR3.0/3) Ⅱ+Ⅲ+Ⅴ Vは炭灰
- 2 粘褐色土 (10YR3.4/4) Ⅲ/IV層

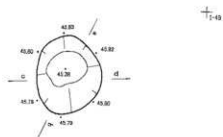
KP-117



KP-117の土層

- 1 粘褐色土 (10YR3.0/3) Ⅱ-Ⅲ-V
- 2 褐色土 (10YR3.4/4) Ⅲ/IV層

KP-118



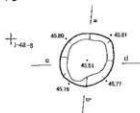
KP-118の土層

- 1 黒色土 (10YR2.1/1) Ⅲ
- 2 粘褐色土 (10YR3.0/3) Ⅲ/IV層
- 3 黒褐色土 (10YR2.3/3) Ⅲ+Ⅴ 炭灰物少量

0 1m

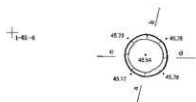
図Ⅲ-11 土坑(10) - 114-118

KP-119



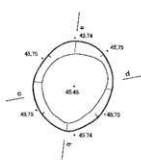
- KP-119の土層
 1 黒色土 (10YR2/1) Ⅱ
 2 粘板土 (10YR3/5) Ⅲ・Ⅳ

KP-120



- KP-120の土層
 1 黒板土 (10YR2/2) Ⅲ
 2 褐色土 (10YR4/6) Ⅳ別層

KP-121

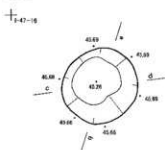


↑ 45-6



- KP-121の土層
 1 黒板土 (10YR2/2) Ⅲ・Ⅳ
 2 褐色土 (10YR4/6) Ⅳ+Ⅴ+Ⅵ

KP-122

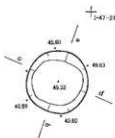


↑ 47-18



- KP-122の土層
 1 黒板土 (10YR2/2) Ⅲ+Ⅳ+Ⅴ 炭化物少量
 2 粘板土 (10YR3/4) Ⅳ-V+Ⅵ 炭化物少量

KP-123



↑ 47-23

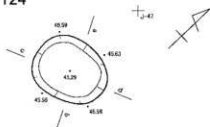


- KP-123の土層
 1 黒板土 (10YR2/2) Ⅲ+Ⅳ+Ⅴ 炭化物あり
 2 褐色土 (10YR4/6) Ⅳ別層

0 1m

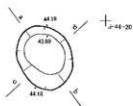
図Ⅲ-12 土壌(11) - 119-123

KP-124



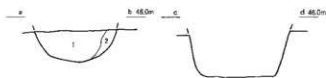
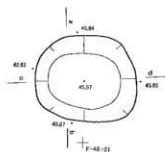
KP-124の土層
1 褐色土 (10YR3/4) Ⅱ+Ⅴ>Ⅲ

KP-125



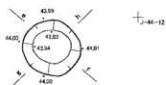
KP-125の土層
1 褐色土 (10YR1.7/1) Ⅲ
2 黒褐色土 (10YR2/3) Ⅲ>Ⅴ Ee-P少量含む
3 黒褐色土 (10YR3/3) Ⅲ+Ⅴ Vはゾーン状 Ee-P微量含む
4 黒褐色土 (10YR3/3) Ⅲ>Ⅴ Ee-P少量含む
5 明褐色土 (10YR6/8) V>Ⅲ

KP-126



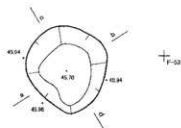
KP-126の土層
1 黒色土 (10YR2/1) Ⅲ>Ⅴ+Ⅵ
2 褐色土 (10YR3/3) Ⅲ+Ⅴ+Ⅵ

KP-127



KP-127の土層
1 黒色土 (10YR2/2) Ⅲ>Ⅴ

KP-129

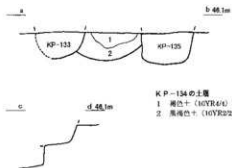
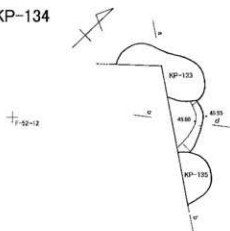


KP-129の土層
1 黒褐色土 (10YR2/2) Ⅲ>Ⅴ+Ⅵ
2 褐色土 (10YR4/4) N 跡層



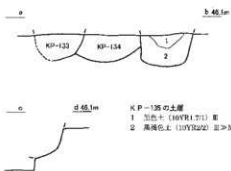
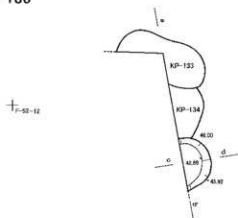
図III-13 土坑(12) - 124~127、129

KP-134



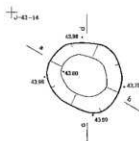
KP-134の土層
 1 褐色土 (10YR4/3) $F+V>B$
 2 黒褐色土 (10YR2/2) $B>N+V$

KP-135



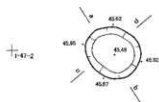
KP-135の土層
 1 赤色土 (10YR1/2) 黒
 2 黒褐色土 (10YR2/2) $B>B+V$ 竹片含む

KP-137



KP-137の土層
 1 赤色土 (10YR1/2) 黒
 2 粘褐色土 (10YR3/4) $B+V$ Ec:P少量含む
 3 黄褐色土 (10YR5/6) $V>B$

KP-138

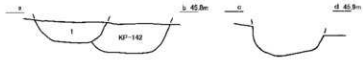
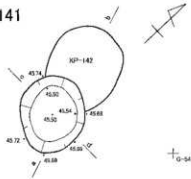


KP-138の土層
 1 粘褐色土 (10YR2/2) $B>B+V$



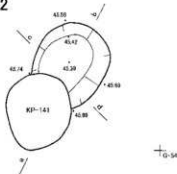
図Ⅲ-14 土壌(13) - 134、135、137、138

KP-141



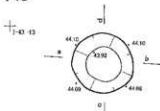
KP-141の土層
1 褐色土 (10YR1.7/1) III

KP-142



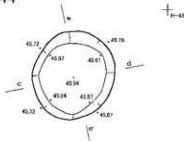
KP-142の土層
1 褐色土 (10YR1.7/1) III
2 黒褐色土 (10YR2.5/1) III + IV + V
3 明褐色土 (10YR3.5/3) III + V 跡層

KP-143



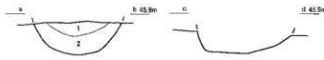
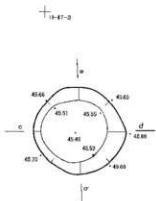
KP-143の土層
1 褐色土 (10YR1.7/1) III
2 褐色土 (10YR4.5/4) V + V'
3 明褐色土 (10YR3.5/3) V + V'

KP-144



KP-144の土層
1 褐色土 (10YR1.7/1) III
2 黒褐色土 (10YR2.5/1) III + IV
3 褐色土 (10YR3.5/3) III + V + V'

KP-145

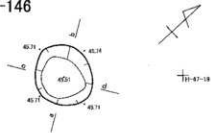


KP-145の土層
1 褐色土 (10YR1.7/1) III
2 明褐色土 (10YR3.5/3) III + V + V'



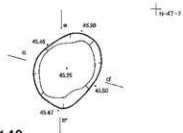
図III - 15 土坑(14) - 141~145

KP-146



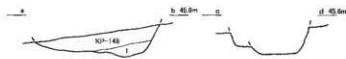
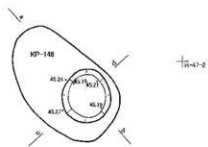
KP-146の土層
1 赤褐色土 (10YR2/3) III-N-V

KP-147



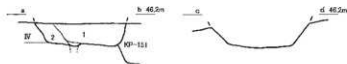
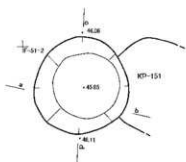
KP-147の土層
1 赤褐色土 (10YR2/3) III+IV
2 褐色土 (10YR4/4) III+V>III

KP-149



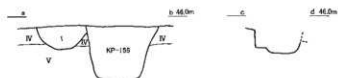
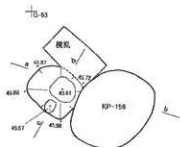
KP-149の土層
1 赤褐色土 (10YR2/4) III-V

KP-150



KP-150の土層
1 赤褐色土 (10YR2/2) III+IV
2 褐色土 (10YR4/4) III赤褐色

KP-154

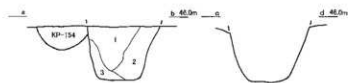
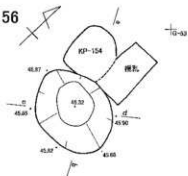


KP-154の土層
1 赤褐色土 (10YR2/1) III



図III-16 土壌(15) - 146、147、149、150、154

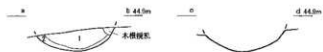
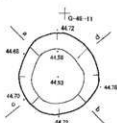
KP-156



KP-156の上層

- 1 黒色土 (10YR2/1) Ⅱ
- 2 黒褐色土 (10YR2/2) Ⅱ+Ⅲ+Ⅳ
- 3 赤褐色土 (10YR2/3) Ⅱ+Ⅲ+Ⅳ

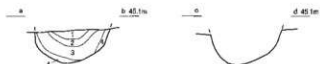
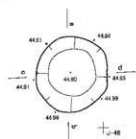
KP-157



KP-157の上層

- 1 黒色土 (10YR1.7/1) Ⅱ Eor P 地混合
- 2 赤褐色土 (10YR2/3) V>Ⅱ

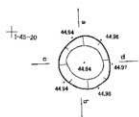
KP-158



KP-158の上層

- 1 黒色土 (10YR1.7/1) Ⅱ
- 2 赤褐色土 (10YR2/1) Ⅱ>Ⅲ Eor P 少混合
- 3 灰黒褐色土 (10YR4/2) Ⅲ+Ⅳ Eor P 多く混合
- 4 うすい灰褐色土 (10YR5/3) V>Ⅲ

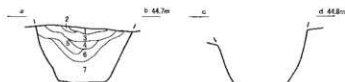
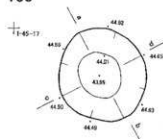
KP-159



KP-159の上層

- 1 黒褐色土 (10YR2/2) Ⅱ>Ⅲ Eor P 多く混合
- 2 赤褐色土 (10YR4/3) V>Ⅱ

KP-160



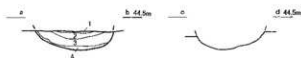
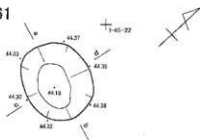
KP-160の上層

- 1 黒色土 (10YR1.7/1) Ⅱ
- 2 黒褐色土 (10YR2/2) Ⅱ>Ⅲ
- 3 赤褐色土 (10YR1.7/1) Ⅱ>Ⅲ Vはごく微量 Eor P 少混合
- 4 赤褐色土 (2.5YR2/4) Ⅲ+Ⅳ Eor P 多く混合
- 5 赤褐色土 (2.5YR4/3) Ⅲ+Ⅳ Eor P 微量混合
- 6 赤褐色土 (2.5YR3/1) Ⅱ>Ⅲ Eor P 少混合
- 7 オリーブ褐色土 (2.5YR4/6) Ⅲ+Ⅳ Eor P 多く混合



図III-17 土壌(16) - 156-160

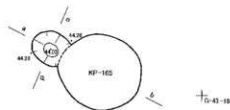
KP-161



KP-161の土層

- 1 褐色土 (2.SY34) Ⅱ
- 2 黄褐色土 (2.SY35) Ⅴ>Ⅲ Eo-P 少量含む
- 3 粘灰黄色土 (2.SY42) Ⅱ+Ⅴ Eo-P 少量含む
- 4 黄褐色土 (2.SY36) Ⅴ>Ⅲ

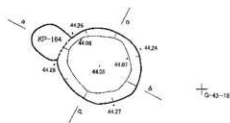
KP-164



KP-164の土層

- 1 黄褐色土 Eo-P 少量含む
- 2 オリーブ褐色土 (2.SY43) Ⅱ>Ⅲ Eo-P 少量含む
- 3 黄褐色土 (2.SY36) Ⅴ>Ⅲ

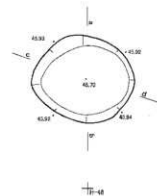
KP-165



KP-165の土層

- 1 褐色土 (10YR1.7/1) Ⅱ
- 2 黄褐色土 (2.SY34) Ⅱ-Ⅲ
- 3 オリーブ褐色土 (2.SY43) Ⅱ>Ⅲ Eo-P 少量含む
- 4 黄褐色土 (2.SY35) Ⅱ>Ⅲ Eo-P 少量含む
- 5 オリーブ褐色土 (2.SY44) Ⅱ>Ⅲ 粘質

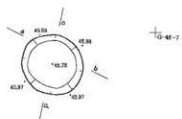
KP-173



KP-173の土層

- 1 褐色土 (10YR3/1) Ⅱ>Ⅲ+Ⅴ
- 2 黄褐色土 (10YR4/4) Ⅱ+Ⅴ

KP-174



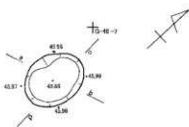
KP-174の土層

- 1 粘質黄褐色土 (10YR4/5) Ⅱ>Ⅲ+Ⅴ
- 2 黄褐色土 (10YR3/5) Ⅱ>Ⅲ+Ⅴ
- 3 褐色土 (10YR3/4) Ⅱ>Ⅲ+Ⅴ



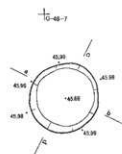
図Ⅲ-18 土層(17) - 161, 164, 165, 173, 174

KP-175



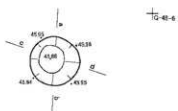
- KP-175の土層
- 1 黒色土 (10YR11.7/1) III
 - 2 黒褐色土 (10YR2.5/3) II > III
 - 3 暗褐色土 (10YR3.5/3) II > III > V
 - 4 黄褐色土 (10YR5.5/3) III > V

KP-176



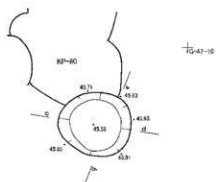
- KP-176の土層
- 1 黒褐色土 (10YR2.5/3) III > III

KP-177



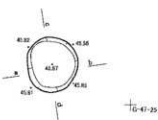
- KP-177の土層
- 1 暗褐色土 (10YR3.5/3) III > III > V
 - 2 暗褐色土 (10YR3.5/3) III > III > V

KP-178



- KP-178の土層
- 1 黒色土 (10YR2.5/1) III

KP-180

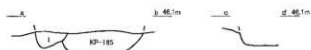
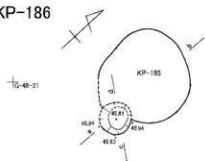


- KP-180の土層
- 1 黒色土 (10YR2.5/1) III > III > V



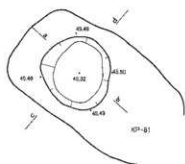
図III - 19 土坑(18) - 175~178、180

KP-186

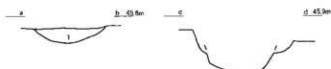


KP-186の土層
1 黄褐色土 (10YR2/3) III>IV

KP-187

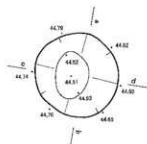


TG-43-14

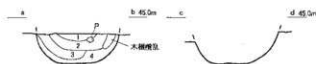


KP-187の土層
1 暗褐色土 (10YR3/4) III・IV

KP-188



TG-44-16



KP-188の土層
1 褐色土 (10YR5/3) III EoP多く含む
2 暗褐色土 (10YR3/4) III+IV EoP多く含む
3 黄褐色土 (10YR2/3) III>IV EoP少く含む
4 暗褐色土 (10YR4/4) V III EoP多く含む

KP-189



H-45-25



KP-189の土層
1 褐色土 (10YR5/3) III
2 暗褐色土 (10YR3/4) III-V EoP少量含む
3 黄褐色土 (10YR2/3) V III EoP少く含む
4 暗褐色土 (10YR3/4) V KeP少量含む

KP-190



TG-93-11

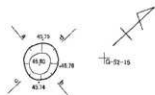


KP-190の土層
1 黄褐色土 (10YR2/3) III+IV 灰化物あり



図III-21 土壌(20) - 186-190

KP-191



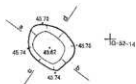
KP-191の土層
1 黒褐色土 (10YR2/3) III-B 炭化物あり

KP-192



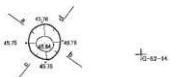
KP-192の土層
1 黒褐色土 (10YR2/3) III-B 炭化物あり

KP-193



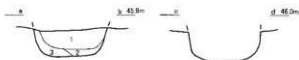
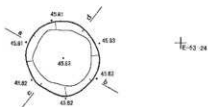
KP-193の土層
1 黒褐色土 (10YR2/3) III-B 炭化物あり

KP-194



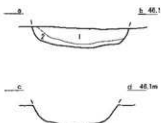
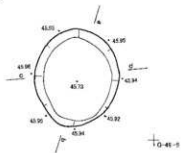
KP-194の土層
1 黒褐色土 (10YR2/3) III-B 炭化物あり

KP-195



KP-195の土層
1 黒褐色土 (10YR2/3) III-B
2 紅褐色土 (10YR4/6) III-B
3 粘土土 (10YR6/4) IV-V

KP-198

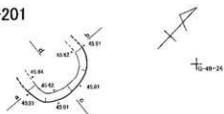


KP-198の土層
1 黒褐色土 (10YR2/3) III-B
2 紅褐色土 (10YR4/6) III-B IV



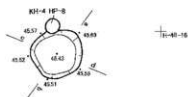
図III-22 土層(21) - 191~195、198

KP-201



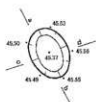
KP-201の土層
 1 黒褐色土 (10YR2/2) Ⅱ>Ⅲ
 2 灰褐色土 (10YR3/3) Ⅱ1 Ⅲ>Ⅴ

KP-202



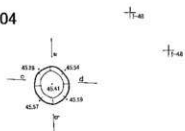
KP-202の土層
 1 灰色土 (10YR1.7/1) Ⅱ上層

KP-203



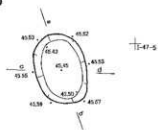
KP-203の土層
 1 灰色土 (10YR1.7/1) Ⅱ上層

KP-204



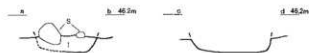
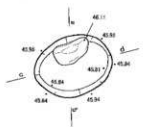
KP-204の土層
 1 灰色土 (10YR1.7/1) Ⅱ上層

KP-205



KP-205の土層
 1 灰色土 (10YR1.7/1) Ⅱ上層

KP-206

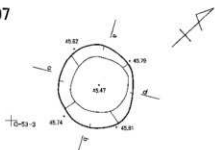


KP-206の土層
 1 黒褐色土 (10YR2/2) Ⅱ=Ⅲ>Ⅴ



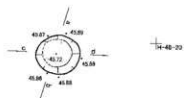
図Ⅲ-23 土壌(22) - 201-206

KP-207



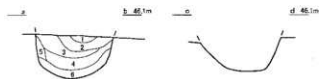
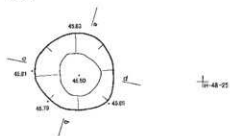
- KP-207の土層
 1 褐色土 (75YR4/4) KP-76 褐色土
 2 黒褐色土 (10YR2/2) Ⅱ・Ⅴ
 3 白色土 (10YR2/1) Ⅱ>Ⅲ

KP-208



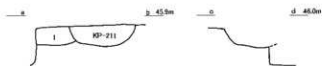
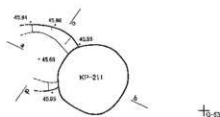
- KP-208の土層
 1 褐色土 (10YR2/3) Ⅱ・Ⅲ

KP-209



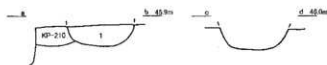
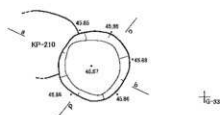
- KP-209の土層
 1 褐色土 (10YR2/1) Ⅱ>Ⅴ
 2 白色土 (10YR1/1) Ⅱ
 3 黒褐色土 (10YR2/2) Ⅱ>Ⅲ
 4 黒褐色土 (10YR2/3) Ⅱ・Ⅴ
 5 褐色土 (10YR4/4) Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ
 6 褐色土 (10YR2/3) Ⅱ>Ⅲ

KP-210



- KP-210の土層
 1 黒褐色土 (10YR2/3) Ⅱ>Ⅲ・Ⅴ

KP-211

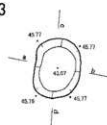


- KP-211の土層
 1 褐色土 (10YR2/5) Ⅱ



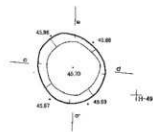
図Ⅲ-24 土壌(23) - 207-211

KP-213



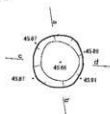
KP-213の土層
 ① 灰褐色土 (10YR6/2) Ⅱ-Ⅲ弱 ベンガラ、炭化物少量混入
 ② 灰褐色土 (10YR6/2) Ⅱ-Ⅲ弱

KP-215



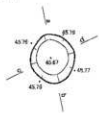
KP-215の土層
 ① 灰褐色土 (10YR6/2) Ⅱ-Ⅲ
 ② 濃い黄褐色土 (10YR4/3) N弱

KP-216



KP-216の土層
 ① 黄褐色土 (10YR5/3) Ⅱ+N
 ② 濃い黄褐色土 (10YR4/3) N弱

KP-217



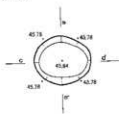
KP-217の土層
 ① 黄褐色土 (10YR6/2) Ⅱ-N

KP-218



KP-218の土層
 ① 黄褐色土 (10YR6/2) Ⅱ-N

KP-219



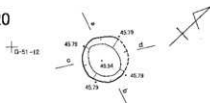
KP-219の土層
 ① 黄褐色土 (10YR6/2) Ⅱ-N



図III-25 土坑(24) - 213、215~219

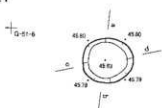
柏木川4遺跡(2)- A C地区 -

KP-220



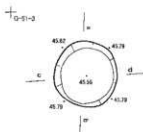
KP-220の土層
I 黒褐色土 (10YR2/3) III-V

KP-221



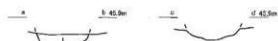
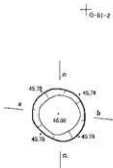
KP-221の土層
I 黒褐色土 (10YR2/3) III-V

KP-222



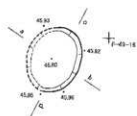
KP-222の土層
I 黒褐色土 (10YR2/3) III-V+VI 炭化粒少量

KP-223



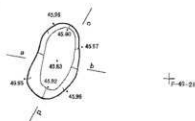
KP-223の土層
I 黒褐色土 (10YR2/3) III-V

KP-224



KP-224の土層
I 黒褐色土 (10YR2/3) III-V

KP-225

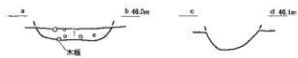
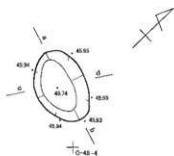


KP-225の土層
I 黒褐色土 (10YR2/3) III-V



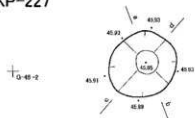
図III-26 土坑(25) - 220-225

KP-226



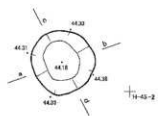
KP-226の土層
1 黒褐色土 (10YR2/3) Ⅱ+Ⅲ

KP-227



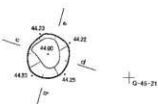
KP-227の土層
1 赤褐色土 (10YR2/3) Ⅱ+Ⅲ

KP-228



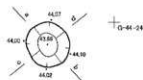
KP-228の土層
1 黒色土 (10YR3/1) Ⅱ>Ⅴ KwP層を含む
2 褐色土 (10YR3/4) V>Ⅲ

KP-229



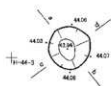
KP-229の土層
1 黒色土 (10YR3/1) Ⅱ ブロック状のVを埋め含む
2 褐色土 (10YR3/4) V>Ⅱ 崩壊か?

KP-230



KP-230の土層
1 赤褐色土 (10YR1.5/1) Ⅱ
2 褐色土 (10YR3/4) V>Ⅲ

KP-231

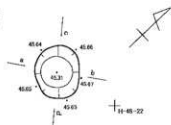


KP-231の土層
1 黒褐色土 (10YR2/1) Ⅱ>Ⅴ
2 褐色土 (10YR3/4) V>Ⅱ

0 1m

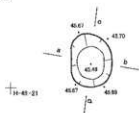
図III-27 土坑(26) - 226-231

KP-237



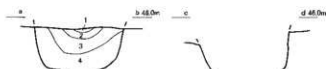
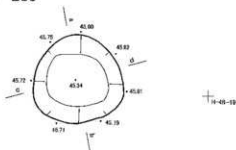
- KP-237の土層
 1 黒色土 (10YR2/1) Ⅱ>Ⅲ
 2 黒褐色土 (10YR2/3) Ⅱ>Ⅲ-V
 3 褐色土 (10YR4/4) V面高

KP-238



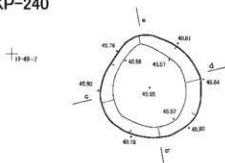
- KP-238の土層
 1 黒色土 (10YR2/1) Ⅱ

KP-239



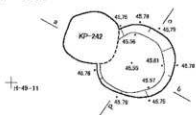
- KP-239の土層
 1 暗褐色土 (10YR5/3) Ⅱ>Ⅲ
 2 灰色~黄褐色土 (10YR6/3) Ⅱ+Ⅲ 周辺+縁の面上に上り
 3 棕色土 (10YR2/4) Ⅱ
 4 暗褐色土 (10YR5/4) Ⅱ>Ⅲ>Ⅱ

KP-240



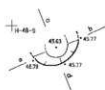
- KP-240の土層
 1 灰褐色土 (10YR2/2) Ⅱ>Ⅲ
 2 暗褐色土 (10YR5/3) Ⅱ>Ⅲ>Ⅲ
 3 暗褐色土 (10YR5/4) Ⅱ>Ⅲ+Ⅳ
 4 褐色土 (10YR4/4) Ⅱ面高

KP-241



- KP-241の土層
 1 暗褐色土 (10YR5/3) Ⅱ+Ⅳ>Ⅲ

KP-243

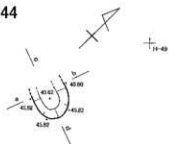


- KP-243の土層
 1 黒色土 (10YR2/1) Ⅱ



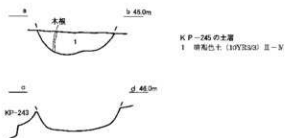
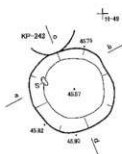
図Ⅲ-28 土壌(27) - 237~241、243

KP-244



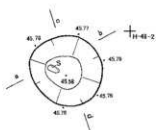
KP-244の土層
1 暗褐色土 (10YR5/3) Ⅱ>Ⅲ 竹片

KP-245



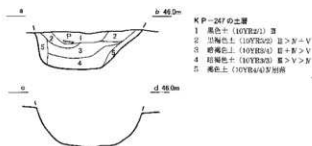
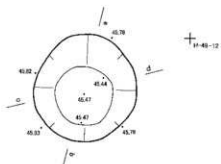
KP-245の土層
1 暗褐色土 (10YR5/3) Ⅱ-V

KP-246



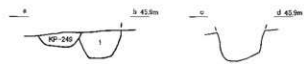
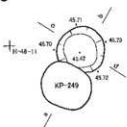
KP-246の土層
1 暗褐色土 (10YR5/3) Ⅱ+Ⅲ

KP-247



KP-247の土層
1 黒色土 (10YR2/1) Ⅲ
2 黒褐色土 (10YR2/2) Ⅲ>Ⅲ+Ⅳ
3 暗褐色土 (10YR3/3) Ⅲ+Ⅳ>Ⅳ
4 暗褐色土 (10YR3/3) Ⅲ+Ⅳ>Ⅳ
5 褐色土 (10YR4/4) Ⅳ相層

KP-248

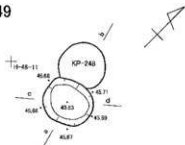


KP-248の土層
1 褐色土 (10YR3/1) Ⅲ相 竹片含む



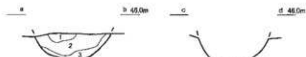
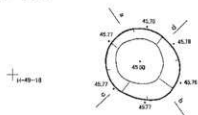
図III - 29 土坑(28) - 244-248

KP-249



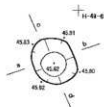
KP-249の土層
1 褐色土 (10YR2/1) Ⅲ層

KP-251



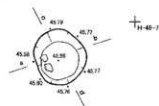
KP-251の土層
1 褐色土 (10YR4/6) Ⅲ+Ⅳ
2 黄褐色土 (10YR3/6) Ⅲ+Ⅳ>Ⅴ
3 褐色土 (10YR4/4) Ⅴ+Ⅴ>Ⅵ

KP-252



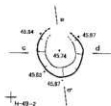
KP-252の土層
1 褐色土 (10YR2/1) Ⅲ

KP-253



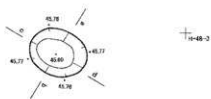
KP-253の土層
1 黄褐色土 (10YR3/3) Ⅲ>Ⅳ 炭化物あり

KP-254



KP-254の土層
1 褐色土 (10YR3/1) Ⅲ>Ⅳ

KP-255

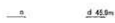
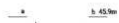
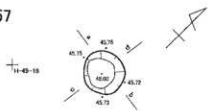


KP-255の土層
1 黄褐色土 (10YR3/3) Ⅲ>Ⅳ
2 褐色土 (10YR3/3) Ⅲ層底
3 褐色土 (10YR3/4) Ⅴ+Ⅴ層底



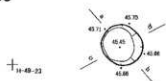
図Ⅲ-30 土壌(29) - 249、251~255

KP-257



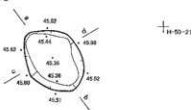
KP-257の土層
1 赤褐色土 (10YR5/2) III>IV

KP-258



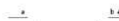
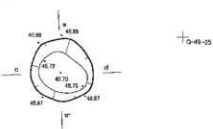
KP-258の土層
1 赤褐色土 (10YR5/2) III>IV

KP-259



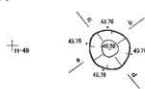
KP-259の土層
1 黒色土 (10YR2/1) III>IV

KP-260



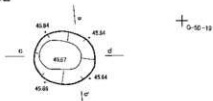
KP-260の土層
1 黒色土 (10YR3/1) III
2 砂褐色土 (10YR3/4) III>IV

KP-261



KP-261の土層
1 赤色土 (10YR2/1) III>IV

KP-262

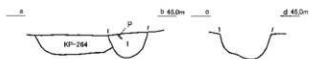
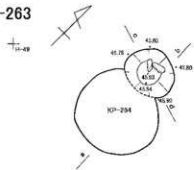


KP-262の土層
1 赤褐色土 (10YR3/2) III>IV
2 褐色土 (10YR3/4) IV>V
3 暗褐色土 (10YR3/4) III>IV



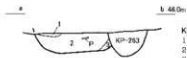
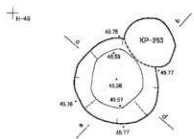
図Ⅲ-31 土坑(30) - 257-262

KP-263



KP-263の土層
1 粘褐色土 (10YR2/6) III-V

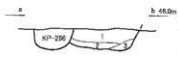
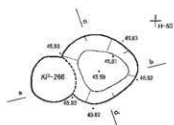
KP-264



KP-264の土層
1 赤褐色土 (3YR5/6) 表上
2 粘褐色土 (10YR2/6) III-V-V
3 暗褐色土 (10YR3/4) III-V



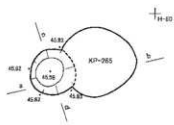
KP-265



KP-265の土層
1 褐色土 (10YR3/6) III-V
2 粘褐色土 (10YR2/6) III-V-V
3 褐色土 (10YR3/4) III-V-V

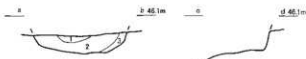
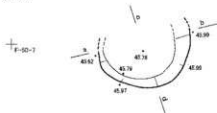


KP-266



KP-266の土層
1 褐色土 (10YR3/6) III
2 粘褐色土 (10YR3/4) III-V 炭化物あり

KP-267

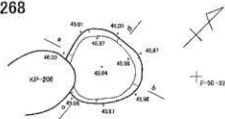


KP-267の土層
1 褐色土 (10YR3/6) III-V
2 粘褐色土 (10YR2/6) III-V-V
3 褐色土 (10YR4/4) III-V-V



図III-32 土壌(31) - 263-267

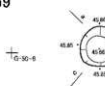
KP-268



KP-268の土層

- 1 赤褐色土 (10YR2/2) Ⅱ>Ⅲ+Ⅴ
- 2 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅲ>Ⅳ+Ⅴ
- 3 暗褐色土 (10YR3/3) Ⅲ+Ⅳ>Ⅴ
- 4 褐色土 (10YR4/4) Ⅲ | Ⅴ>Ⅳ

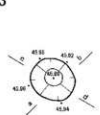
KP-269



KP-269の土層

- 1 出灰色土 (10YR8/1) Ⅲ
- 2 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅲ>Ⅳ

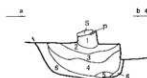
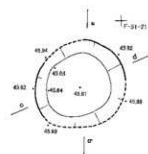
KP-273



KP-273の土層

- 1 褐色土 (10YR2/2) Ⅲ沖形
- 2 褐色土 (10YR4/4) Ⅴ弱層
- 3 暗褐色土 (10YR3/3) Ⅲ+Ⅴ

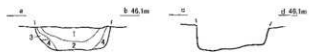
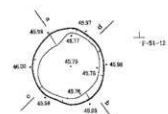
KP-274



KP-274の土層

- 1 褐色土 (10YR2/1) Ⅲ
- 2 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅲ沖形
- 3 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅲ>Ⅴ
- 4 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅲ | Ⅴ>Ⅲ
- 5 暗褐色土 (10YR3/3) Ⅲ>Ⅳ
- 6 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅲ+Ⅴ沖形

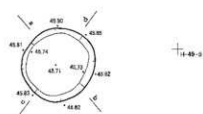
KP-275



KP-275の土層

- 1 褐色土 (10YR2/1) Ⅲ
- 2 暗褐色土 (10YR3/3) Ⅲ>Ⅳ | Ⅴ
- 3 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅲ | Ⅳ>Ⅴ
- 4 褐色土 (10YR4/3) Ⅲ-Ⅴ

KP-276



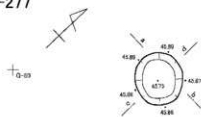
KP-276の土層

- 1 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅲ+Ⅳ



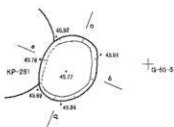
図Ⅲ-33 土壇(32) - 268、269、273-276

KP-277



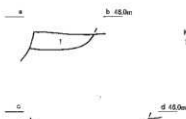
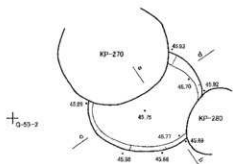
KP-277の土層
 1 礫層上(10YR3/4) Ⅱ>Ⅲ 礫化程度あり
 2 礫土(10YR4/6) Ⅲ I V

KP-280



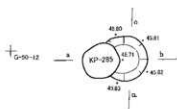
KP-280の土層
 1 礫層上(10YR3/3) Ⅲ-N>V

KP-281



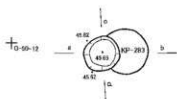
KP-281の土層
 1 礫層上(10YR3/4) Ⅲ-N>V

KP-283



KP-283の土層
 1 礫層上(10YR2/2) Ⅲ>Ⅳ+V

KP-285

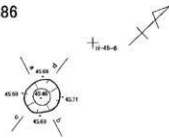


KP-285の土層
 1 礫層上(10YR1/1) Ⅲ>Ⅳ



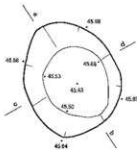
図Ⅲ-34 土坑(33) - 277、280、281、283、285

KP-286



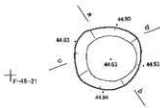
KP-286の土層
1 黒色土 (10YR11/2) III>V

KP-287



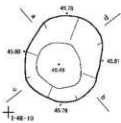
KP-287の土層
1 黒色土 (10YR2/1) III
2 暗褐色土 (10YR5/4) III>V>VI 貯蔵物あり

KP-288



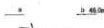
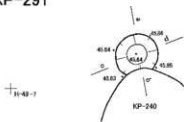
KP-288の土層
1 暗褐色土 (10YR5/2) III-V

KP-290



KP-290の土層
1 白色土 (10YR2/1) III
2 暗褐色土 (10YR5/2) III-V
3 褐色土 (10YR5/6) IV 貯蔵
4 褐色土 (10YR5/4) III>IV

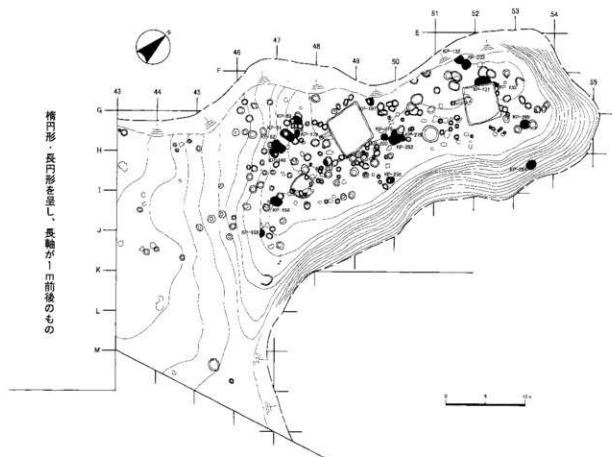
KP-291



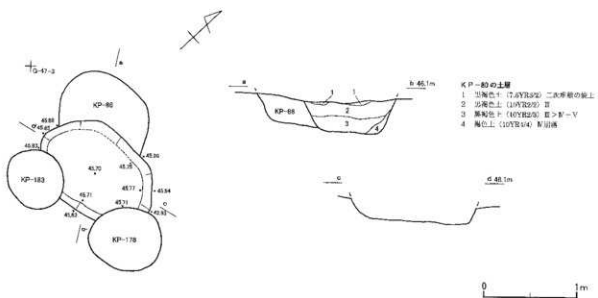
KP-291の土層
1 暗褐色土 (10YR5/2) III-V>VI



図III-35 土壌(34) - 286~288、290、291

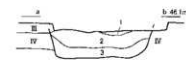
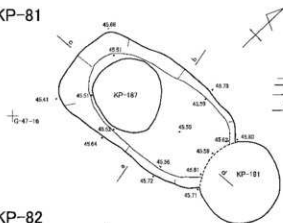


KP-80



図Ⅲ-36 土層(35) - 80

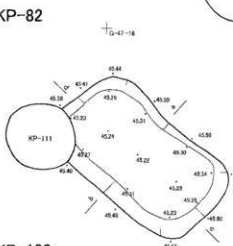
KP-81



KP-81の土層
 1 黄褐色土 (10YR2.5/2) 水曜層の底土
 2 黄褐色土 (10YR2.5/2) Ⅱ
 3 土褐色土 (10YR2.5/3) Ⅲ-V



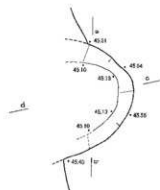
KP-82



KP-82の土層
 1 当地面上 (7.5YR3/2) 水曜層の底土
 2 土褐色土 (10YR2.5/3) Ⅱ
 3 黄褐色土 (10YR2.5/2) Ⅲ
 4 黄褐色土 (10YR2.5/2) Ⅳ-V



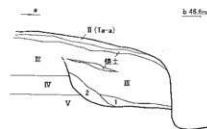
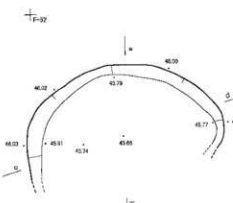
KP-103



KP-103の土層
 1 土褐色土 (10YR2.5/3) Ⅲ>Ⅳ-V
 2 土褐色土 (10YR2.5/3) Ⅲ-V



KP-131

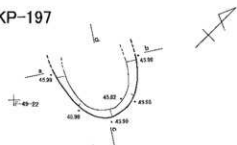


KP-131の土層
 1 土褐色土 (10YR2.5/3) Ⅲ>Ⅳ-V
 2 褐色土 (10YR4/6) Ⅲ留層



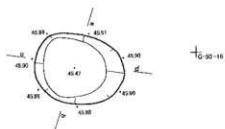
図III-37 土層(36) - 81、82、103、131

KP-197



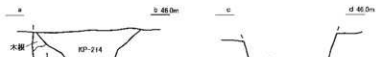
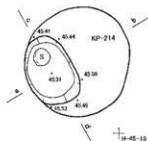
- KP-197の土層
 1 赤褐色土 (10YR2/2) Ⅱ>Ⅲ
 2 暗褐色土 (10YR2/3) Ⅱ-N>V

KP-200



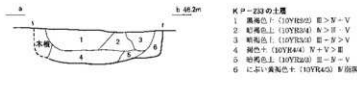
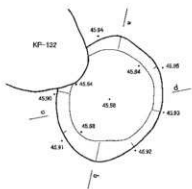
- KP-200の土層
 1 赤褐色土 (10YR1/7) Ⅱ-N>V
 2 暗褐色土 (10YR2/4) Ⅱ-N 底面

KP-232



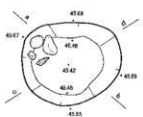
- KP-232の土層
 1 赤褐色土 (10YR2/5) Ⅱ-N

KP-233



- KP-233の土層
 1 黄褐色土 (10YR3/2) Ⅱ>Ⅲ-V
 2 暗褐色土 (10YR2/4) Ⅱ>Ⅲ-V
 3 赤褐色土 (10YR2/3) Ⅱ-N>V
 4 褐色土 (10YR4/4) Ⅲ-V>Ⅱ
 5 暗褐色土 (10YR2/3) Ⅱ-N-V
 6 に近い黄褐色土 (10YR4/2) Ⅲ/Ⅱ底面

KP-256

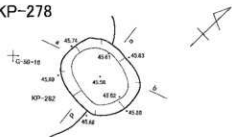


- KP-256の土層
 1 褐色土 (10YR2/7) Ⅱ>Ⅲ



図Ⅲ-39 土坑(39) - 197、200、232、233、256

KP-278



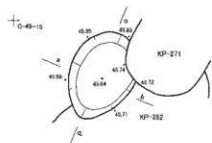
a b 48.0m c d 48.0m



KP-278の土層

- 1 褐色土 (10YR2/1) Ⅱ
- 2 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅱ少砂
- 3 深褐色土 (10YR2/2) Ⅱ多砂
- 4 褐色土 (10YR3/6) Ⅱ-V 附腐
- 5 褐色土 (10YR3/6) Ⅱ附腐
- 6 1:多い黄褐色土 (10YR4/3) Ⅱ-V少Ⅱ

KP-279



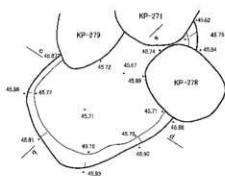
a b 48.0m c d 48.0m



KP-279の土層

- 1 褐色土 (10YR2/1) Ⅱ+Ⅲ
- 2 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅱ多Ⅱ

KP-282



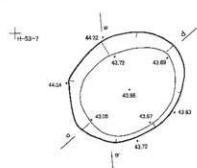
a b 48.0m c d 48.0m



KP-282の土層

- 1 褐色土 (10YR2/1) Ⅱ
- 2 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅱ-V附腐
- 3 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅱ多Ⅱ

KP-284



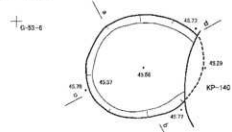
a b 44.3m c d 44.3m



KP-284の土層

- 1 褐色土 (10YR1/1) Ⅱ多Ⅲ
- 2 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅱ多Ⅲ
- 3 暗褐色土 (10YR2/2) Ⅱ多Ⅲ
- 4 暗褐色土 (10YR3/2) Ⅱ多Ⅲ
- 5 褐色土 (10YR3/6) Ⅱ附腐
- 6 暗褐色土 (10YR3/4) Ⅱ多Ⅲ

KP-289



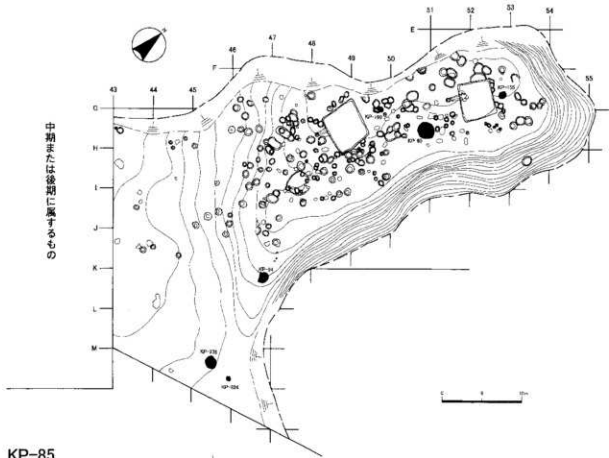
a b 48.0m c d 48.0m



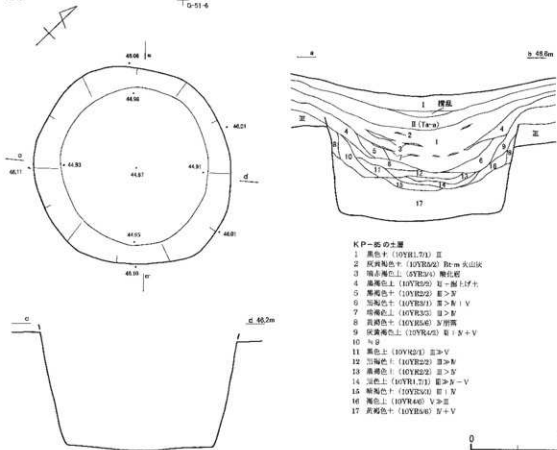
KP-289の土層

- 1 暗褐色土 (10YR3/2) Ⅱ多Ⅲ
- 2 褐色土 (10YR3/6) Ⅱ多Ⅲ
- 3 褐色土 (10YR3/6) Ⅱ附腐
- 4 暗褐色土 (10YR3/2) Ⅱ多Ⅲ

図Ⅲ-40 土層(39) - 278、279、282、284、289



KP-85

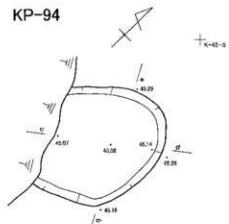


KP-85の土層

- 1 黒色土 (10YR1.7/1) Ⅱ
- 2 灰褐色土 (10YR2.2) 散m 火山灰
- 3 褐色土上 (5YR2/4) 燻土層
- 4 黒褐色土 (10YR2.5) Ⅱ-Ⅲ 燻土層
- 5 褐色土 (10YR2.2) Ⅱ>Ⅲ
- 6 黒褐色土 (10YR2.1) Ⅱ>Ⅲ | V
- 7 暗褐色土 (10YR3.2) Ⅱ>Ⅲ
- 8 黄褐色土 (10YR5.6) Ⅲ層露
- 9 灰黄褐色土 (10YR4.2) Ⅱ | Ⅲ+Ⅳ
- 10 Ⅳ層
- 11 黒色土 (10YR2.1) Ⅱ>Ⅳ
- 12 暗褐色土 (10YR2.2) Ⅱ>Ⅲ
- 13 黒褐色土 (10YR2.2) Ⅱ>Ⅳ
- 14 灰色土 (10YR1.7/1) Ⅱ>Ⅲ+Ⅳ
- 15 褐色土 (10YR2.2) Ⅱ | Ⅲ
- 16 褐色土 (10YR4.6) Ⅳ>Ⅴ
- 17 灰褐色土 (10YR5.6) Ⅲ+Ⅳ

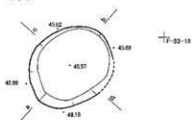
図III-41 土坑(40) - 85

KP-94



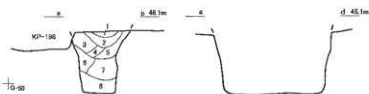
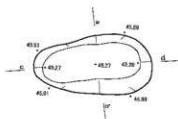
KP-94の土層
1 黒褐色土 (10YR5/2) Ⅱ>Ⅴ

KP-155



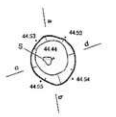
KP-155の土層
1 黒褐色土 (10YR5/2) Ⅱ-Ⅲ
2 褐色土 (10YR4/4) Ⅴ+Ⅵ-Ⅷ

KP-199



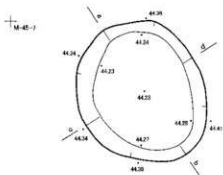
KP-199の土層
1 粘褐色土 (7.5YR5/4) 粘土、骨片含む
2 赤褐色土 (10YR5/2) Ⅱ>Ⅴ
3 黒褐色土 (10YR3/2) Ⅱ、Ⅴ+Ⅵ
4 黒褐色土 (10YR3/2) Ⅱ+Ⅲ>Ⅴ やわらかい
5 粘褐色土 (10YR5/2) Ⅱ-Ⅲ
6 粘褐色土 (10YR3/3) Ⅱ+Ⅲ+Ⅴ かなり
7 褐色土 (10YR4/4) Ⅴ>Ⅵ-Ⅶ
8 褐色土 (10YR4/4) Ⅴ>Ⅵ-Ⅶ やわらかい

KP-234



KP-234の土層
1 褐色土 (10YR5/1) Ⅱ
2 褐色土 (10YR5/4) Ⅲ

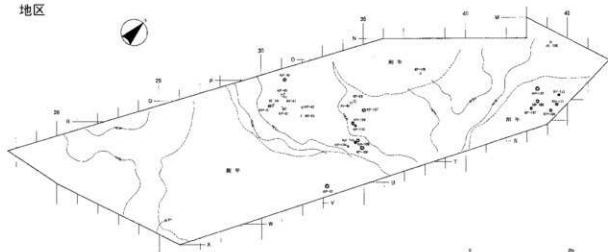
KP-236



KP-236の土層
1 褐色土 (10YR1/1) Ⅱ Ⅱa中層部含む
2 粘褐色土 (10YR3/4) Ⅲ>Ⅳ Ⅱa中層部含む

図Ⅲ-42 土壌(41) -94、155、199、234、236

地区



KP-79

↑ Q-33-7



KP-79の土層

- 1 赤色土 (10YR5/1) III>IV 灰土少量含む
- 2 黒褐色土 (10YR3/4) III-V 灰土少量含む
- 3 黒褐色土 (10YR3/4) III-V
- 4 赤褐色土 (10YR5/6) III>IV Knp 燧石点石

KP-87

↑ U-23

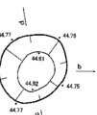


KP-87の土層

- 1 赤色土 (2.5Y2/1) III
- 2 黒オリーブ土 (2.5Y2/3) IIIa多く含む

KP-88

↑ Q-31-21



KP-88の土層

- 1 黒褐色土 (2.5Y2/1) III>IV 灰土少量含む
- 2 赤褐色土 (2.5Y2/2) III-V 灰土少量含む
- 3 黒オリーブ褐色土 (2.5Y2/3) III VブロックのV含む
- 4 オリーブ褐色土 (2.5Y2/3) V>III

KP-104

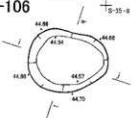


KP-104の土層

- 1 赤色土 (10YR1/1) III>IV 灰土少量含む
- 2 赤褐色土 (10YR2/2) III-V
- 3 に赤い赤褐色土 (10YR4/2) V>IV
- 4 褐色土 (10YR4/4) V>III

KP-106

↑ Q-34-12 ↑ Q-35-9



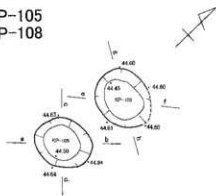
KP-106の土層

- 1 黒色土 (10YR1/2) III
- 2 に赤い黒褐色土 (10YR4/2) III+V
- 3 赤褐色土 (10YR3/1) III>IV
- 4 に赤い赤褐色土 (10YR4/2) V>IV



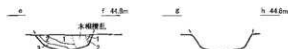
図III-43 土壇(42) - 79、87、88、104、106

KP-105
KP-108



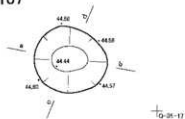
- KP-105の土層
1 褐色土 (10YR1.7/1) Ⅲ
2 褐色土 (10YR3/3) Ⅲ+Ⅱ

+G-33



- KP-108の土層
1 褐色土 (10YR1.7/1) Ⅲ
2 褐色土 (10YR3/3) Ⅲ+V Ea-P 炭屑含む
3 褐色土 (10YR4/3) V>Ⅲ

KP-107

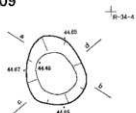


+G-26-17



- KP-107の土層
1 褐色土 (10YR1.7/1) Ⅲ
2 褐色土 (10YR2/2) Ⅲ+V
3 黄褐色土 (10YR5/6) V>Ⅲ

KP-109

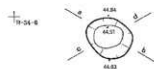


+G-34-4



- KP-109の土層
1 褐色土 (10YR1.7/1) Ⅲ
2 褐色土 (10YR2/2) Ⅲ+V Vはマーブル状
3 黄褐色土 (10YR5/6) N+V Vはマーブル状

KP-110

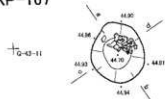


+G-34-6



- KP-110の土層
1 褐色土 (10YR1.7/1) Ⅲ
2 褐色土 (10YR2/1) Ⅲ+Ⅱ Vはマーブル状 KcP ごく微量含む
3 褐色土 (10YR4/3) V>Ⅲ

KP-167

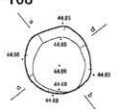


+G-43-11



- KP-167の土層
1 褐色土 (10YR2/1) Ⅲ Vはブロック状に入る KcP 微量含む
2 褐色土 (10YR2/2) Ⅲ+V Ea-P

KP-168



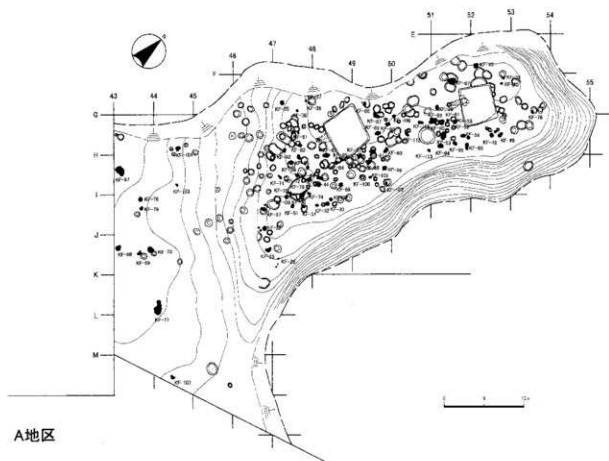
+G-43-9



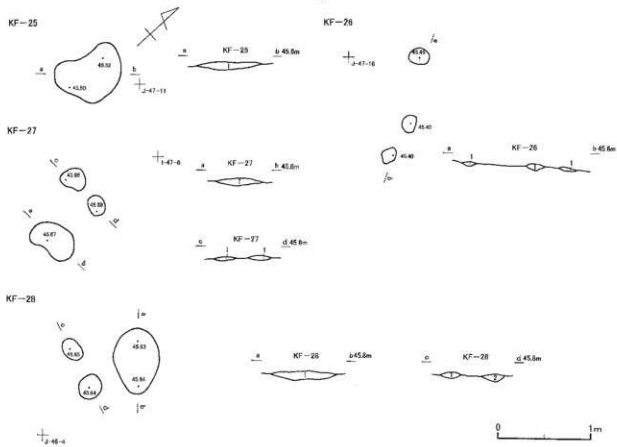
- KP-168の土層
1 褐色土 (10YR2/1) Ⅲ+V Ea-P 微量含む
2 褐色土 (10YR2/2) Ⅲ+V Ea-P



図Ⅲ-44 土壌(43) - 105、107~110、167、168



A地区



図Ⅲ-46 焼土(1)

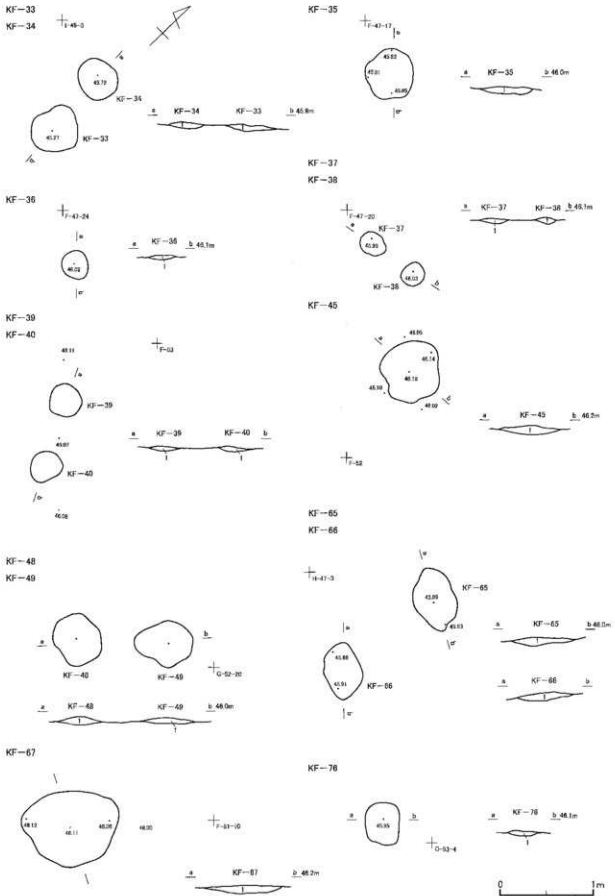
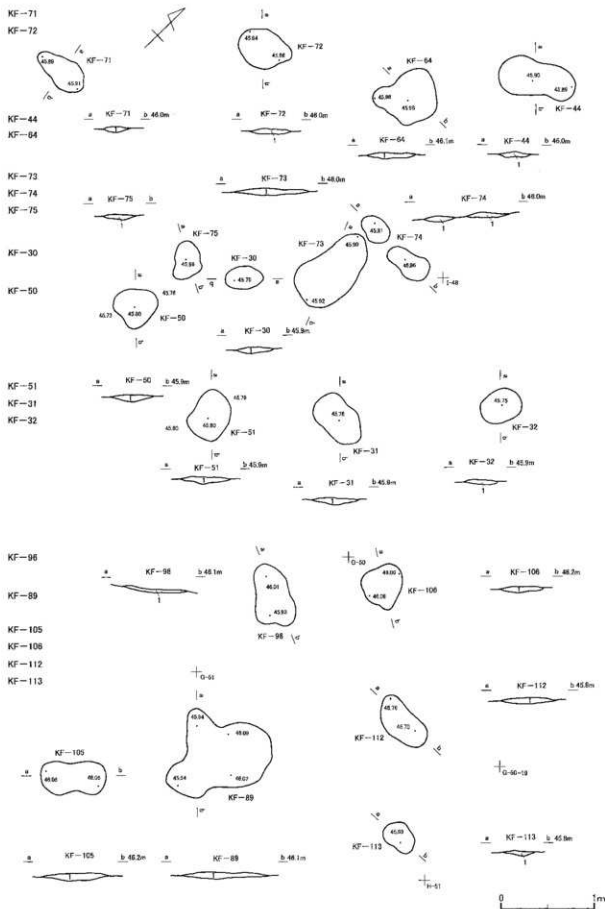


図 III - 47 焼土(2)

柏木川4遺跡(2)- A C地区 -



図Ⅲ-48 焼土(3)

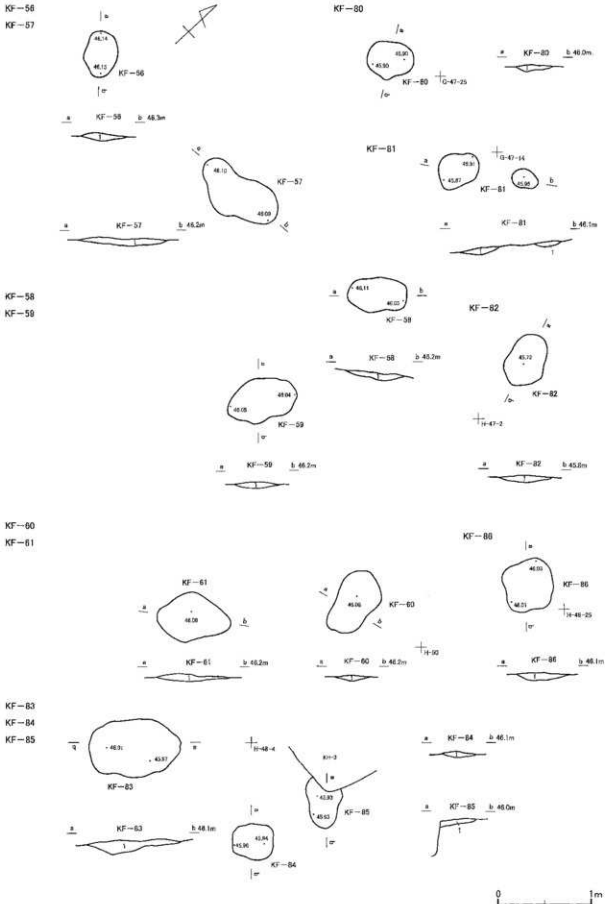


図 III - 49 焼土(4)

柏木川4遺跡(2)- A C地区 -

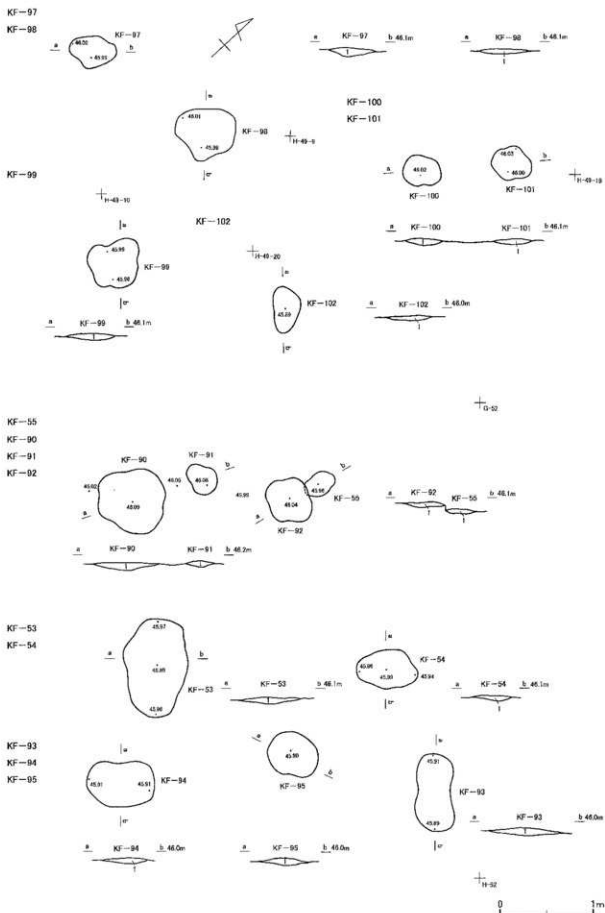


図 III - 50 焼土(5)

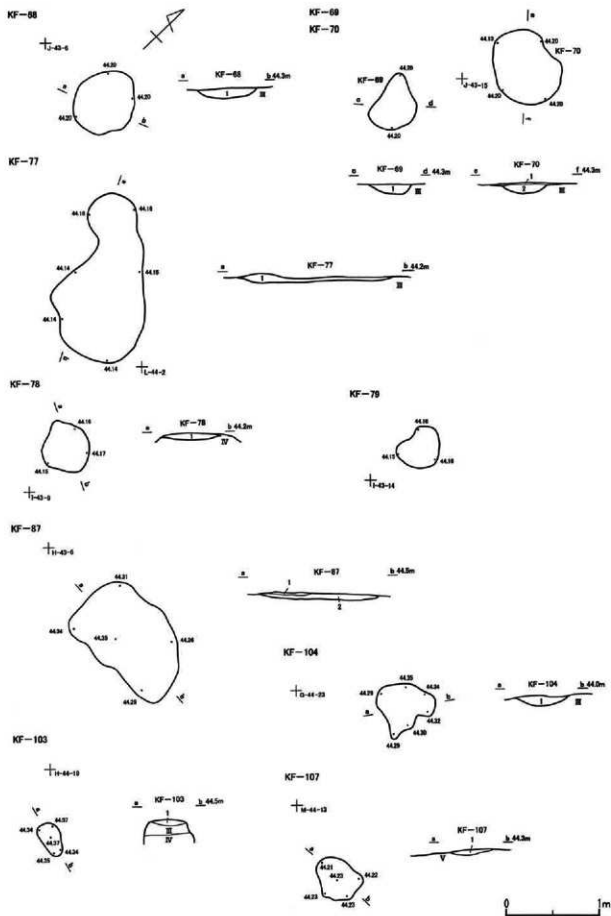
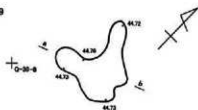


図 III - 51 焼土 (6)

柏木川4遺跡(2)-A・C地区-

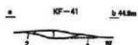
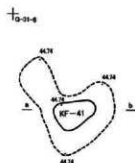
KF-29



KF-42



KF-41



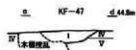
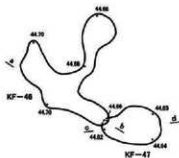
KF-43



C地区

KF-46

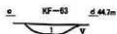
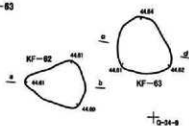
KF-47



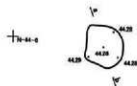
G-21

KF-82

KF-83



KF-108

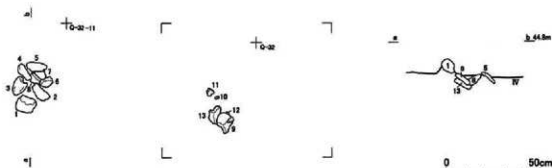


KF-109

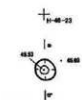


図 III - 52 焼土(7)

KS-3



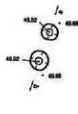
SP-2



SP-3



SP-4
SP-5



SP-2-5の土層
I 黒褐色土 (10YR5/2) II 赤褐色土



図Ⅲ-53 集石、柱穴状小ピット

(4) 集石

- 3 (図Ⅲ-53、図版69)

位置・立地：R-31 標高45.7m付近の削平面

規模：0.27 0.23 0.17m

平面形：楕円形

確認・調査：Ⅳ層上位で確認した。集石の中心から南東側にトレンチを入れ、土層観察を行ったが、明瞭な掘り込みは確認できなかった。14点の遺物を検出し、石器と認められるものは、砂岩製のくぼみ石1点と2点接合による安山岩製の扁平打製石器1点である。残りの11点は安山岩の礫であった。扁平打製石器と4点の礫が被熱していた。周囲の土には被熱した痕跡は認められなかった。

時期：遺構の出土遺物から、中期後半と考えられる。

(吉田)

(5) 柱穴状小ピット

- 2-5 (図Ⅲ-53、図版70)

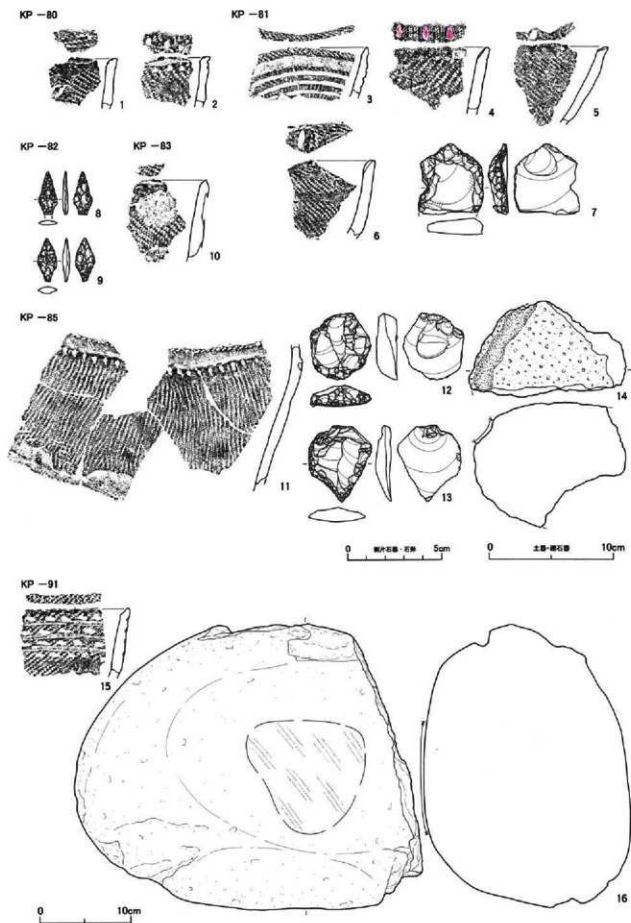
柱穴状の小ピットは4基検出した。調査区南西の平坦面から斜面への転換点付近にある。いずれも長径0.2m前後のもので、坑底部の断面が尖っていることから、杭状のものを打ち込んだと考えられる。周辺の遺構や遺物出土状況から、すべて縄文時代晩期後葉のものと考えられる。

(村田)

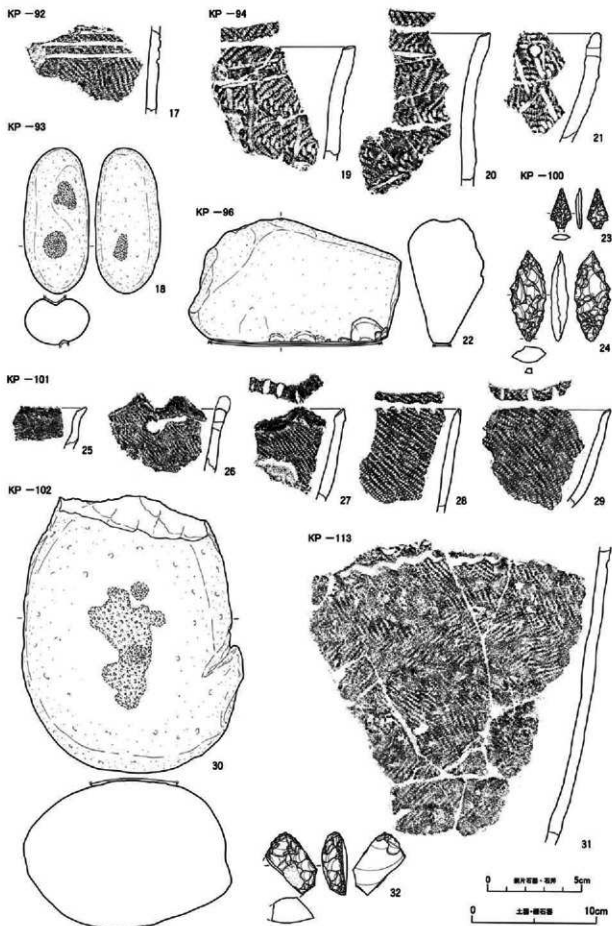
(6) 遺構出土の遺物(図Ⅲ-54~66 図版71~88)

出土遺物は遺構ごとに掲載した。特に記載がない限り、土器はV群c類、剥片石器の石質は黒曜石である。

1は口縁部直下がナデ調整で無文となるもの。4は口唇上から内面にかけて赤彩が施されている。7は急角度の刃部でノッチ状の決りを持つもの。8・9は石鏝。8はかえしが明瞭なもの。11は無文帯に縄線が見られる。12はエンドスクレイパー。13は尖頭部を持つもの。15の刺突は棒状工具による。17は横走る沈線をもつもの。18は砂岩製のたたき石。凹みが1カ所ある。19・20はⅢ群b類土器。口唇の断面は角型を呈し、内面は磨かれている。21は貫通孔をもつ突起部。22は断面三角形のすり石。把握部に粗い調整が加えられている。24は2カ所の機能部を持つ石錐。一方が断面三角形を呈し、回転錐と刺突錐と考えられる。27は折り返し気味の口縁部である。30は安山岩製の石皿。埋め戻し覆土の上面から出土した。31は表面を上にして出土した胴部破片。32は端部に急角度の加工が施されている。33は偏平礫の両面にたたき痕が見られる。35の無文帯は縄線によって区画されている。胴部がやや張り出し、緩い山形の突起が付き、貫通孔が見られる。36は口唇上面に1条の縄線が加えられる。38は口縁部に3条の縄線が施され、段を持つ。39の口唇上は太い棒状工具による圧痕が見られる。40は4つの小突起をもち、竹管状工具による刺突がある。41・42は石鏝。主剥離面を大きく残している。43は石製品に分類した。両面に微細な剥離が加えられている。45は覆土の中位から出土したもので、表裏に赤彩が施されている。46・47は同一個体。工字文が見られる。口唇上には棒状工具による刺突が加えられている。48は浅鉢の胴部破片で、裏側に刺突が加えられたボタン状の貼付が見られる。49・50はⅢ群b類の土器。50の無文帯の上下に縄線が見られる。51は砂岩製の砥石片で4面使用されている。52は浅鉢。口縁部になでによる調整が加えられている。53は浅鉢。底部はやや上げ底である。54は口唇上に3条の縄線が加えられる。55は緩い山形の突起部分で、内側に折り返して口縁部に厚みを持たせている。56は浅鉢形土器。2つの突起を持ち、口唇上と内面全体に縄文が施されている。58は横走る2条の沈線と棒状工具による斜めの刺突が施されている。59は貫通孔を持つ突起で磨耗が激しい。60は沈線の間は縄線の圧痕が施されている。61~63は石錐。61は頁岩製で機能部の摩滅が激しい。回転錐である。62・63は被熱している。63は3カ所の機能部を持つもの。64は縄文のみが施された深鉢。65は口縁部直下に、縄線圧痕で区画された無文帯をもつもの。67は内面に沈線で文様が描かれたもの。68は泥岩製の石斧の刃部。側面に敲打による調整痕が残っている。69は大洞C₂式相当の浅鉢。KP-152の墳底から出土した。70の胴部は緩やかに立ち上がり、いったん屈曲後、内湾気味に口縁部に続く。文様帯は二段に分かれ、棒状工具による刺突列で区画される。上段は沈線による渦巻文、下段は屈曲部を含み横走る縄線と沈線が施される。口唇部は刻み、縄線、燃系圧痕が加えられる。突起部から垂下する貼付があり、剥落部で、貼付前に爪形で調整された痕が見られる。KP-155扱いで掲載したが、KH-2掘上げ土、KF-88、包含層のF-52・53・54区、G-52区、H-48・53・54区や平成16年度調査区など、広範囲に接合関係が認められ、元はKH-2の位置にあった遺構または包含層の遺物と考えられる。71は5条の縄線文が見られる。72の突起は熊を模した動物意匠と考えられる。75は括弧文になると思われる。78は表面を上にして出土した胴部破片。79は安山岩製の石皿。すり痕とたたき痕が見られる。80はKP-167の覆土からままとって出土した。底部から緩やかに立ち上がり、頸部に段を持つ。口縁部には貫通孔をもつ2個一対の突起とその間に小突起がある。沈線には赤色顔料塗彩の痕跡が見られる。81は折り返し気味の口縁部である。82は口縁部に3条の縄線が廻るもの。83は底部。摩滅が激しい。84に隣接して出土した。84は双口土器。指頭によると思われる太い沈線で渦巻文を描き、その周囲を半截竹管状工具による刺突文で埋めている。口縁部にはそれ

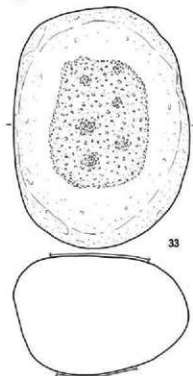


図III-54 土壌出土の遺物(1)



図Ⅲ - 55 土壌出土の遺物(2)

KP - 117



33

KP - 121



34

KP - 124



35

KP - 126

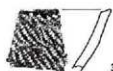


36

KP - 129



44



37

KP - 128



41

42

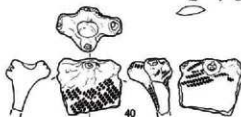
43



38

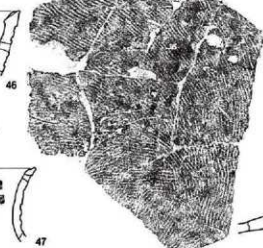


39



40

KP - 130



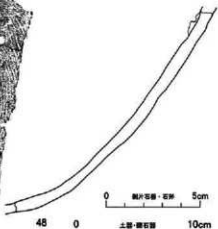
45



46



47



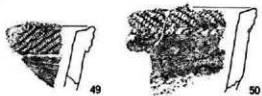
48

0 5cm

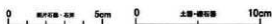
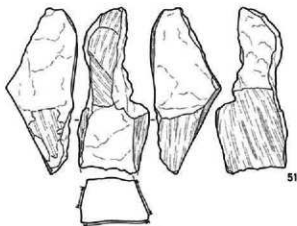
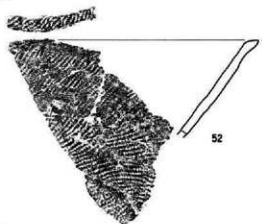
0 10cm

図III - 56 土壌出土の遺物(3)

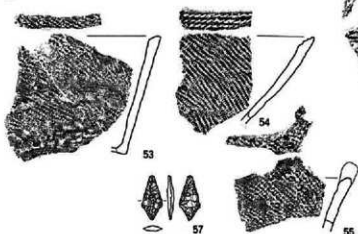
KP-131



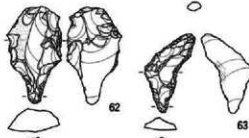
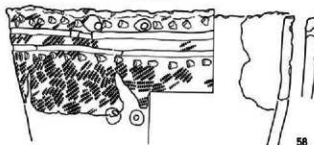
KP-135



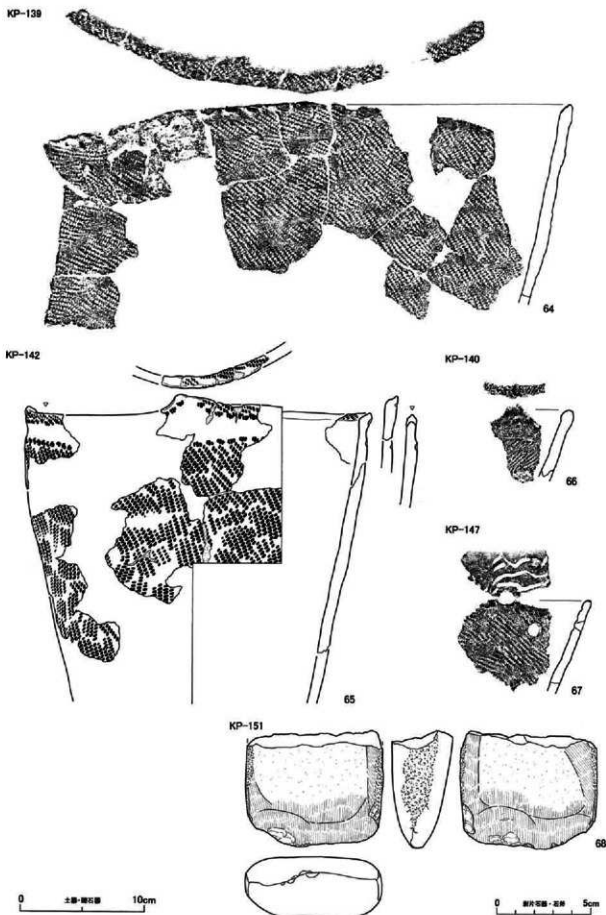
KP-138



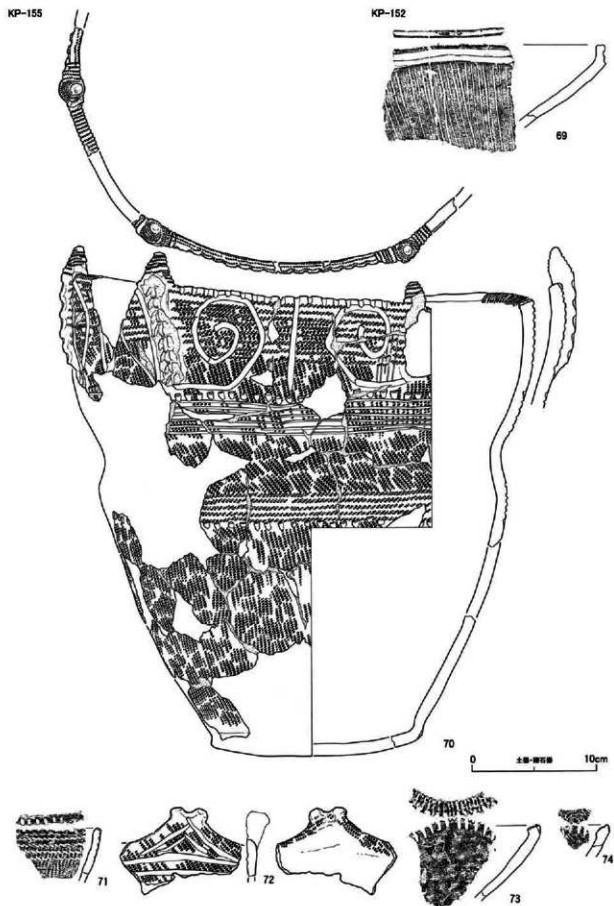
KP-139



図Ⅲ - 57 土壌出土の遺物(4)

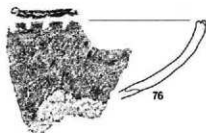


図III - 58 土壇出土の遺物(5)



図Ⅲ - 59 土壙出土の遺物(6)

KP-156



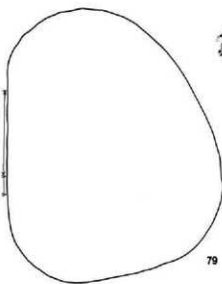
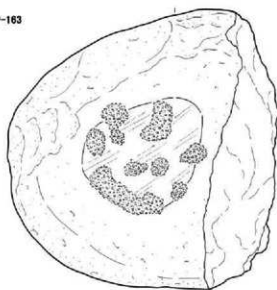
KP-162



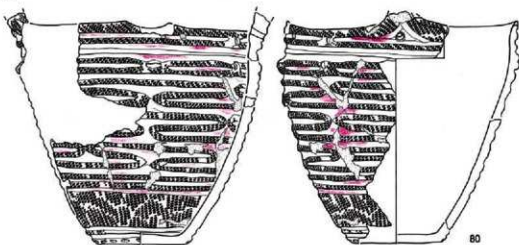
KP-176



KP-163



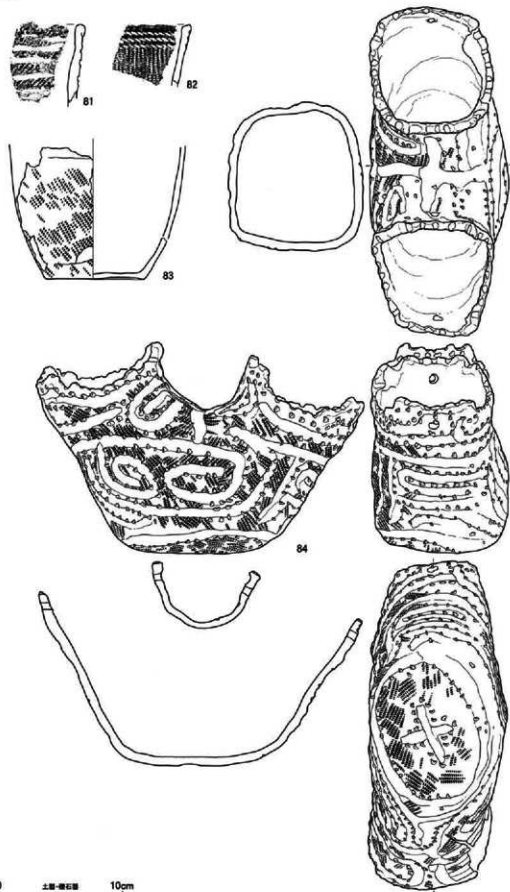
KP-167



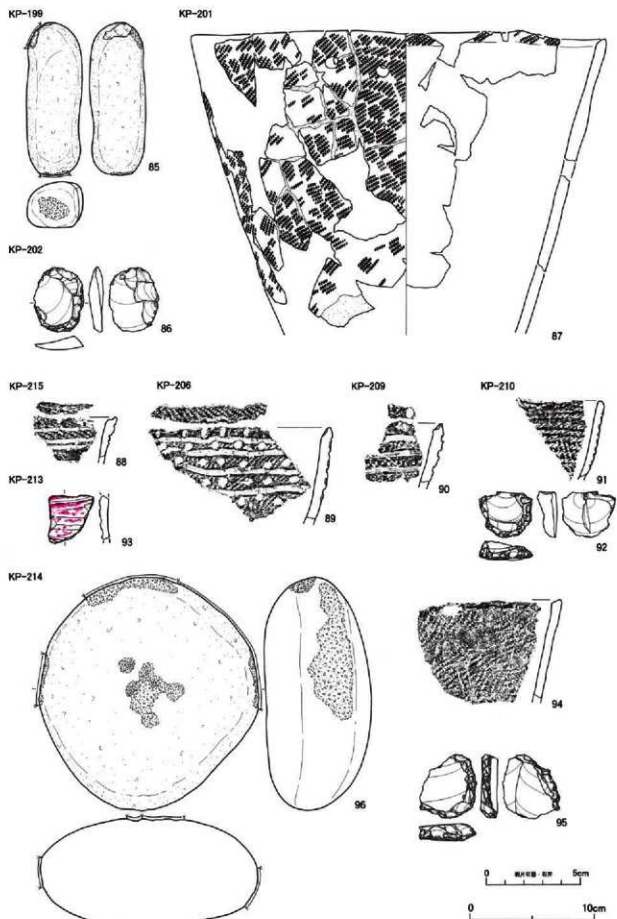
0 土器・石器部 10cm

図III - 60 土壙出土の遺物(7)

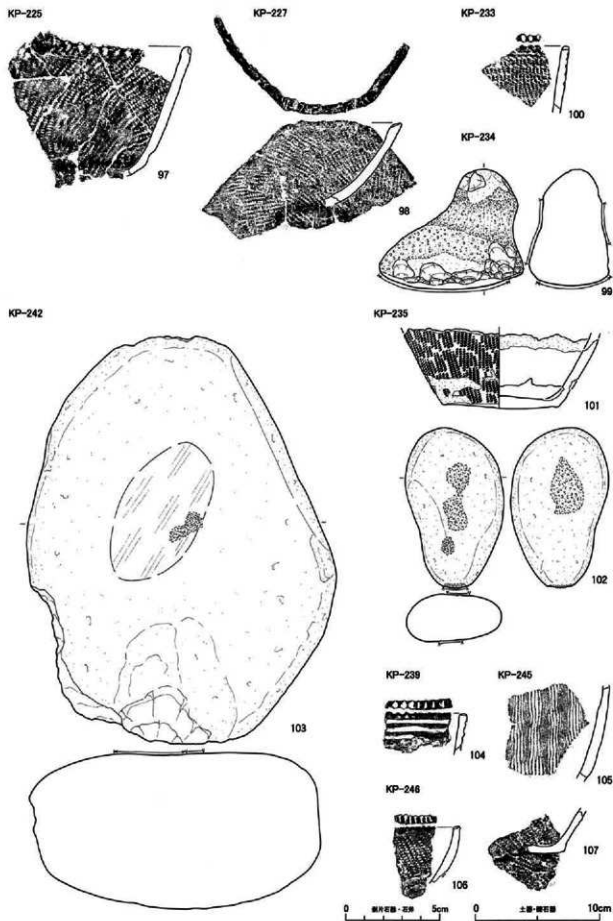
KP-166



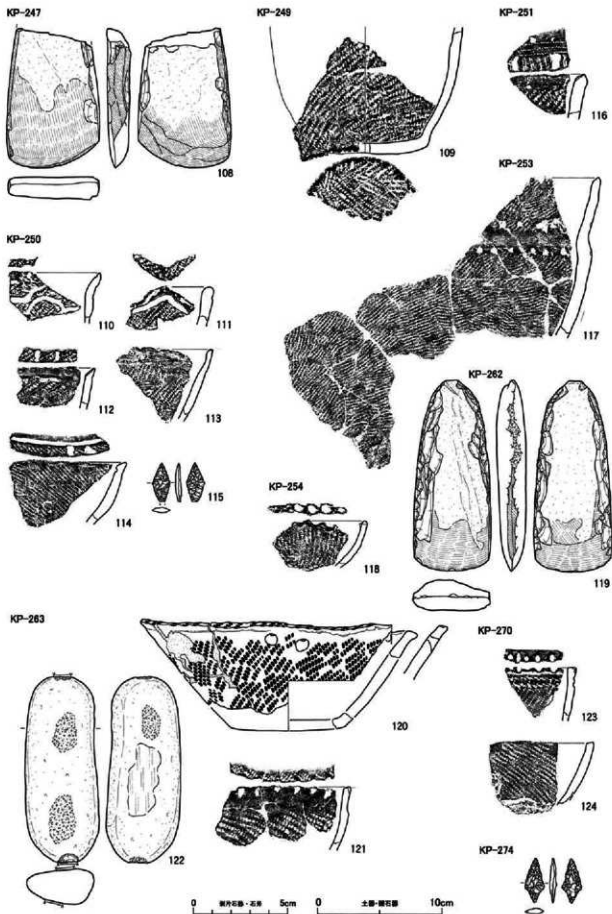
図Ⅲ - 61 土器出土の遺物(8)



図III - 62 土壇出土の遺物(9)

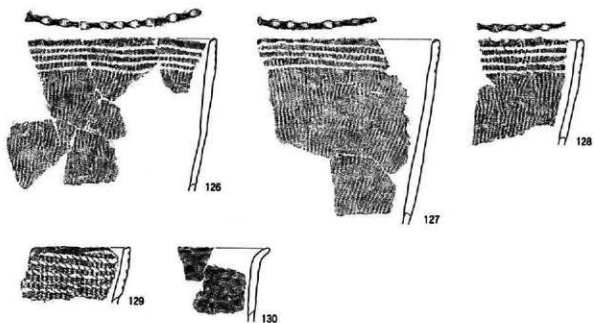


図Ⅲ-63 土壌出土の遺物(10)



図III - 64 土壇出土の遺物(11)

KP-271

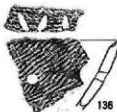
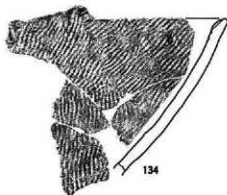
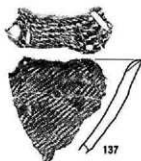


KP-272



図Ⅲ - 65 土壌出土の遺物(12)

KP-283



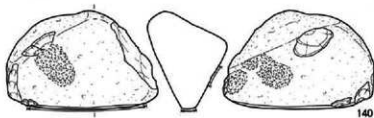
KP-285



KP-286



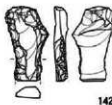
KP-289



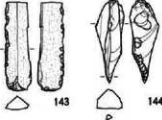
KF-67



KF-72



KF-83



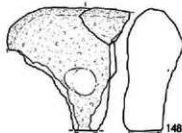
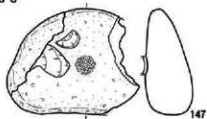
KF-88



KF-104



KS-3



0 5cm

0 10cm

図 III - 66 土壇出土の遺物(13)

それ2個一対の貫通孔がある。横倒しの状態で出土した。上を向いていた面(図上で右側に相当)は磨耗が激しく、ある程度の期間風雨に晒されていたと推定できる。85は棒状礫の端部にたたき痕を持つもの。86はエンドスクレイパー。87は縄文のみが施された深鉢。補修孔がある。88は口縁部に棒状工具による刺突が施される。89は沈線と刺突が施されたもの。90は沈線が横走するもの。91は細い縄線が数条廻るもの。92はエンドスクレイパー。93は赤彩が施されている。95は両面に急角度の刃部をもつ。96は礫の周囲にも敲打痕がみられる。97は口唇部に縄端圧痕で刻みが加えられている。98は縄文のみが施された浅鉢。小さな突起が2カ所見られる。99は安山岩製の北海道式石冠。ほぼ全面に敲打による調整が施されている。100は細い縄線が廻るもの。口唇上に棒状工具による刺突が加えられる。101は底部のみ出土した。上げ底気味である。102は砂岩製のたたき石で、偏平礫の両面と端部に敲打痕を持つもの。103は一部にたたき痕が見られる。104は角柱状工具で口唇上に刻みが加えられている。105はVI群土器の胴部破片。縄文が見られる。106は細い棒状工具による刻みがある。107は底部破片でやや張り出すもの。108は泥岩製の石斧。刃部の湾曲が偏っている。109は深鉢の底部破片。丸底気味である。112は口唇上に縄文が施され、さらに棒状工具による刻みが加えられる。116は口縁部の内面に3条の縄線と竹管状工具による刺突が施されている。117は胴部破片。縄端圧痕で区画された無文帯がある。119は片岩製の石斧。調整加工は打ち欠きと敲打によるもので、研磨による加工は刃部付近のみである。120は縄文のみが施された浅鉢。補修孔が見られる。121の口縁部は棒状工具による刻みが加えられ、口縁部直下はナデ調整による無文帯となる。122は砂岩製のたたき石で、棒状の偏平礫の両面にたたき痕と一部にすり痕が見られる。124の内面はよく磨かれている。126-129は縄線が施されるもの。130は無文の壘形土器の口縁部と思われる。131は縄文のみの深鉢。口唇上に棒状工具による刻みがある。133-137は同一個体。縄文のみの浅鉢。口唇上には数条の縄線や棒状工具による「ハ」の字状の刻みが施され、竹管状工具による刺突が加えられた小突起がある。140は断面が三角形を呈するすり石。持ち手の指の位置と思われる所に敲打による調整が施されている。142は被熱している。143は黒曜石製の棒状原石。141は144は機能部のみに調整が施されている。145は口唇上に1条の沈線がめぐる。147はくぼみ石。148は扁平打製石器。ともに被熱している。(村田)

表 III-1 縄文時代遺構規模一覧(1)

遺構名	地区	位置	規模(m)		深さ	平面形状	長軸方向	確認部	層土	床面・溝底	壁の立ち方	遺物出土状況	時期	備考	調査者	
			長	短												
			確認部/深さ	確認部/深さ												
野付町遺跡群(K1)																
K1-4	A	H4-47	2.90/2.64	2.81/2.67	0.22	楕円形	N-17-E	F層上面	重層土・砂 化物少量混在	平石	緩やか	鳥居の礎石から 土の層片	前期後半	円形(=1)あり	村田	
土境(穴沢)																
KP-79	C	G-30	0.96/0.30	0.52/0.33	0.13	円形	N-87-E	F層上面	重層土上の 砂土	平石	緩やか		前期後半		吉田	
KP-80	A	G-47	1.36/1.16	0.96/0.66	0.29	楕円形	N-87-E	F層上面		平石	緩やか		前期後半		村田	
KP-81	A	G-47	(0.77)/(1.56)	1.07/0.90	0.26	長方形	N-82-E	F層上面 の砂土		平石	緩やか		前期後半	KP-102(4)利用	村田	
KP-82	A	G41-46+47	1.84/1.60	1.00/0.85	0.23	楕円形	N-87-E	F層上面 の砂土		平石	緩やか		前期後半		村田	
KP-83	A	F-46	0.71/0.50	0.67/0.49	0.21	円形		F層上面		積状	緩やか		前期後半		村田	
KP-84	A	F-46	0.80/0.65	0.63/0.44	0.40	ほぼ円形	N-72-E	F層上面		積状	緩やか		前期後半		村田	
KP-85	A	G-50-51	2.07/1.56	2.06/1.67	0.95	円形		F層上面 の砂土	掘上げ土層線	平石	急		中期後半	大形土器	村田	
KP-86	A	G-47	(0.60)/(1.45)	0.94/0.62	0.30	ほぼ円形	N-57-W	F層上面		平石	緩やか		前期後半		吉田	
KP-87	C	U-33	0.81/0.56	0.76/0.59	0.26	円形	V層上面		下位埋戻し	積状	緩やか		前期後半	土層線の可能性あり	吉田	
KP-88	C	O4P-31	0.78/0.44	0.68/0.35	0.16	円形		F層上面		平石	緩やか		前期後半		吉田	
KP-89	A	H-46	0.59/0.40	0.58/0.40	0.17	円形		F層上面		平石	緩やか		前期後半		吉田	
KP-90	A	H-46	0.91/0.72	0.83/0.59	0.39	円形		F層上面		平石	緩やか		前期後半		村田	
KP-91	A	H4+46	0.96/0.60	0.87/0.64	0.70	円形		F層上面		平石	急	上位に石出		前期後半		村田
KP-92	A	I-46	0.99/0.52	0.85/0.52	0.66	円形		F層上面		平石	急		前期後半		村田	
KP-93	A	J-47	1.04/0.51	0.95/0.51	0.51	円形		F層上面		平石	急		前期後半		村田	
KP-94	A	K-46	(1.14)/(1.06)	1.23/1.07	0.29	楕円形	N-67-E	F層上面		積状	緩やか		中期後半		村田	
KP-95	A	H-46	0.63/0.40	0.54/0.35	0.43	円形		F層上面		積状	緩やか		前期後半		村田	
KP-96	A	H-46	0.55/0.33	0.48/0.33	0.32	円形		F層上面	埋戻し	積状	緩やか	確認すに石	前期後半		村田	
KP-97	A	H-46	0.63/0.32	0.51/0.34	0.30	円形		F層上面		積状	緩やか		前期後半		村田	
KP-98	A	H-46	0.62/0.31	0.59/0.32	0.45	円形		F層上面		積状	緩やか		前期後半		村田	
KP-99	A	H-46	0.82/0.56	0.79/0.60	0.38	円形		F層上面		積状	緩やか		前期後半		村田	
KP-100	A	F-50	1.52/1.34	1.31/1.07	0.51	楕円形	N-28-E	F層上面		平石	急		前期後半	土層線の可能性あり	村田	
KP-101	A	I-46	0.89/0.67	0.89/0.65	0.94	円形		F層上面		平石	急		前期後半		村田	
KP-102	A	H-46	0.88/0.58	0.81/0.53	0.44	円形		F層上面		平石	急	中に石あり	前期後半	土層線の可能性あり	村田	
KP-103	A	I-J-46	(0.83)/(0.47)	1.15/0.76	0.54	楕円形	N-34-E	F層上面		平石	急		前期後半		村田	
KP-104	C	S-34	0.55/0.25	0.53/0.21	0.16	円形		F層上面		積状	緩やか		前期後半		吉田	
KP-105	C	R4-34	0.61/0.30	0.59/0.37	0.19	円形		F層上面		積状	緩やか		前期後半		吉田	
KP-106	C	S-34-35	0.84/0.71	0.62/0.49	0.19	楕円形	N-47-E	F層上面		積状	緩やか		前期後半		吉田	
KP-107	C	Q-34-35	0.75/0.37	0.49/0.37	0.14	円形		V層上面	埋戻し	平石	緩やか		前期後半		吉田	
KP-108	C	R4-34	0.66/0.46	0.53/0.34	0.16	円形	N-87-W	F層上面	埋戻し	積状	緩やか		前期後半		吉田	
KP-109	C	R-34	0.75/0.48	0.61/0.49	0.29	楕円形	N-82-W	F層上面	埋戻し	平石	緩やか		前期後半		吉田	
KP-110	C	R-34	0.51/0.29	0.42/0.26	0.19	円形		F層上面	埋戻し	積状	緩やか		前期後半		吉田	
KP-111	A	G-46	(0.83)/(0.94)	0.67/0.33	0.33	円形		F層上面		積状	緩やか		前期後半		村田	
KP-112	A	G41-46	0.78/0.58	0.73/0.50	0.35	円形		F層上面		積状	緩やか		前期後半		村田	
KP-113	A	G-46	0.96/0.60	0.88/0.50	0.38	円形	N-71-W	F層上面		平石	急	上位に加工面 の礫石から 土の層片	前期後半	土層線	村田	
KP-114	A	G-46	1.03/0.72	1.00/0.71	0.47	円形		F層上面		平石	急		前期後半		村田	
KP-115	A	G-46	0.73/0.45	0.68/0.51	0.33	円形		F層上面		積状	緩やか		前期後半		村田	
KP-116	A	G-46	0.91/0.74	0.85/0.67	0.39	円形		F層上面		平石	急		前期後半		村田	
KP-117	A	F4Q-46	0.99/0.63	0.90/0.63	0.29	円形		F層上面		平石	急		前期後半		村田	
KP-118	A	I-46	0.80/0.21	0.67/0.43	0.43	円形		F層上面		凹凸あり	緩やか		前期後半		村田	
KP-119	A	I-46	0.56/0.41	0.54/0.40	0.25	円形		F層上面		積状	緩やか		前期後半		村田	
KP-120	A	I-46	0.45/0.37	0.43/0.34	0.21	円形		F層上面		積状	緩やか		前期後半		村田	
KP-121	A	I-47	0.94/0.72	0.83/0.67	0.33	円形		F層上面		平石	急		前期後半		村田	
KP-122	A	I-47	0.78/0.48	0.78/0.47	0.53	円形		F層上面		平石	急		前期後半		村田	
KP-123	A	I-J-46	0.69/0.47	0.63/0.51	0.29	円形		F層上面		平石	急		前期後半		村田	
KP-124	A	J-46	0.80/0.66	0.69/0.50	0.30	楕円形	N-74-E	F層上面		平石	急		前期後半		村田	
KP-125	A	J-44	0.89/0.47	0.56/0.37	0.30	ほぼ円形	N-81-W	F層上面	埋戻し	平石	緩やか		前期後半		吉田	
KP-126	A	F-47+48	1.06/0.77	0.89/0.56	0.30	楕円形	N-47-E	F層上面		平石	急		前期後半		吉田	
KP-127	A	J-43+44	0.62/0.39	0.59/0.35	0.23	円形		F層上面	埋戻し	平石	急		前期後半		吉田	
KP-128	A	F-53	(0.81)/(0.83)	0.99/0.85	0.29	楕円形	N-89-W	F層上面	埋戻し(レンガ 片を含む)	平石	急	Vと土層片、石 片、ブレイク とまよって出土	前期後半	土層線	村田	
KP-129	A	E-F-52	0.89/0.57	0.84/0.52	0.26	不整形		F層上面		凹凸あり	緩やか		前期後半		村田	
KP-130	A	E-F-52	1.20/1.05	0.92/0.78	0.79	楕円形	N-84-E	F層中	埋戻し(灰化 物を含む)	平石	急	口縁打いたV と土層片、赤土 土層	前期後半	土層線	村田	
KP-131	A	F-51+52	2.07/1.80	(1.88)/(0.97)	0.47	楕円形	N-27-E	F層上面	土上に礫土	積状	緩やか	KP-2で クワシ	前期後半		村田	
KP-132	A	E-51	(0.90)/(0.70)	1.02/0.73	0.46	楕円形	N-19-E	F層上面	中に礫土	積状	緩やか		前期後半		村田	
KP-133	A	F-52	0.96/0.74	(0.81)/(0.80)	0.29	楕円形	N-89-E	F層上面		平石	緩やか		前期後半		村田	
KP-134	A	F-52	(0.54)/(0.43)	(0.51)/(0.24)	0.26	-	-	KP-2層		積状	緩やか		前期後半		村田	
KP-135	A	F-52	0.54/0.43	(0.28)/(0.20)	0.33	-	-	KP-2層		積状	急		前期後半		村田	
KP-136															穴倉	
KP-137	A	J-43	0.81/0.51	0.72/0.41	0.20	円形		F層上面		平石	緩やか		前期後半		吉田	
KP-138	A	H4+47	0.59/0.46	0.51/0.36	0.19	円形		F層上面		積状	緩やか	上位にVと土層片	前期後半		村田	

表Ⅲ-1 縄文時代遺構規模一覧(2)

遺構名	地区	位置	規模(m)		深さ	平面形状	長軸方向	礎石部	土 質	床面・構築	壁の立ち上	遺物出土状況	時期	備 考	調査者
			長 期	短 期											
			礎石部/床面	礎石部/床面											
KP-133 A	I-47		0.76/0.70	0.70/0.67	0.47	円形	円周上	埴め戻し	平石	否	中位に土器片、石皿、土器片あり	鉄器時代	土壌層	村田	
KP-142 A	G-53		1.12/0.68	1.02/0.77	0.57	楕円形	N-66°-E	円周上	埴め戻し	平石	否	Vc土器片が散在	鉄器時代	土壌層	村田
KP-141 A	F-53		0.81/0.59	0.70/0.50	0.27	円形	円周上	埴め戻し	平石	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-142 A	F-53		0.83/0.61	0.75/0.49	0.27	楕円形	N-14°-W	円周上	平石	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-143 A	I-43		0.65/0.37	0.62/0.36	0.18	円形	円周上	埴め戻し	平石	綾やか		鉄器時代		吉田	
KP-144 A	H-47		0.81/0.72	0.87/0.71	0.29	円形	円周上	埴め戻し	平石	否		鉄器時代		村田	
KP-145 A	H-47		0.97/0.70	0.81/0.65	0.33	円形	円周上	埴め戻し	平石	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-148 A	H-47		0.62/0.42	0.61/0.48	0.24	円形	円周上	凹凹あり	綾やか			鉄器時代		村田	
KP-147 A	H-46+47		0.80/0.69	0.63/0.53	0.28	円形	円周上	平石	否			鉄器時代		村田	
KP-148 A	G+46+47		1.34/1.15	0.87/0.67	0.17	楕円形	N-59°-W	円周上	平石	綾やか		鉄器時代	KP-148Bと利用	村田	
KP-148 A	H-46+47		0.53/0.43	0.53/0.40	0.12	円形	KP-148Cトラン	円周上	平石	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-150 A	D-F-51		1.02/0.98	0.96/0.69	0.21	円形	円周上	平石	綾やか			鉄器時代		村田	
KP-151 A	D-F-51	(0.30)/0.23		1.01/0.81	0.43	長円	N-7°-E	円周上	平石	否	上位に土器、竈土器片が散在	鉄器時代	土壌層	村田	
KP-152 A	F-51		1.40/1.19	1.06/0.98	0.37	長円	N-7°-E	円周上	平石	否	礎石は大形、土器片の土器片	鉄器時代	土壌層	村田	
KP-153 A	I-46+47		1.45/1.15	1.07/0.91	0.27	楕円形	N-67°-E	円周上	平石	綾やか		鉄器時代		吉田	
KP-154 A	G-52		0.55/0.27	0.50/0.28	0.24	円形	円周上	平石	綾やか			鉄器時代		村田	
KP-155 A	F-52		0.94/0.80	0.75/0.56	0.33	楕円形	N-6°-E	円周上	平石	否		中位層に土器片あり	鉄器時代		村田
KP-158 A	G-52		0.86/0.44	0.74/0.30	0.38	楕円形	N-7°-W	円周上	平石	否		鉄器時代		村田	
KP-157 A	G-46+48		0.57/0.56	0.50/0.54	0.27	円形	円周上	埴め戻し	平石	綾やか		鉄器時代		吉田	
KP-158 A	I-45+48		0.79/0.49	0.74/0.50	0.27	円形	円周上	埴め戻し	平石	綾やか		鉄器時代		吉田	
KP-159 A	I-45+48		0.55/0.25	0.52/0.28	0.17	円形	円周上	埴め戻し	平石	綾やか		鉄器時代		吉田	
KP-162 A	I-45		0.91/0.80	0.80/0.44	0.58	楕円形	円周上	埴め戻し	平石	否		鉄器時代		吉田	
KP-161 A	I-45		0.83/0.48	0.71/0.33	0.19	楕円形	N-74°-W	円周上	埴め戻し	平石	綾やか		鉄器時代		吉田
KP-162 A	J-45		0.75/0.41	0.75/0.40	0.48	円形	円周上	埴め戻し	枳状	否	Vc層前のみ土器片と土器	鉄器時代	土壌層	吉田	
KP-163 A	F-53		1.01/0.99	0.63/0.48	0.26	長円	N-7°-E	凹凹あり	平石	否	中位に石皿	鉄器時代	土壌層の可能性あり	村田	
KP-164 A	G-43		0.34/0.16	0.34/0.12	0.20	円形	円周上	埴め戻し	平石	綾やか		鉄器時代		吉田	
KP-165 A	G-43		0.88/0.68	0.77/0.62	0.22	円形	円周上	埴め戻し	平石	否		鉄器時代		吉田	
KP-166 A	D-F-50		1.21/0.23	0.82/0.18	0.76	-	N-17°-E	凹凹あり	埴め戻し	凹凹あり	保あり	上位にV様瓦口土器、底片、土器土器片	鉄器時代	土壌層	村田
KP-167 C	Q-43		0.60/0.31	0.55/0.30	0.25	円形	V層	埴め戻し	枳状	綾やか		鉄器時代		吉田	
KP-168 C	Q-43		0.72/0.54	0.70/0.50	0.20	円形	V層	埴め戻し	枳状	綾やか		鉄器時代		吉田	
KP-169 C	Q-44		0.55/0.43	0.51/0.41	0.12	円形	V層	埴め戻し	枳状	綾やか		鉄器時代		吉田	
KP-170 C	P-43		0.78/0.65	0.78/0.62	0.20	円形	V層	埴め戻し	凹凹あり	否		鉄器時代		吉田	
KP-171 C	Q-44		0.64/0.44	0.56/0.38	0.23	円形	V層	埴め戻し	枳状	綾やか		鉄器時代		吉田	
KP-172 C	P-44		0.44/0.34	0.43/0.34	0.08	円形	V層	埴め戻し	平石	否		鉄器時代		吉田	
KP-173 A	G-47+48		1.05/0.93	0.90/0.71	0.28	楕円形	N-48°-E	円周上	平石	否		鉄器時代		村田	
KP-174 A	G-47+48		0.87/0.51	0.62/0.49	0.17	円形	円周上	埴め戻し	平石	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-175 A	G-46		0.87/0.56	0.52/0.36	0.18	楕円形	N-8°-E	円周上	平石	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-176 A	G-46		0.75/0.61	0.72/0.62	0.20	円形	円周上	埴め戻し	平石	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-177 A	G-47		0.52/0.27	0.50/0.29	0.27	円形	円周上	埴め戻し	枳状	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-178 A	G-47		0.77/0.55	0.66/0.53	0.38	円形	円周上	埴め戻し	枳状	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-179 A	G-47		1.04/0.93	0.67/0.49	0.18	楕円形	N-4°-E	円周上	凹凹あり	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-180 A	G-47		0.37/0.48	0.32/0.49	0.12	円形	円周上	凹凹あり	綾やか			鉄器時代		村田	
KP-181 A	G-47		0.84/0.71	0.84/0.69	0.20	円形	円周上	埴め戻し	平石	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-182 A	G-47		0.81/0.68	0.74/0.60	0.29	円形	円周上	埴め戻し	平石	否		鉄器時代		村田	
KP-183 A	G-47		0.63/0.52	0.62/0.46	0.21	円形	円周上	埴め戻し	平石	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-184 A	G-47		0.67/0.61	0.46/0.36	0.28	楕円形	N-27°-W	円周上	平石	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-185 A	G-46		0.99/0.84	0.96/0.77	0.25	円形	円周上	埴め戻し	平石	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-188 A	G-46		0.33/0.20	0.34/0.20	0.17	円形	円周上	平石	綾やか			鉄器時代		村田	
KP-187 A	G-47		0.75/0.63	0.74/0.51	0.15	円形	凹凹あり	平石	綾やか			鉄器時代		村田	
KP-188 A	I-45		0.86/0.35	0.87/0.48	0.31	円形	円周上	埴め戻し	枳状	綾やか		鉄器時代		吉田	
KP-189 A	H-45		0.60/0.50	0.49/0.22	0.21	楕円形	N-17°-W	円周上	平石	綾やか		鉄器時代		吉田	
KP-190 A	G-52		0.38/0.21	0.33/0.15	0.15	円形	円周上	埴め戻し	平石	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-191 A	G-52		0.38/0.23	0.37/0.21	0.13	円形	円周上	埴め戻し	平石	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-192 A	G-52		0.29/0.15	0.29/0.16	0.10	円形	円周上	埴め戻し	平石	綾やか		鉄器時代		村田	
KP-193 A	G-52		0.51/0.35	0.41/0.27	0.11	楕円形	N-8°-W	円周上	平石	否		鉄器時代		村田	
KP-194 A	G-52		0.37/0.16	0.33/0.16	0.10	円形	円周上	平石	綾やか			鉄器時代		村田	
KP-195 A	F-53		0.78/0.61	0.75/0.59	0.27	円形	円周上	埴め戻し	平石	否		鉄器時代		村田	
KP-196 A	G-52+53		1.01/0.55	0.92/0.56	0.27	円形	円周上	埴め戻し	凹凹あり	否	土器土器片と土器	鉄器時代	土壌層の可能性あり	村田	
KP-197 A	F-49		0.03/0.05	0.07/0.06	0.27	楕円形	N-58°-W	凹凹あり	平石	否		鉄器時代		村田	
KP-198 A	F-49		1.02/0.96	0.89/0.72	0.19	円形	円周上	埴め戻し	枳状	否		鉄器時代		村田	
KP-199 A	F-G-49		1.24/1.04	0.61/0.43	0.69	楕円形	N-41°-E	円周上	埴め戻し	凹凹あり		鉄器時代	土壌層	村田	
KP-200 A	G-49		0.95/0.77	0.72/0.60	0.34	楕円形	N-9°-E	円周上	凹凹あり	否		鉄器時代		村田	
KP-201 A	G-49		0.73/0.54	0.53/0.30	0.37	-	KP-199	円周上	平石	否		鉄器時代		村田	

表 III-1 縄文時代遺構規模一覧(3)

遺構名	地区	位置	規模(m)			平面形	長軸方向	確認部	層土	床面・構築	壁の立ち方	遺物出土状況	時期	備考	調査者	
			長 期		短 期											
			確認部/深層	確認部/深層	確認部/深層											確認部/深層
KP-202	A	H-47	0.54/0.44	0.53/0.43	0.18	円形	円形	円形	円形	平石	否	鉄製土器		村田		
KP-203	A	H-47	0.54/0.40	0.40/0.25	0.20	円形	N-71-E	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-204	A	H-47	0.39/0.28	0.39/0.24	0.12	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-205	A	H-47	0.74/0.63	0.53/0.41	0.08	楕円形	N-47-E	円形	円形	現状	緩やか	土器の破片		村田		
KP-206	A	F-49	0.83/0.74	0.82/0.49	0.20	楕円形	N-29-E	円形	円形	平石	否	人頭土器器	鉄製土器	村田		
KP-207	A	F-49	0.86/0.58	0.79/0.59	0.21	円形	円形	円形	円形	平石	否	鉄製土器		村田		
KP-208	A	H-48	0.46/0.31	0.41/0.29	0.19	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	人頭土器器	鉄製土器	村田		
KP-209	A	H-48	0.82/0.44	0.80/0.43	0.44	円形	円形	円形	円形	現状	急	鉄製土器		村田		
KP-210	A	F-52	0.68/0.49	0.31/0.30	0.19	-	円形	円形	円形	平石	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-211	A	F-49	0.73/0.57	0.71/0.59	0.22	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-212	A	D-F-52	(0.271/0.18)	(0.09/0.04)	0.25	動方形	円形	円形	円形	現状	急	鉄製土器	土器類の可能性あり	村田		
KP-213	A	G-51	0.83/0.48	0.48/0.37	0.08	楕円形	N-35-W	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-214	A	H-48	1.12/0.91	(0.84/0.65)	0.46	円形	円形	円形	円形	現状	急	中位から下位にYc、スレイベ、石、石	鉄製土器	土器類	村田	
KP-215	A	H-48	0.74/0.55	0.67/0.54	0.21	円形	円形	円形	円形	平石	急	鉄製土器		村田		
KP-216	A	H-48	0.54/0.41	0.52/0.41	0.29	円形	円形	円形	円形	平石	急	鉄製土器		村田		
KP-217	A	G-51	0.52/0.37	0.47/0.34	0.09	円形	円形	円形	円形	平石	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-218	A	G-51	0.33/0.23	0.31/0.21	0.13	円形	円形	円形	円形	平石	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-219	A	G-51	0.59/0.51	0.51/0.37	0.13	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-220	A	G-51	0.49/0.37	0.48/0.38	0.21	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-221	A	G-51	0.53/0.41	0.46/0.37	0.14	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-222	A	G-51	0.69/0.57	0.67/0.56	0.20	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-223	A	G-51	0.54/0.44	0.53/0.42	0.11	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-224	A	F-48	0.71/0.61	(0.57/0.47)	0.18	楕円形	N-22-W	円形	円形	平石	急	鉄製土器		村田		
KP-225	A	F-48	0.82/0.67	0.45/0.31	0.13	楕円形	N-24-W	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-226	A	F-48	0.79/0.57	0.53/0.32	0.11	楕円形	N-24-W	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-227	A	F-49	0.73/0.24	0.65/0.25	0.28	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-228	A	G-44	0.66/0.43	0.64/0.36	0.14	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		吉田		
KP-229	A	G-44	0.49/0.31	0.42/0.30	0.12	円形	円形	円形	円形	現状	急	土器		吉田		
KP-230	A	G-44	0.48/0.23	0.44/0.20	0.12	円形	円形	円形	円形	現状	急	鉄製土器		吉田		
KP-231	A	G-44	0.44/0.20	0.44/0.17	0.12	円形	円形	円形	円形	平石	緩やか	鉄製土器		吉田		
KP-232	A	H-48	0.74/0.59	0.49/0.44	0.09	楕円形	N-74-W	円形	円形	平石	急	中位にYc	鉄製土器	村田		
KP-233	A	E-53	1.34/0.97	1.02/0.88	0.29	楕円形	N-31-W	円形	円形	平石	急	鉄製土器		村田		
KP-234	A	M-45	0.53/0.36	0.47/0.33	0.10	円形	円形	円形	円形	平石	緩やか	北海道式石環	中層半	吉田		
KP-235														文島		
KP-236	A	M-45	1.96/1.30	1.33/1.03	0.13	円形	N-79-W	円形	円形	平石	緩やか	中層半		吉田		
KP-237	A	H-48	0.55/0.33	0.46/0.34	0.33	円形	円形	円形	円形	平石	急	鉄製土器		村田		
KP-238	A	H-48	0.57/0.34	0.43/0.29	0.18	円形	円形	円形	円形	現状	急	鉄製土器		村田		
KP-239	A	H-48	0.94/0.55	0.93/0.54	0.44	円形	円形	円形	円形	平石	急	鉄製土器		村田		
KP-240	A	H-49	1.09/0.89	1.08/0.78	0.24	円形	円形	円形	円形	平石	急	鉄製土器		村田		
KP-241	A	H-49	0.78/0.64	(0.60/0.50)	0.21	円形	円形	円形	円形	現状	急	鉄製土器		村田		
KP-242	A	H-49	0.57/0.36	(0.50/0.30)	0.15	円形	円形	円形	円形	現状	急	土器類の可能性あり		村田		
KP-243	A	H-48	0.50/0.24	(0.21/0.14)	0.14	-	N-18-E	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-244	A	H-48	(0.307/0.11)	0.36/0.18	0.18	楕円形	N-77-W	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-245	A	H-48+49	0.87/0.64	0.85/0.63	0.23	円形	円形	円形	円形	平石	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-246	A	H-48+49	0.76/0.36	0.73/0.37	0.23	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-247	A	H-48+49	1.13/0.82	1.07/0.81	0.39	円形	円形	円形	円形	平石	急	鉄製土器		村田		
KP-248	A	M-48	0.50/0.27	(0.43/0.30)	0.28	円形	円形	円形	円形	平石	急	鉄製土器		村田		
KP-249	A	M-48	0.37/0.21	0.46/0.23	0.18	円形	N-78-E	円形	円形	平石	急	鉄製土器		村田		
KP-250	A	H-48	0.85/0.70	(0.55/0.40)	0.23	楕円形	N-9-W	円形	円形	現状	急	土器類の可能性あり		村田		
KP-251	A	H-48	0.80/0.52	0.72/0.46	0.20	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-252	A	H-48	0.50/0.28	0.44/0.26	0.19	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-253	A	H-48+49	0.57/0.39	0.53/0.42	0.19	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-254	A	G-49	0.52/0.36	0.45/0.32	0.16	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-255	A	G-48	0.82/0.41	0.49/0.29	0.18	楕円形	N-71-E	円形	円形	現状	急	鉄製土器		村田		
KP-256	A	H-49	1.04/0.76	0.87/0.59	0.25	楕円形	N-47-E	円形	円形	現状	緩やか	上位にYc、石	鉄製土器	村田		
KP-257	A	H-49	0.46/0.31	0.43/0.30	0.17	円形	円形	円形	円形	平石	急	鉄製土器		村田		
KP-258	A	H-49	0.43/0.36	0.42/0.31	0.21	円形	円形	円形	円形	平石	急	鉄製土器		村田		
KP-259	A	H-49	0.78/0.67	0.49/0.44	0.20	楕円形	N-85-W	円形	円形	現状	急	土器類の可能性あり		村田		
KP-260	A	G-49	0.68/0.52	0.65/0.49	0.20	円形	円形	円形	円形	平石	急	鉄製土器		村田		
KP-261	A	G-48	0.43/0.18	0.42/0.17	0.17	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-262	A	G-50	0.64/0.44	0.55/0.39	0.24	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-263	A	H-49	0.55/0.25	0.47/0.20	0.25	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-264	A	H-49	0.80/0.52	0.78/0.58	0.19	円形	円形	円形	円形	平石	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-265	A	H-49	0.81/0.53	0.72/0.43	0.19	円形	円形	円形	円形	平石	急	鉄製土器		村田		
KP-266	A	H-48	0.48/0.28	0.47/0.20	0.21	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-267	A	F-50	0.99/0.78	(0.511/0.41)	0.17	円形	楕円形	円形	円形	平石	緩やか	鉄製土器		村田		
KP-268	A	F-49	0.78/0.47	(0.713/0.49)	0.18	円形	円形	円形	円形	平石	急	鉄製土器		村田		
KP-269	A	G-50	0.44/0.30	0.42/0.28	0.21	円形	円形	円形	円形	平石	急	鉄製土器		村田		
KP-270	A	F-50	1.16/0.71	1.09/0.71	0.46	円形	円形	円形	円形	現状	緩やか	上位にYc、土器類、銅片、スレイベ	鉄製土器	土器類の可能性あり	村田	

表Ⅲ-1 縄文時代遺構規模一覧(4)

遺構名	地区	位置	規模(m)			平面形	長軸方向	確認部	層土	床面・構築	壁の立ち上り	遺物出土状況	時期	備考	調査者	
			長 期		深さ											
			確認部/深部	短 期												
KP-271	A	G-30	1.21/0.34	0.83/0.42	0.41	楕円形	N-27'-W	Ⅱ層上層	下位埋め戻し	平坦	否	Vc土層内、西縁部、Pレイトウとまわって出土	前期後葉	土壌層の可能性あり	村田	
KP-272	A	F-49・50	0.94/0.69	0.57/0.31	0.19	楕円形	N-67'-E	Ⅱ層上層	下位埋め戻し	平坦	否		前期後葉	土壌層	村田	
KP-273	A	G-49	0.47/0.18	0.42/0.13	0.24	円形		Ⅱ層上層		階段	緩やか		前期後葉		村田	
KP-274	A	F-49・50・51	0.99/0.49	0.80/0.43	0.36	円形		Ⅱ層上層		平坦	緩やか		前期後葉		村田	
KP-275	A	F-50・51	0.79/0.57	0.76/0.49	0.23	円形		Ⅱ層上層		平坦	急		前期後葉		村田	
KP-276	A	G-44・49	0.76/0.47	0.74/0.41	0.11	円形		Ⅱ層上層		平坦	緩やか		前期後葉		村田	
KP-277	A	F-49・50	0.54/0.41	0.50/0.24	0.14	円形		Ⅱ層上層		階段	緩やか		前期後葉		村田	
KP-278	A	G-50	0.83/0.64	0.66/0.40	0.25	楕円	N-67'-W	Ⅱ層上層		階段	緩やか		前期後葉		村田	
KP-279	A	G-49・50	0.97/0.74	0.69/0.35	0.22	楕円形	N-17'-W	Ⅱ層上層		階段	緩やか		前期後葉		村田	
KP-280	A	F-49・50	0.72/0.42	0.59/0.49	0.11	楕円形	N-27'-W	Ⅱ層上層		階段	緩やか		前期後葉		村田	
KP-281	A	F-49・50	1.21/1.08	0.83/0.50	0.27	円形		Ⅱ層上層		階段	緩やか		前期後葉		村田	
KP-282	A	G-49・50	2.01/1.80	0.86/0.50	0.23	楕円形	N-17'-E	Ⅱ層上層		階段	緩やか		前期後葉		村田	
KP-283	A	G-50	0.47/0.39	0.29/0.20	0.10	円形		Ⅱ層上層		階段	緩やか		前期後葉		村田	
KP-284	A	H-53	1.31/1.07	1.05/0.85	0.36	楕円形	N-4'-E	Ⅱ層上層		平坦	急		前期後葉	斜面部出土	村田	
KP-285	A	G-50	0.39/0.27	0.36/0.27	0.16	円形		Ⅱ層上層		階段	緩やか		前期後葉		村田	
KP-286	A	H-47	0.38/0.17	0.33/0.17	0.20	円形		Ⅱ層上層		階段	緩やか		前期後葉		村田	
KP-287	A	H-47	1.19/0.78	0.99/0.47	0.22	楕円形	N-77'-W	Ⅱ層上層		階段	緩やか		前期後葉		村田	
KP-288	A	F-46	0.69/0.53	0.65/0.47	0.22	円形		Ⅱ層上層		階段	急		前期後葉		村田	
KP-289	A	G-53	1.27/1.12	1.10/0.94	0.21	楕円形	N-17'-E	Ⅱ層上層		平坦	緩やか		前期後葉		村田	
KP-290	A	I-48	0.90/0.47	0.79/0.48	0.30	楕円形	N-28'-W	Ⅱ層上層		平坦	緩やか		前期後葉		村田	
KP-291	A	H-49	0.45/0.21	0.30/0.21	0.18	円形		Ⅱ層上層		平坦	緩やか		前期後葉		村田	
地上(KF)																
KF-20															K0-1層土中散乱遺物	
KF-21															K0-2層土中散乱遺物	
KF-22															K0-3層土中散乱遺物	
KF-23															K0-2層土中散乱遺物	
KF-24															K0-1層土中散乱遺物	
KF-25	A	J-46	0.70	0.48	0.39	不整形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-26	A	J-47	0.27	0.143	0.07	不整形		Ⅱ層中位							前期後葉	3x8 KP-101跡内
KF-27	A	I-46	0.90	0.469	0.07	不整形		Ⅱ層中位							前期後葉	3x8跡
KF-28	A	I-46	1.03	0.603	0.06	円形		Ⅱ層下位							前期後葉	3x8跡
KF-29	C	Q-30	0.96	0.42	0.19	不整形		Ⅱ層上層							前期後葉	吉田
KF-30	A	H-44・47	0.39	0.34	0.06	楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	吉田
KF-31	A	I-47	0.56	0.30	0.08	楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	KP-121跡A利用
KF-32	A	I-45	0.46	0.30	0.04	楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-33	A	I-45	0.52	0.45	0.07	楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-34	A	I-45	0.44	0.39	0.05	円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-35	A	F-47	0.52	0.47	0.07	円形		Ⅱ層上層							前期後葉	村田
KF-36	A	F-47	0.30	0.27	0.04	円形		Ⅱ層上層							前期後葉	村田
KF-37	A	F-47	0.26	0.21	0.05	円形		Ⅱ層上層							前期後葉	3x8跡
KF-38	A	F-47	0.26	0.24	0.06	不整形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-39	A	F-52	0.26	0.32	0.06	円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-40	A	F-52	0.24	0.20	0.05	円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-41	C	Q-31	1.06	0.26	0.07	楕円・三角形		Ⅱ層上層							前期後葉	吉田
KF-42	C	Q-31・32	0.63	0.36	0.08	不整形		Ⅱ層上層							前期後葉	吉田
KF-43	C	Q-31	0.40	0.19	0.06	楕円形		Ⅱ層上層							前期後葉	吉田
KF-44	A	H-48	0.62	0.33	0.07	中中楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-45	A	D-52	0.68	0.38	0.07	楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-46	C	P-30・31	1.12	0.10	0.11	不整形		Ⅱ層上層							前期後葉	吉田
KF-47	C	P-31	0.62	0.39	0.13	中中楕円形		Ⅱ層上層							前期後葉	吉田
KF-48	A	G-52	0.54	0.44	0.09	楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-49	A	G-52	0.49	0.46	0.09	楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-50	A	I-47	0.41	0.34	0.07	不整形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-51	A	I-47	0.49	0.36	0.08	楕円形		Ⅱ層下位							前期後葉	村田
KF-52																欠番
KF-53	A	G-51	1.03	0.62	0.07	楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-54	A	G-51	0.65	0.40	0.05	楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-55	A	G-51	0.340	0.22	0.05	楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-56	A	F-49	0.49	0.32	0.08	楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	KP-101跡A利用
KF-57	A	F-49	0.94	0.40	0.07	不整形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-58	A	G-49	0.62	0.32	0.06	中中楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-59	A	G-49	0.75	0.40	0.06	中中楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-60	A	G-49	0.71	0.36	0.06	中中楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-61	A	G-49	0.75	0.40	0.07	中中楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-62	C	Q-34	0.63	0.30	0.08	楕円・三角形		Ⅱ層上層							前期後葉	吉田
KF-63	C	P-Q-34	0.64	0.40	0.11	中中楕円形		Ⅱ層上層							前期後葉	吉田
KF-64	A	H-47	0.54	0.43	0.08	不整形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-65	A	G-44・47	0.84	0.43	0.09	楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田
KF-66	A	G-44・47	0.54	0.39	0.08	楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	KP-146跡A利用
KF-67	A	F-51	1.03	0.79	0.08	楕円形		Ⅱ層中位							前期後葉	村田

表 III-1 縄文時代遺構規模一覧(5)

遺構名	地区	位置	規模(m)			平面形	長軸方向	確認部	層土	床面・構築	壁の立上り	遺物出土状況	時期	備考	調査者
			長 軸	短 軸	深さ										
			確認部/深さ	確認部/深さ	深さ										
KF-66	A	J-43	0.72	0.60	0.11	楕円形									群馬県
KF-66	A	J-43	0.60	0.34	0.10	円形									群馬県
KF-70	A	J-43	0.50	0.37	0.10	楕円形									群馬県
KF-71	A	H-47	0.50	0.28	0.09	円形									群馬県
KF-72	A	H-47	0.50	0.40	0.09	楕円形									群馬県
KF-73	A	H-47	0.50	0.40	0.09	円形									群馬県
KF-74	A	H-47	0.57	0.30	0.09	楕円形									群馬県
KF-75	A	H-47	0.40	0.28	0.09	円形									群馬県
KF-76	A	F-53	0.44	0.36	0.09	円形									群馬県
KF-77	A	K-44	1.70	0.42	0.10	不整形									群馬県
KF-78	A	I-43	0.50	0.51	0.09	楕円形									群馬県
KF-79	A	I-43	0.46	0.31	×	円形									群馬県
KF-80	A	O-47	0.49	0.35	0.07	楕円形									群馬県
KF-81	A	O-47	1.03	0.19	0.07	楕円形									群馬県
KF-82	A	G-47	0.50	0.37	0.07	楕円形									群馬県
KF-83	A	G-44	0.36	0.34	0.10	楕円形									群馬県
KF-84	A	H-46	0.43	0.37	0.08	円形									群馬県
KF-85	A	H-46	0.50	0.30	0.08	不整形									群馬県
KF-86	A	H-46	0.50	0.48	0.08	不整形									群馬県
KF-87	A	H-43	1.27	0.70	0.08	円形									群馬県
KF-88															群馬県
KF-89	A	G-50-13	1.10	0.63	0.08	不整形									群馬県
KF-90	A	G-51	0.75	0.50	0.08	楕円形									群馬県
KF-91	A	G-51	0.38	0.22	0.07	楕円形									群馬県
KF-92	A	G-51	0.53	0.48	0.08	円形									群馬県
KF-93	A	G-51	0.51	0.33	0.08	楕円形									群馬県
KF-94	A	G-51	0.72	0.42	0.08	円形									群馬県
KF-95	A	G-51	0.50	0.42	0.08	円形									群馬県
KF-96	A	F-51	0.60	0.35	0.04	楕円形									群馬県
KF-97	A	H-49	0.50	0.34	0.08	楕円形									群馬県
KF-98	A	H-49	0.64	0.48	0.05	円形									群馬県
KF-99	A	H-49	0.52	0.41	0.07	円形									群馬県
KF-100	A	H-49	0.39	0.29	0.07	円形									群馬県
KF-101	A	H-49	0.40	0.34	0.05	円形									群馬県
KF-102	A	H-49	0.35	0.27	0.06	楕円形									群馬県
KF-103	A	H-44	0.37	0.19	0.06	楕円形									群馬県
KF-104	A	G-44	0.61	0.35	0.11	不整形									群馬県
KF-105	A	G-50	0.60	0.29	0.09	円形									群馬県
KF-106	A	G-50	0.45	0.36	0.06	不整形									群馬県
KF-107	A	M-44	0.40	0.34	0.08	円形									群馬県
KF-108	C	N-44	0.40	0.39	0.08	円形									群馬県
KF-109	C	O-37	0.35	0.21	0.07	楕円形									群馬県
KF-110															群馬県
KF-111															群馬県
KF-112	A	G-50	0.63	0.31	0.08	円形									群馬県
KF-113	A	G-50	0.36	0.23	0.08	楕円形									群馬県
黒石K51															群馬県
K5-3	C	R-31	0.27	0.23	0.17	楕円形									群馬県
柱状のピット(SF)															群馬県
SP-2	A	G-47	0.23/0.09	0.2/0.09	0.19	円形									群馬県
SP-3	A	G-46	0.15/0.06	0.15/0.06	0.14	円形									群馬県
SP-4	A	H-46	0.18/0.07	0.18/0.07	0.17	円形									群馬県
SP-5	A	H-46	0.21/0.04	0.2/0.04	0.17	円形									群馬県

表Ⅲ-2 縄文時代遺構出土土器土器一覽(1)

採回番号	掲載番号	写真 図版	遺構/ (発掘区)	層位	点数	分類	器種	部位	文様等の特徴	復元・拓本 番号
図Ⅲ-1	1	図版71	KH-4	床 1	5	Ⅱ b	深鉢	口～胴	内面に縄文あり	拓本166
図Ⅲ-54	1	図版71	KP-80	覆土 2	1	V c	深鉢	口縁	口縁部直下ナデ	拓本90
図Ⅲ-54	2	図版71	KP-80	覆土 2	1	V c	深鉢	口縁		拓本91
図Ⅲ-54	3	図版71	KP-81	覆土 2	2	V c	深鉢	口縁		拓本92
図Ⅲ-54	4	図版71	KP-81	覆土 1	1	V c	深鉢	口縁	口唇上～内面赤彩	拓本172
図Ⅲ-54	5	図版71	KP-81	覆土 2	1	V c	浅鉢	口縁		拓本93
図Ⅲ-54	6	図版71	KP-81	覆土 2	2	V c	浅鉢	口縁		拓本94
図Ⅲ-54	10	図版72	KP-83	覆土 1	1	V c	深鉢	口縁		拓本95
図Ⅲ-54	11	図版72	KP-85	覆土 1	1	V c	深鉢	胴	無文帯に縄線	拓本96
			G-50	Ⅲ	1					
			G-51	Ⅲ b	1					
			H-52	Ⅲ	1					
			I-52	Ⅲ	1					
図Ⅲ-54	15	図版72	KP-91	覆土 1	1	V c	深鉢	口縁		拓本97
図Ⅲ-55	17	図版73	KP-92	覆土 1	1	V c	深鉢	胴	標走沈線	拓本98
図Ⅲ-55	19	図版73	KP-94	覆土 1	1	Ⅱ b	深鉢	口唇断面角型	内面磨き	拓本168
			K-46	Ⅲ	4					
図Ⅲ-55	20	図版73	KP-94	覆土 1	6	Ⅱ b	深鉢	口縁	19と同一個体	拓本168
図Ⅲ-55	21	図版73	KP-94	覆土 1	1	V c	深鉢	口縁	貫通孔	拓本99
			K-46	Ⅲ	1					
図Ⅲ-55	25	図版73	KP-101	覆土 1	3	V c	浅鉢	口縁		拓本132
図Ⅲ-55	26	図版73	KP-101	覆土 1	1	V c	浅鉢	口縁	貫通孔	拓本101
図Ⅲ-55	27	図版73	KP-101	覆土 1	1	V c	浅鉢	口縁	口縁や折り返し	拓本131
図Ⅲ-55	28	図版73	KP-101	覆土 1	1	V c	深鉢	口縁		拓本100
図Ⅲ-55	29	図版73	KP-101	覆土 1	1	V c	浅鉢	口縁		拓本102
図Ⅲ-55	31	図版74	KP-113	覆土 2	18	V c	深鉢	胴		拓本161
図Ⅲ-56	34	図版74	KP-121	覆土 1	1	V c	深鉢	口縁		拓本103
図Ⅲ-56	35	図版75	KP-124	覆土 1	5	V c	深鉢	口縁	胴部屋やや張り出す	拓本104
図Ⅲ-56	36	図版75	KP-126	覆土 1	1	V c	深鉢	口縁		拓本105
図Ⅲ-56	37	図版75	KP-126	覆土 1	1	V c	浅鉢	口縁		拓本106
図Ⅲ-56	38	図版75	KP-128	覆土 1	9	V c	深鉢	口縁	口縁部に段あり	拓本108
図Ⅲ-56	39	図版75	KP-128	覆土 1	2	V c	浅鉢	口縁	太い棒状工具による圧痕	拓本109
図Ⅲ-56	40	図版75	KP-128	覆土 1	1	V c	深鉢	口縁	動物意匠?	拓本107
図Ⅲ-56	44	図版75	KP-129	覆土 1	1	V c	深鉢	口縁		拓本110
図Ⅲ-56	45	図版76	KP-130	覆土 1	2	V c	深鉢	口縁	表裏に赤彩	拓本173
図Ⅲ-56	46	図版76	KP-130	覆土 1	1	V c	深鉢	口縁	47と同一個体 工字文	拓本111
			F-52	Ⅲ b	1					
			F-53	Ⅲ b	1					
図Ⅲ-56	47	図版76	KP-130	覆土 1	3	V c	深鉢	口縁	46と同一個体 工字文	拓本111
			E-53	Ⅲ	1					
図Ⅲ-56	48	図版76	KP-130	覆土 1	8	V c	浅鉢	胴	内面にボタン状貼付	拓本162
図Ⅲ-57	49	図版76	KP-131	覆土 1	1	Ⅱ b	深鉢	口縁		拓本169
図Ⅲ-57	50	図版76	KP-131	覆土 2	Ⅱ b	深鉢	口縁	無文帯の上下に縄線		拓本170
図Ⅲ-57	52	図版76	KP-135	覆土 1	4	V c	浅鉢	口～底		拓本112
図Ⅲ-57	53	図版76	KP-138	覆土 1	3	V c	浅鉢	口～底	上げ底気味	拓本114
図Ⅲ-57	54	図版76	KP-138	覆土 1	1	V c	浅鉢	口～胴		拓本113
図Ⅲ-57	55	図版76	KP-138	覆土 1	1	V c	浅鉢	口縁	口縁内面に折り返し	拓本114
図Ⅲ-57	56	図版76	KP-138	覆土 1	5	V c	浅鉢	口～底	内面に縄文あり	拓本115
図Ⅲ-57	58	図版77	KP-139	覆土 1	17	V c	深鉢	口～胴		復元20
図Ⅲ-57	59	図版77	KP-139	覆土 1	1	V c	浅鉢?	口縁	貫通孔	拓本116
図Ⅲ-57	60	図版77	KP-139	覆土 2	1	V c	深鉢	口縁	沈線+縄線圧痕	拓本117
図Ⅲ-58	64	図版77	KP-139	覆土 1	11	V c	深鉢	口～胴		拓本118
			H-46	Ⅲ	3					
			I-47	Ⅲ	1					
図Ⅲ-58	65	図版77	KP-142	覆土 1	17	V c	深鉢	口～胴	縄線圧痕で区画された無文帯	復元15
			F-53	Ⅲ b	6					
			F-54	Ⅲ	19					
			F-55	Ⅲ	1					
図Ⅲ-58	66	図版78	KP-140	覆土 1	1	V c	深鉢	口縁		拓本119
図Ⅲ-58	67	図版78	KP-147	覆土 1	1	V c	浅鉢?	口縁	内面に沈線	拓本120
図Ⅲ-59	69	図版78	KP-152	底	2	V b	浅鉢	口縁	大洞 C ₁ 相当 周辺遺構・包含層から同一個体出土	拓本171
図Ⅲ-59	70	図版78	KP-155	Ⅲ b	1	V c	深鉢	口～胴	胴部に屈曲部 文様等は2段 棒状工具による刺突列で区画 上段: 沈線による渦巻文 下段: 屈曲部を含み標走する沈線と縄線 口唇部は刻み、縄線、器糸圧痕 突起部から垂下する貼付帯	復元16
			KH-2	掘り上げ	4					
			KF-88	土	1					
			F-52	Ⅲ b	41					
			F-52	Ⅲ	10					
			F-53	Ⅲ b	9					

表Ⅲ-2 縄文時代遺構出土掲載土器一覧(2)

拝因番号	掲載番号	写真 図版	遺構/ (発掘区)	層位	点数	分類	器種	部位	文様等の特徴	復元・拓本 備考
図Ⅲ-59	70	図版78	F-54	Ⅲ a	1	V c	深鉢	口～胴	胴部に屈曲部 文様等は2段 棒状工具による刺突列で区画 4段：沈線による無文 10段：屈曲部を減少させる沈線と縄線 口唇部は刻み、縄線、帯状文 突起部から垂下する粘付物 2004年度報告 2005年B地区	復元16
				G-52	Ⅲ b	6				
				H-53	Ⅲ	1				
				H-54	Ⅲ	1				
				B-52	流路跡	1				
			東トレンチ区	Ⅲ	1					
図Ⅲ-59	71	図版78	KP-155	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	5本の縄線	拓本121
図Ⅲ-59	72	図版78	KP-155	Ⅲ b	2	V c	深鉢	口縁	動物意匠 煎?	拓本123
図Ⅲ-59	73	図版78	KP-155	覆土1	1	V c	浅鉢	口縁		拓本122
図Ⅲ-59	74	図版78	KP-155	覆土1	1	V c	浅鉢	口縁		拓本122
図Ⅲ-60	75	図版79	KP-156	覆土1	3	V c	深鉢	口縁	括弧文	拓本124
図Ⅲ-60	76	図版79	KP-156	覆土1	2	V c	浅鉢	口縁		拓本125
図Ⅲ-60	77	図版79	KP-178	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		拓本128
図Ⅲ-60	78	図版79	KP-162	覆土3	68	V c	深鉢	胴		復元27
図Ⅲ-60	80	図版79	KP-167	覆土1	42	V c	深鉢	口～底	沈線に赤彩塗布	復元29
図Ⅲ-61	81	図版80	KP-166	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	折り返し口縁	拓本126
図Ⅲ-61	82	図版80	KP-166	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	3本の縄線	拓本127
図Ⅲ-61	83	図版80	KP-166	覆土2	2	V c	深鉢	底	摩滅	復元17
				覆土2	10					
図Ⅲ-61	84	図版80	KP-166	覆土2	1	V c	異形	口～底	双口土器	復元26
図Ⅲ-62	87	図版81	KP-201	覆土1	7	V c	深鉢	口～胴		復元28
				KH-3	Ⅲ	1				
				G-49	Ⅲ	26				
				G-49	Ⅲ b	1				
				H-49	Ⅲ	46				
			Ⅲ	1						
図Ⅲ-62	88	図版81	KP-215	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		拓本130
図Ⅲ-62	89	図版81	KP-206	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	沈線+刺突	拓本129
図Ⅲ-62	90	図版81	KP-209	覆土1	2	V c	深鉢	口縁	橋立沈線	拓本133
図Ⅲ-62	91	図版81	KP-210	覆土1	3	V c	深鉢	口縁	細い縄線	拓本134
図Ⅲ-62	93	図版82	KP-213	覆土1	1	V c	深鉢?	口縁	赤彩土器	拓本174
図Ⅲ-62	94	図版82	KP-214	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		拓本135
図Ⅲ-62	97	図版82	KP-225	覆土1	10	V c	深鉢	口～胴	縄線任意による刻み	拓本136
図Ⅲ-63	98	図版82	KP-227	覆土1	2	V c	浅鉢	口～胴		拓本137
図Ⅲ-63	100	図版82	KP-233	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	細い縄線	拓本138
図Ⅲ-63	101	図版83	KP-235	覆土1	7	V c	深鉢	底	上げ底気味	復元13
				覆土1	1					
			F-49	Ⅲ	1					
図Ⅲ-63	104	図版83	KP-239	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	角柱状工具による刻み	拓本139
図Ⅲ-63	105	図版83	KP-245	覆土1	1	Ⅱ	深鉢	胴	縄線文	拓本175
図Ⅲ-63	106	図版83	KP-246	覆土1	1	V c	浅鉢	口縁		拓本141
図Ⅲ-63	107	図版83	KP-246	覆土1	1	V c	深鉢	底	やや張り出す	拓本140
図Ⅲ-64	109	図版84	KP-249	覆土1	3	V c	深鉢	底	丸底気味	拓本142
図Ⅲ-64	110	図版84	KP-250	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		拓本147
図Ⅲ-64	111	図版84	KP-250	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		拓本147
図Ⅲ-64	112	図版84	KP-250	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		拓本145
図Ⅲ-64	113	図版84	KP-250	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		拓本146
図Ⅲ-64	114	図版84	KP-250	覆土1	1	V c	浅鉢	口縁		拓本143
図Ⅲ-64	116	図版84	KP-251	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	内面に3本の縄線と刺突	拓本144
図Ⅲ-64	117	図版84	KP-253	覆土1	13	V c	深鉢	口～胴	縄線任意で区画された無文帯	拓本156
				Ⅲ	1					
			H-49	Ⅲ	1					
図Ⅲ-64	118	図版84	KP-254	覆土1	1	V c	浅鉢	口縁		拓本148
図Ⅲ-64	120	図版85	KP-263	覆土1	1	V c	浅鉢	口～胴	補修孔あり	復元12
				G-47	Ⅲ	2				
				G-48	Ⅲ	6				
				H-47	Ⅲ	4				
				H-49	Ⅲ	1				
				I-50	Ⅲ	1				
							Ⅲ	1		
図Ⅲ-64	121	図版85	KP-263	覆土1	4	V c	深鉢	口縁	口縁部直下はナデによる無文帯	拓本149
図Ⅲ-64	123	図版85	KP-270	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		拓本151
図Ⅲ-64	124	図版85	KP-270	覆土1	1	V c	浅鉢	口縁		拓本150
図Ⅲ-65	126	図版85	KP-271	覆土1	2	V c	深鉢	口縁	127・128と同一個体	拓本157
				G-50	Ⅲ	3				
				G-50	Ⅱ	1				
				H-53	Ⅲ	1				
図Ⅲ-65	127	図版86	KP-271	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	126・128と同一個体	拓本157
				覆土2	1					
図Ⅲ-65	128	図版86	KP-271	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	126・127と同一個体	拓本157
図Ⅲ-65	129	図版86	KP-271	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		拓本152
図Ⅲ-65	130	図版86	KP-271	覆土1	2	V c	底	口縁		拓本153

表Ⅲ-2 縄文時代遺構出土掲載土器一覽(3)

採回番号	掲載番号	写真 図版	遺構/ (発掘区)	層位	点数	分類	器種	部位	文様等の特徴	復元・拓本 番号
Ⅲ-65	131	図版86	KP-272 F-49 F-50 G-49	Ⅲ土1 Ⅲb Ⅲ Ⅲ	17 1 4 2	Vc	深鉢	口~胴	「八」の字状の刻み	拓本164
Ⅲ-66	132	図版87	KP-283	Ⅲ土1	1	Vc	深鉢	口縁		拓本155
Ⅲ-66	133	図版87	KP-283 KP-283 G-50	Ⅲ土1 Ⅲ土1 Ⅲ	2 1 2	Vc	浅鉢	口~胴	133~137は同一個体	拓本163
Ⅲ-66	134	図版87	KP-283	Ⅲ土1	4	Vc	浅鉢	口~胴		拓本163
Ⅲ-66	135	図版87	KP-283 I-51	Ⅲ土1 Ⅲ	1 1	Vc	浅鉢	口縁		拓本163
Ⅲ-66	136	図版87	G-50	Ⅲ	1	Vc	浅鉢	口縁		拓本163
Ⅲ-66	137	図版87	KP-283	Ⅲ土1	2	Vc	浅鉢	口縁		拓本163
Ⅲ-66	138	図版87	KP-285	Ⅲ土1	1	Vc	深鉢	口縁		拓本154
Ⅲ-66	141	図版88	KF-67	Ⅲ	2	Vc	深鉢	口縁		拓本158
Ⅲ-66	145	図版88	KF-88	Ⅲ	1	Vc	浅鉢	口縁	口唇上に1本の沈線	拓本159
Ⅲ-66	146	図版88	KF-104	中	1	Vc	深鉢	口縁		拓本160

表Ⅲ-3 縄文時代遺構出土掲載石器等一覽

図番号	掲載 番号	図版 番号	器種名	遺構名	出土層位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 さ (cm)	重 さ (g)	石質	備考
Ⅲ-54	7	図版71	スクレイパー	KP-81	Ⅲ土2	(3.7)	(3.4)	1	(12.7)	obs.	
Ⅲ-54	8	図版71	石鏃	KP-82	Ⅲ土1	2.2	1	0.25	0.4	obs.	
Ⅲ-54	9	図版71	石鏃	KP-82	Ⅲ土1	2.2	1	0.4	0.6	obs.	
Ⅲ-54	12	図版72	スクレイパー	KP-85	Ⅲ土1	3.5	3.2	1.1	11.9	obs.	
Ⅲ-54	13	図版72	スクレイパー	KP-85	Ⅲ土1	4	3.4	0.8	7.9	obs.	
Ⅲ-54	14	図版72	加工痕ある礫	KP-85	Ⅲ土1	(7.6)	(12.4)	(9.8)	(737.6)	安山岩	溝状の加工あり
Ⅲ-54	16	図版72	石皿	KP-91	Ⅲ土1	36.8	30.0	22.4	34,700.0	砂岩	
Ⅲ-55	18	図版73	たたく石	KP-93	Ⅲ土1	11.4	5.1	4	288.3	安山岩	
Ⅲ-55	22	図版73	すり石	KP-96	Ⅲ土1	9.8	16.8	6.3	1,236.8	安山岩	
Ⅲ-55	23	図版73	石鏃	KP-100	Ⅲ土1	(2.1)	1.05	0.3	(0.5)	obs.	
Ⅲ-55	24	図版73	石鏃	KP-100	Ⅲ土1	4.7	1.8	0.9	5.8	obs.	
Ⅲ-55	30	図版74	台石	KP-102	Ⅲ土2	21.8	17.4	11.7	6,200	安山岩	
Ⅲ-55	32	図版74	スクレイパー	KP-113	Ⅲ土1	(3.3)	(2.8)	(1.3)	(8.8)	obs.	
Ⅲ-56	33	図版75	台石	KP-117	Ⅲ土1	19.0	14.0	9.4	3,800	安山岩	
Ⅲ-56	41	図版75	石鏃	KP-128	Ⅲ土1	2.1	1.05	0.3	0.5	obs.	
Ⅲ-56	42	図版75	石鏃	KP-128	Ⅲ土1	2.5	1	0.3	0.5	obs.	
Ⅲ-56	43	図版75	石製品	KP-128	Ⅲ土1	3.7	1.5	0.5	2.2	obs.	
Ⅲ-57	51	図版76	礫石	KP-131	Ⅲ土1	(13.0)	(5.6)	(5.5)	(266)	砂岩	
Ⅲ-57	57	図版76	石鏃	KP-138	Ⅲ土1	2.3	1.05	0.3	0.5	obs.	
Ⅲ-57	61	図版77	石鏃	KP-139	Ⅲ土1	(2.5)	1.4	0.7	(3.0)	頁岩	
Ⅲ-57	62	図版77	石鏃	KP-139	Ⅲ土2	5.1	2.85	1.2	13.4	obs.	被熱
Ⅲ-57	63	図版77	石鏃	KP-139	Ⅲ土1	4.1	2.6	0.7	4.3	obs.	被熱
Ⅲ-58	68	図版78	石斧	KP-151	Ⅲ土1	(6.2)	7.2	(3.2)	(236.4)	泥岩	
Ⅲ-60	78	図版79	石皿	KP-163	Ⅲ土1	21.3	22.0	17.1	10,700.0	安山岩	
Ⅲ-62	84	図版81	たたく石	KP-199	Ⅲ土1	12.0	4.4	3.6	312.1	安山岩	
Ⅲ-62	85	図版81	スクレイパー	KP-202	Ⅲ土1	3.4	2.6	0.75	5.9	obs.	
Ⅲ-62	91	図版81	スクレイパー	KP-210	Ⅲ土1	2.4	2.8	1.0	5.7	obs.	
Ⅲ-62	95	図版82	スクレイパー	KP-214	Ⅲ土1	3.35	3.0	0.9	10.0	obs.	
Ⅲ-62	96	図版82	台石	KP-214	Ⅲ土1	18.3	17.3	8.4	3,200	安山岩	
Ⅲ-63	99	図版83	北海道式石冠	KP-234	Ⅲ土1	9.3	11.4	6.2	714.7	安山岩	
Ⅲ-63	102	図版83	たたく石	KP-235	Ⅲ土1	12.5	7.8	3.7	457.6	砂岩	
Ⅲ-63	103	図版83	石皿	KP-242	Ⅲ土1	32.0	24.3	12.2	12,200.0	安山岩	
Ⅲ-64	108	図版83	石斧	KP-247	Ⅲ土1	(7.3)	4.9	1.2	(74.6)	緑色泥岩	
Ⅲ-64	115	図版84	石鏃	KP-250	Ⅲ土1	2.0	0.9	0.3	0.4	obs.	
Ⅲ-64	119	図版85	石斧	KP-262	Ⅲ土1	10.0	4.1	1.6	102.2	obs.	
Ⅲ-64	122	図版85	たたく石	KP-263	Ⅲ土1	14.6	5.9	3.1	398.2	砂岩	
Ⅲ-64	125	図版85	石鏃	KP-274	Ⅲ土1	2.3	1.0	0.35	0.5	obs.	
Ⅲ-66	139	図版87	石鏃	KP-286	Ⅲ土1	2.6	1.15	0.3	0.6	obs.	
Ⅲ-66	140	図版87	すり石	KP-289	Ⅲ土1	7.7	11.9	6.4	644.2	安山岩	
Ⅲ-66	142	図版88	スクレイパー	KF-72	Ⅲ土1	(3.9)	2.3	0.7	(5.6)	obs.	被熱
Ⅲ-66	143	図版88	棒状磨石	KF-72	Ⅲ土1	4.65	1.35	0.75	5.0	obs.	
Ⅲ-66	144	図版88	石鏃	KF-83	Ⅲ土1	4.4	1.5	1.3	4.6	obs.	
Ⅲ-66	147	図版88	くぼみ石	KS-3	Ⅲ	(10.5)	(8.3)	(3.8)	400.0	砂岩	被熱
Ⅲ-66	148	図版88	扁平打製石器	KS-3	Ⅲ	9.5	(9.7)	(4.6)	400.0	砂岩	被熱

表III-4 縄文時代遺構出土遺物一覧(1)

遺構・調査区	I	II	III	IV	V	VI	石	石	ス	フ	棒	石	石	す	く	土	之	の	加	石	骨	
	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石
KH-4					11					2												101
KP-80		83			20					2												22
KP-81					39		4		1	6												51
KP-82					16		5	2		4												27
KP-83					1					1												1
KP-85			3		87		5	1		5	2	4								1	1	110
KP-86					5																	5
KP-88					17					1												18
KP-90					6																	6
KP-91					13					1	4									1	5	24
KP-92					38					1												38
KP-93					5																2	9
KP-94			118		2					2											2	103
KP-96																1						1
KP-97					2																	2
KP-98					1																1	2
KP-99					5																	5
KP-100					54					3	4	1										64
KP-101					94		1	1		1	4	1										92
KP-102										2												3
KP-103					2															1		2
KP-110					1																	1
KP-111					5					1												7
KP-112					5					1												6
KP-113					38				1												2	43
KP-114					1																	1
KP-115																						1
KP-116					2																	4
KP-117			1		1																1	3
KP-118					2																	3
KP-119					2					1												1
KP-120					1																	1
KP-121					18																	18
KP-122					11					4												15
KP-123					7																	7
KP-124					12																	14
KP-125			1		1					1											1	2
KP-126					3					1	3											7
KP-128					1	140		3			22										1	167
KP-129					3																	4
KP-130					57					11												68
KP-131					7					4												11
KP-132			5		4																1	4
KP-134					5					3												8
KP-135					11																	11
KP-136					2					1												3
KP-138					69			1		5												80
KP-139					166				3	2	9											186
KP-140					32					4												39
KP-142		1	2		32					1												33
KP-144					8																	8
KP-145					5					1												6
KP-147			1		7																	8
KP-148					15		2			1												18
KP-150					18					6												24
KP-151				5	35				1	13											2	53
KP-152				2	3	46				15											2	68
KP-153					1					2												3
KP-155			32		117		3				20											212
KP-156					24																	24
KP-157					4																	4
KP-158					8																2	10
KP-159					1																	1
KP-160					9																	10
KP-162			1		2																	3
KP-162					16					123												139
KP-163					4																	7
KP-166			2		3					1	4											31
KP-167					48					2												50
KP-173					6																	6
KP-174					6					2												2
KP-175					1																	1
KP-177					3																	3
KP-178					25					1											1	27
KP-179					7																	8
KP-180					8																2	3
KP-181					5																	6
KP-182					2					1												3
KP-183					1																	1
KP-184					1																	1
KP-186					2					2												4
KP-187					2																	2
KP-188					15					1												18
KP-190					11																	11
KP-191					1																	1
KP-192					1																	1
KP-193					4					1												5
KP-195					2																	2
KP-198					36																1	46
KP-197			3		35					4												39

IV章 擦文時代の遺構と遺物

1 概要

検出した遺構は、竪穴住居跡2軒と集石2カ所である。出土した土器から、いずれも8世紀中葉のもので考えられる。住居跡は2軒とも、支柱穴が外に4本あるいわゆる「カリンバ型」と呼ばれるものである。竈は造りつけて、煙道はトンネル式である。南壁に設置されやや南西隅に寄っている。覆土に多量の炭化物、焼土粒を含み、被熱硬化した土が見られることから土葺きの屋根を持っていたと考えられる。焼失住居である。床面に「すのこ」状や「ござ」状を呈する炭化材が出土している。出土した遺物から2軒は同時に存在したものと推定している。放射性炭素年代測定では、2軒とも1,290 ± 40yrBPの値を得た。

2カ所の集石は、KH-3の南側で検出され、これと関連するものと考えられる。(村田)

(1) 竪穴住居跡

- 2 (図IV-1~9、図版89~102)

位置・立地：F・G・H-48・49 標高45.8m付近の平坦面。

規模：4.80/4.28 4.16/3.95 0.63m 平面形：方形

確認・調査：地表面で方形の凹みとして確認した。凹みの周囲に周堤状の盛り上がり認められ、掘上げ土が良好に残存することが予想されたため、凹みの周囲を含めて直交する土層観察用のセクションベルトを設定した。アイヌ文化期の遺構が存在する可能性があったので精査を行ったが、遺構は検出されなかった。トレンチ調査を行い、平坦な面と明瞭な立ち上がりが認められたので、住居跡と判断した。竈周辺の土壌をサンプリングし、フローテーション作業を行っている。また、床面から採取した炭化材の年代測定と炭化樹種同定を行っている。

覆土：上位は自然堆積層(覆土1~3層)で、下位は焼土粒、炭化物を大量に含む土が床面まで堆積している。床面に住居の構造材と思われる炭化材の拡がり認められた。焼失住居である。覆土中に被熱赤色硬化した土や焼土が見られることから、土葺きの屋根をもっていたと考えられる。

掘上げ土：平面形は円形を呈し、竪穴を全周している。南東側が厚く、南西側が薄い。掘上げ土除去後のⅢb層上面では南東側が低くなっており、掘上げ土を竪穴の周囲に盛る際に、高さと同じになるよう調整したと考えられる。

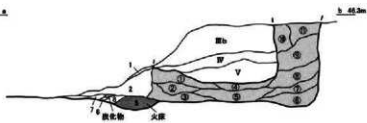
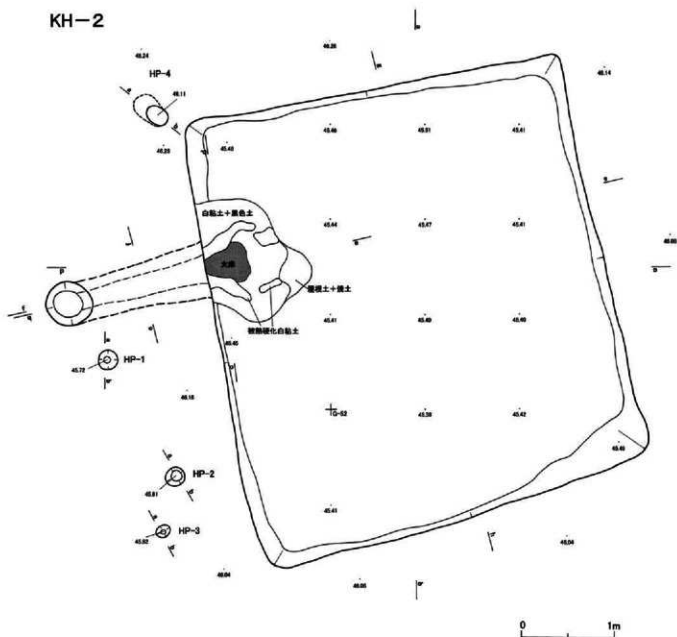
床・壁：ほぼ平坦で、壁は急に立ち上がる。

付属遺構：南側の壁や西よりに灰白色粘土を用いた造り付けの竈がある。遺存状況は上から押し潰されたような状態である。火床は浅い掘り込みがある。煙道はトンネル式で、天井部はⅣ層・Ⅴ層の崩落が激しい。焚口と煙出し部分は竈の構築材と思われる白粘土で閉塞している。

南西隅の外側で、内傾するビットが確認できた。他の三隅は木根の攪乱で確認できなかったが、外側に4本の柱穴をもつ竪穴と考えられる。南壁の外側で杭状の小ビットが3基検出された。掘上げ土の上から打ち込まれており、出入り口に関連する施設の可能性がある。

遺物出土状況：北西の隅から口縁部が打ち欠かれた甕が一個体出土した。北東の隅から砥石と石皿が出土した。南東の隅から杯が出土した。南西の隅から紡錘車出土した。竈周辺から底部のみの甕の破片が出土し、閉塞された煙道の中からは高杯の破片がまとまって出土している。縄文時代の遺構を壊

KH-2



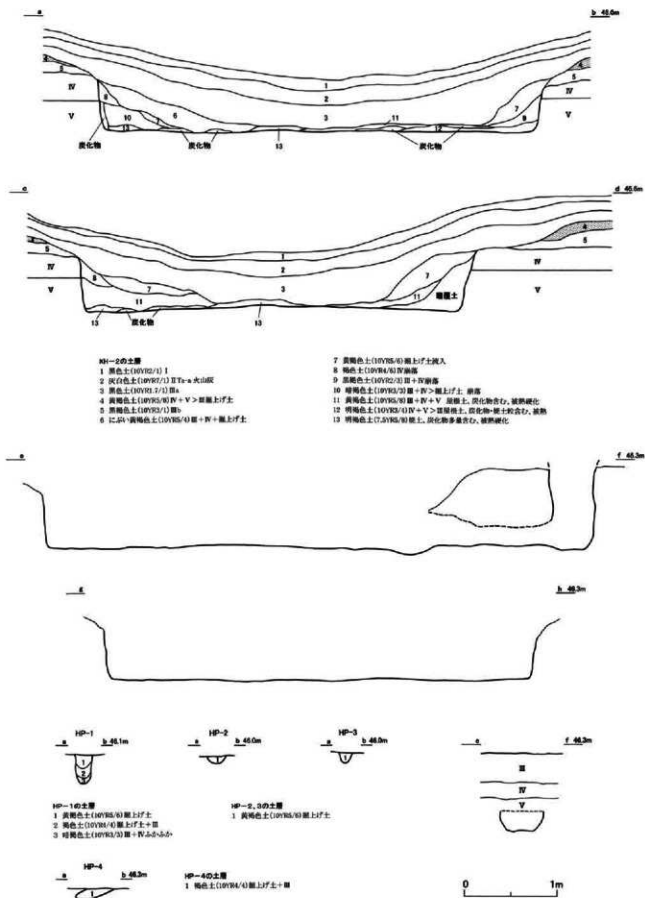
層の土層

- 1 黒灰黄褐色土(IVR5/2)白黏土+黒
- 2 黒褐色土(IVR3/4)黒+IV 炭灰土、炭化物含む
- 3 土灰+黄褐色土(IVR5/3)白黏土、炭灰、炭化、櫛の残材
- 4 土灰+黄褐色土(IVR5/3)の暗層土
- 5 黒赤褐色土(IVR3/4)大灰、炭土、炭化物、炭、骨片含む、*IVR6/4
- 6 黒褐色土(IVR3/2)黒+IV 炭化物少量含む
- 7 黒赤褐色土(IVR3/4)炭灰、赤色腐化、炭灰土、炭化物含む
- 8 土灰+黄褐色土(IVR5/4)炭化物、骨片含む
- 9 黒色土(IVR2/1)黒+白黏土
- 10 黒褐色土(IVR2/2)黒+白黏土、炭化物多い

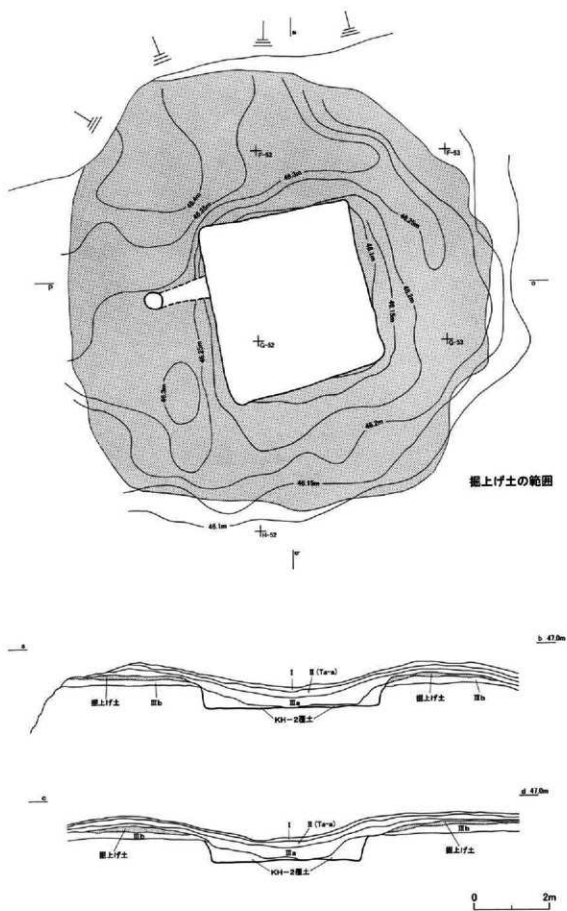
埋没の土層

- ① 褐色土(IVR4/4)黒+IV層基
- ② 黄褐色土(IVR5/3)V層基
- ③ 黄褐色土(IVR7/4)黒赤腐化した白黏土、ブロッツ状、櫛基
- ④ 土灰+黄褐色土(IVR5/3)黒+IV+V+白黏土
- ⑤ 黒褐色土(IVR2/2)黒+IV+V
- ⑥ 黒褐色土(IVR2/2)黒+V
- ⑦ 黒褐色土(IVR2/4)黒+IV+V 以下ブロッツ状
- ⑧ 黒褐色土(IVR2/2)+黒
- ⑨ 土灰+黄褐色土(IVR7/4)黒+黒+白黏土
- ⑩ 灰黄褐色土(IVR5/2)黒+白黏土
- ⑪ 黒褐色土(IVR2/1)黒+白黏土

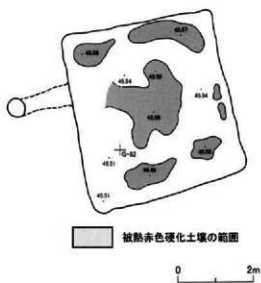
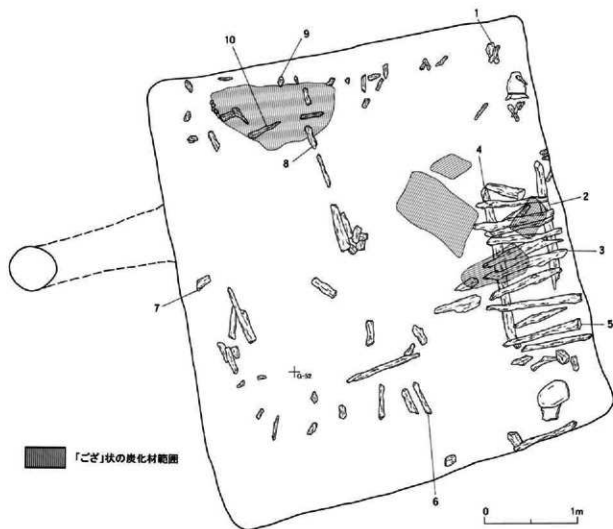
図IV-1 竪穴住居跡 - 2(1)



図IV-2 竪穴住居跡 - 2(2)



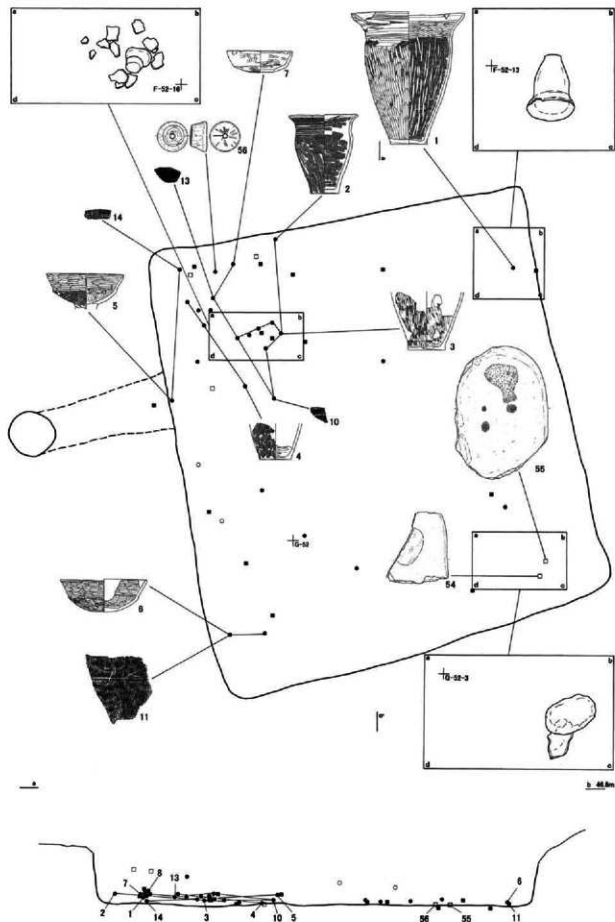
図Ⅳ-3 竪穴住居跡 - 2(3)



炭化樹種同定結果

試料番号1	コナラ属	コナラ亜属	コナラ節	<i>Quercus rugipes</i> , <i>Quercus acut.</i> , <i>Filix</i>	ブナ科
試料番号2	コナラ属	コナラ亜属	コナラ節	<i>Quercus rugipes</i> , <i>Quercus acut.</i> , <i>Filix</i>	ブナ科
試料番号3	コナラ属	コナラ亜属	コナラ節	<i>Quercus rugipes</i> , <i>Quercus acut.</i> , <i>Filix</i>	ブナ科
試料番号4	コナラ属	コナラ亜属	コナラ節	<i>Quercus rugipes</i> , <i>Quercus acut.</i> , <i>Filix</i>	ブナ科
試料番号5	コナラ属	コナラ亜属	コナラ節	<i>Quercus rugipes</i> , <i>Quercus acut.</i> , <i>Filix</i>	ブナ科
試料番号6	コナラ属	コナラ亜属	コナラ節	<i>Quercus rugipes</i> , <i>Quercus acut.</i> , <i>Filix</i>	ブナ科
試料番号7	コナラ属	コナラ亜属	コナラ節	<i>Quercus rugipes</i> , <i>Quercus acut.</i> , <i>Filix</i>	ブナ科
試料番号8	コナラ属	コナラ亜属	コナラ節	<i>Quercus rugipes</i> , <i>Quercus acut.</i> , <i>Filix</i>	ブナ科
試料番号9	コナラ属	コナラ亜属	コナラ節	<i>Quercus rugipes</i> , <i>Quercus acut.</i> , <i>Filix</i>	ブナ科
試料番号10	コナラ属	コナラ亜属	コナラ節	<i>Quercus rugipes</i> , <i>Quercus acut.</i> , <i>Filix</i>	ブナ科

図IV-4 竪穴住居跡 - 2(4)



図Ⅳ - 5 竪穴住居跡 - 2(5)

して作られているため、覆土上位の流入土や掘上げ土からは、縄文時代晩期の土器片や石器が多く出土した。

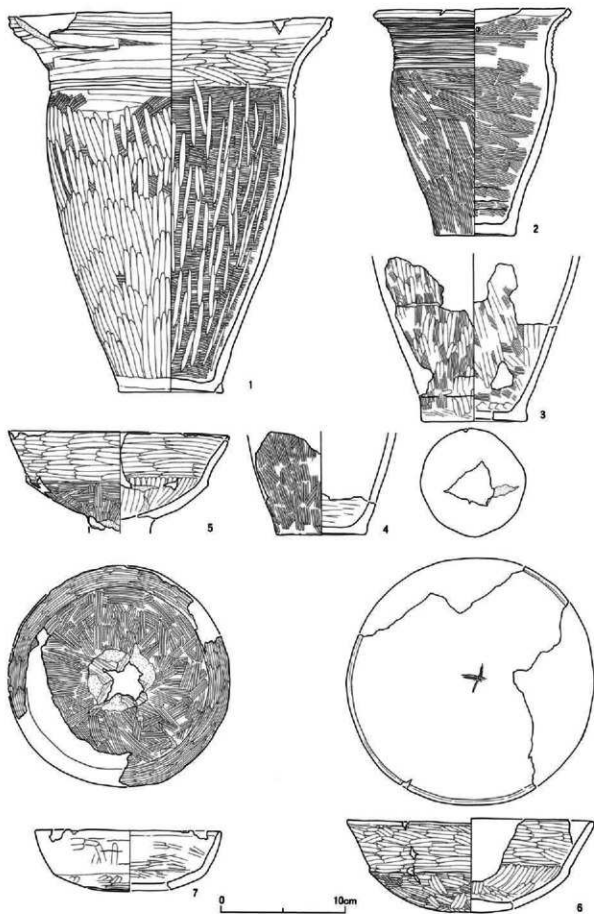
炭化材は北壁と西壁に「すのこ」状のまとまりが見られ、その上に「ござ」状の敷物が確認できた。中央付近から放射状に出土したものは、屋根材の一部と考えられる。壁際に垂直に立っているものが見られた。土留めの板かそれを留める杭と考えられる。炭化材の樹種同定では、使用された材は、すべて「コナラ」を使用したものという結果が出ている。

時 期：出土したⅦ群土器から、8世紀中葉と考えられる。

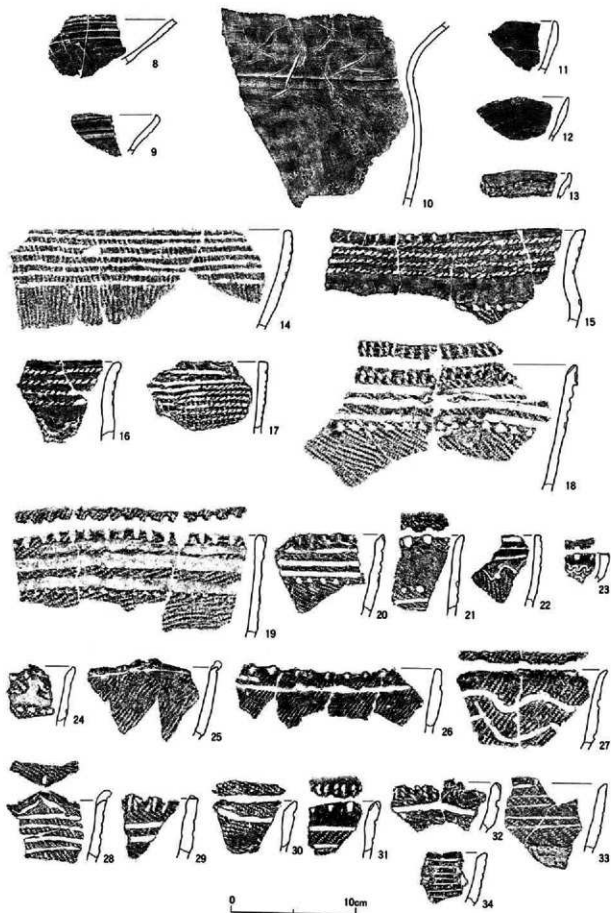
遺 物：土器 1～13はⅦ群土器。1は北西の壁際床面から出土した。口縁部の一部が打ち欠かされている。口縁部は外反し、体部上位はやや張り出す。器面調整は口縁部がナデ、体部はハケメ後ヘラミガキである。2は竈の周辺から出土した。口縁部が外反する。口縁部から頸部にかけて横走沈線をもつ。器面調整は内外面ともハケメである。3・4は甕の底部破片。3は穿孔されている。いずれも竈の周辺から出土した。5は高杯。破片の一部が閉塞された煙道の中から出土した。外面の調整はヘラミガキとハケメである。内面はヘラミガキ後に黒色処理されている。6・7は杯。体部に段をもつ。6は内面の底に十字状の刻みがある。内面は黒色処理が施されている。8・9は甕の口縁部破片。10は体部から頸部へかけての甕の破片。南東隅の床面から出土した。器面調整はヘラミガキである。11～13は杯の口縁部破片。12の内面は黒色処理が施されている。14～44はⅤ群土器。大半が掘上げ土からの出土である。元はKH-2の位置にあった縄文時代晩期の遺構または包含層の遺物と考えられる。16～17は縄線文が施されるもの。14の口唇断面は丸型を呈する。15・16は同一個体。口縁部の縄線文の下位に無文帯をもち、棒状工具による刺突列で区画される。口唇部の一部に刻みが入られている。18～21は口縁部直下に3条の沈線が廻り、刺突列で区画されている。18と20の刺突は棒状工具で斜めに施文されている。21は口縁部はナデ調整で無文帯となる。22・23は波縄文が見られるもの。24は指頭によるとと思われる太い沈線の周りを刺突で埋めたもの。26の口唇部の刻みは縄端圧痕のよるもの。28は突起部に沈線で三角形が描かれている。29の口唇部は外側から縄圧痕、内側から棒状工具による刻みが入られている。31の口唇部は外側から棒状工具、内側から縄圧痕による刻みが入られている。33・35は縄線で弧状の文様が描かれている。36の口唇部内面は竹管状工具による刺突列が廻る。40は口唇部の内外の両方から棒状工具による刻みが付けられている。42の口唇断面は角型を呈する。43の口唇直下はなで調整によって無文帯となっている。44は縄文のみが施された浅鉢。口唇部の内外の両方から棒状工具による刻みが付けられている。45は大形の浅鉢。口縁部内面は括弧文と竹管状工具による刺突列で文様が描かれている。括弧文の沈線部分は赤彩顔料が塗布されている。

石 器 等：46～52は掘上げ土またはトレンチ出土のもので、縄文時代の遺物と考えられる。53～56は床面から出土し、炭化物やタール状のものが付着していることから、住居に伴うものと考えられる。特に記載がない限り、剥片石器の石質は黒曜石である。46・47は石錐。返しが明瞭なもの。48は真岩製の石錐。49は真岩製のつまみ付きナイフ。尖頭部をもつもの。50は石製品に分類した。2カ所に決りの加工が施されている。51は泥岩製の石斧。全面研磨されている。52は軽石製の磁石で、細い溝が1カ所あるもの。53は偏平礫の平坦面を利用したすり石。54は石皿。割れ面に炭化物の付着が見られることから、消失時にはすでに破損していたと考えられる。55は敲打痕と凹みをもつもの。56は土製の紡錘車。側面はヘラケズリで仕上げられている。

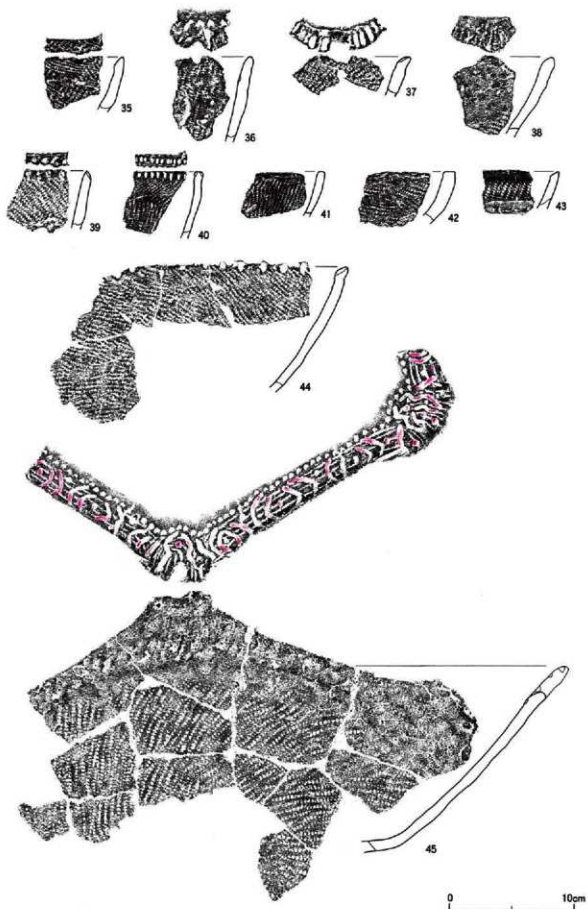
(村田)



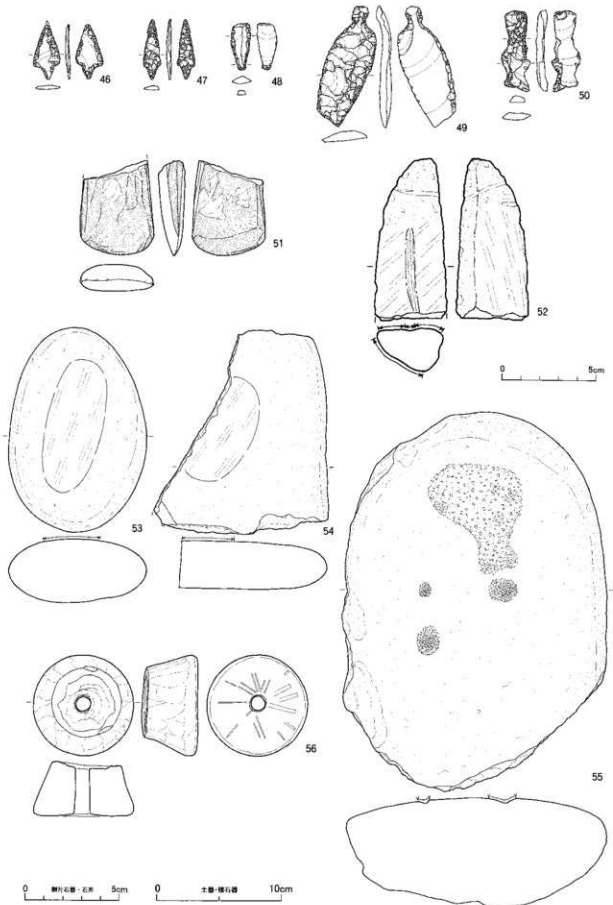
図Ⅳ - 6 - 2出土の遺物(1)



図IV - 7 - 2 出土の遺物(2)



図Ⅳ - 8 - 2出土の遺物(3)



図Ⅳ-9 - 2 出土の遺物(4)

- 3 (図N-10~18、図版103~114)

位置・立地：F-G-51・52 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：5.43/5.07 4.87 4.61 0.8m 平 面 形：方形に近い菱形

確認・調査：地表面で方形の凹みとして確認した。凹みの周囲に周堤状の盛り上がりがあり認められ、掘上げ土が良好に残存することが予想されたため、凹みの周囲を含めて直交する土層観察用のセクションベルトを設定した。アイヌ文化期の遺構が存在する可能性があったので精査を行ったが、遺構は検出されなかった。トレンチ調査を行い、平坦な面と明瞭な立ち上がりがあり認められたので、住居跡と判断した。竈周辺の土壌をサンプリングし、フローテーション作業を行っている。また、床面から採取した炭化材の年代測定と炭化樹種同定を行っている。

覆 土：焼土粒、炭化物を大量に含む土が床面まで堆積している。床面に住居の構造物と思われる炭化材の拡がりがあり認められた。焼土住居である。覆土中に被熱し赤色硬化した土や焼土が見られることから、土葺きの屋根を持っていたと考えられる。

掘 上 げ 土：平面形を呈し、竅穴を全周しているが、北西側は斜面の崩落で失われている。

床 ・ 壁：ほぼ平坦で、壁は急に立ち上がる。

付 属 遺 構：南側の壁や西よりに灰白色粘土を用いた造り付けの竈がある。遺存状況は上から押し潰されたような状態である。火床は浅い掘り込みがある。煙道はトンネル式で、天井部はⅣ層・Ⅴ層の崩落が激しい。焚口と煙出し部分は竈の構築材と思われる白粘土で閉塞している。

南東隅の外側で、内傾するピットを1基検出した。他の三隅は検出できなかったが、外側に4本の柱穴をもつ竅穴と考えられる。煙出し穴の近くで杭跡と思われる小ピットを検出した。

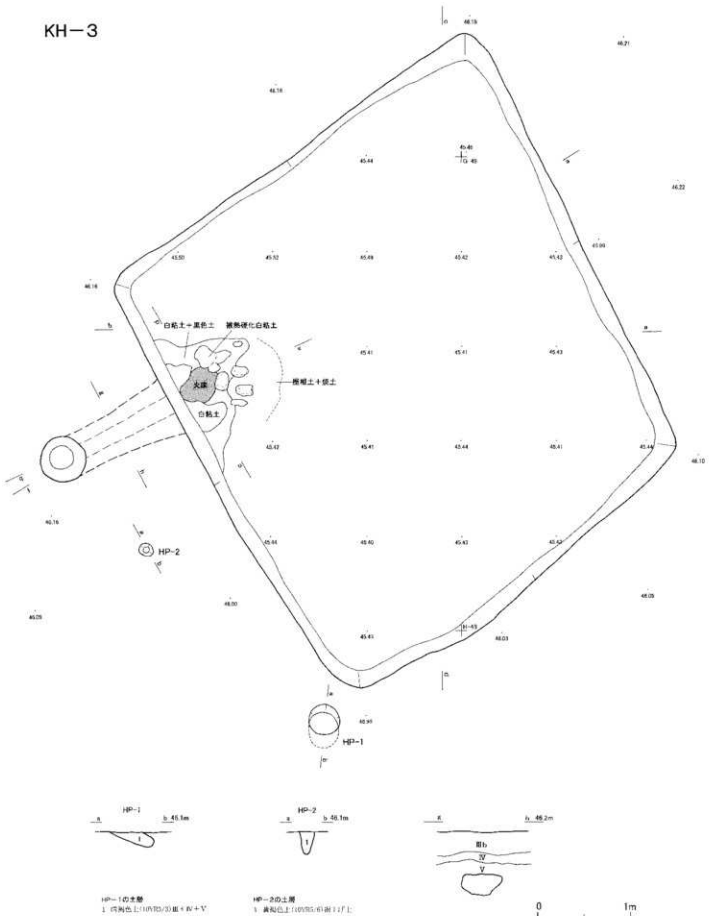
遺物出土状況：西壁付近から甕が2個体まとまって出土した。中央付近から杯が出土した。

炭化材は中央付近から放射状に出土したのが見られ、屋根材の一部と考えられる。西壁に「すのこ」状や「ござ」状のものが見られるが、依存状況は良くない。縄文時代の遺構を壊して作られているため、覆土上位の流入土や掘上げ土からは、縄文時代晩期の土器片や石器が多く出土した。炭化材の樹種同定では、使用された材は、すべて「コナラ」を使用したものという結果が出ている。

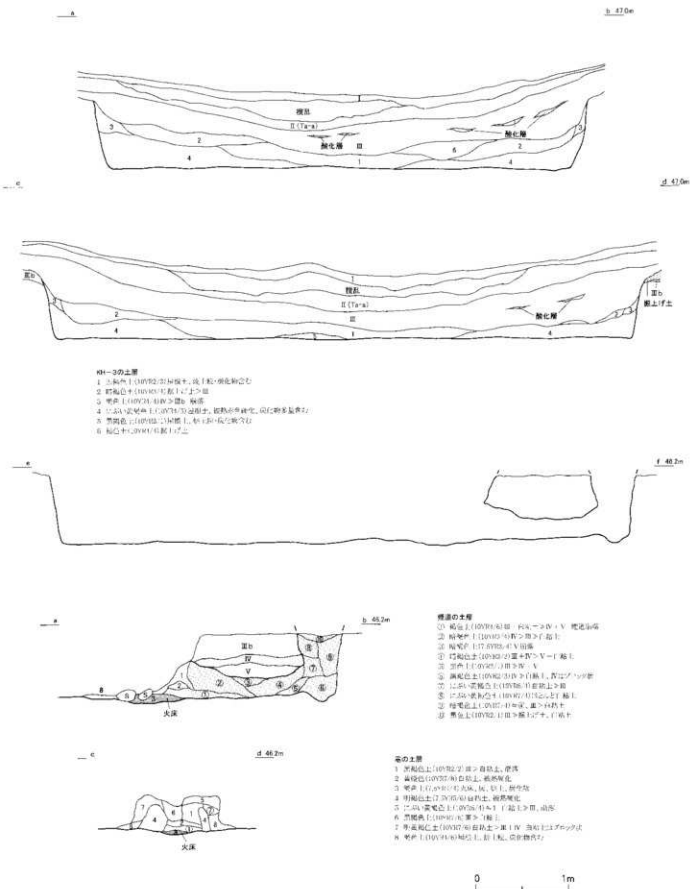
時 期：出土したⅦ群土器から、8世紀中葉と考えられる。

遺 物：土器 1~17はⅦ群土器。1・3は西壁付近の床面から2個体まとまって出土した。1は口縁部の一部が打ち欠かれている。口縁部は外反し、体部上位はやや張り出す。器面調整は口縁部はナデ、体部はハケメ後ヘラミガキである。内面はナデとハケメの調整である。底部が穿孔されている。2は1と同様の器形であるが、器面調整は内外面ともにハケメのみである。底部が穿孔されている。3の器面調整は口縁部がナデ、摩擦してよくわからないが頸部から体部はハケメのみと思われる。内面は口縁部から頸部がハケメ後ナデ調整である。4は掘上げ土と包含層出土のものが接合した。胴部がやや短い甕である。器面調整は口縁部がナデ、体部はハケメ後ヘラミガキでよく磨かれている。5は甕付近から出土した。6は自然堆積層の覆土1層から出土した。口縁部は外反し、胴部は斜めに立ち上がる。口唇部に刻みが入えられ、沈線による弧状の文様が器面を廻る。佐藤和雄分類のⅤ類に相当する土器である。7・8は甕の底部。7は割れ面観察から意図的に切断した可能性がある。8は底部が穿孔されている。7・8ともに器面調整は内外面ハケメである。9・10は杯。9は体部に段をもつ。器面調整は内外面ともにヘラミガキで段部はナデ調整である。底部は丸底気味である。中央付近から出土した。10は南側壁付近から出土した。小さな段をもつ。器面調整は内外面ヘラミガキである。9・10ともに内面黒色処理が施されている。11~13は甕の口縁部破片。ナデ調整が施されている。14は高杯の底部から脚部の破片。15~17は杯の口縁部破片。内面は黒色処理が施されている。18~41

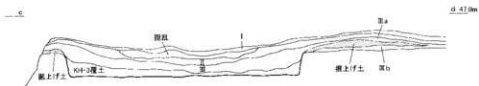
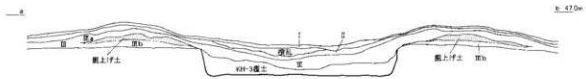
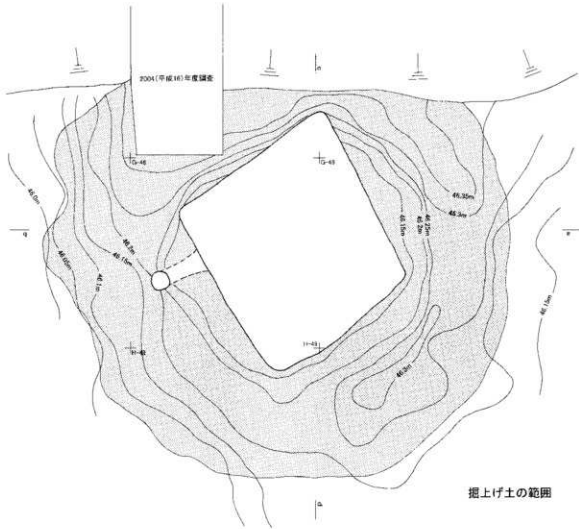
KH-3



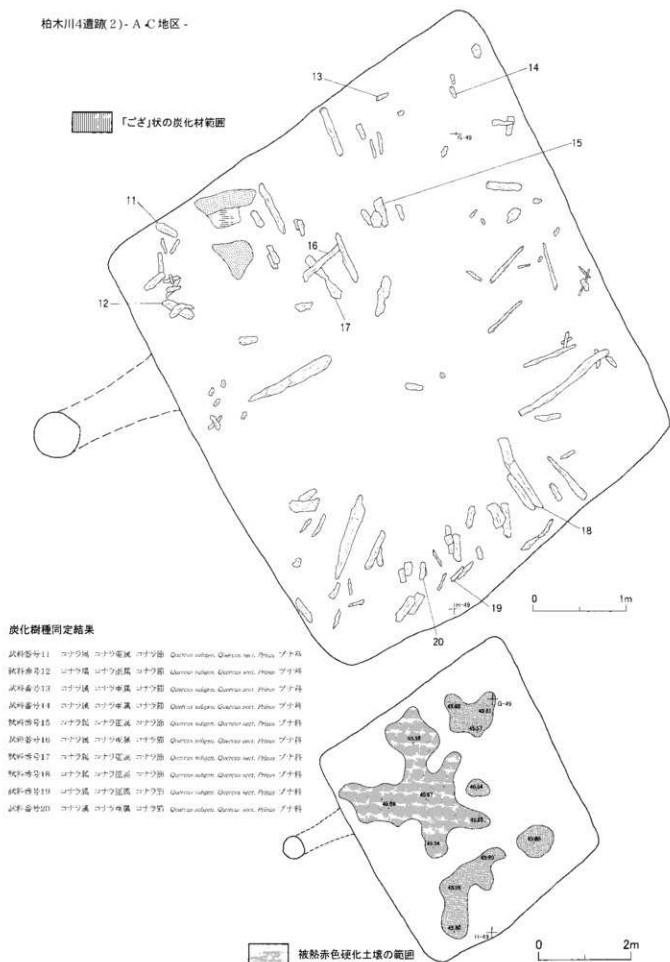
図IV-10 竪穴住居跡 - 3(1)



図Ⅳ-11 竪穴住居跡 - 3(2)



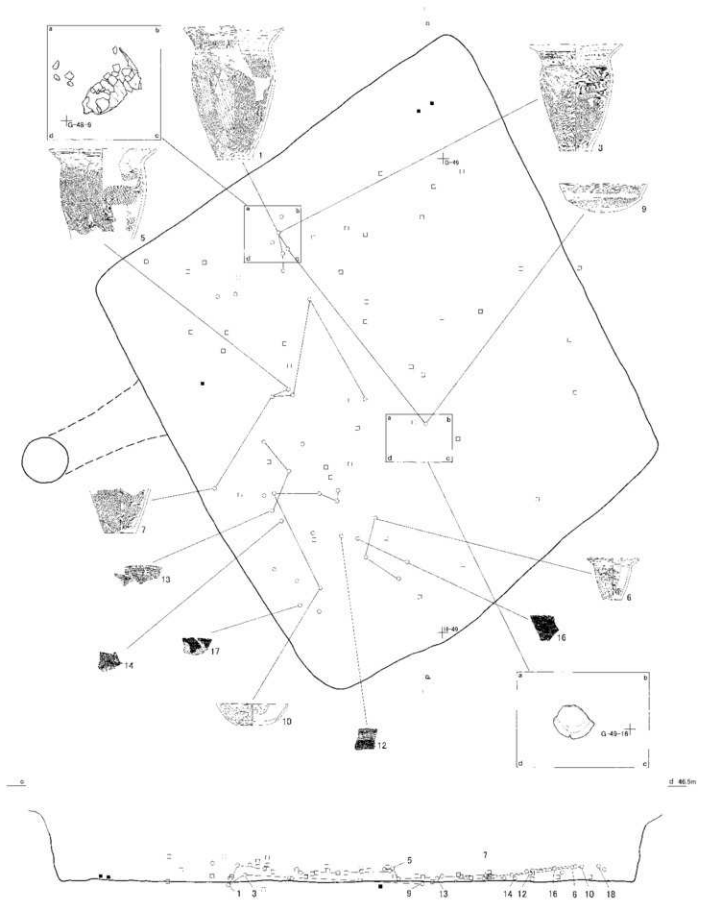
図Ⅳ-12 竪穴住居跡 - 3(3)



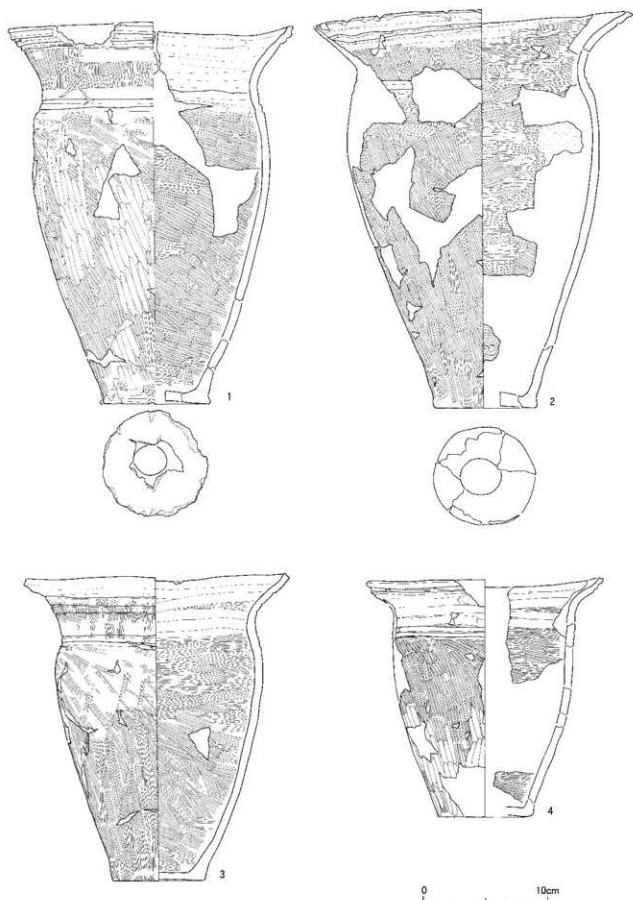
炭化樹種同定結果

試料番号11	コナラ属	コナラ属属	コナラ節	<i>Quercus satrapa</i>	<i>Quercus sect. Filix</i>	ブナ科
試料番号12	コナラ属	コナラ属属	コナラ節	<i>Quercus satrapa</i>	<i>Quercus sect. Filix</i>	ブナ科
試料番号13	コナラ属	コナラ属属	コナラ節	<i>Quercus satrapa</i>	<i>Quercus sect. Filix</i>	ブナ科
試料番号14	コナラ属	コナラ属属	コナラ節	<i>Quercus satrapa</i>	<i>Quercus sect. Filix</i>	ブナ科
試料番号15	コナラ属	コナラ属属	コナラ節	<i>Quercus satrapa</i>	<i>Quercus sect. Filix</i>	ブナ科
試料番号16	コナラ属	コナラ属属	コナラ節	<i>Quercus satrapa</i>	<i>Quercus sect. Filix</i>	ブナ科
試料番号17	コナラ属	コナラ属属	コナラ節	<i>Quercus satrapa</i>	<i>Quercus sect. Filix</i>	ブナ科
試料番号18	コナラ属	コナラ属属	コナラ節	<i>Quercus satrapa</i>	<i>Quercus sect. Filix</i>	ブナ科
試料番号19	コナラ属	コナラ属属	コナラ節	<i>Quercus satrapa</i>	<i>Quercus sect. Filix</i>	ブナ科
試料番号20	コナラ属	コナラ属属	コナラ節	<i>Quercus satrapa</i>	<i>Quercus sect. Filix</i>	ブナ科

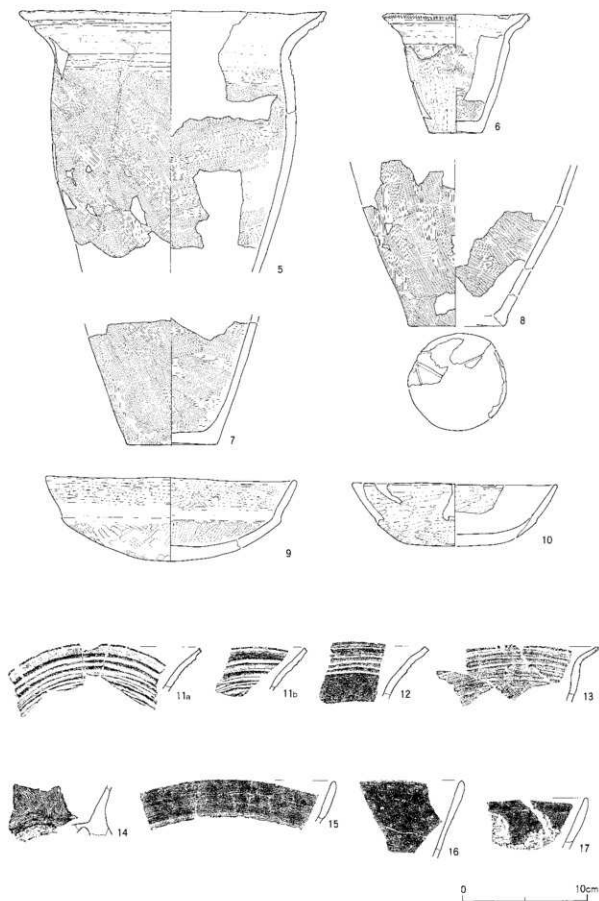
図Ⅳ-13 竪穴住居跡 - 3(4)



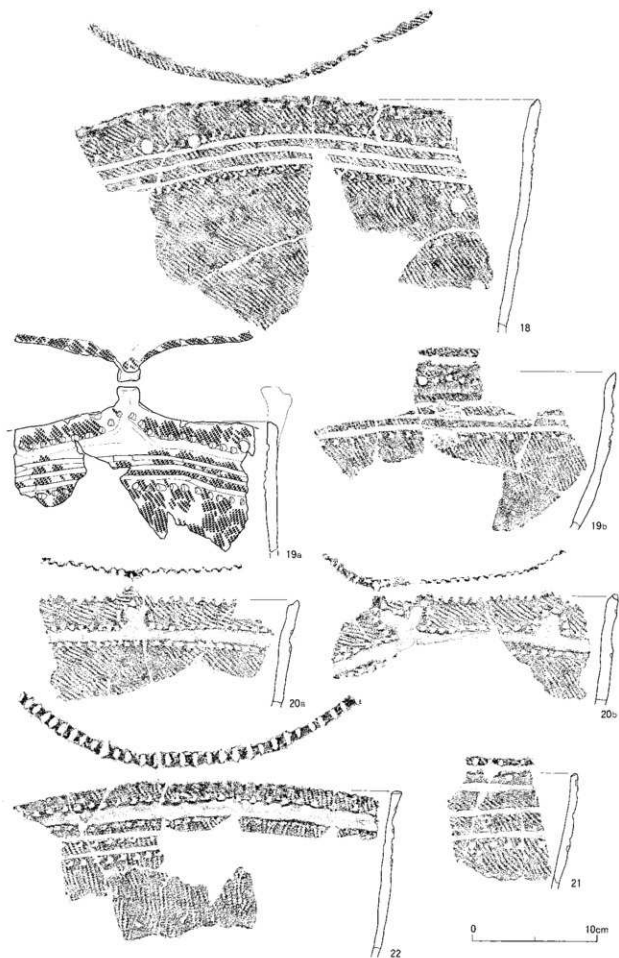
図IV-14 竪穴住居跡 - 3(5)



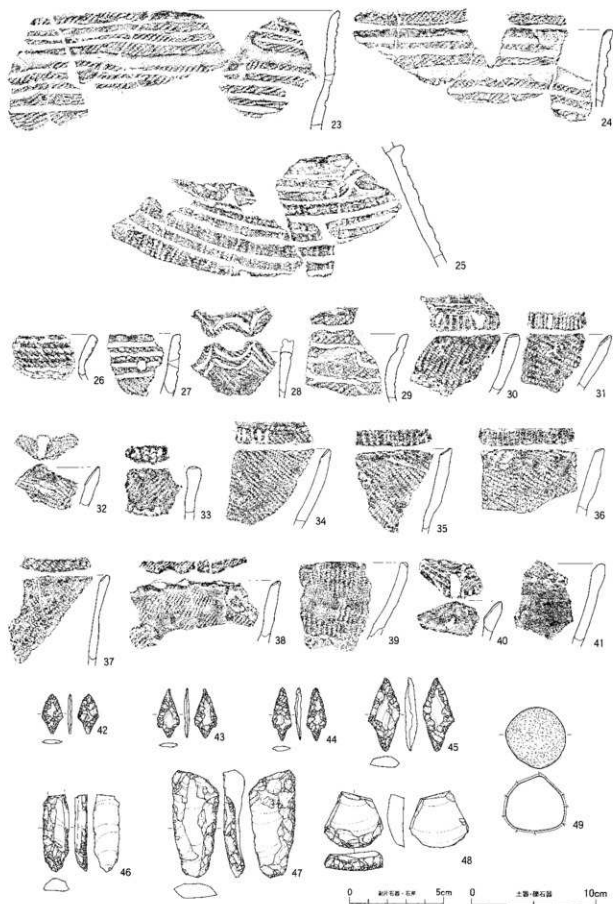
図Ⅳ - 15 - 3 出土の遺物(1)



図IV - 16 - 3出土の遺物(2)



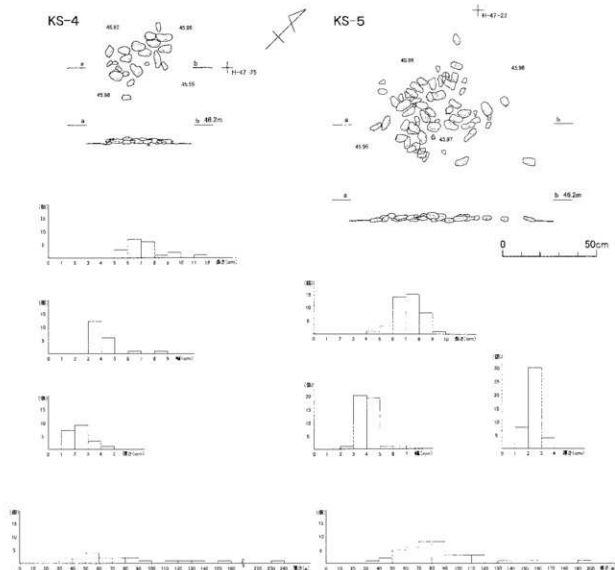
図Ⅳ-17 - 3出土の遺物 3)



図IV - 18 - 3出土の遺物(4)

はV群土器。大半が掘上げ土からの出土である。元はKH-3の位置にあった縄文時代晩期の遺構または包含層の遺物と考えられる。18は横走る沈線と竹管状工具による刺突列で文様が描かれる深鉢。19aと19bは同一個体。突起部の刺突列は山形を呈する。20aと20bは同一個体。口縁部直下に指頭によると思われる太い沈線の周りを、竹管状工具による刺突列で埋めている。口唇部の刻みは棒状工具によるもの。22は沈線と刺突列で文様が描かれるもの。口縁部直下の沈線は指頭によると思われる太いもの。23・24は同一個体の可能性がある。25は壺形土器の肩部の破片。沈線で工字文が描かれている。26は数条の縄線が横走するもの。28の突起には竹管状工具の刺突が加えられる。29の口縁部の内面に段がある。30～41は縄文のみが施されたもの。30～31の口唇部は縄圧痕と棒状工具による刻みが加えられている。34の口唇上には縄文によるものと縄圧痕によって縦と斜めに施文されている。

石 器：42～45は石鏃。43・44はかえしが明瞭なもの。46は尖頭部をもつスクレイパー。47は直線状の刃部をもつもの。48はエンドスクレイパー。49は砂岩製のたたき石で、全面にたたき痕が見られる。(村田)



図Ⅳ-19 集石 - 4・5

(2) 集石

- 4 (図Ⅳ-19、図版115)

位置・立地：H-47 標高46m付近の平坦面。KH-3の南側。

規 模：0.41 0.29m

確認・調査：Ⅲ層を5cm程掘り下げたところで、棒状礫が20個まともって出土した。KS-5のものに比べて扁平なものが多い。

時 期：周辺の遺構および出土遺物から、KH-3とほぼ同時期で8世紀中葉と考えられる。(村田)

- 5 (図Ⅳ-19、図版115)

位置・立地：H-47 標高46m付近の平坦面。KH-3の南側。

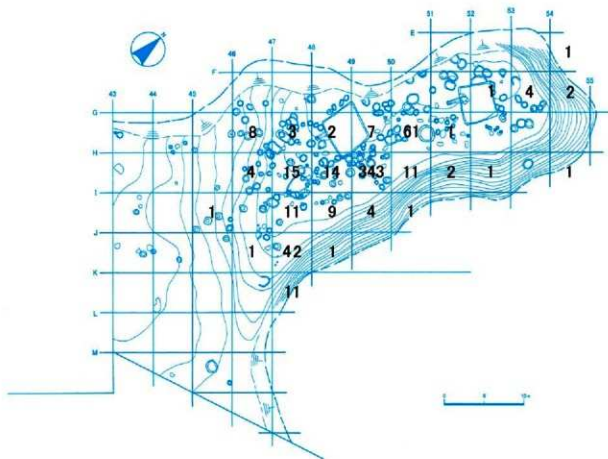
規 模：0.64 0.55m

確認・調査：Ⅲ層を5cm程掘り下げたところで、棒状礫が42個まともって出土した。KS-4のものに比べて棒状なものが多い。

時 期：周辺の遺構および出土遺物から、KH-3とほぼ同時期で8世紀中葉と考えられる。(村田)

2 包含層出土の遺物

(1) 土器(図20・21、図版116・117)



図Ⅳ-20 包含層出土Ⅶ群土器分布図

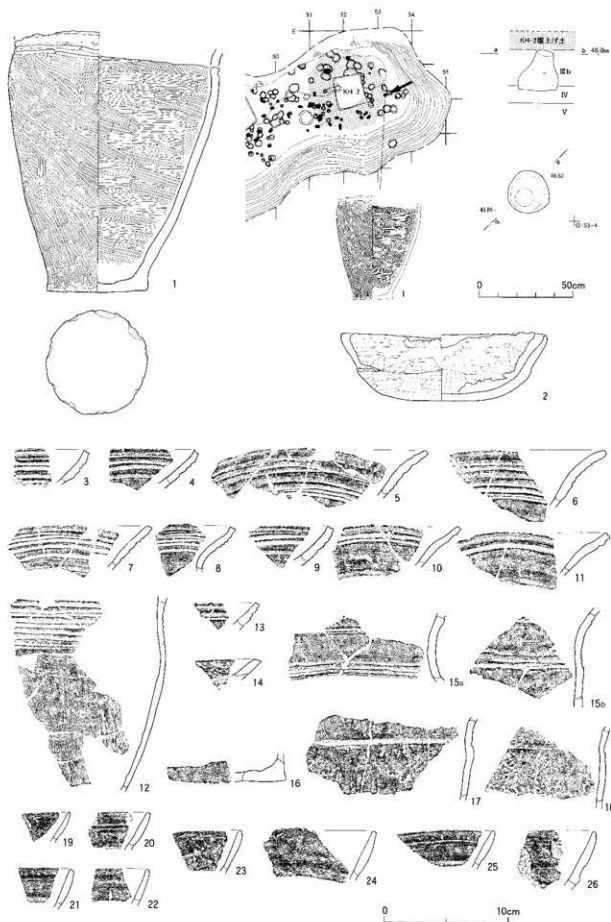
KH-3の南東側からの出土が多い。KS-4・5や遺物の分布から平坦面の南東側に活動の主体があったと考えられる。

1はKH-2の北東側の掘上げ土直下から、伏せられた状態で出土した。頸部から上を欠損しているが、断面の観察から意図的に切断されたものと考えられる。器面調整はハケメのみである。2は体部に段をもち、平底気味の底部となる。3～11、13、14は甕の口縁部破片。器面調整はナデである。12、15a、15b、17、18は甕の頸部破片。15a・15bはハケメ調整のみのも。16は底部。19～26は杯の口縁部破片。20・21・25の内面は黒色処理が施されている。

(2) 金属製品

A地区のⅢ層から3点出土した。H-47区から鉄鍋の破片1点、H-51区から一文字湯口をもつ鉄鍋の底部破片が1点、G-50区から刀子片が1点出土した。

立田が取りまとめ、第1調査部第1調査課田口 尚が保存処理を行った。図・写真の掲載は平成18年度以降の報告となる。(村田)



図IV - 21 包含層出土のⅦ群土器

表Ⅳ-1 擦文時代遺構規模一覧

遺構名	形式	位置	規模(m)			平面形状	掘削方向	確認層	層土	床面	掘削の立ち上がり	遺物出土状況	特 徴	備 考	調査年
			長軸	短軸	深さ										
管内住居跡 090															
KH-2	A	F-G-41-49 印	4.80/4.28	4.16/3.95	0.63	方形	N-37-E	I層上段の 35cm	被熱硬化層 粘土	平田	赤	床面から遺 物出土状況 調査から遺 物出土状況	8C中後(佐藤和 藤竹庵の墓)	他:矢石部、埋通トン ネル、灰化材	村田
KH-3	A	F-G-51-52	6.43/5.07	4.87/4.61	0.80	方形	N-17-E 埋通-17印	I層上段の 35cm	被熱硬化層 粘土	平田	赤	床面から遺 物出土状況	8C中後(佐藤和 藤竹庵の墓)	他:矢石部、埋通トン ネル、灰化材	村田
墓石水田															
KS-4	A	H-47	0.41	0.29				8層上位				特注線20線	KH-3とほぼ同		村田
KS-5	A	H-47	0.64	0.55				8層上位				特注線20線	KH-3とほぼ同		村田

表Ⅳ-2 擦文時代遺構出土掲載土器一覧(1)

押図番号	掲載 番号	写真 図版	遺構/ (免図区)	層位	点数	取り上げ 番号	分類	器種	部位	文様等の特徴	復元・拓本 番号
図Ⅳ-6	1	図版97	-2	床	1	47	Ⅷ	襖	口一底	口縁部打ち欠き	復元24
図Ⅳ-6	2	図版97	-2	床	1	49	Ⅷ	襖	口一底	口縁部一頸部に横走沈線 器面調整：内外面ハケメ	復元1
			-2	床	1	64					
			-2	床	1	74					
			-2	床	1	75					
			-2	床	3	76					
			-2	床	1	81					
			-2	床	6	83					
			未注記		1						
図Ⅳ-6	3	図版97	-2	床	4	72	Ⅷ	襖	底	底部穿孔 器面調整：ハケメ後ヘラミガキ	復元2
			-2	床	4	74					
			-2	床	1	83					
			-50	Ⅲ	2						
			-51	Ⅲb	1						
			-43	Ⅲ	1						
			未注記		2						
図Ⅳ-6	4	図版97	-2	床	1	72	Ⅷ	襖	底	器面調整：ハケメ	復元22
			-2	床	1	80					
			-2	床	1	85					
			+50	Ⅲ	1						
			-51	Ⅲb	1						
図Ⅳ-6	5	図版98	-2	カマド	22	87	Ⅷ	高杯	口一底	脚部欠損 器面調整：ヘラミガキ ハケメ	復元10
			-2	床	1	84					
図Ⅳ-6	6	図版98	-2	床	6	50	Ⅷ	杯	口一底	内面黒色処理 器面調整：ヘラミガキ	復元14
			-2	床	2	52					
			-2	カマド	1	89					
図Ⅳ-6	7	図版98	-2	床	1	66	Ⅷ	杯	口一底	器面調整：ヘラミガキ+ナデ?	復元21
			-2	床	1	68					
			-2	床	1	71					
			-2	床	1	81					
図Ⅳ-7	8	図版99	-2	取り上げ土	1		Ⅷ	襖	口縁		拓本5
			+50	Ⅲ	1						
図Ⅳ-7	9	図版99	-2	床	1	83	Ⅷ	襖	口縁		拓本2
図Ⅳ-7	10	図版99	-2	床	2	52	Ⅷ	襖	頸一胴	器面調整：ヘラミガキ	拓本6
図Ⅳ-7	11	図版99	-2	覆土	2	1	Ⅷ	杯	口縁		拓本4
図Ⅳ-7	12	図版99	-2	床	1	68	Ⅷ	杯	口縁	内面黒色処理	拓本3
図Ⅳ-7	13	図版99	-2	床	1	84	Ⅷ	杯	口縁		拓本1
図Ⅳ-7	14	図版99	-2	覆土	1	6	V c	深鉢	口縁	縄線文	拓本61
			-51	Ⅲb	1						
図Ⅳ-7	15	図版99	-2	取り上げ土	1		V c	深鉢	口縁	縄線文 16と同一個体	拓本58
			-52	Ⅲb	1						
			-53	Ⅲb	1						
			-52	Ⅲ	1						
図Ⅳ-7	16	図版99	-2	覆土	1	1	V c	深鉢	口縁	縄線文 15と同一個体	拓本58
			-2	覆土	2	1					
			-2	取り上げ土	1	1					
図Ⅳ-7	17	図版99	-2	取り上げ土	1	1	V c	深鉢	口縁	縄線文	拓本36

表Ⅳ-2 擦文時代遺構出土掲載土器一覽(2)

押図番号	掲載番号	写真図版	遺構/ (発掘区)	層位	点数	取り上げ 番号	分類	器種	部位	文様等の特徴	復元・拓本 番号
図Ⅳ-7	18	図版99	- 2	覆土 1	1		V c	深鉢	口縁	縹線文+刺突列	拓本60
			- 2	取り上げ土	2						
図Ⅳ-7	19	図版100	- 52	Ⅲ b	1		V c	深鉢	口縁	太い沈線	拓本62
			- 51	Ⅲ	1						
図Ⅳ-7	20	図版100	- 2	覆土	1		V c	深鉢	口縁	縹線文+刺突列	拓本40
図Ⅳ-7	21	図版100	- 2	覆土 1	1		V c	深鉢	口縁	口縁部ナデ調整	拓本43
図Ⅳ-7	22	図版100	- 2	取り上げ土	1		V c	深鉢	口縁		拓本53
図Ⅳ-7	23	図版100	- 2	取り上げ土	1		V c	浅鉢	口縁		拓本45
図Ⅳ-7	24	図版100	- 2	取り上げ土	1		V c	深鉢	口縁	太沈線+刺突	拓本44
図Ⅳ-7	25	図版100	- 2	取り上げ土	2		V c	浅鉢	口縁		拓本54
			- 51	Ⅲ b	1						
図Ⅳ-7	26	図版100	- 2	取り上げ土	4		V c	深鉢	口縁	口唇部刺み縹線圧痕	拓本57
図Ⅳ-7	27	図版100	- 2	取り上げ土	1		V c	深鉢	口縁		拓本59
図Ⅳ-7	28	図版100	- 2	覆土 1	2		V c	深鉢	口縁		拓本55
図Ⅳ-7	29	図版100	- 2	取り上げ土	1		V c	深鉢	口縁		拓本56
図Ⅳ-7	30	図版100	- 2	取り上げ土	1		V c	深鉢	口縁		拓本51
図Ⅳ-7	31	図版100	- 2	取り上げ土	1		V c	深鉢	口縁		拓本52
図Ⅳ-7	32	図版100	- 2	取り上げ土	2		V c	深鉢	口縁		拓本38
図Ⅳ-7	33	図版100	- 2	床	1	24	V c	浅鉢	口縁	弧状の縹線	拓本63
			- 2	取り上げ土	1						
図Ⅳ-7	34	図版100	- 2	覆土 1	1		V c	浅鉢	口縁		
図Ⅳ-8	35	図版100	- 2	取り上げ土	1		V c	浅鉢	口縁		拓本48
図Ⅳ-8	36	図版100	- 2	覆土 1	1		V c	浅鉢	口縁		拓本41
図Ⅳ-8	37	図版100	- 2	取り上げ土	2		V c	浅鉢	口縁		拓本37
図Ⅳ-8	38	図版100	- 2	取り上げ土	1		V c	浅鉢	口縁		拓本42
図Ⅳ-8	39	図版100	- 2	取り上げ土	1		V c	浅鉢	口縁		拓本35
図Ⅳ-8	40	図版100	- 2	取り上げ土	1		V c	浅鉢	口縁		拓本39
図Ⅳ-8	41	図版100	- 2	覆土	1		V c	浅鉢	口縁		拓本49
図Ⅳ-8	42	図版100	- 2	取り上げ土	1		V c	浅鉢	口縁		拓本46
図Ⅳ-8	43	図版100	- 2	覆土	1		V c	浅鉢	口縁		拓本50
図Ⅳ-8	44	図版101	- 2	取り上げ土	2		V c	浅鉢	口縁		拓本64
			- 51	Ⅲ b	4						
図Ⅳ-8	45	図版101	- 51	Ⅲ	12		V c	浅鉢	口縁	口縁部内面括弧文赤彩顔料塗布	拓本165
図Ⅳ-15	1	図版109	- 3		55	302	Ⅷ	襷	口一底	口縁部打ち欠き 底部穿孔 器面調整:口縁部ナデ 頸部ハケメ 体部ハケメ+ヘラミガキ 内面ナデ ハケメ	復元8
			- 3	覆土 2	12	147					
			- 3	覆土 2	2	148					
			- 3	覆土 5	3						
図Ⅳ-15	2	図版109	- 3	取り上げ土	7		Ⅷ	襷	口一底	底部穿孔 器面調整:内外面ハケメ	復元11
			- 3	覆土 1	1						
			- 49	Ⅲ	82						
			- 49	Ⅲ a	1						
図Ⅳ-15	3	図版109	- 3		1	301	Ⅷ	襷	口一底	器面調整:口縁部ナデ 体部ハケメ	復元6
			- 3		42	302					
			- 3		1	304					
			- 3	覆土	1						
			- 3	覆土 2	12						
			- 3	取り上げ土	3						
図Ⅳ-15	4	図版110	- 3	取り上げ土	3		Ⅷ	襷	口一底	器面調整:口縁部ナデ 体部ハケメ後ヘラミガキ	復元23
			- 49	Ⅲ	30						
			- 49	Ⅲ a	2						
			- 49	Ⅲ	2						
図Ⅳ-16	5	図版110	- 3	覆土 2	1	170	Ⅷ	襷	口一底	器面調整:口縁部ナデ 体部ハケメ内面ハケメ	復元7
			- 3		1	171					
			- 49	Ⅲ	39						
			- 50	Ⅲ	4						
			- 3		1	126					
図Ⅳ-16	6	図版110	- 3		1	129	Ⅷ	襷	口一底	口唇部に刺み沈線による弧状 器面調整:口縁部ナデ 体部ハケメ後ヘラミガキ 佐藤和雄分類のV類	復元4
			- 3		1	130					
			- 3	覆土 1	10						
			- 3	フレンチ	3						

表Ⅳ-2 擦文時代遺構出土掲載土器一覧(3)

押図番号	掲載番号	写真図版	遺構/ (発掘区)	層位	点数	取り上げ 番号	分類	器種	部位	文様等の特徴	復元・拓本 番号
図Ⅳ-16	7	図版110	KH-3	覆土	1	10	Ⅳ	壺	底	器面調整：内外面ハケメ 意図的に切断?	復元3
			KH-3		2	94					
			KH-3		1	103					
			KH-3	覆土2	1	170					
			KH-3	覆土2	1	172					
図Ⅳ-16	8	図版110	KH-3		27		Ⅳ	壺	底	底面に沈線文	復元19
図Ⅳ-16	9	図版111	KH-3		3	301	Ⅳ	杯	口～底	体部に段内面黒色処理丸底	復元9
図Ⅳ-16	10	図版111	KH-3		4	100	Ⅳ	杯	口～底	体部に段内面黒色処理平底	復元5
			KH-3		2	101					
			KH-3		1	102					
			KH-3		1	104					
			KH-3		1	120					
			KH-3		1	120					
図Ⅳ-16	11a	図版111	I-49		1		Ⅳ	壺	口縁		拓本11
			J-47		3						
図Ⅳ-16	11b	図版111	KH-3	覆土1	1		Ⅳ	壺	口縁		拓本11
図Ⅳ-16	12	図版111	KH-3		1	124	Ⅳ	壺	口縁		拓本8
図Ⅳ-16	13	図版111	KH-3		1	88	Ⅳ	壺	口縁		拓本9
			KH-3		1	112					
			KH-3	覆土2	1	180					
図Ⅳ-16	14	図版111	KH-3		1	113	Ⅳ	高杯	底～脚	器面調整：ハケメ	拓本12
図Ⅳ-16	15	図版111	KH-3	覆土1	2		Ⅳ	杯	口縁	内面黒色処理	拓本10
			G-50		1						
図Ⅳ-16	16	図版111	KH-3		1	125	Ⅳ	杯	口縁	内面黒色処理	拓本13
			KH-3		1	128					
図Ⅳ-16	17	図版111	KH-3	覆土1	1		Ⅳ	杯	口縁	内面黒色処理	拓本7
			KH-3		1	118					
図Ⅳ-17	18	図版112	KH-3	トレンチB	1		V c	深鉢	口縁	3本の沈線+竹管状工具による刺突	拓本83
			KP-179	覆土1	2						
			G-47		4						
図Ⅳ-17	19a	図版112	KH-3	掘り上げ土	3		V c	深鉢	口縁	突起部の刺突列山形	拓本87
			F-49		1						
			G-48		2						
図Ⅳ-17	19b	図版112	KH-3	掘り上げ土	1		V c	深鉢	口縁		拓本87
			G-49		2						
			G-49		1						
図Ⅳ-17	20a	図版112	KP-271	覆土1	1		V c	深鉢	口縁	指頭による太い沈線	拓本86
			G-49		2						
			G-50		1						
図Ⅳ-17	20b	図版112	KH-3	トレンチD	3		V c	深鉢	口縁		拓本86
			G-49		1						
図Ⅳ-17	21	図版112	G-49		5		V c	深鉢	口縁		拓本84
図Ⅳ-17	22	図版112	KH-3	掘り上げ土	1		V c	深鉢	口縁	指頭による太い沈線	拓本88
			KH-3	トレンチD	1						
			G-49		6						
			G-51		1						
			G-51		1						
図Ⅳ-18	23	図版113	KH-3	覆土1	1		V c	深鉢	口縁		拓本85
			H-48		7						
図Ⅳ-18	24	図版113	KH-3	掘り上げ土	1		V c	深鉢	口縁		拓本80
			H-48		1						
			H-48		3						
図Ⅳ-18	25	図版113	KH-3	掘り上げ土	1		V c	壺	肩	工字文	拓本82
			KH-3		1	318					
			KH-3	覆土1	1						
			KH-3	覆土2	1	246					
図Ⅳ-18	26	図版113	KH-3	覆土1	1		V c	深鉢	口縁	縄線	拓本78

表Ⅳ-2 擦文時代遺構出土掲載土器一覽(4)

挿図番号	掲載番号	写真図版	遺構/ (発掘区)	層位	点数	取り上げ 番号	分類	器種	部位	文様等の特徴	復元・拓本 番号
図Ⅳ-18	27	図版113	-3	掘り上げ土	1		Vc	深鉢	口縁		拓本79
図Ⅳ-18	28	図版113	-3	覆土2	1		Vc	深鉢	口縁	内面に沈線	拓本73
図Ⅳ-18	29	図版113	-3	掘り上げ土	1		Vc	深鉢	口縁		拓本76
図Ⅳ-18	30	図版113	-3	掘り上げ土	1		Vc	浅鉢	口縁	口唇上に燃糸圧痕と刻み	拓本69
図Ⅳ-18	31	図版113	-3	掘り上げ土	1		Vc	浅鉢	口縁		拓本67
図Ⅳ-18	32	図版113	-3	掘り上げ土	1		Vc	深鉢	口縁		拓本75
図Ⅳ-18	33	図版113	-3	掘り上げ土	1		Vc	深鉢	口縁		拓本74
図Ⅳ-18	34	図版114	-3	掘り上げ土	1		Vc	浅鉢	口縁	内面に1条の溝線が選る	拓本66
図Ⅳ-18	35	図版114	-3	覆土1	1		Vc	浅鉢	口縁		拓本70
図Ⅳ-18	36	図版114	-3	覆土2	1		Vc	浅鉢	口縁		拓本68
図Ⅳ-18	37	図版114	-3	掘り上げ土	1		Vc	深鉢	口縁		拓本71
図Ⅳ-18	38	図版114	-3	覆土1	2		Vc	深鉢	口縁		拓本81
図Ⅳ-18	39	図版114	-3	掘り上げ土	1		Vc	浅鉢	口縁		拓本65
図Ⅳ-18	40	図版114	-3	覆土2	1		Vc	深鉢	口縁		拓本77
図Ⅳ-18	41	図版114	-3	掘り上げ土	1		Vc	深鉢	口縁		拓本72

表Ⅳ-3 擦文時代遺構出土掲載石器等一覽

図番号	表紙 番号	図版 番号	器種名	遺構名	出土層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石質	取り上げ 番号	備考
図Ⅳ-9	46	図版102	石鏃	KH-2	掘り上げ土	(2.8)	1.4	0.2	0.7	obs.		
図Ⅳ-9	47	図版102	石鏃	KH-2	トレンチ	3.1	0.9	0.25	0.5	obs.	23	
図Ⅳ-9	48	図版102	石鏃	KH-2	掘り上げ土	2.45	1.0	0.5	1.1	頁岩		
図Ⅳ-9	49	図版102	つまみ付ナイフ	KH-2	トレンチ	6.3	3.1	0.7	8.4	頁岩		
図Ⅳ-9	50	図版102	石製品	KH-2	掘り上げ土	4.2	1.5	0.6	2.5	obs.		
図Ⅳ-9	51	図版102	石斧	KH-2	掘り上げ土	(5.0)	3.9	(1.4)	(36.7)	泥岩		
図Ⅳ-9	52	図版102	礫石	KH-2	掘り上げ土	(8.5)	(3.9)	(2.3)	(38.2)	軽石		
図Ⅳ-9	53	図版102	すり石	KH-2	床面	16.1	10.8	5.1	1320	安山岩	44	炭化物付着
図Ⅳ-9	54	図版102	石皿	KH-2	床面	16.0	13.7	4.0	1166	安山岩	46	炭化物付着
図Ⅳ-9	55	図版102	台石	KH-2	床面	29.7	20.9	8.5	7800	安山岩	45	炭化物付着
図Ⅳ-9	56	図版97	紡錘車	KH-2	床面	5.3	5.3	2.95	75.6	土製品		
図Ⅳ-18	42	図版114	石鏃	KH-3	掘り上げ土	2.05	1.1	0.2	0.4	obs.		
図Ⅳ-18	43	図版114	石鏃	KH-3	覆土2	2.55	1.15	0.25	0.5	obs.	223	
図Ⅳ-18	44	図版114	石鏃	KH-3	掘り上げ土	2.7	1.0	0.3	0.5	obs.		
図Ⅳ-18	45	図版114	石鏃	KH-3	掘り上げ土	3.8	1.6	0.6	3.0	obs.		
図Ⅳ-18	46	図版114	スクレイパー	KH-3	掘り上げ土	(4.0)	(1.35)	(0.65)	(4.4)	obs.	300	
図Ⅳ-18	47	図版114	スクレイパー	KH-3	掘り上げ土	5.6	2.5	1.15	13.3	obs.	3	
図Ⅳ-18	48	図版114	スクレイパー	KH-3	掘り上げ土	3.0	3.05	1.0	8.9	obs.		
図Ⅳ-18	49	図版114	たたき石	KH-3	トレンチ	4.7	4.6	4.3	146.1	砂岩		

表Ⅳ-4 擦文時代遺構出土遺物一覽

遺構・調査区	B b	B c	V b	V c	Ⅴ	貯 器	石 鏃	石 皿	つまみ付ナイフ	スク レ イ パ ー	B フ レ イ ク	フ レ イ ク	た た き 石	す り 石	北 海 道 式 石 冠	礫 石	台 石	石 皿	レ シ	加 工 痕 ある 礫	棒 状 礫	石 製 品	不 明	石 斧 製 品	合 計
-2	21	3	2	1214	107	1	7	1	2	29	9	284	1	2	1	1	1	1	2	39	2	1	1	1	1653
-3	29			1988	197		9	1		16	16	207		4						75	1	1			2544
-4				2																					22
-5				21						1															64

表Ⅳ-5 包含層出土Ⅶ群揚載土器一覧

押図番号	掲載 番号	写真 図版	遺構/ (発掘区)	層位	点数	分類	器種	部位	文様等の特徴	復元・拓本 番号
図Ⅳ-21	1	図版116	-53	Ⅲb	1	Ⅶ	甕	胴一底	器面調整：ハケメ	復元25
図Ⅳ-21	2	図版116	-47	Ⅲ	11	Ⅶ	杯	口一底	器面調整：ヘラミガキ 体部に段 平底	復元18
			未注記		1					
図Ⅳ-21	3	図版116	-55	Ⅲ	1	Ⅶ	甕	口縁		拓本14
図Ⅳ-21	4	図版116	-48	Ⅲa	1	Ⅶ	甕	口縁		拓本15
図Ⅳ-21	5	図版116	-49	Ⅲ	4	Ⅶ	甕	口縁		拓本33
図Ⅳ-21	6	図版116	-49	Ⅲ	2	Ⅶ	甕	口縁		拓本20
図Ⅳ-21	7	図版116	-48	Ⅲ	1	Ⅶ	甕	口縁		拓本32
			-49	Ⅲ	3					
図Ⅳ-21	8	図版116	-48	Ⅲ	1	Ⅶ	甕	口縁		拓本17
図Ⅳ-21	9	図版116	-47	Ⅲ	1	Ⅶ	甕	口縁		拓本16
図Ⅳ-21	10	図版116	-49	Ⅲ	2	Ⅶ	甕	口縁		拓本21
図Ⅳ-21	11	図版116	-49	Ⅲ	2	Ⅶ	甕	口縁		拓本21
図Ⅳ-21	12	図版117	-48	Ⅲ	1	Ⅶ	甕	胴		拓本32
			-49	Ⅲ	9					
図Ⅳ-21	13	図版117	-49	Ⅲ	1	Ⅶ	甕	口縁		拓本19
図Ⅳ-21	14	図版117	-53	Ⅲb	1	Ⅶ	甕	口縁		拓本18
図Ⅳ-21	15	図版117	-49	Ⅲ	2	Ⅶ	甕	胴	器面調整：ハケメ	拓本30
			-50	Ⅲ	1					
図Ⅳ-21	15	図版117	-49	Ⅲ	2	Ⅶ	甕	胴		拓本30
図Ⅳ-21	16	図版117	-49	Ⅲ	1	Ⅶ	甕	底		拓本31
図Ⅳ-21	17	図版117	-55	Ⅲ	3	Ⅶ	甕	胴		拓本34
図Ⅳ-21	18	図版117	-55	Ⅲ	2	Ⅶ	甕	胴		拓本34
図Ⅳ-21	19	図版117	-47	Ⅲ	1	Ⅶ	杯	口縁		拓本26
図Ⅳ-21	20	図版117	-46	Ⅲ	1	Ⅶ	杯	口縁	内面黒色処理	拓本22
図Ⅳ-21	21	図版117	-47	Ⅲ	1	Ⅶ	杯	口縁	内面黒色処理	拓本29
図Ⅳ-21	22	図版117	-47	Ⅲ	1	Ⅶ	杯	口縁		拓本27
図Ⅳ-21	23	図版117	-49	Ⅲ	1	Ⅶ	杯	口縁		拓本28
図Ⅳ-21	24	図版117	-46	Ⅲ	1	Ⅶ	杯	口縁		拓本23
図Ⅳ-21	25	図版117	-47	Ⅲ	1	Ⅶ	杯	口縁	内面黒色処理	拓本25
図Ⅳ-21	26	図版117	-47	Ⅲ	1	Ⅶ	杯	口縁		拓本24

V 自然科学的分析

1 放射性炭素年代測定

財北海道埋蔵文化財センターより㈱加速器分析研究所へ、下記の試料の年代測定を委託した。結果は次ページ以降に掲載した。(村田)

表 V - 1 放射性炭素年代測定分析試料一覧

試料番号	試料種類	測定法	採取地点	採取層位	取上番号	推定時期	重量	備考
- 1	炭化材		- 2	床面	9	1200	15.6 g	スノコ状?
- 2	炭化材		- 3	床面	4	1200	15.8 g	土留め板?

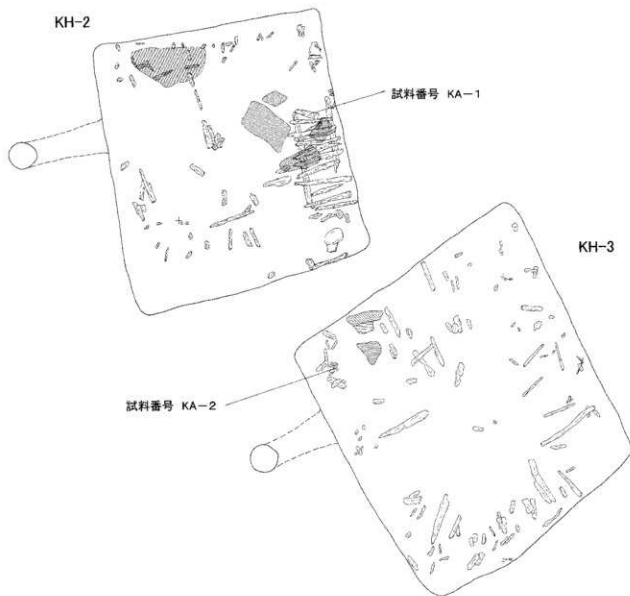


図 V - 1 放射性年代測定試料採取位置図

年代測定結果報告書

- 1) 年代値の算出には、Libbyの半減期 5568年を使用しています。
- 2) BP年代値は、1950年からさかのぼること何年前かを表しています。
- 3) 付記した誤差は、次のように算出しています。
複数回(通常は4回)の測定値について χ^2 検定を行い、通常報告する誤差は測定値の統計誤差から求めた値を用い、測定値が1つの母集団とみなせない場合には標準誤差を用いています。
- 4) $\delta^{13}\text{C}$ の値は、通常は質量分析計を用いて測定しますが、AMS測定の場合に同時に測定される $\delta^{13}\text{C}$ の値を用いることもあります。
 $\delta^{13}\text{C}$ 補正をしない場合の同位体比および年代値も参考に掲載しておきます。

同位体比は、いずれも基準値からのずれを千分偏差(‰;パーミル)で表したものです。

$$\delta^{14}\text{C} = [(^{14}\text{A}_S - ^{14}\text{A}_R) / ^{14}\text{A}_R] \times 1000 \quad (1)$$

$$\delta^{13}\text{C} = [(^{13}\text{A}_S - ^{13}\text{A}_{\text{PDB}}) / ^{13}\text{A}_{\text{PDB}}] \times 1000 \quad (2)$$

ここで、 $^{14}\text{A}_S$: 試料炭素の ^{14}C 濃度: $(^{14}\text{C}/^{12}\text{C})_S$ または $(^{14}\text{C}/^{13}\text{C})_S$

$^{14}\text{A}_R$: 標準現代炭素の ^{14}C 濃度: $(^{14}\text{C}/^{12}\text{C})_R$ または $(^{14}\text{C}/^{13}\text{C})_R$

$\delta^{13}\text{C}$ は、質量分析計を用いて試料炭素の ^{13}C 濃度($^{13}\text{A}_S = ^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$)を測定し、PDB(白亜紀のペレムナイト(矢石)類の化石)の値を基準として、それからのずれを計算します。

但し、IAAでは加速器により測定中に同時に $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ も測定していますので、標準試料の測定値との比較から算出した $\delta^{13}\text{C}$ を用いることもあります。この場合には表中に[加速器]と注記します。

また、 $\Delta^{14}\text{C}$ は、試料炭素が $\delta^{13}\text{C} = -25.0$ (‰)であるとしたときの ^{14}C 濃度($^{14}\text{A}_N$)に換算した上で計算した値です。(1)式の ^{14}C 濃度を、 $\delta^{13}\text{C}$ の測定値をもとに次式のように換算します。

$$^{14}\text{A}_N = ^{14}\text{A}_S \times (0.975 / (1 + \delta^{13}\text{C}/1000))^2 \quad (^{14}\text{A}_S \text{として } ^{14}\text{C}/^{12}\text{C} \text{ を使用するとき})$$

または

$$= ^{14}\text{A}_S \times (0.975 / (1 + \delta^{13}\text{C}/1000)) \quad (^{14}\text{A}_S \text{として } ^{14}\text{C}/^{13}\text{C} \text{ を使用するとき})$$

$$\Delta^{14}\text{C} = [(^{14}\text{A}_N - ^{14}\text{A}_R) / ^{14}\text{A}_R] \times 1000 \quad (\text{‰})$$

貝殻などの海洋が炭素起源となっている試料については、海洋中の放射性炭素濃度が大気中の炭酸ガス中の濃度と異なるため、同位体補正のみを行なった年代値は実際の年代との差が大きくなります。多くの場合、同位体補正をしない $\delta^{14}\text{C}$ に相当するBP年代値が比較的小きその貝と同一時代のものと考えられる木片や木炭などの年代値と一致します。

^{14}C 濃度の現代炭素に対する割合のもう一つの表記として、pMC(percent Modern Carbon)がよく使われており、 $\Delta^{14}\text{C}$ との関係は次のようになります。

$$\Delta^{14}\text{C} = (\text{pMC}/100 - 1) \times 1000 \quad (\text{‰})$$

$$\text{pMC} = \Delta^{14}\text{C}/10 + 100 \quad (\text{‰})$$

国際的な取り決めにより、この $\Delta^{14}\text{C}$ あるいはpMCにより、放射性炭素年代(Conventional Radiocarbon Age; yrBP)が次のように計算されます。

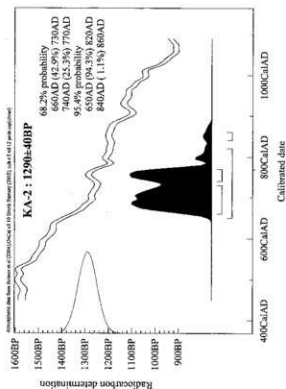
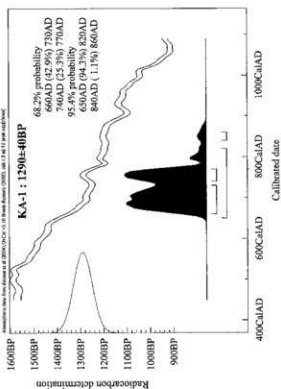
$$T = -8033 \times \ln [(\Delta^{14}\text{C}/1000) + 1]$$

$$= -8033 \times \ln (\text{pMC}/100)$$

IAA

IAA Code No.	試料	BP年代および炭素の同位体比
IAAA-51668 #1094-1	試料採取場所：北海道恵庭市 試料形態：炭化材 試料名(番号)：KA-1	Libby Age (yrBP) : 1,290 ± 40 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -26.34 ± 0.92 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -148.9 ± 3.8 pMC (%) = 85.11 ± 0.38
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) = -151.2 ± 3.4 pMC (%) = 84.88 ± 0.34 Age (yrBP) : 1,320 ± 30
IAAA-51669 #1094-2	試料採取場所：北海道恵庭市 試料形態：炭化材 試料名(番号)：KA-2	Libby Age (yrBP) : 1,290 ± 40 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -31.94 ± 0.96 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -148.1 ± 3.9 pMC (%) = 85.19 ± 0.39
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) = -160.2 ± 3.5 pMC (%) = 83.98 ± 0.35 Age (yrBP) : 1,400 ± 30

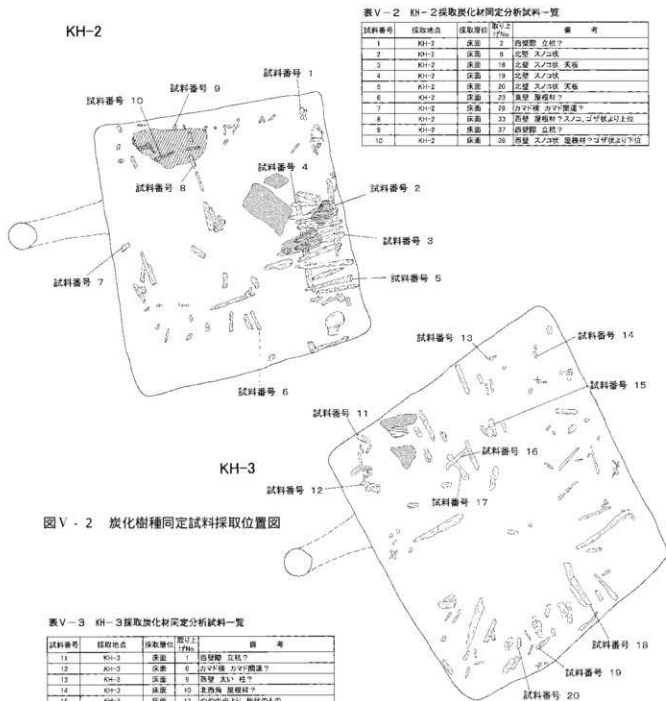
【参考図】標準補正 Radiocarbon determination



標準補正 Radiocarbon determination

2 炭化樹種同定

北海道埋蔵文化財センターより榎バレオ・ラボへ、下記の試料の樹種同定を依頼した。結果は次ページ以降に掲載した。(村田)



恵庭市柏木川 4 遺跡竪穴住居跡出土炭化材の樹種同定

株式会社バレオ・ラボ 植田弥生

1. はじめに

ここでは、縄文時代の竪穴住居跡 2 軒(KH - 2、KH - 3) から出土した炭化材の樹種同定結果を報告する。

2 軒は、出土考古遺物から 8 世紀ごろに比定されている。住居跡の床面から出土した炭化材は、すのこ状のものや、柱、立杭、屋根材などの構築材である。住居構築材にはどのような樹種の材を選択利用していたのかを明らかにする目的で、樹種調査は実施された。

2. 試料と方法

炭化材の保存状態は良好であったため、取り上げられた一部破片ではあるが、木取りや破片に含まれる年輪数を記録した。

同定は、炭化材の横断面(木口)を手で割り実体顕微鏡で予察し、管孔配列が特徴的で実体顕微鏡下の観察で同定可能な分類群については、この段階で同定した。それ以外の試料は、材の 3 方向(横断面・接線断面・放射断面)の断面を作成し、走査電子顕微鏡で拡大された材組織を観察した。走査電子顕微鏡用の試料は、3 断面を 5 mm 角以下の大きさに整え、直径 1 cm の真鍮製試料台に両面テープで固定し、試料を充分乾燥させた後、金蒸着を施し、走査電子顕微鏡(日本電子株式会社 JSM-T100型)で観察と写真撮影を行った。

同定した炭化材の残り破片は、北海道埋蔵文化財センターに保管されている。

3. 結果

同定結果の一覧を、表 1 に示した。

KH - 2 の 10 試料と KH - 3 の 10 試料は、すべてブナ科のコナラ属コナラ亜属コナラ節であった。

KH - 3 の試料 13 は太い柱? で、試料は半径 6 cm 以上のみかん割りの形状をなしていた。従って、みかん割りで利用していたか、芯持ち丸木で利用していたが炭化後に割れてみかん割りの形状が残った可能性も考えられる。KH - 3 の試料 11 は西壁際の立杭? で、炭化材の観察からは角材のようであった。それ以外の試料は、柾目分割や柾目板状と推測される破片であった。KH - 2 の試料 2 には、樹皮が認められた。

炭化材の年輪は、1 年輪が 1 mm 前後で年輪幅が非常に狭いぬか目材が、ほとんどであった。破片に含まれる年輪数は、50 年輪前後あるものが多く、KH - 3 の試料 13 と試料 20 は 75 年輪が数えられた。

以下に同定根拠とした材組織の特徴を記載し、材組織写真を提示する。

コナラ属コナラ亜属コナラ節 *Quercus* subgen. *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科 図版 1
1 a - 1 c (試料 2) 2 a (試料 1) 3 a (試料 12) 4 a (試料 13) 5 a (試料 17)

年輪の始めに大型の管孔が 1 ~ 2 層配列し、その後は急の径を減じて薄壁で多角形の非常に小型の管孔が火炎状・放射状に配列する環孔材である。道管の壁孔は交互状、穿孔孔は単穿孔、内腔にチロ - スがある。放射組織は単列のものと同細胞幅が非常に広い複合状のものがある。

コナラ節は暖帯から温帯に生育する落葉高木でカシワ・ミズナラ・コナラ・ナラガシワがある。

4.まとめ

8世紀ごろの擦文時代の竪穴住居跡2軒(KH-2、KH-3)から出土したすのこ状のものや、柱、立杭、屋根材などの20試料を調査した結果、すべてがコナラ節であった。従ってこの2軒は主にコナラ節の材を利用して構築されていたと考えられる。炭化材の横断面で数えた年輪数は50年輪前後やそれ以上のものが多いことから、伐採した木はかなり樹齢が多い木であったと推測される。そして、その材を製材加工して利用していたことも確認された。すのこ状や井桁状の材も芯持ち丸木を組んでいたのではなく、製材した分割材を利用していた。

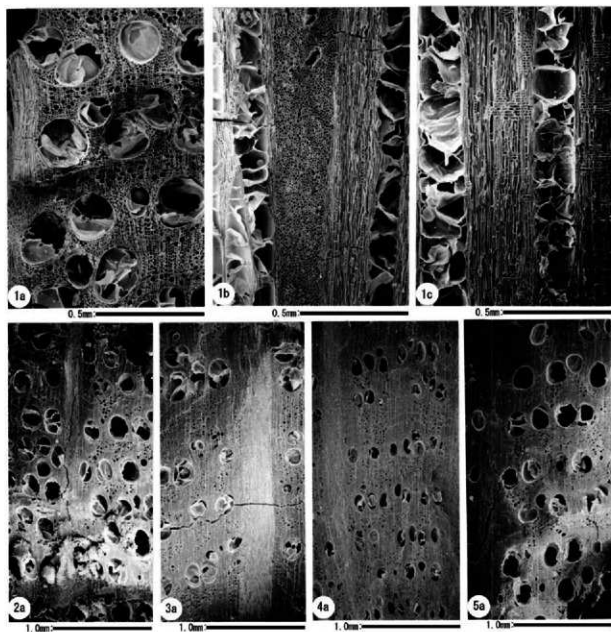
擦文時代前期の住居跡である恵庭市の中島松5遺跡と柏木川11遺跡では、トネリコ属が優占しそのほかにも複数種類の落葉広葉樹が出土している(山田、1993)。当遺跡ではコナラ節が優占的に利用されていたが、地域内では特異的な事例なのか、コナラ節が主体の住居跡も多いのかは、情報をあまりしらないので判断できなかった。

引用文献

山田昌久(1993)日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成-用材から見た人間・植物関係史、植生史研究 特別第1号

恵庭市柏木川4遺跡出土炭化樹種同定結果

試料番号	遺構名	採取層位	取り上げ	樹種	木取りなど	横断面形状 放射線 接線径 (cm)	炭化材の 年輪数	出土状況
1	-2(擦文住居)	床面	2	コナラ節	径目 分割 斜め切断面あり	6.0 4.0	60mmで50年輪	西壁際 立杭?
2	-2(擦文住居)	床面	8	コナラ節	径目 分割 断面あり	2.5 1.5	25mmで15年輪	北壁 スノコ状
3	-2(擦文住居)	床面	16	コナラ節	径目 分割	6.0 4.0	35mmで40年輪	北壁 スノコ状 天板
4	-2(擦文住居)	床面	19	コナラ節	小楕円		心か目	北壁 スノコ状
5	-2(擦文住居)	床面	20	コナラ節	径目 分割	3.5 2.5	35mmで55年輪	北壁 スノコ状 天板
6	-2(擦文住居)	床面	23	コナラ節	径目 分割	3.0 2.0	心か目	東壁 屋根材?
7	-2(擦文住居)	床面	29	コナラ節	径目 分割	3.5 1.5	24mmで41年輪	カマド横 カマド関連?
8	-2(擦文住居)	床面	33	コナラ節	径目 板状	6.0 2.5	58mmで51年輪	西壁 屋根材?スノコ、敷物より上位
9	-2(擦文住居)	床面	37	コナラ節	径目 板状	4.0 2.0	35mmで45年輪	西壁際 立杭?
10	-2(擦文住居)	床面	39	コナラ節	径目 板状	4.7 1.5	46mmで56年輪	西壁 スノコ状 屋根材?敷物より下位
11	-3(擦文住居)	床面	1	コナラ節	径目 角材	3.0 2.0	26mmで43年輪	西壁際 立杭?
12	-3(擦文住居)	床面	6	コナラ節	径目 板状	4.5 2.3	45mmで54年輪	カマド横 カマド関連?
13	-3(擦文住居)	床面	9	コナラ節	みかん割り	6.0 6.5	60mmで50年輪以上	西壁 太い 柱?
14	-3(擦文住居)	床面	10	コナラ節	径目 板状	4.0 2.0	35mmで50年輪	北西角 屋根材?
15	-3(擦文住居)	床面	13	コナラ節	径目 板状	5.5 3.0	55mmで75年輪	やや中央より 板状のもの
16	-3(擦文住居)	床面	14	コナラ節	径目 板状	2.0 0.8	20mmで36年輪	やや中央より 井桁状
17	-3(擦文住居)	床面	15	コナラ節	径目 板状	2.2 0.5	22mmで38年輪	やや中央より 井桁状
18	-3(擦文住居)	床面	24	コナラ節	径目	1.4 0.7	14mmで10年輪	東壁 屋根材?
19	-3(擦文住居)	床面	26	コナラ節	径目 板状	3.5 2.0	25mmで45年輪	東壁 屋根材? 土留板?
20	-3(擦文住居)	床面	29	コナラ節	径目 板状	4.0 2.0	40mmで75年輪	東壁 屋根材? 土留板?



図版 1 柏木川 4 遺跡竪穴住居跡出土炭化材材組織の走査電子顕微鏡写真

1a - 1c: コナラ部 (試料 2) 2a: コナラ部 (試料 1) 3a: コナラ部 (試料 12)

4a: コナラ部 (試料 13) 5a: コナラ部 (試料 17)

a: 横断面 b: 接線断面 c: 放射断面

3 炭化種実同定

北海道埋蔵文化財センターより榊バレオ・ラボへ、下記の試料の炭化種実同定を依頼した。結果は以下に掲載した。(村田)

柏木川4遺跡から出土した炭化種実

株式会社バレオ・ラボ 新山雅広

1. はじめに

恵庭市に所在する柏木川4遺跡の擦文住居から出土した炭化種実を検討し、利用植物の推定を試みた。

2. 試料と方法

炭化種実の検討は、擦文住居のKH-2およびKH-3から出土したものについて行った(No.1~10)。検討したのは、2.00mm(No.1、3、5、7、9)および0.425mm目(No.2、4、6、8、10)の篩を用いてフローテーションを行った結果回収された浮遊物試料である。試料の詳細は、以下の通りである。

KH-2:採取された場所(採取量、試料No.)は、カマド(1.5l、No.1、2)、カマド焚口(7.0l、No.3、4)、カマド火床(試料7.5l、No.5、6)である。回収された浮遊物は、No.1は6.4g、No.2は51.1g、No.3は42.6g、No.4は16.5g、No.5は10.1g、No.6は9.9gである。

KH-3:採取された場所(採取量、試料No.)は、カマド焚口(6.5l、No.7、8)、カマド火床(6.0l、No.9、10)である。回収された浮遊物は、No.7は2.4g、No.8は12.8g、No.9は9.5g、No.10は11.7gである。

上記浮遊物試料を実体顕微鏡下で検鏡し、炭化種実などを拾い上げ、同定・計数を行った。

3. 出土した炭化種実

全試料で同定された分類群は、木本がキイチゴ属の1分類群、草本がキビ、アワ、タデ科の3分類群であり、他に菌核も得られた。以下に、各住居の炭化種実を記載する。

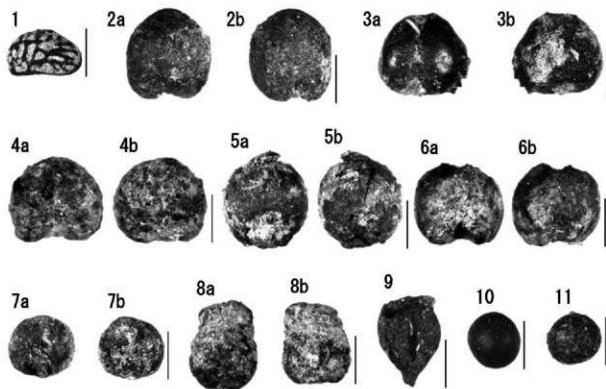
KH-2:キイチゴ属、キビ、菌核が少量得られた。カマドからはNo.2でキイチゴ属、菌核、カマド焚口からはNo.3でキビ、カマド火床からはNo.6でキビ、菌核が得られた。

KH-3:キビ、アワ、タデ科、菌核が少量得られた。カマド焚口からはNo.7、8共にキビ、アワが得られ、No.8では菌核も得られた。カマド火床からはNo.10でタデ科が得られた。

4. 形態記載

(1) キイチゴ属 *Rubus* 炭化核

長さ1.5mm、幅0.5mm程度の歪んだ楕円形ないし腎形。断面は両凸レンズ形。表面には網目紋が散在する。



図版1 出土した炭化種実(スケールは1mm)

1. キイチゴ属、炭化核、No.2 2. キビ、炭化胚乳、No.3 3. キビ、炭化胚乳、No.6 4. キビ、炭化胚乳、No.7 5. 6. キビ、炭化胚乳、No.8 7. アワ、炭化胚乳、No.7 8. アワ、炭化胚乳、No.8 9. タデ科、炭化果実、No.10 10. 菌核、No.2 11. 菌核、No.6

炭化種実出土一覧表 数字は個数を示す

遺構名	- 2 (徳文住居)						- 3 (徳文住居)				
	カマド		カマド焚口		カマド火床		カマド焚口		カマド火床		
サンプル数(1)	1.5		7.0		7.5		6.5		6.0		
篩目	2.00mm	0.425mm	2.00mm	0.425mm	2.00mm	0.425mm	2.00mm	0.425mm	2.00mm	0.425mm	
浮遊物(g)	6.4	51.3	42.6	16.5	10.3	9.9	22.4	12.8	9.5	11.7	
分類群・部位	試料										
キイチゴ属	炭化核		1								
キビ	炭化胚乳			1			3	1	2		
アワ	炭化胚乳							1	3		
タデ科	炭化果実										1
	菌核		1			2		1			

(2) キビ *Panicum miliaceum* Linn. 炭化胚乳

側面観は卵円形、断面は厚みがある。胚は幅が広く、長さは胚乳の長さの $\frac{1}{2}$ 程度。腹面下端中央にうちわ型の臍がある。長さ1.6~2.0mm、幅1.8~2.1mm程度。

(3) アワ *Setaria italica* Beauv. 炭化胚乳

側面観は円形ないし卵円形。小さい割に厚みがある。胚の長さは胚乳の長さの $\frac{1}{3}$ 程度。腹面下端中央の窪んだ位置に、本来は細長い楕円形の小さな臍があるが、明瞭に確認できるものはない。長さ1.0~1.2mm、幅1.1~1.3mm程度。なお、No.7は腹面に穎が少し付着していた。

(4) タデ科 Polygonaceae 炭化果実

三稜形で表面は平滑。先端は少し欠損し、残存長2.0mm、幅1.3mm程度。

(5) 菌核

径1.0~1.2mm程度の概ね球形(仁丹状)。表面は平滑か微細な皺がある。

5. 考察

浮遊物の主体を成す炭化物は炭化材であり、炭化種実数は少なかった。しかし、キイチゴ属、キビ、アワ、タデ科、菌核が含まれており、利用植物の一端を明らかにすることができた。栽培植物のキビ、アワは、キビがKH-2のカマド焚口、カマド火床、KH-3のカマド焚口から出土した。アワは、KH-3のカマド焚口から出土した。柏木川11遺跡では、擦文時代の住居跡から出土した多量の種実が検討されており、アワ、キビを主体にマタタビ属、アサ、ブドウ属などが検出された(吉崎、1990)。雑穀として、アワ、キビが多量に検出されたにも関わらず、明確な形でのヒエが検出されていない。種実の出土量に著しい差はあるが、本遺跡においてもキビ、アワの出土に対して、ヒエは出土しないという点で、柏木川11遺跡との類似性が認められる。KH-2のカマドから出土したキイチゴ属は、主食に成り得るようなものではないが、果実は生食可能であり、果実酒などにも利用できることから、何らかの形で利用されていた可能性が考えられる。KH-3のカマド火床から出土したタデ科は、現段階では種類が分からず、実体は不明である。しかし、炭化したものが栽培・利用植物と揃ってしばしば遺跡から出土することから、食用などにされていた可能性がある分類群である。本遺跡においても何らかの形で利用されていた可能性があるだろう。菌核は、KH-2、KH-3のいずれからも少量出土したが、カマドで燃やされた材に付着していたものが焼け残ったのであろう。

6. おわりに

擦文時代の住居跡(KH-2、KH-3)から出土した炭化種実を検討した結果、栽培植物のキビ、アワが利用されていたと考えられた。また、キイチゴ属、タデ科も何らかの形で利用されていた可能性が考えられた。

引用文献

吉崎昌一(1990)北海道恵庭市柏木川11遺跡の植物遺体。北海道恵庭市発掘調査報告書、柏木川11遺跡。pp.104-113

Ⅵ 小 括

1 遺跡について

検出した遺構は、縄文時代のものは、竪穴住居跡1軒、土壇211基、焼土85カ所、集石1カ所、小ピット4基。擦文時代のものは、竪穴住居跡2軒、集石2カ所である。以下、時期別に述べる。

縄文時代

竪穴住居跡は、平面形が隅丸方形に近い楕円形を呈し、掘り込みのない地床炉を持つ。床面からⅡ群b類植苗式の土器片がまとめて出土しており、前期後半のものである。土壇は、中期に属すると思われるものが5基ある。KP-85は長径2m程で、大形の貯蔵穴と思われる。後期のものは1基で、形態から後期後葉の土壇墓と推定している。A地区の段丘縁辺部からⅣ群c類堂林式の土器がまとめて出土している。晩期のものと考えられるものは205基で、そのうち土壇墓または土壇墓の可能性のあるものは22基である。平面形が楕円形を呈し、長軸1m前後のものはA地区の北側に多い。KP-113・162からは土器の胴部破片が、表を上にして並べられた状態で出土した。KP-140は壇底に2個対になる小ピットがある。KP-152の壇底からは大洞C₂相当の条痕文の土器が出土した。KH-2の掘り上げ土から同種の土器が出土していることから、周辺に同時期の土壇墓が存在していた可能性がある。KP-166からは完形の双口土器が出土した。壇底に段状の構造をもち、土器がまとめて出土する例は、千歳市ママチ遺跡のBP-16・25などに類似がある。KP-167からは赤彩が施された土器が1個体まとめて出土している。性格の特定できない土壇は、小形で円形のもので大半で、覆土は流入土と崩落土の互層で、遺物の出土は少ない。焼土は、調査区のほぼ全域に分布しており、焼けて白色化した動物骨・魚骨が含まれるものが多い。

擦文時代

2軒の竪穴住居跡は、出土した土器からいずれも8世紀中葉のもので、焼失住居である。覆土に被熱し赤色硬化した土や焼土が見られることから、土葺きの屋根を持っていたと考えられる。主柱穴が外に4本あるいわゆる「カリンバ型」と呼ばれるものである。形態、出土遺物、構造材などの材の選択、年代測定結果などから、ほぼ同時期に存在し、住居廃用時期も同じ頃であったと推定できる。

2 付 記

北埋調報211集『柏木川4遺跡・柏木川13遺跡 2』に補足があるので、以下について記す。

調査面積について

平成16年度の調査面積について、第1章第1節の表と報告書抄録には、8,470㎡とある。第1章第2節の(1)と第2章第2節の(2)に8,128㎡とある。最終的な調査面積は8,470㎡である。

平面直角座標系について

第2章第2節の(1)で、座標系の記載がないが、平面直角座標系は第Ⅷ系である。記載したSP-200とSP-300の座標は、日本測地系である。SP-300の杭番号M-15は、M-20が正しい。

包含層出土遺物の分布について

V群土器については第2章第6節で、記述と図が掲載されている。他の時期の土器および石器等については、記載がないので、調査区ごとの出土遺物一覧表を掲載することとした。(村田)

参考文献

恵庭市 1979 『恵庭市史』

横山英介 1990 『擦文文化』ニュー・サイエンス社

恵庭市教育委員会 1988 『柏木川8遺跡 柏木川13遺跡』

恵庭市教育委員会 1989 『中島松5遺跡 A地点』

恵庭市教育委員会 1990 『柏木川11遺跡』

恵庭市教育委員会 1990 『中島松5遺跡 B地点 中島松7遺跡 C地点』

恵庭市教育委員会 1992 『西島松17遺跡 西島松18遺跡』

恵庭市教育委員会 1992 『中島松1遺跡 南島松4遺跡 南島松3遺跡 南島松2遺跡』

恵庭市教育委員会 1995 『柏木川11遺跡Ⅱ』

恵庭市教育委員会 2003 『柏木川13遺跡Ⅱ』

恵庭市教育委員会 2004 『柏木川7遺跡』

恵庭市教育委員会 2005 『柏木川13遺跡』

恵庭市教育委員会 2005 『柏木川13遺跡Ⅲ』

北海道埋蔵文化財センター 2002 『恵庭市 西島松5遺跡』北埋調報178集

北海道埋蔵文化財センター 2002 『恵庭市 西島松9遺跡』北埋調報179集

北海道埋蔵文化財センター 2003 『恵庭市 西島松5遺跡 2)』北埋調報194集

北海道埋蔵文化財センター 2004 『恵庭市 西島松5遺跡 3)』北埋調報209集

北海道埋蔵文化財センター 2005 『恵庭市 西島松5遺跡 4)』北埋調報224集

北海道埋蔵文化財センター 2003 『恵庭市 柏木川13遺跡』北埋調報203集

北海道埋蔵文化財センター 2004 『恵庭市 柏木川4遺跡・柏木川13遺跡 2)』北埋調報211集

北海道埋蔵文化財センター 1993 『美沢川流域の遺跡群 XⅦ』北埋調報89集

北海道埋蔵文化財センター 1982 『ママチ遺跡』北埋調報9集

北海道埋蔵文化財センター 1987 『千歳市 ママチ遺跡Ⅲ』北埋調報36集

北海道埋蔵文化財センター 2001 『穂香竪穴群』北埋調報170集

北海道埋蔵文化財センター 2002 『穂香竪穴群 2)』北埋調報184集

北海道埋蔵文化財センター 2003 『穂香竪穴群 3)』北埋調報198集

写真図版



(平成16年度撮影)



伐採終了状況 (平成16年度撮影)

調査前状況



調査風景（1）



調査風景(2)



地区



地区

調査終了状況



51ライン西側



51ライン東側



51ライン東側斜面部

基本土層



セクション



遺物出土状況



- 1(中央)・ - 1(左)・ - 2(右)セクション



完掘



- 79セクション



- 79完掘



- 80(右)・86(左)セクション



- 80(右)・86(左)完掘
土壌(1)



- 81完掘



- 82セクション



- 83セクション



- 82完掘



- 83完掘



- 84完掘



- 85セクション



- 85調査風景

土壌 (3)



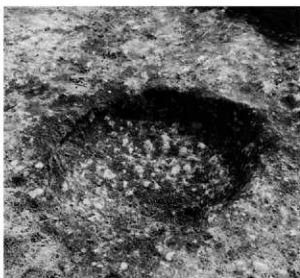
- 85完掘



- 85掘上げ土検出状況



- 87セクション



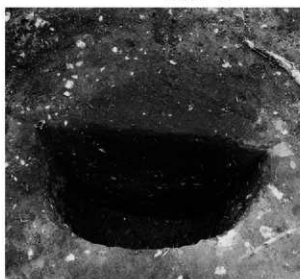
- 87完掘



- 88セクション



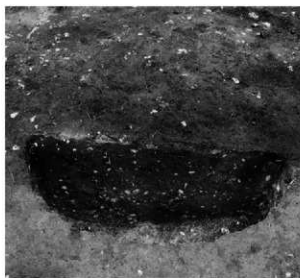
- 88完掘



- 89セクション



- 89完掘



- 90セクション



- 90完掘



- 91セクション



- 91完掘



- 92セクション



- 92完掘



- 93完掘



- 94セクション



- 95セクション



- 95完掘



- 96セクション



- 96完掘



- 97セクション



- 97完掘



- 98セクション



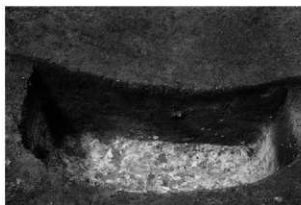
- 98完掘



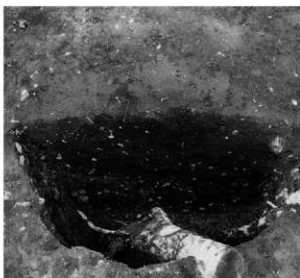
- 99セクション



- 99完掘



- 100セクション



- 101セクション



- 100完掘



- 101完掘



- 102セクション



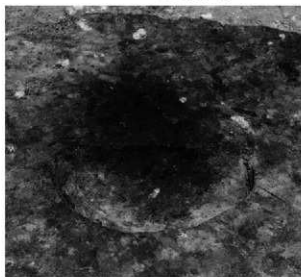
- 102完掘



- 103セクション



- 103完掘



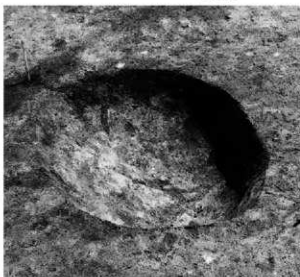
- 104セクション



- 104完掘



- 105セクション



- 105完掘



- 106セクション



- 106完掘



- 107セクション



- 107完掘



- 108セクション



- 108完掘



- 109セクション



- 109完掘



- 110セクション



- 110完掘



- 111セクション



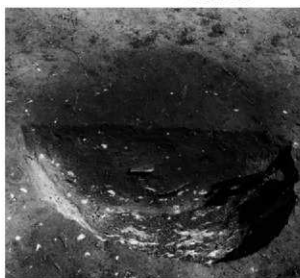
- 111完掘



- 112セクション



- 112完掘



- 113セクション



- 113完掘



- 114セクション



- 114完掘



- 115セクション



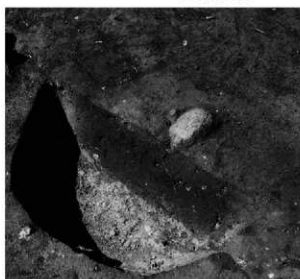
- 115完掘



- 116セクション



- 116完掘



- 117セクション



- 117完掘



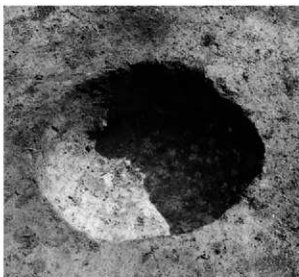
- 118セクション



- 118完掘



- 119セクション



- 119完掘



- 120セクション



- 120完掘



- 121セクション



- 121完掘



- 122セクション



- 122完掘



- 123セクション



- 123完掘



- 124セクション



- 124完掘



- 125セクション



- 125完掘



- 126セクション



- 126完掘



- 127セクション



- 127完掘



- 128セクション



- 128完掘



- 129セクション



- 129完掘



- 130セクション



- 130完掘



- 131セクション



- 131完掘



- 132完掘



- 133セクション



- 134(左)・135(右)セクション



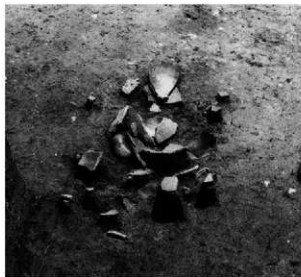
- 137セクション



- 136(奥)・136(中)・136(前)完掘



- 137完掘



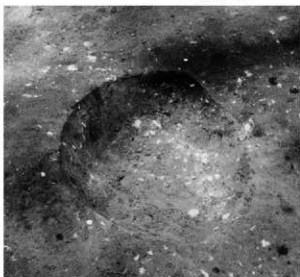
- 138上面遺物出土状況



- 138セクション



- 139上面遺物出土状況



- 138完掘



- 139セクション



- 139完掘



- 140セクション



- 140完掘



- 14Ⅹ右)・14Ⅹ左)セクション



- 14Ⅹ前)・14Ⅹ奥)完掘



- 143セクション



- 144セクション



- 144完掘



- 145セクション



- 145完掘



- 146セクション
土壙 (23)



- 147セクション



- 147完掘



- 148・149(内右側)セクション



- 148・149(内側奥)完掘



- 151セクション



- 150(右)・151(左)セクション



- 150(前)・151(奥)完掘



- 152完掘



- 139(前)・151(奥)完掘



- 152セクション



- 154(左)・156(右)セクション



- 154(前)・156(奥)完掘



- 155セクション



- 155完掘



- 157セクション



- 157完掘



- 158セクション



- 158完掘



- 159セクション



- 159完掘



- 160セクション



- 160完掘



- 161セクション



- 161完掘



- 162セクション



- 162完掘



- 163セクション



- 163完掘



- 164(左)・165(右)セクション



- 164(前)・165(奥)完掘



- 166セクション



- 166遺物出土状況



- 166完掘



- 167遺物出土状況



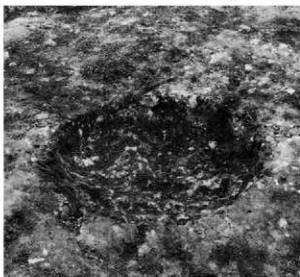
- 168セクション



- 168完掘



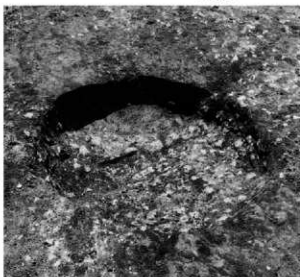
- 169セクション



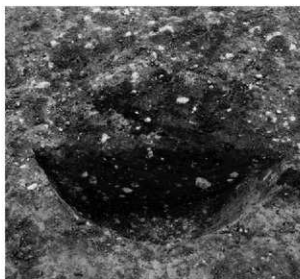
- 169完掘



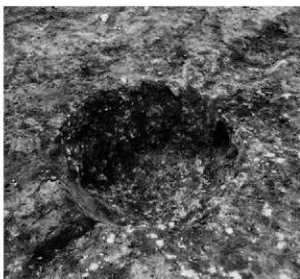
- 170セクション



- 170完掘



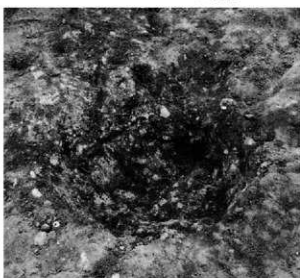
- 171セクション



- 171完掘



- 172セクション



- 172完掘



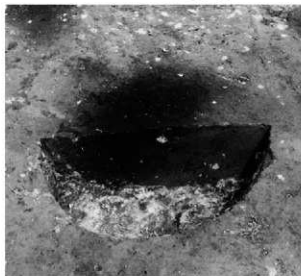
- 173セクション



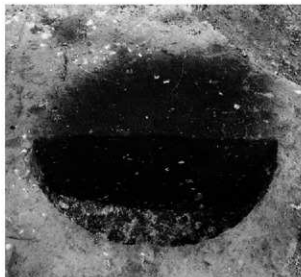
- 173完掘



- 174セクション



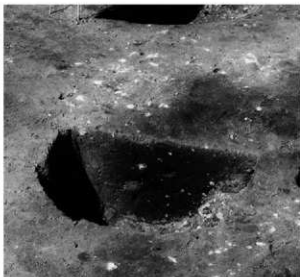
- 175セクション



- 176セクション



- 174(中奥)・175(中前)・
176(前)・177(奥)完掘



- 177セクション



- 178セクション



- 178完掘



- 179セクション



- 179(前) > 180(奥左) > 181(奥右) 完掘



- 180セクション



- 181セクション



- 182セクション



- 18ㄨ 右 〉 18ㄨ 左前 〉 18ㄨ 左奥 発掘



- 183セクション



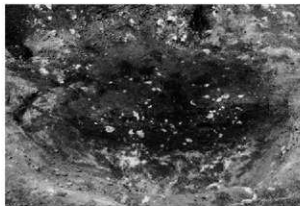
- 184セクション



- 18ㄨ 右) 18ㄨ 左 セクション



- 18ㄨ 左) 18ㄨ 右 発掘



- 187セクション



- 188セクション



- 18X内側)・8X外側)・18X奥)完掘



- 188完掘



- 189セクション



- 189完掘



- 19ㄥ 奥右 > 19ㄥ 奥左 > 19ㄥ 前)セクション



- 19ㄥ 右)・19ㄥ 左)セクション



- 190・191・192・193・194 奥から)完掘



- 195セクション



- 195完掘



- 196セクション



- 197完掘



- 198セクション



- 198完掘



- 199セクション



- 199完掘



- 200セクション



- 200完掘



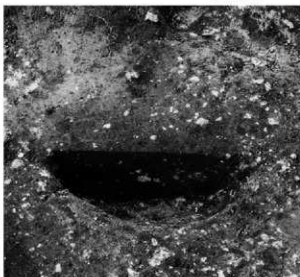
- 201セクション



- 201完掘



- 202セクション



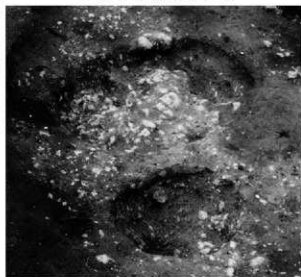
- 203セクション



- 20ㄨ前)・20ㄨ奥)完掘



- 20ㄨ奥)・20ㄨ前)セクション



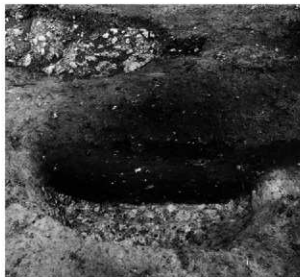
- 20ㄨ前)・20ㄨ奥)完掘



- 206セクション



- 206完掘



- 207セクション



- 207完掘



- 208セクション



- 208完掘



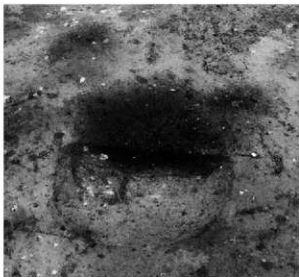
- 209セクション



- 209完掘



- 21㉔(左)・21㉕(右)セクション



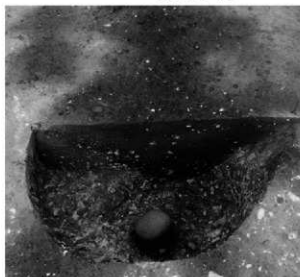
- 213セクション



- 212セクション



- 212完掘



- 21㉔(新)・23㉔(古)セクション



- 214完掘



- 215セクション



- 215完掘



- 216セクション



- 216完掘



- 218セクション



- 218完掘



- 219セクション



- 219完掘



- 217セクション



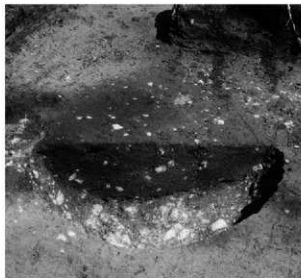
- 217(奥左)・220(奥右)・221(前)完掘



- 220セクション



- 221セクション



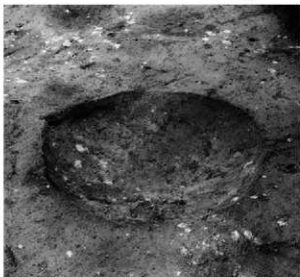
- 222セクション



- 222完掘



- 223セクション



- 223完掘



- 224セクション



- 224完掘



- 224・225・226・227 右から 検出状況



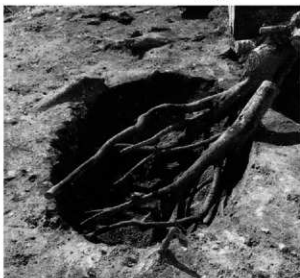
- 225セクション



- 225完掘



- 226セクション



- 226完掘



- 227セクション



- 227完掘・226検出状況



- 228セクション



- 229セクション



- 228完掘



- 229完掘



- 230セクション



- 231セクション



- 214(新)・234(古)セクション



- 234(奥)・234(前)完掘



- 232完掘



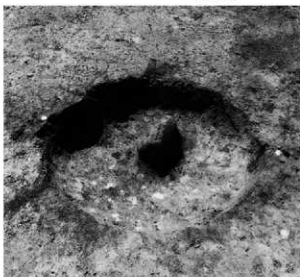
- 233セクション



- 233完掘



- 234セクション



- 234完掘



- 236セクション



- 236完掘



- 237(左)・238(右)セクション



- 237(奥)・238(前)完掘



- 239セクション



- 239完掘



- 240セクション



- 240完掘



- 24ㄥ右)・24ㄥ左)セクション



- 24ㄥ前)・24ㄥ奥)完掘



- 24ㄥ左)・24ㄥ右)セクション



- 24ㄥ前)・24ㄥ奥)完掘



- 24ㄥ左)・24ㄥ右)セクション



- 24ㄥ奥)・24ㄥ前)完掘



- 247セクション



- 247完掘



- 24ㄨ左)・24ㄨ右)セクション



- 24ㄨ奥)・24ㄨ前)完掘



- 250セクション



- 250完掘



- 251セクション



- 251完掘



- 25ㄨ 左>25ㄨ 右>24ㄨ 奥)セクション



- 25ㄨ (奥)・25ㄨ 前)完掘



- 255セクション



- 255完掘



- 256セクション



- 256完掘



- 257セクション



- 258セクション



- 25ㄨ奥)・25ㄨ前完掘



- 259セクション



- 259完掘



- 260セクション



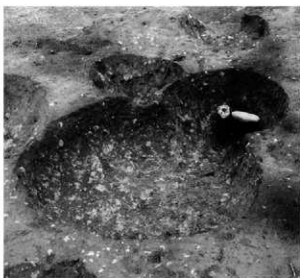
- 276セクション



- 260(奥)・276(前)完掘



KP - 254セクション W E



KP - 254・261・263・264 奥から 完掘 SE NW



KP - 261セクション W E



KP - 263(左)・264(右)セクション NW SE



KP - 262セクション SW NE



KP - 262完掘 E W



KP - 265(左)・266(右)セクション NW SE



KP - 265(前)・266(奥)完掘 E W



KP - 267セクション W E



KP - 267完掘 NE SW



KP - 268セクション S N



KP - 268完掘 N S



KP - 269セクション S N



KP - 269完掘 E W



KP - 270セクション S N



KP - 270完掘 N S



KP - 271セクション SE NW



KP - 271完掘 SE NW



KP - 272セクション W E



KP - 272完掘 E W



KP - 273セクション W E



KP - 273完掘 E W



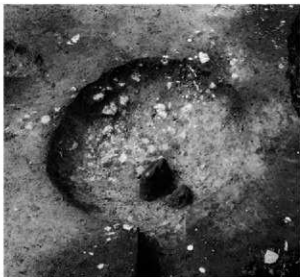
KP - 274セクション SW NE



KP - 274完掘 N S



KP - 275セクション S N



KP - 277完掘 E W



KP - 278セクション SE NW



KP - 278完掘 NE SW



KP - 279セクション SE NW



KP - 279完掘 N S



KP - 280セクション SE NW



KP - 28ㄥ前)・KP - 28ㄥ奥 完掘 N S



KP - 281セクション S N



KP - 282完掘 N S



KP - 282セクション SW NE



KP - 28ㄥ奥)・28ㄥ前 完掘 N S



KP - 28ㄥ右)・28ㄥ左)セクション NW SE



KP - 284セクション SW NE



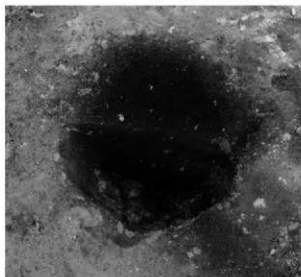
KP - 284完掘 SW NE



KP - 286セクション S N



KP - 286完掘 N S



KP - 287セクション S N



KP - 287完掘 N S



KP - 288セクション S N



KP - 288完掘 E W



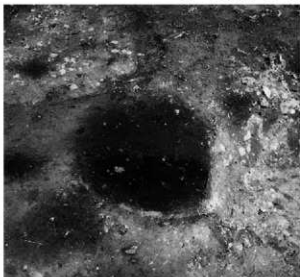
KP - 289セクション S N



KP - 289完掘 E W



KP - 290セクション S N



KP - 291セクション SW NE



KF - 29セクション SE NW



KF - 56・KP - 197セクション N S



KF - 70セクション SW NE



KF - 104セクション W E



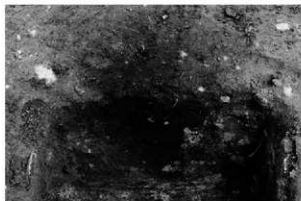
KS - 3 検出状況 NW SE



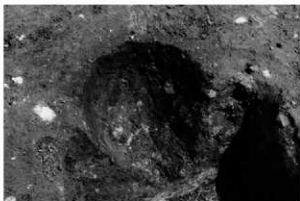
SP - 2セクション SW NE



SP - 2完掘 W E



SP - 3セクション SW NE



SP - 3完掘 W E



SP - 4(左)・5(右)セクション W E



SP - 4(左)・5(右)完掘 W E



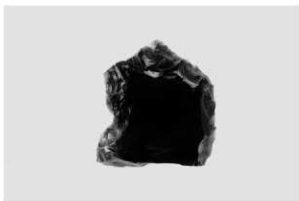
KH - 4



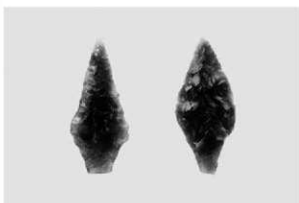
KP - 80



KP - 81



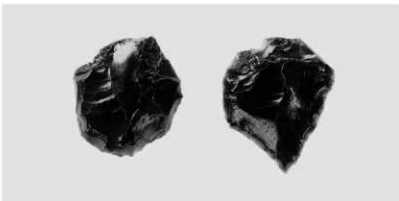
KP - 81



KP - 82



KP - 83



KP - 85



KP - 85



KP - 85



KP - 91



KP - 91



KP - 92



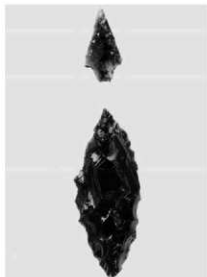
KP - 94



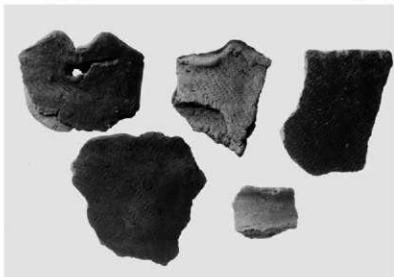
KP - 93



KP - 96



KP - 100



KP - 101



KP - 102



KP - 113



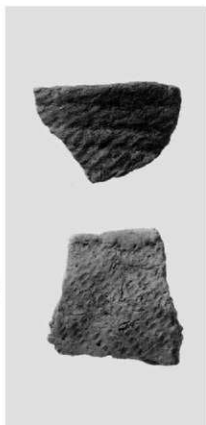
KP - 113



KP - 121



KP - 117



KP - 126



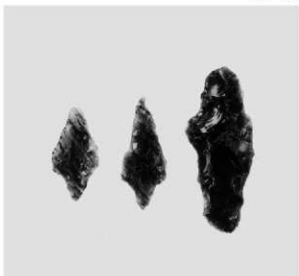
KP - 124



KP - 129



KP - 128



KP - 128



KP - 130



KP - 131



KP - 138



KP - 131



KP - 135



KP - 138



KP - 139



KP - 139



KP - 139



KP - 139



KP - 140

KP - 147



KP - 142



KP - 151



KP - 152



KP - 155



KP - 155



KP - 156



KP - 178



KP - 162



KP - 163



KP - 167



KP - 167



KP - 166



KP - 166



KP - 166



KP - 166



KP - 166



KP - 166



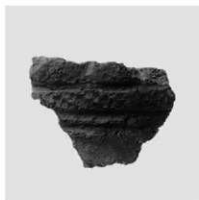
- 199



- 202



- 201



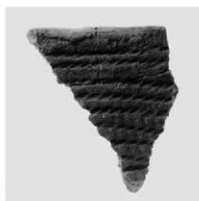
- 215



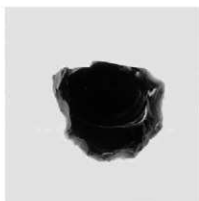
- 206



- 209



- 210



- 210



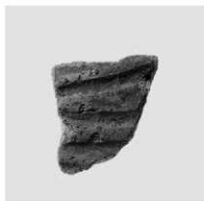
- 214



- 214



- 214



- 213



- 225



- 233



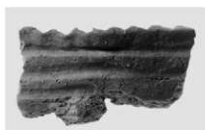
- 227



- 234



- 235



- 239



- 235



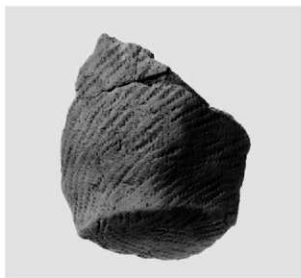
- 245



- 247



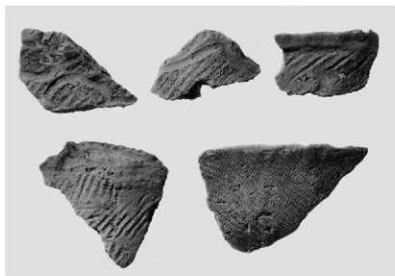
- 242



- 249



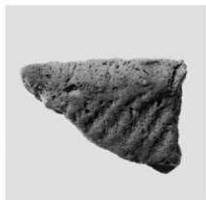
- 246



- 250



- 251



- 251



- 253



- 254



- 263



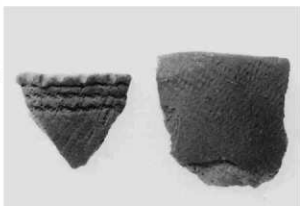
- 263



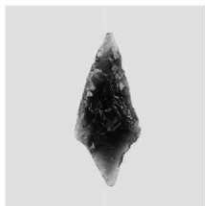
- 262



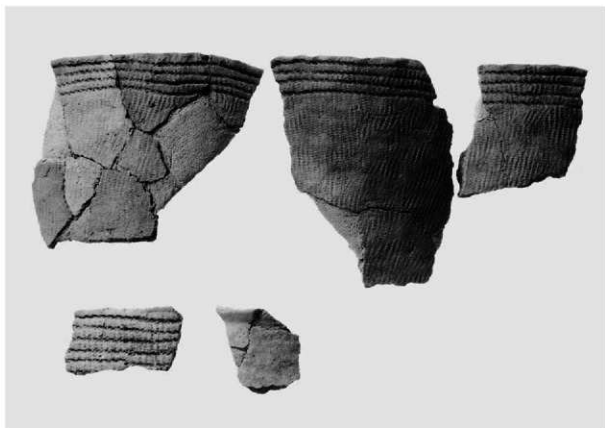
- 263



- 270



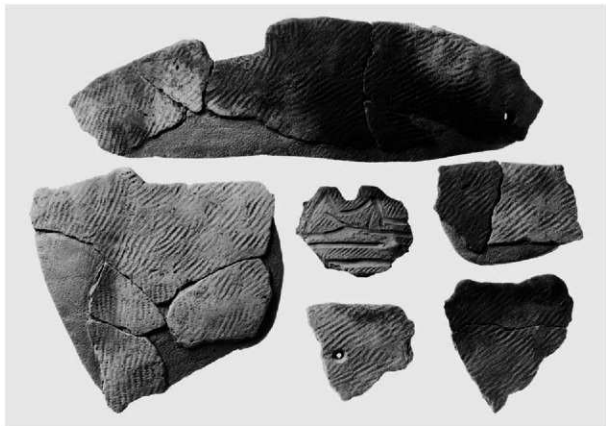
- 274



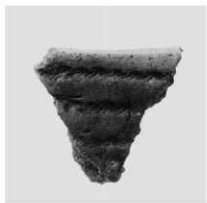
- 271



- 272



- 283



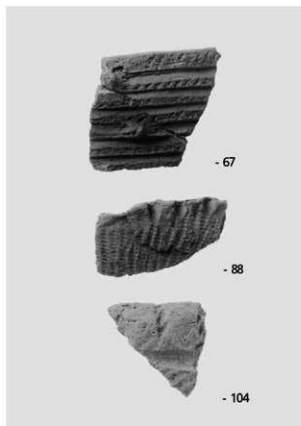
- 285



- 286



- 289



出土の土器



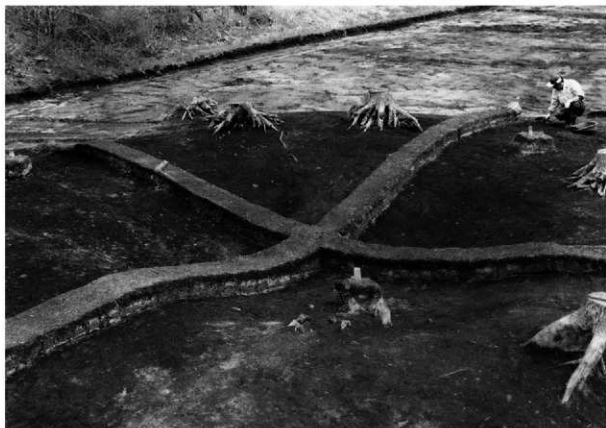
出土の石器



遺構出土の遺物 (18)



調査開始状況



除去終了状況



セクション



セクション



焼土検出作業



炭化材検出状況



土器・炭化材検出状況



炭化材検出状況



紡錘車・炭化材検出状況



床面・掘上げ土検出状況



竈周辺遺物出土状況



竈検出状況



火床西側検出状況



竈セクション



煙道セクション



煙道セクション



煙出しセクション



煙道・煙出し完擬



住居東側掘上げ土下出土土器



- 1完擬



- 2 セクション



- 3 セクション



- 4 セクション

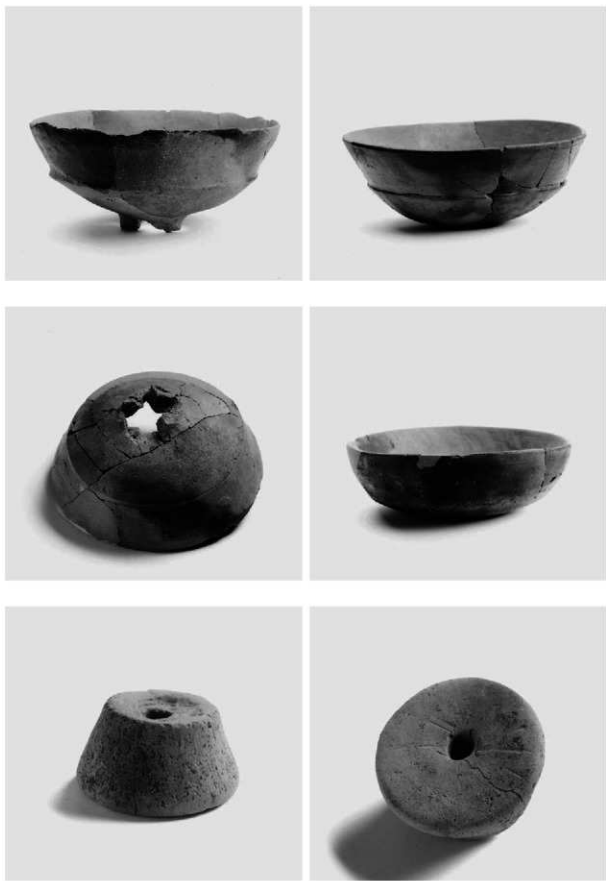


- 4 完掘



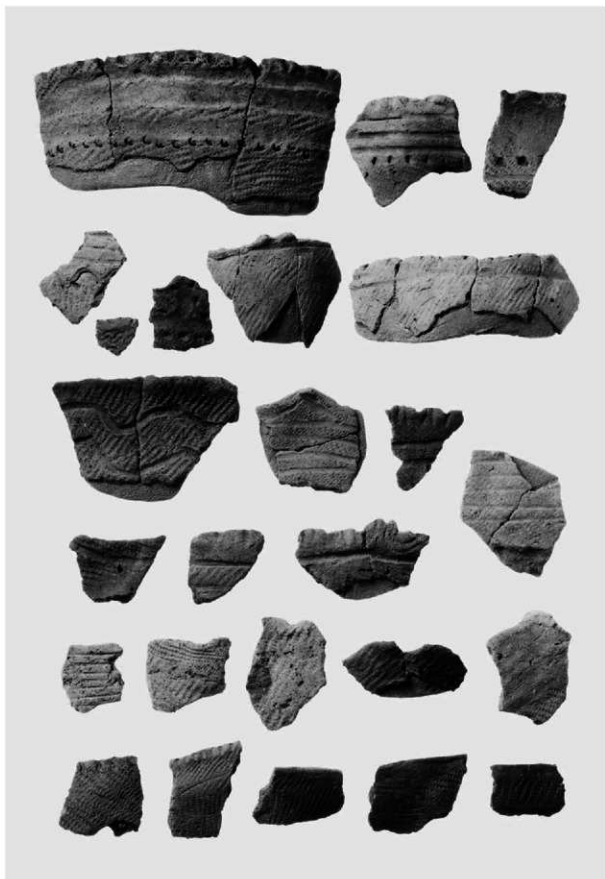
- 2(右側)・ - 85(左側)掘上げ土セクション







- 2 出土の遺物 (3)



- 2 出土の遺物 (4)



- 2 出土の遺物 (5)





調査風景 除去終了後)



セクション



セクション



焼土・遺物検出状況



土器出土状況



土器出土状況



炭化材検出作業風景



炭化材検出作業風景



炭化材検出状況



床面・掘上げ土検出状況(奥 - 2)



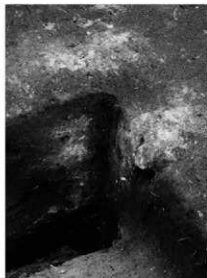
竈検出状況



竈・煙道半截状況



竈セクション



煙出しセクション



煙道セクション



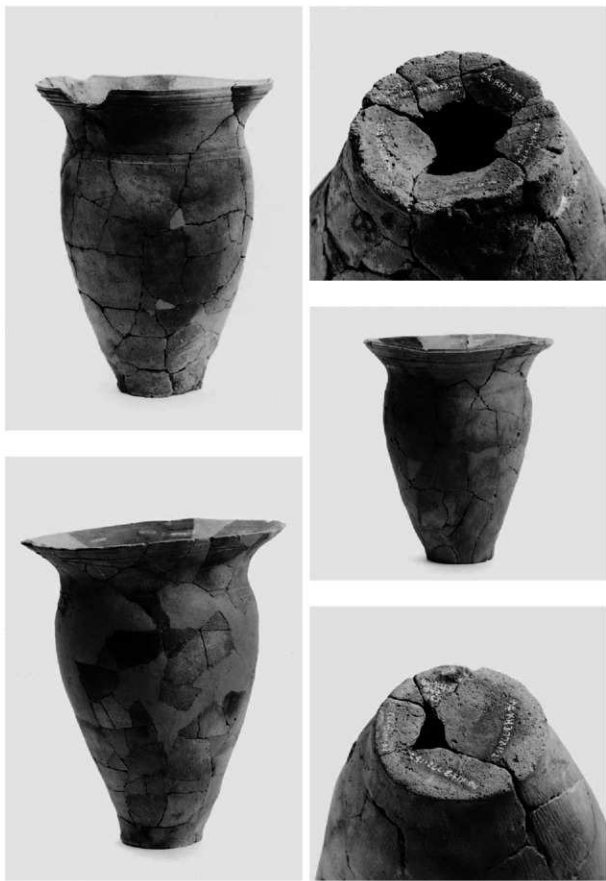
煙道・煙出し完掘



- 1 検出状況



- 2 セクション

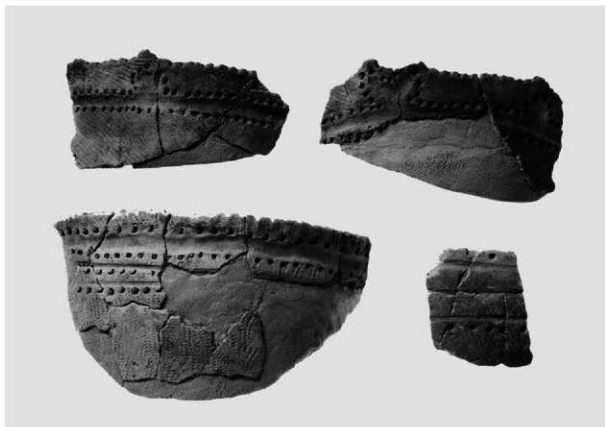


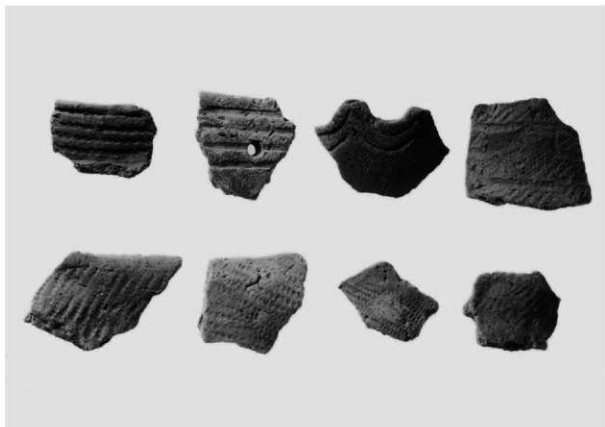
- 3 出土の遺物 (1)

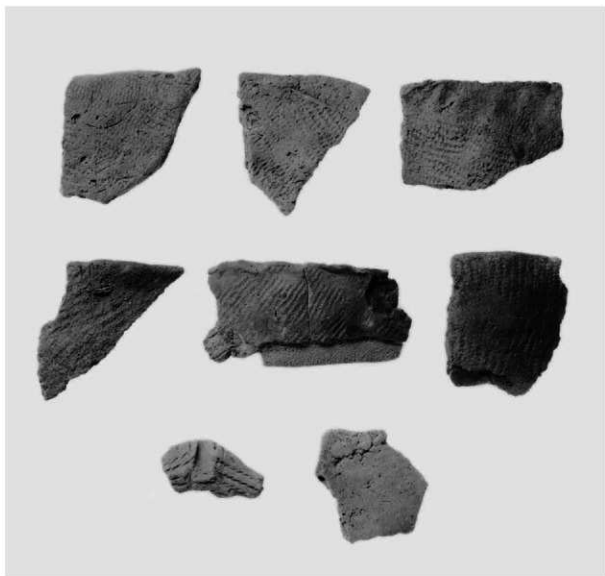


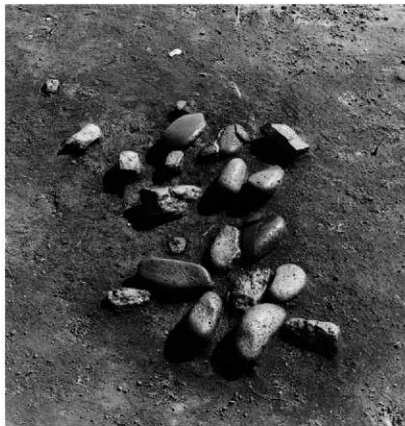


- 3 出土の遺物 (3)





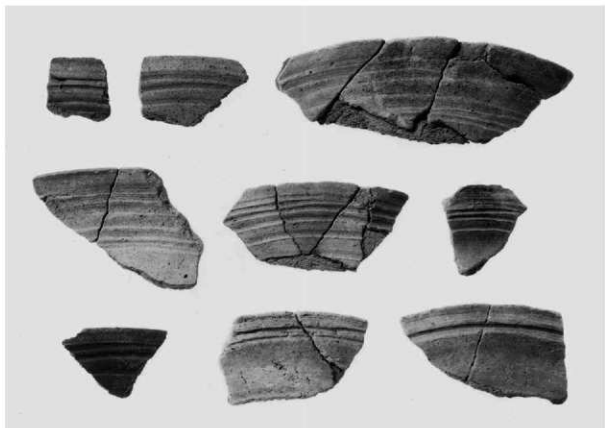




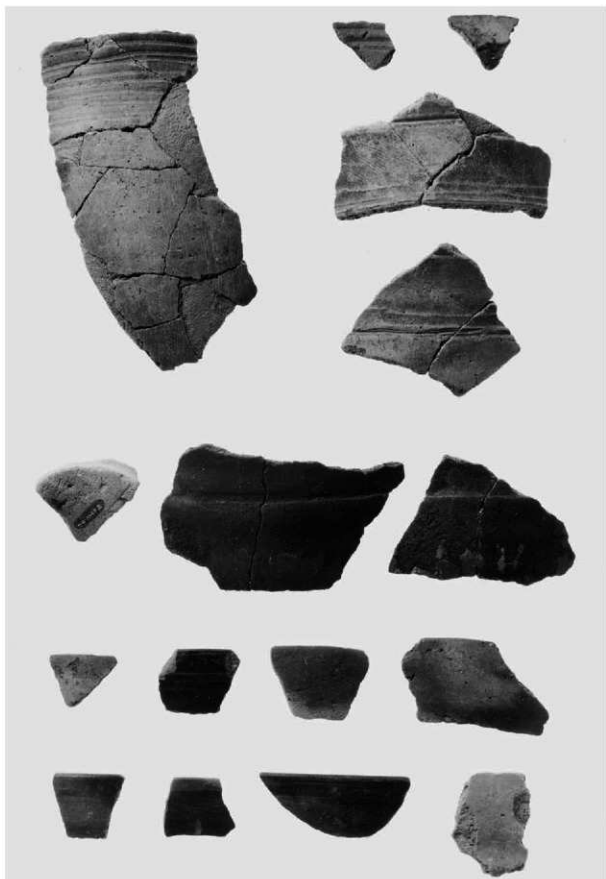
- 4 検出状況



- 5 検出状況



包含層出土のⅢ群土器（1）



包含層出土のⅢ群土器(2)

報告書抄録

ふりがな	えいわしかしわざがわよふんいせきかっこに えーしーちく							
書名	恵庭市柏木川4遺跡(2) - A C地区 -							
副書名	柏木川基幹河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	財北海道埋蔵文化財センター調査報告書(北理調報)							
シリーズ番号	第229集							
編著者名	村田 大、吉田裕史洋							
編集機関	財団法人北海道埋蔵文化財センター							
所在地	〒069-0832 北海道江別市西野幌685番地1 TEL. 011-386-3231							
発行年月日	西暦2005年6月30日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
北海道 恵庭市 柏木町 610.612ほか	北海道 恵庭市 柏木町 610.612ほか	01224	A-04-21	42 53 19	141 33 16	20050509 ～ 20051028	14,140㎡ (報告はA C地区の 5,460㎡)	柏木川基幹河川改修工事に伴う事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
柏木川4遺跡	集落跡	縄文時代 前期・中期 後期・晩期	竪穴住居跡1軒 土壌 211基 焼土 85カ所 集石 1カ所 柱穴状の小ピット4基	土器 縄文早期東釧路Ⅳ式 縄文前期植苗式 縄文中期北筒式 縄文晩期常舞式 タンネットウL式 石器 石鏃・石鏃・スクレイパー・ つまみ付きナイフ・ 石斧・たたき石・すり石 ・砥石・台石・石皿ほか		焼失住居		
	集落跡	縄文時代	竪穴住居跡2軒 集石 2カ所	土器 縄文土器(8C中葉) 石器 砥石・台石・石皿ほか 金属製品				

財北海道埋蔵文化財センター調査報告書第229集

恵庭市

柏木川4遺跡(2)-A・C地区-

- 柏木川基幹河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 -

発行年月日 平成18年6月30日

編集・発行 財団法人 北海道埋蔵文化財センター

〒069-0832 江別市西野幌685番地-1

TEL(011)386-3233(代表) FAX(011)386-3238

URL <http://www.domaibun.or.jp>

印刷 株式会社北海道機関紙印刷所

〒060-0806 札幌市北区北6条西7丁目

TEL(011)716-6141

FAX(011)717-5431
